

「北区教育ビジョン 2024」策定に係る
アンケート調査報告書

令和5年2月
北区教育委員会

目 次

第1部 調査の概要	1
1 調査の概要	3
2 調査票の設問項目	4
第2部 調査の結果	7
1 保護者及び保護者の子どもについて	9
2 北区の区立小・中学校の教育について	14
3 北区の教育行政（全般）について	40
4 子どもたちが自ら未来を切り拓く力を育む取り組みについて	58
5 就学前教育について	76
6 義務教育について	78
7 家庭・地域の教育力について	90
8 教育全般について	100
9 北区の教育行政について	109
10 生涯学習について	114
11 自由意見について	138
資料編	151
「北区教育ビジョン2024」策定に係る保護者アンケート調査票	153

第 1 部 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、北区在住で0歳から中学校3年生までのお子さんがある保護者の方を対象として、北区の教育についてどのように感じているかをおうかがいし、「北区教育ビジョン2024」策定にあたっての基礎資料とすることを目的としています。

(2) 調査の対象

住民基本台帳から無作為抽出した0歳から中学3年生までの子どもを持つ保護者2,000人

(3) 調査の方法

調査票を対象者に郵送で配布し、郵送で回収する無記名郵送方式
(ハガキによるお礼を兼ねた督促状：1回送付)

(4) 調査期間

令和4年10月19日～11月15日

(5) 配布・回収状況

調査票の種類	配布対象数	転居等で配布不能	有効配布数(A)	回収数	白票・無効票	有効回収数(B)	有効回収率(B)/(A)
保護者	2,000	1	1,999	917	0	917	45.9%

(6) 報告書の表記

- ① 表、グラフに使われる「n」は、各設問に対する回答者数となります。比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示します。
- ② 集計した数値(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が1つだけの場合、選択肢の数値(%)をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。
- ③ 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100.0%を超えます。
- ④ 表、グラフの中で、アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、一部省略して表現している場合があります。

※ 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。

※ 前回との比較について、5.0ポイント以上の増減があった選択肢を中心に主なものを順に明記しています。

2 調査票の設問項目

調査項目		頁
1	保護者及び保護者の子どもについて	
(1) 問 1	子どもとの関係	9
(2) 問 2	子どもの学年	10
(3) 問 3	通園・通学先の種類	11
(4) 問 4	きょうだいの人数	12
(5) 問 5	居住地区	13
2	北区の区立小・中学校の教育について	
(1) 問 6	北区の区立小・中学校の現状の満足度と今後の重要度	14
(2) 問 7	北区の区立小・中学校の取り組みの認知度・満足度	24
3	北区の教育行政（全般）について	
(1) 問 8	北区の教育行政（全般）の現状の満足度と今後の重要度	40
(2) 問 9	北区教育委員会の取り組みの認知度・満足度	50
4	子どもたちが自ら未来を切り拓く力を育む取り組みについて	
(1) 問 10	「個別最適な学びの充実」の取り組みの現状の満足度と今後の重要度	58
(2) 問 11	「協働的な学びの充実」の取り組みの現状の満足度と今後の重要度	66
5	就学前教育について	
(1) 問 12	家庭で子どもに身に付けさせるべきこと	76
(2) 問 13	幼稚園・保育園・こども園で子どもに身に付けさせるべきこと	77
6	義務教育について	
(1) 問 14	I C Tを活用した授業及び家庭学習の満足度	78
(2) 問 15	I C Tを活用した授業及び家庭学習に期待すること	80
(3) 問 16	学校の評価	81
(4) 問 17	教員の評価	84
(5) 問 18	子どもの学校図書館の利用内容	87
(6) 問 19	小学校卒業後の進路	88
(7) 問 20	北区の公立中学校以外への進学を考えている理由	89
7	家庭・地域の教育力について	
(1) 問 21	居住地域における家庭や地域の教育力に対する考え	90
(2) 問 22	自分の子どもの学力の程度	94
(3) 問 23	家庭での子どもとの関わり	95
(4) 問 24	子どもを学習塾に通わせることに対する考え	96
(5) 問 25	学校の授業以外の1日の勉強時間	99
8	教育全般について	
(1) 問 26	教育全般に関する認識	100
(2) 問 27	学力格差が特に広がっていると思う段階	103
(3) 問 28	部活動に期待すること	104
(4) 問 29	休日の運動部活動の段階的な地域移行に対する考え	105

調査項目		頁
(5) 問 30	部活動の地域移行に関する課題で気になること	106
(6) 問 31	「ヤングケアラー」という言葉の認知度	107
(7) 問 32	「ヤングケアラー」と思われる子どもがいた場合の対応	108
9 北区の教育行政について		
(1) 問 33	「学校ファミリー」で実施している教育施策に対する考え	109
(2) 問 34	地域と学校との連携を進める上で重点的に取り組むべき活動	111
(3) 問 35	学校施設の整備で優先的に行うべきこと	112
(4) 問 36	「教育先進都市」のイメージ	113
10 生涯学習について		
(1) 問 37	自分ができることを地域や学校で活かしたいか	114
(2) 問 38	生涯学習活動への参加状況	115
(3) 問 39	文化センターの利用度及び利用満足度	116
(4) 問 40	今後、文化センターに期待すること	120
(5) 問 41	区立図書館の利用度及び利用満足度	121
(6) 問 42	今後、区立図書館に期待すること	129
(7) 問 43	飛鳥山博物館の利用度及び利用満足度	130
(8) 問 44	今後、飛鳥山博物館に期待すること	134
(9) 問 45	生涯学習のために力を入れて欲しいこと	135
(10) 問 46	グループや団体の自主的な活動を盛んにするために必要な区の支援	136
(11) 問 47	ボランティア活動に参加できる頻度	137
11	自由意見について	138

第2部 調査の結果

1 保護者及び保護者の子どもについて

(1) 子どもとの関係

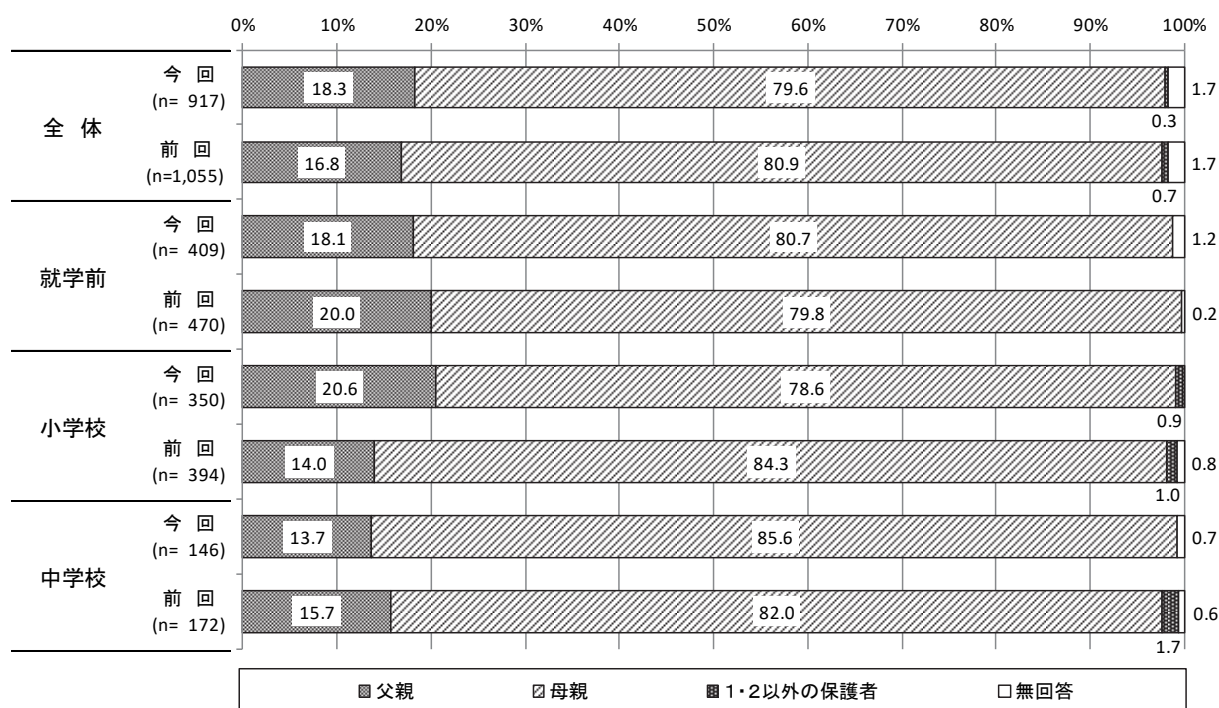
問1 封筒の宛名のお子さんとあなたの関係を教えてください。(〇は1つだけ)

全体では、「父親」が18.3%、「母親」が79.6%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「母親」が就学前、小学校で8割前後、中学校で8割台半ばとなっています。

前回調査と比較すると、小学校で「父親」が高くなっています。

図 子どもとの関係



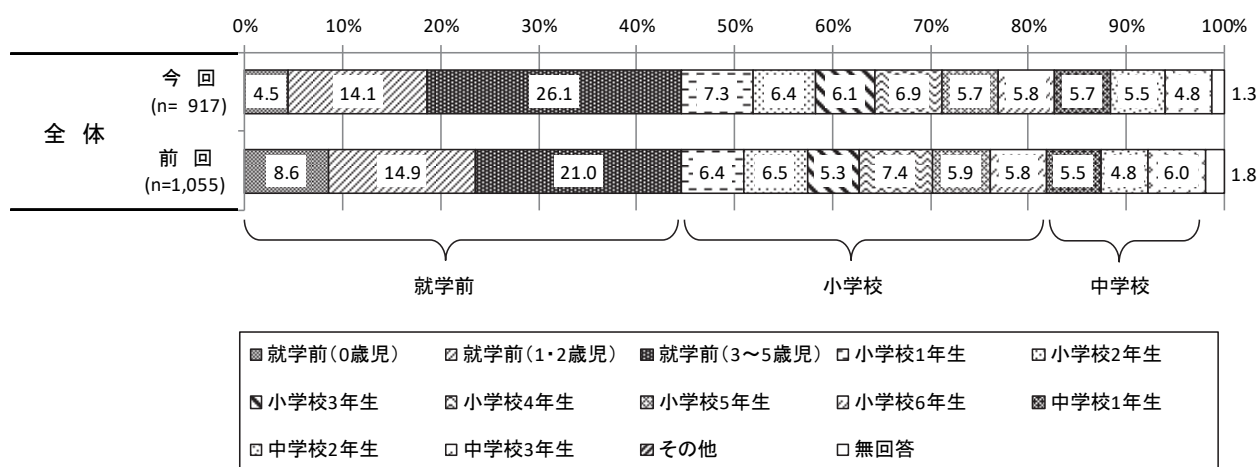
(2) 子どもの学年

問2 封筒の宛名のお子さんの状況を教えてください。(〇は1つだけ、令和4年4月1日時点)

「就学前(3～5歳児)」が26.1%と最も高く、次いで「就学前(1・2歳児)」が14.1%、「小学校1年生」が7.3%となっています。

前回調査と比較すると、「就学前(3～5歳児)」が高くなっていますが、就学前、小学校、中学校の区分で見た場合の構成は、概ね同じ割合となっています。

図 子どもの学年



(3) 通園・通学先の種類

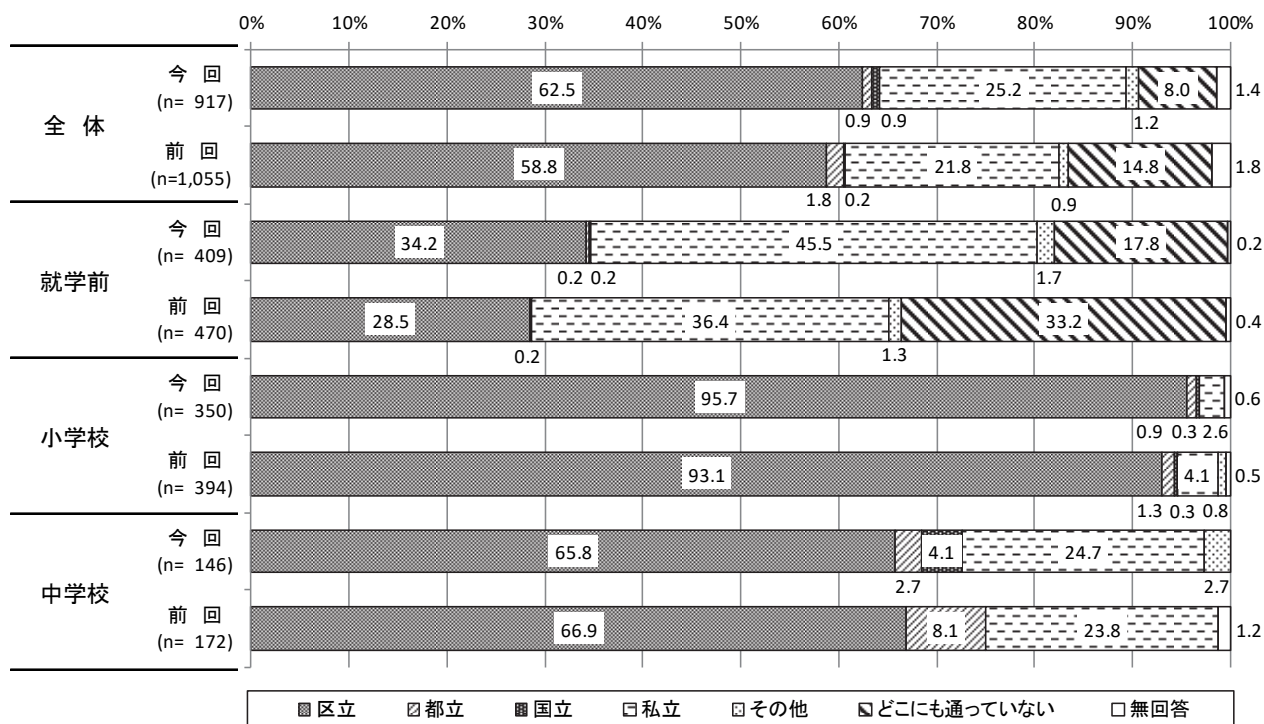
問3 封筒の宛名のお子さんが在籍している学校・幼稚園・保育園・こども園について教えてください。(〇は1つだけ)

全体では、「区立」が62.5%と最も高く、次いで「私立」が25.2%、「どこにも通っていない」が8.0%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前では「私立」が45.5%と最も高く、次いで「区立」が34.2%、「どこにも通っていない」が17.8%となっています。小学校では「区立」が95.7%を占めています。中学校では「区立」が65.8%と最も高く、次いで「私立」が24.7%となっています。

前回調査と比較すると、全体では「どこにも通っていない」が低くなっています。就学前では「区立」、「私立」が高く、「どこにも通っていない」が低くなっています。

図 通園・通学先の種類



(4) きょうだいの人数

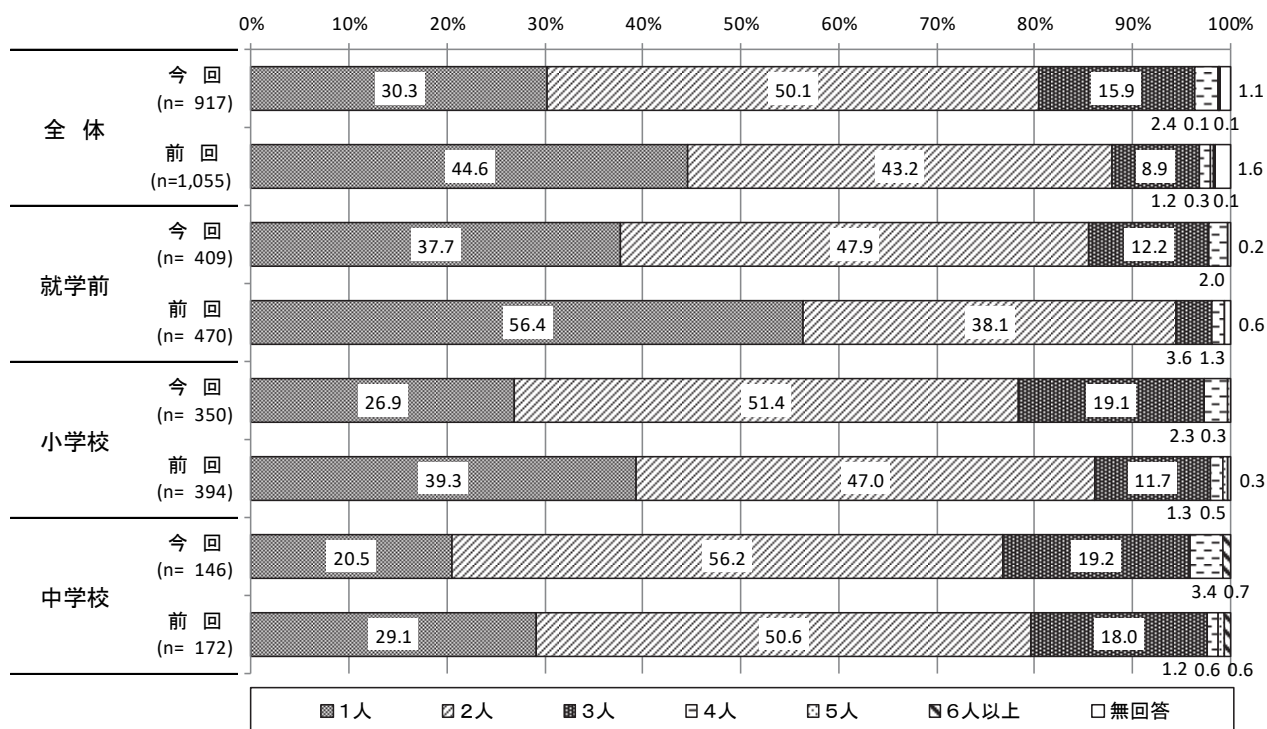
問4 封筒の宛名のお子さんのきょうだいの人数（宛名のお子さんを含めた人数）を教えてください。（〇は1つだけ）

全体では、「2人」が50.1%と最も高く、次いで「1人」が30.3%、「3人」が15.9%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学先が上がるにつれて「1人」の割合は低くなり、逆に「2人」「3人」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、全体では「2人」「3人」が高く、「1人」が低くなっており、就学前でその傾向が強くなっています。

図 きょうだいの人数

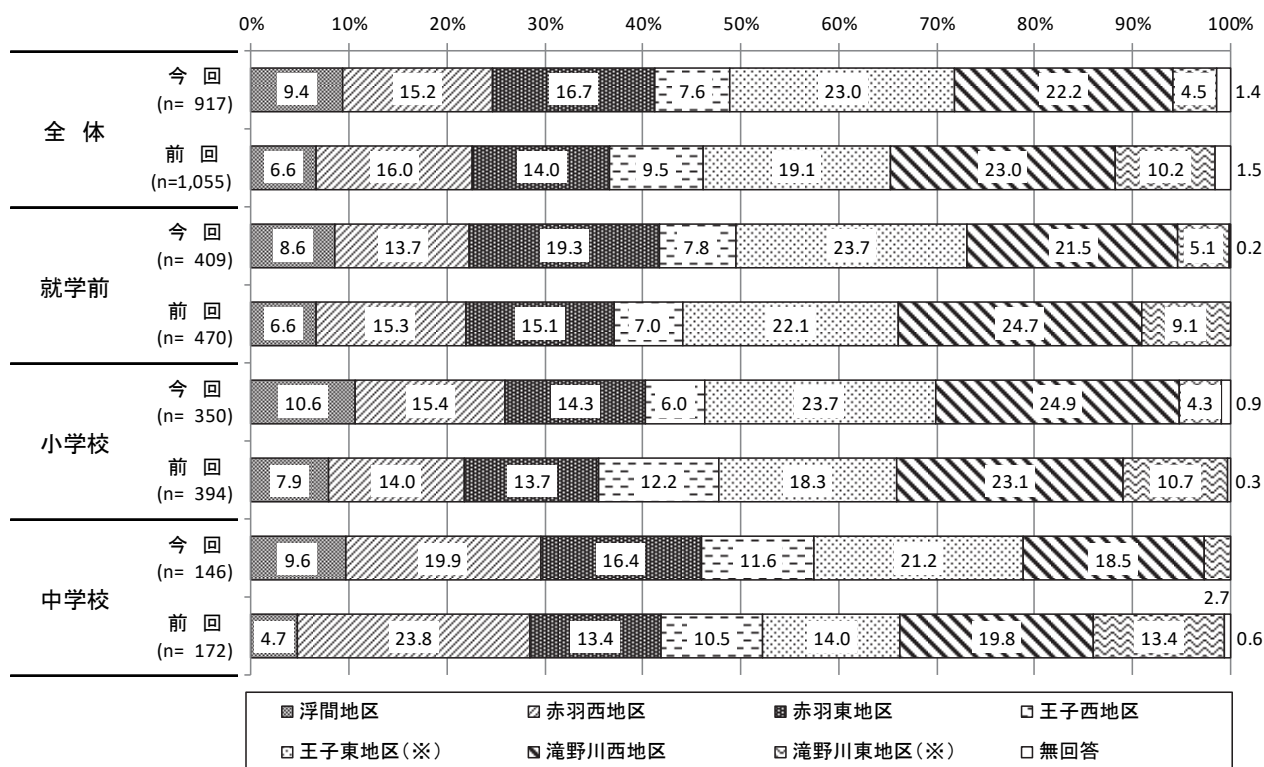


(5) 居住地区

問5 お住まいの地区を教えてください。(該当する地区の番号に1つだけ○をつけてください)

全体では、「浮間地区」が9.4%、「赤羽西地区」が15.2%、「赤羽東地区」が16.7%、「王子西地区」が7.6%、「王子東地区」が23.0%、「滝野川西地区」が22.2%、「滝野川東地区」が4.5%となっています。

図 居住地区



※前回調査で「滝野川東地区」に含まれた「堀船1～4丁目」の地域は、今回調査では「王子東地区」に含まれている。

2 北区の区立小・中学校の教育について

(1) 北区の区立小・中学校の現状の満足度と今後の重要度

問6 「①現状の満足度」と「②今後の重要度」をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。
①は、封筒の宛名のお子さんが北区の区立小・中学校に在籍している方のみお答えください。

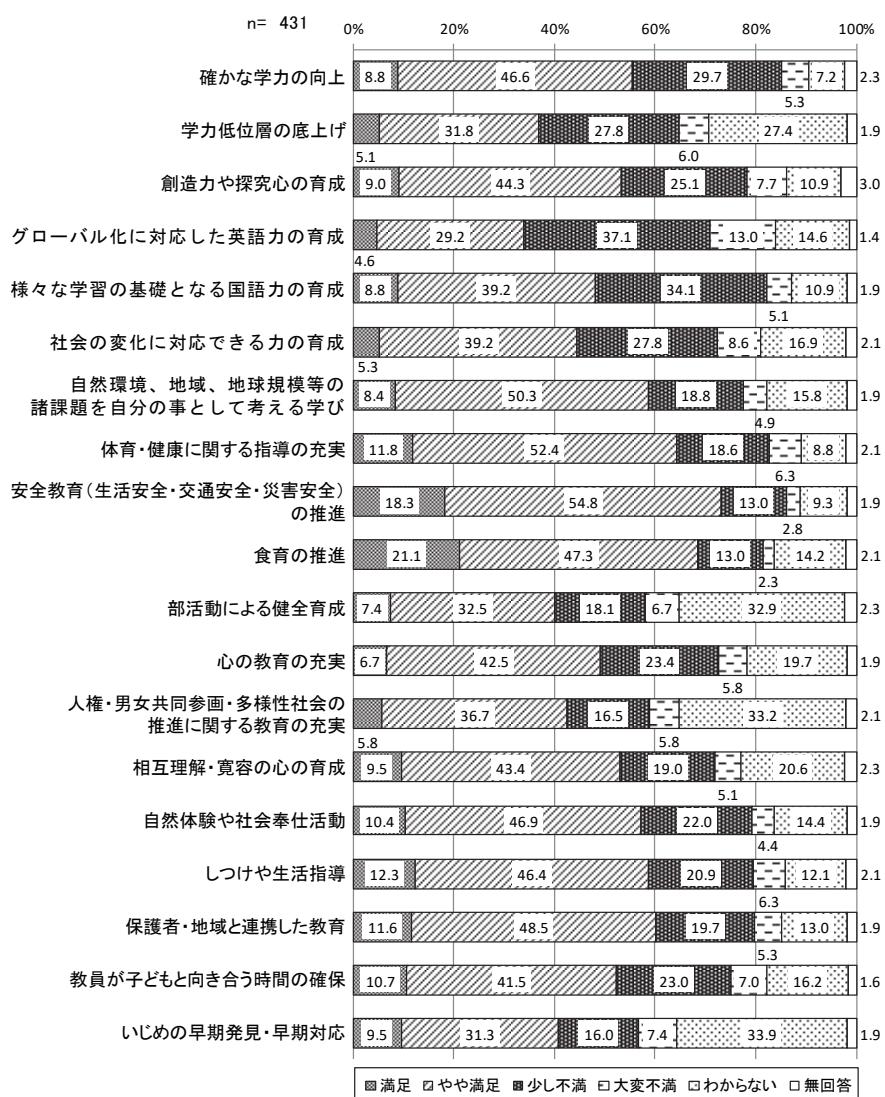
①現状の満足度

ア. 区立の小・中学校

『満足』（「満足」＋「やや満足」）という回答は、「安全教育（生活安全・交通安全・災害安全）の推進」が73.1%と最も高く、次いで「食育の推進」が68.4%、「体育・健康に関する指導の充実」が64.2%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「グローバル化に対応した英語力の育成」が50.1%と最も高く、次いで、「様々な学習の基礎となる国語力の育成」が39.2%、「社会の変化に対応できる力の育成」が36.4%となっています。

図 北区の区立小・中学校の現状の満足度（区立の小・中学校）

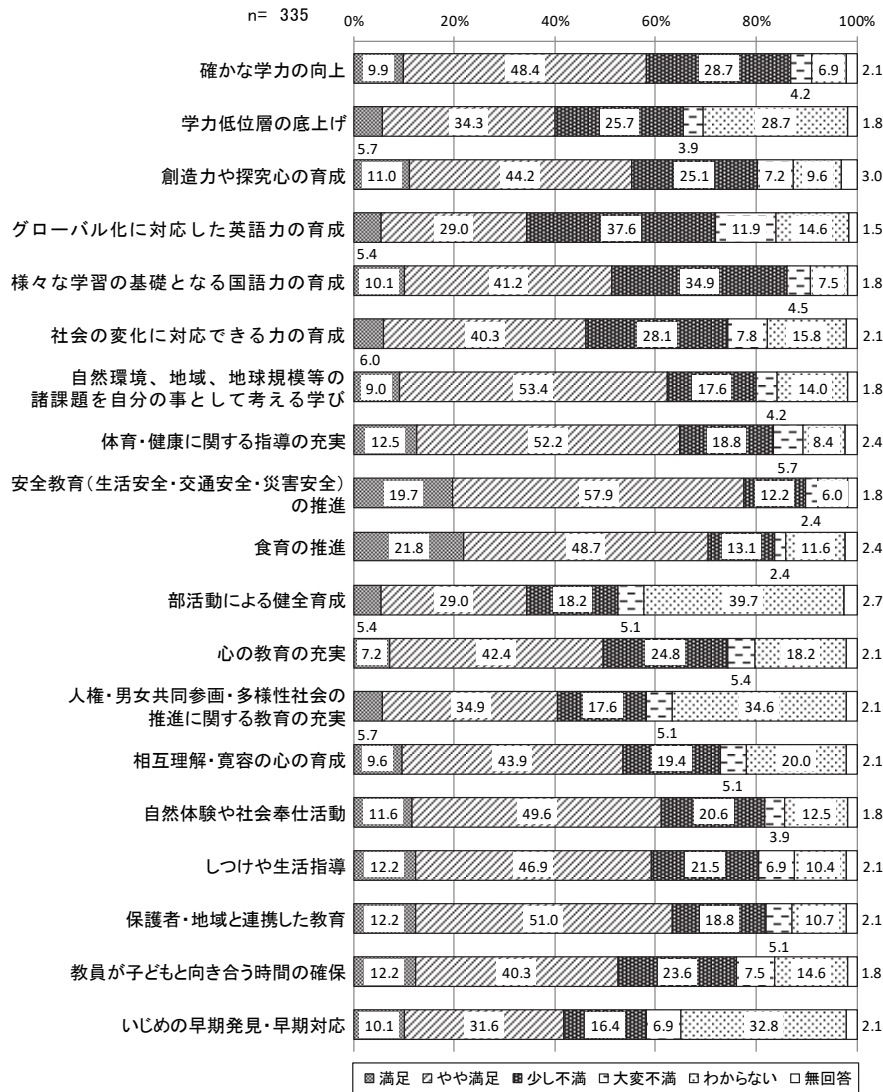


イ. 区立の小学校

『満足』（「満足」＋「やや満足」）という回答は、「安全教育（生活安全・交通安全・災害安全）の推進」が77.6%と最も高く、次いで「食育の推進」が70.5%、「体育・健康に関する指導の充実」が64.7%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「グローバル化に対応した英語力の育成」が49.5%と最も高く、次いで、「様々な学習の基礎となる国語力の育成」が39.4%、「社会の変化に対応できる力の育成」が35.9%となっています。

図 北区の区立小・中学校の現状の満足度（区立の小学校）

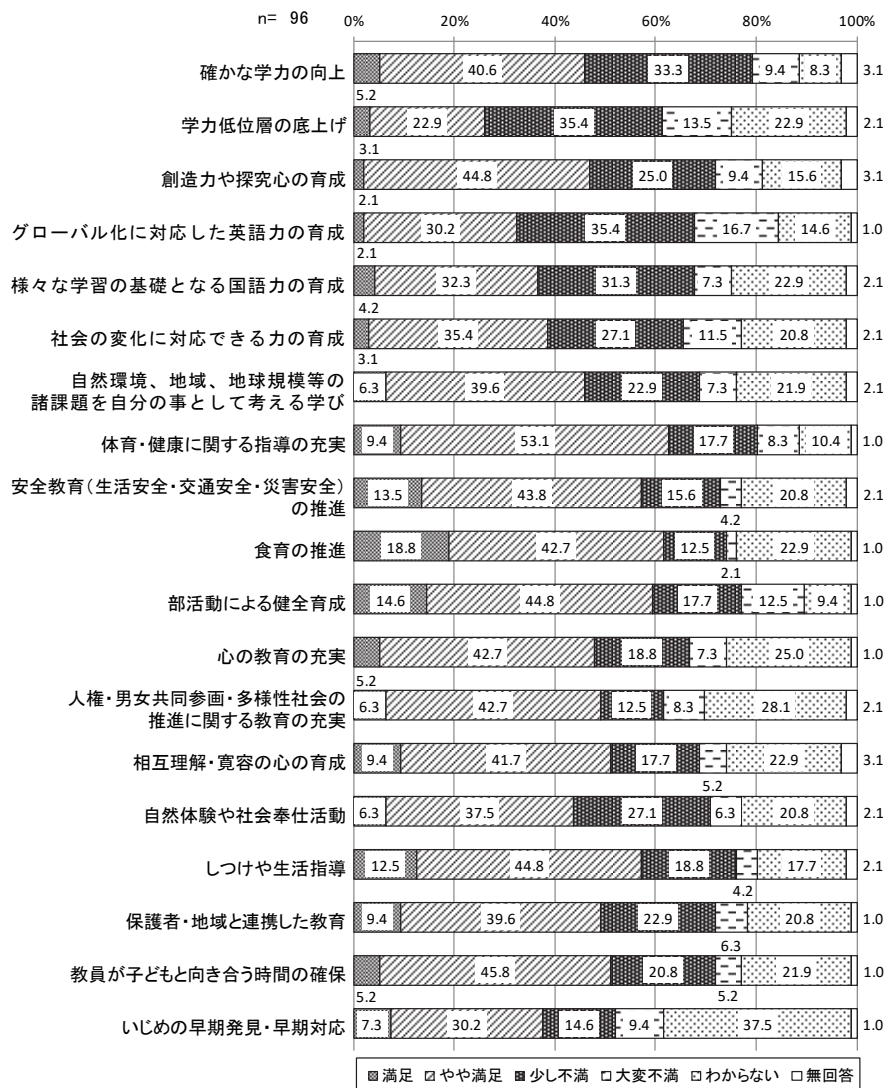


ウ. 区立の中学校

『満足』（「満足」＋「やや満足」）という回答は、「体育・健康に関する指導の充実」が62.5%と最も高く、次いで「食育の推進」が61.5%、「部活動による健全育成」が59.4%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「グローバル化に対応した英語力の育成」が52.1%と最も高く、次いで、「学力低位層の底上げ」が48.9%、「確かな学力の向上」が42.7%となっています。

図 北区の区立小・中学校の現状の満足度（区立の中学校）



エ. 現状の満足度の点数化

各回答者の項目ごとの満足度を以下に示す方法で点数化したうえで、各項目において回答者全体の平均点を算出した結果が下図になります。

(点数化の方法)

「現状の満足度」の評価点

「満足」 2点、「やや満足」 1点、「やや不満」 -1点、「不満」 -2点、「わからない」 0点

「現状の満足度」の平均評価点

= (「満足」と答えた人数×2点+「やや満足」と答えた人数×1点+「やや不満」と答えた人数×-1点+「不満」と答えた人数×-2点+「わからない」と答えた人数×0点) ÷ 無回答を除く全回答者数

図 北区の区立小・中学校の現状の満足度（点数化：就学状況別）

		現状の満足度		
		区立の小・中学校	区立の小学校	区立の中学校
1	確かな学力の向上	0.24	0.32	-0.01
2	学力低位層の底上げ	0.02	0.12	-0.34
3	創造力や探究心の育成	0.23	0.28	0.05
4	グローバル化に対応した英語力の育成	-0.25	-0.22	-0.35
5	様々な学習の基礎となる国語力の育成	0.13	0.18	-0.05
6	社会の変化に対応できる力の育成	0.05	0.09	-0.09
7	自然環境、地域、地球規模等の諸課題を自分の事として考える学び	0.39	0.46	0.15
8	体育・健康に関する指導の充実	0.46	0.48	0.38
9	安全教育(生活安全・交通安全・災害安全)の推進	0.74	0.82	0.48
10	食育の推進	0.73	0.76	0.64
11	部活動による健全育成	0.16	0.12	0.32
12	心の教育の充実	0.21	0.22	0.20
13	人権・男女共同参画・多様性社会の推進に関する教育の充実	0.21	0.19	0.27
14	相互理解・寛容の心の育成	0.34	0.34	0.33
15	自然体験や社会奉仕活動	0.38	0.45	0.11
16	しつけや生活指導	0.38	0.37	0.44
17	保護者・地域と連携した教育	0.42	0.48	0.23
18	教員が子どもと向き合う時間の確保	0.26	0.27	0.25
19	いじめの早期発見・早期対応	0.20	0.22	0.12
	平均	0.28	0.31	0.16

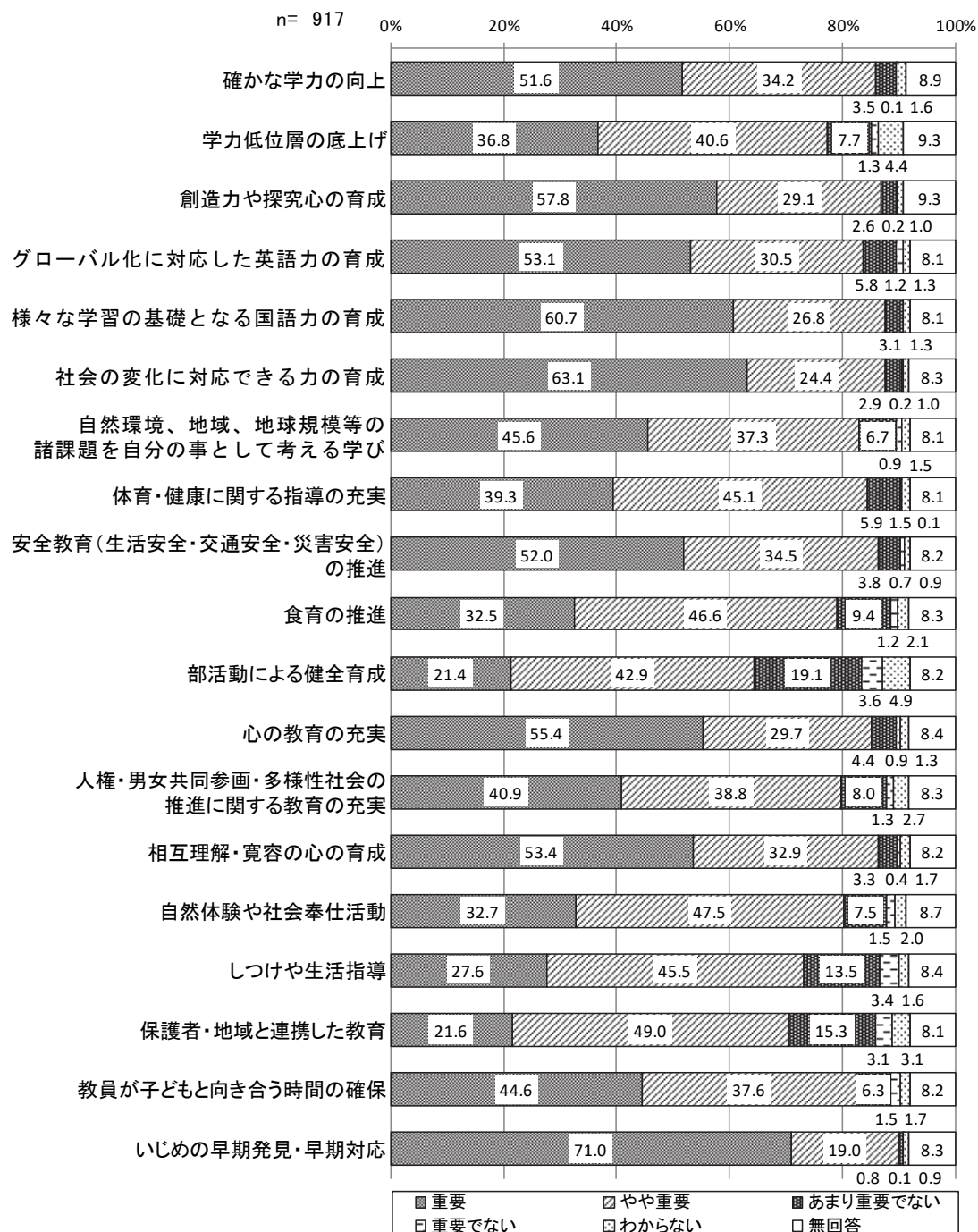
②今後の重要度

ア. 全体

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「いじめの早期発見・早期対応」が90.0%と最も高く、次いで「様々な学習の基礎となる国語力の育成」と「社会の変化に対応できる力の育成」が87.5%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「部活動による健全育成」が22.7%と最も高く、次いで、「保護者・地域と連携した教育」が18.4%、「しつけや生活指導」が16.9%となっています。

図 北区の区立小・中学校の今後の重要度（全体）

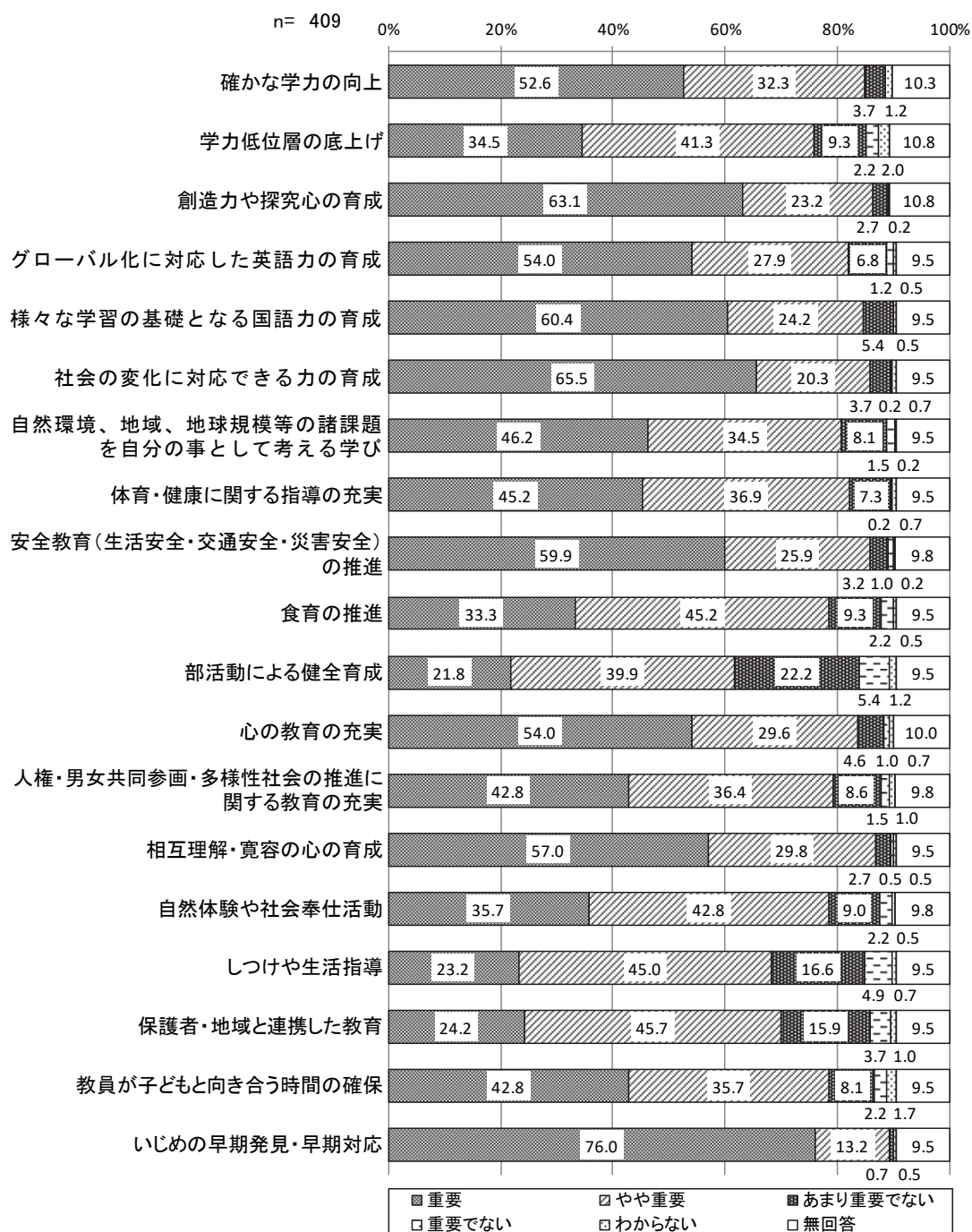


イ. 就学前

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「いじめの早期発見・早期対応」が89.2%と最も高く、次いで「相互理解・寛容の心の育成」が86.8%、「創造力や探究心の育成」が86.3%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「部活動による健全育成」が27.6%と最も高く、次いで、「しつけや生活指導」が21.5%、「保護者・地域と連携した教育」が19.6%となっています。

図 北区の区立小・中学校の今後の重要度（就学前）

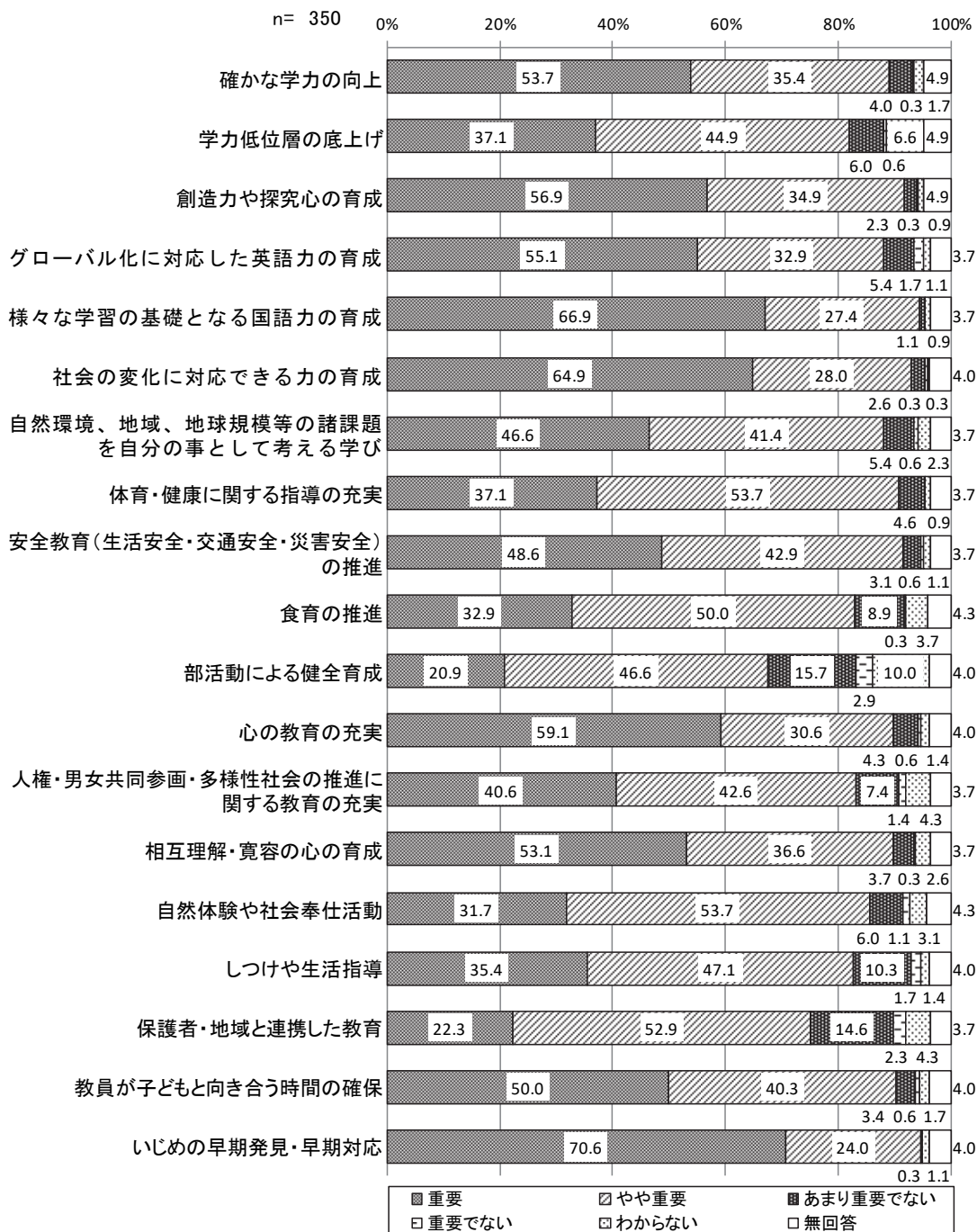


ウ. 小学校

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「いじめの早期発見・早期対応」が94.6%と最も高く、次いで「様々な学習の基礎となる国語力の育成」が94.3%、「社会の変化に対応できる力の育成」が92.9%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「部活動による健全育成」が18.6%と最も高く、次いで、「保護者・地域と連携した教育」が16.9%、「しつけや生活指導」が12.0%となっています。

図 北区の区立小・中学校の今後の重要度（小学校）

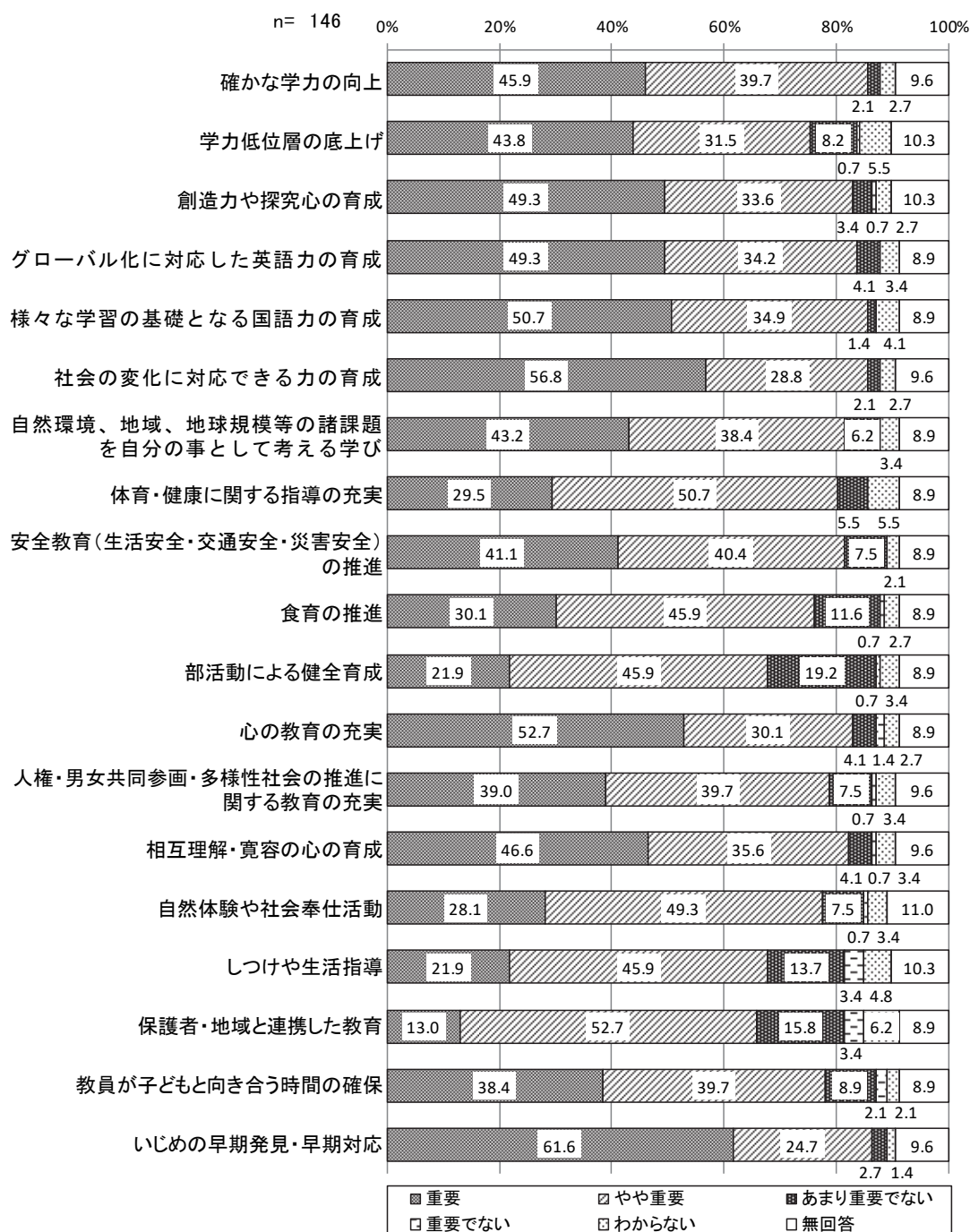


エ. 中学校

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「いじめの早期発見・早期対応」が86.3%と最も高く、次いで「確かな学力の向上」、「様々な学習の基礎となる国語力の育成」、「社会の変化に対応できる力の育成」が85.6%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「部活動による健全育成」が19.9%と最も高く、次いで、「保護者・地域と連携した教育」が19.2%、「しつけや生活指導」が17.1%となっています。

図 北区の区立小・中学校の今後の重要度（中学校）



オ. 今後の重要度の点数化

各回答者の項目ごとの重要度を以下に示す方法で点数化したうえで、各項目において回答者全体の平均点を算出した結果が下図になります。

(点数化の方法)

「今後の重要度」の評価点

「重要」 2点、「やや重要」 1点、「あまり重要でない」 - 1点、「重要でない」 - 2点、
「わからない」 0点

「今後の重要度」の平均評価点

= (「重要」と答えた人数×2点+「やや重要」と答えた人数×1点+「あまり重要でない」と答えた人数×-1点+「重要でない」と答えた人数×-2点+「わからない」と答えた人数×0点) ÷ 無回答を除く全回答者数

図 北区の区立小・中学校の今後の重要度（点数化：就学状況別）

		今後の重要度			
		全体	就学状況別		
			就学前	小学校	中学校
1	確かな学力の向上	1.47	1.49	1.45	1.43
2	学力低位層の底上げ	1.14	1.08	1.18	1.22
3	創造力や探究心の育成	1.56	1.64	1.53	1.42
4	グローバル化に対応した英語力の育成	1.40	1.40	1.39	1.41
5	様々な学習の基礎となる国語力の育成	1.58	1.54	1.66	1.48
6	社会の変化に対応できる力の育成	1.61	1.63	1.61	1.55
7	自然環境、地域、地球規模等の諸課題を自分の事として考える学び	1.31	1.28	1.33	1.30
8	体育・健康に関する指導の充実	1.28	1.32	1.28	1.14
9	安全教育(生活安全・交通安全・災害安全)の推進	1.45	1.56	1.41	1.26
10	食育の推進	1.09	1.08	1.11	1.02
11	部活動による健全育成	0.65	0.56	0.70	0.76
12	心の教育の充実	1.47	1.46	1.49	1.41
13	人権・男女共同参画・多様性社会の推進に関する教育の充実	1.20	1.22	1.18	1.20
14	相互理解・寛容の心の育成	1.48	1.55	1.44	1.36
15	自然体験や社会奉仕活動	1.12	1.12	1.14	1.08
16	しつけや生活指導	0.88	0.72	1.09	0.77
17	保護者・地域と連携した教育	0.77	0.78	0.81	0.62
18	教員が子どもと向き合う時間の確保	1.28	1.20	1.41	1.14
19	いじめの早期発見・早期対応	1.74	1.82	1.71	1.61
平均		1.29	1.29	1.31	1.22

③現状の満足度と今後の重要度の相関

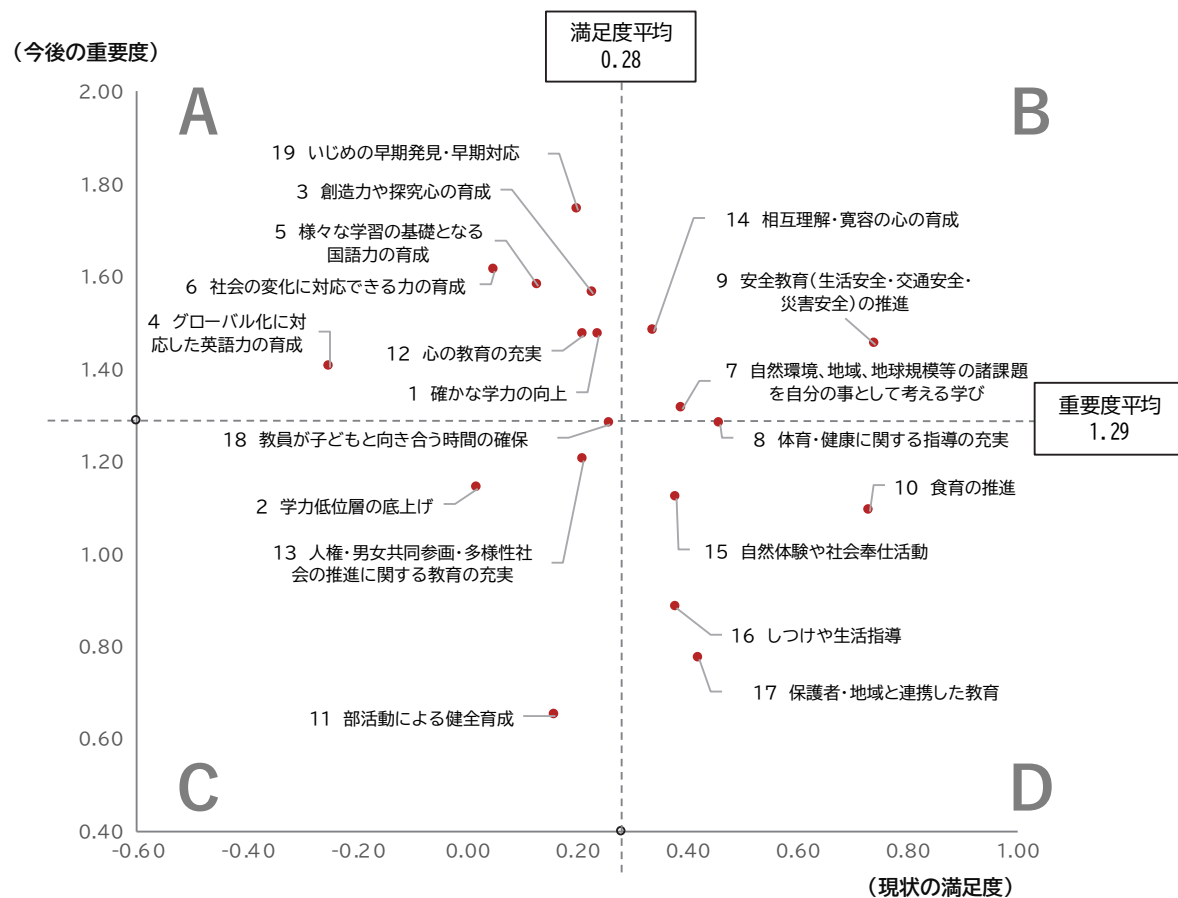
施策の満足度と重要度について、それぞれの平均値（満足度 0.28、重要度 1.29）を基準として、「A：満足度は低いが、重要度は高い」「B：満足度・重要度がともに高い」「C：満足度・重要度がともに低い」「D：満足度は高いが、重要度は低い」の4つの領域に分けています。

満足度は低いが、重要度は高いA領域には、「1 確かな学力の向上」「3 創造力や探究心の育成」「4 グローバル化に対応した英語力の育成」「5 様々な学習の基礎となる国語力の育成」「6 社会の変化に対応できる力の育成」「12 心の教育の充実」「19 いじめの早期発見・早期対応」が位置付けられます。満足度・重要度がともに高いB領域には「7 自然環境、地域、地球規模等の諸課題を自分の事として考える学び」「9 安全教育（生活安全・交通安全・災害安全）の推進」「14 相互理解・寛容の心の育成」が位置付けられます。

満足度・重要度がともに低いC領域には「2 学力低位層の底上げ」「11 部活動による健全育成」「13 人権・男女共同参画・多様性社会の推進に関する教育の充実」「18 教員が子どもと向き合う時間の確保」が位置付けられます。満足度は高いが、重要度は低いD領域には「8 体育・健康に関する指導の充実」「10 食育の推進」「15 自然体験や社会奉仕活動」「16 しつけや生活指導」「17 保護者・地域と連携した教育」が位置づけられます。

図 北区の区立小・中学校の現状の満足度と今後の重要度の相関

満足度(区立の小・中学校)×重要度(全体)



A：満足度は低いが、重要度は高い B：満足度・重要度ともに高い
 C：満足度・重要度ともに低い D：満足度は高いが、重要度は低い

(2) 北区の区立小・中学校の取り組みの認知度・満足度

問7 北区の区立小・中学校では、以下の教育に関する取り組みを行っています。それぞれの取り組みについて、知っている場合はその満足度を、知らない場合は「知らない」に○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

(一部の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった年度があります。)

①全体

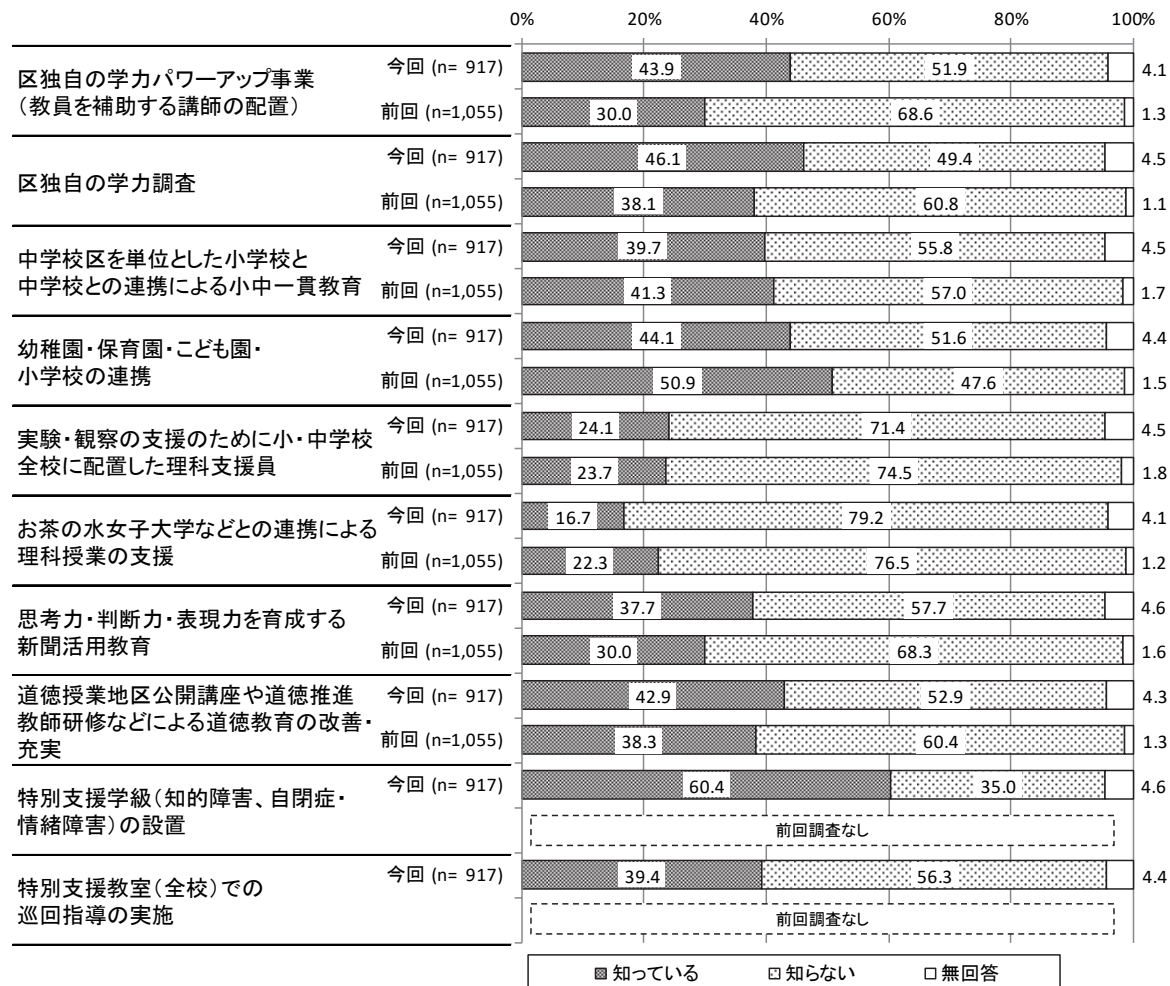
ア. 認知度

「知っている」という回答は、「二学期制の実施」が62.2%と最も高く、次いで「小学校の外国語・外国語活動や中学校英語の授業へのALT(外国人講師)配置」が61.3%、「特別支援学級(知的障害、自閉症・情緒障害)の設置」が60.4%となっています。

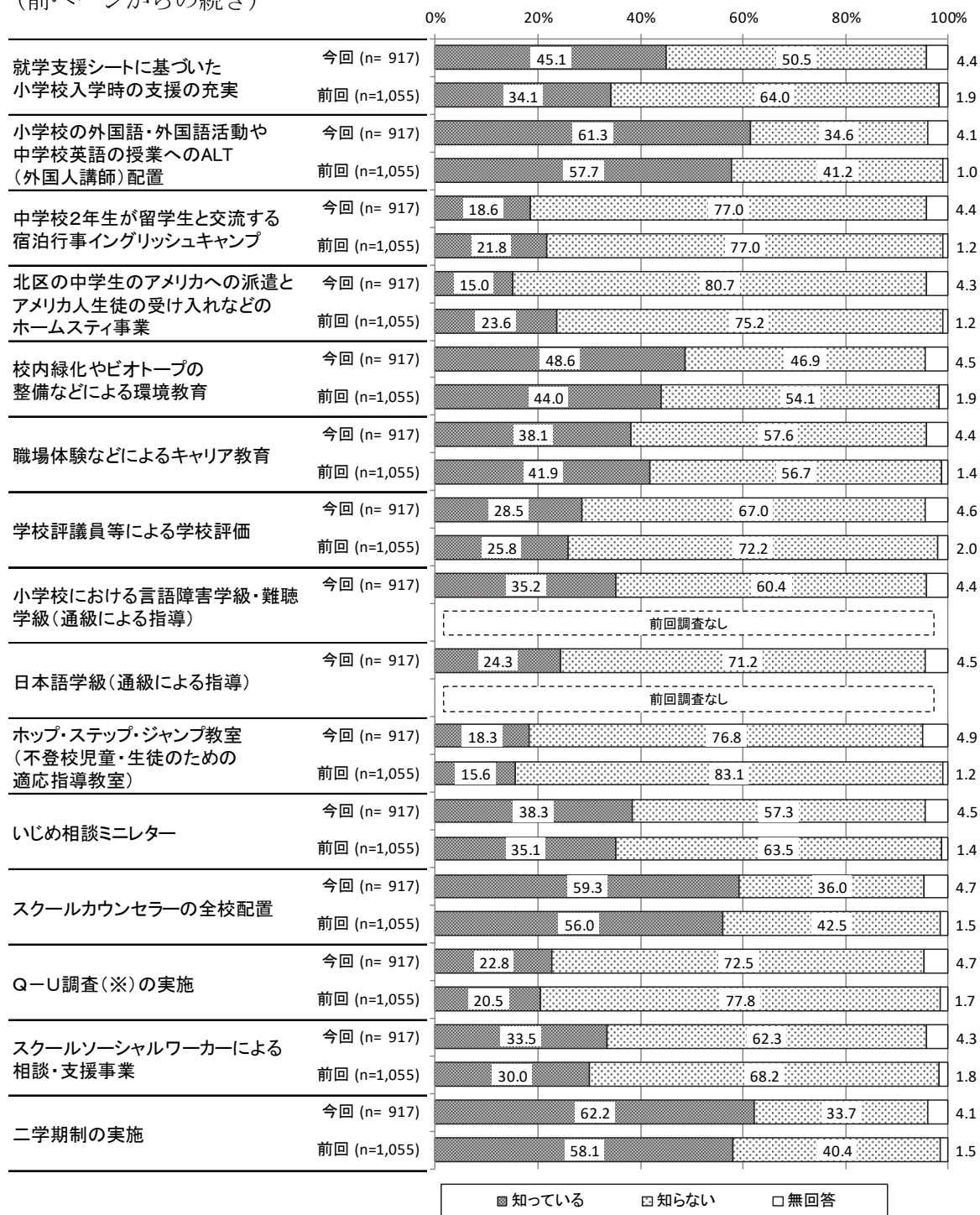
一方、「知らない」という回答は、「北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒の受け入れなどのホームステイ事業」が80.7%と最も高く、次いで、「お茶の水女子大学などとの連携による理科授業の支援」が79.2%、「中学校2年生が留学生と交流する宿泊行事イングリッシュキャンプ」が77.0%となっています。

前回調査と比較すると、「知っている」は「区独自の学力パワーアップ事業(教員を補助する講師の配置)」、「区独自の学力調査」、「就学支援シートに基づいた小学校入学時の支援の充実」で高くなっています。

図 北区の区立小・中学校の取り組みの認知度(全体)



(前ページからの続き)



※Q-U調査:「児童も教師も心から笑える学級を育てたい」との理念をもとに作成されたクラスの問題点を表や図に表わして分析するためのアンケート調査

※前回調査の項目との変更箇所は以下の通り。

今回	前回
区独自の学力パワーアップ事業	区独自の学力パワーアップ事業/中学校スクラムサポート事業
区独自の学力調査	区独自の基礎・基本の定着度調査
実験・観察の支援のために小・中学校全校に配置した理科支援員	実験・観察の支援のために小学校全校に配置した理科支援員
お茶の水女子大学などとの連携による理科授業の支援	お茶の水女子大学などとの連携による理科大好きプロジェクト
思考力・判断力・表現力を育成する新聞活用教育	思考力・判断力・表現力を育成する新聞大好きプロジェクト
中学生が留学生と交流する宿泊行事イングリッシュキャンプ	自然の中で中学生が留学生と交流するイングリッシュ・サマーキャンプ那須

イ. 満足度

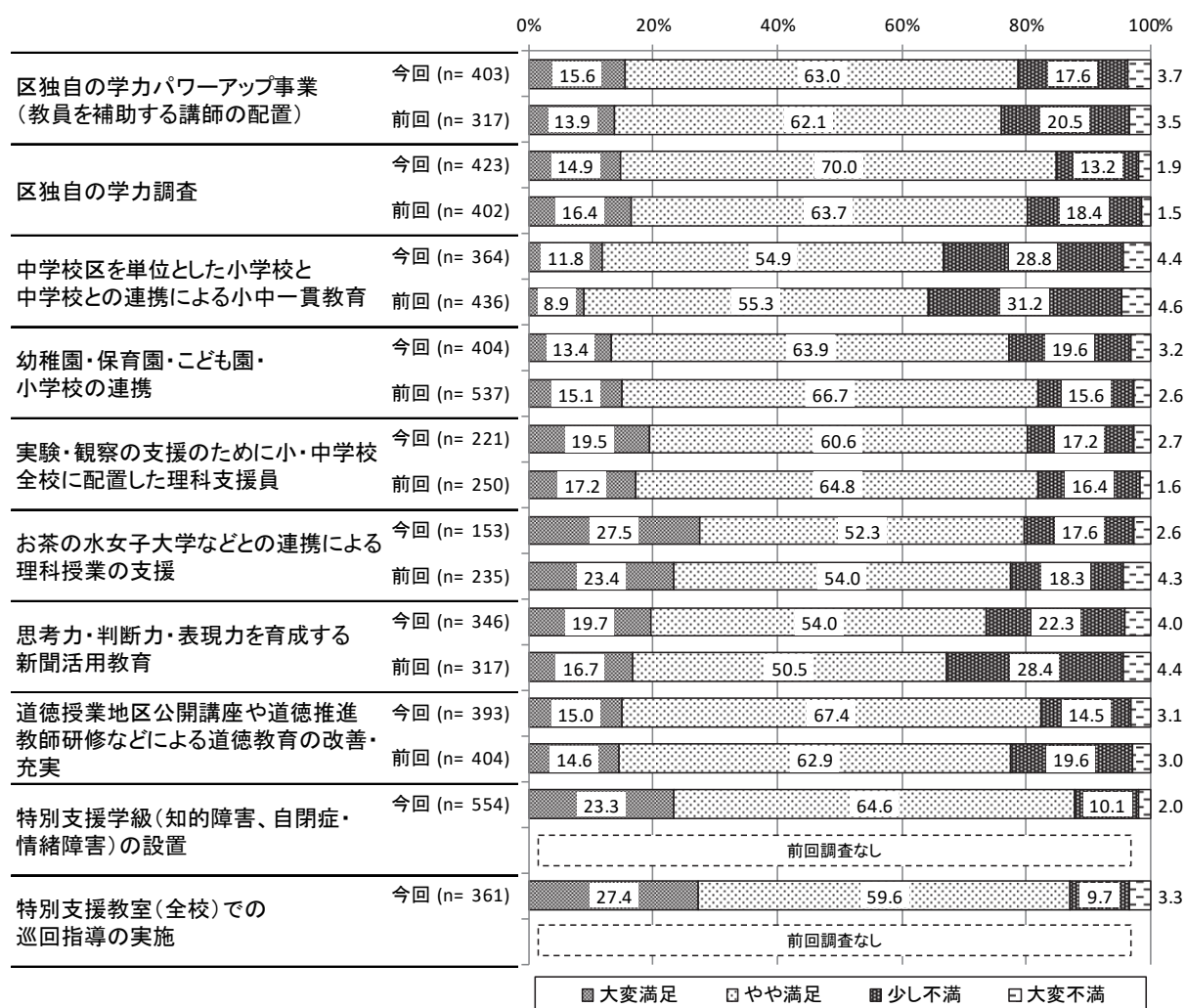
『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「日本語学級（通級による指導）」が90.6%と最も高く、次いで「小学校における言語障害学級・難聴学級（通級による指導）」が89.5%、「スクールカウンセラーの全校配置」が89.1%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「二学期制の実施」が35.6%と最も高く、次いで、「中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育」が33.2%、「学校評議員等による学校評価」が29.9%となっています。

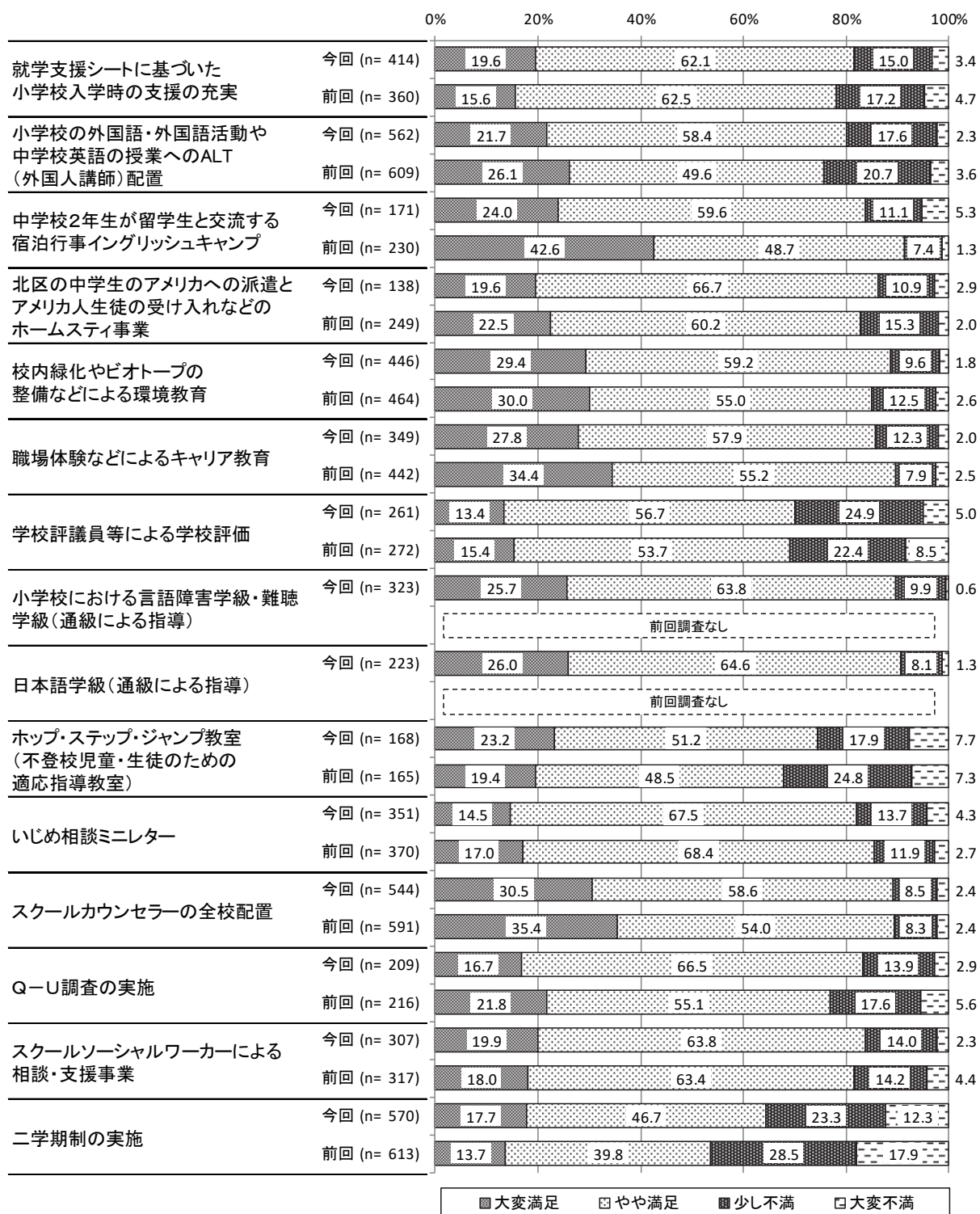
前回調査と比較すると、『満足』は「二学期制の実施」、「思考力・判断力・表現力を育成する新聞活用教育」、「ホップ・ステップ・ジャンプ教室（不登校児童・生徒のための適応指導教室）」で高くなっています。

一方、『不満』は「中学校2年生が留学生と交流する宿泊行事イングリッシュキャンプ」で高くなっています。

図 北区の区立小・中学校の取り組みの満足度（全体）



(前ページからの続き)



②就学前

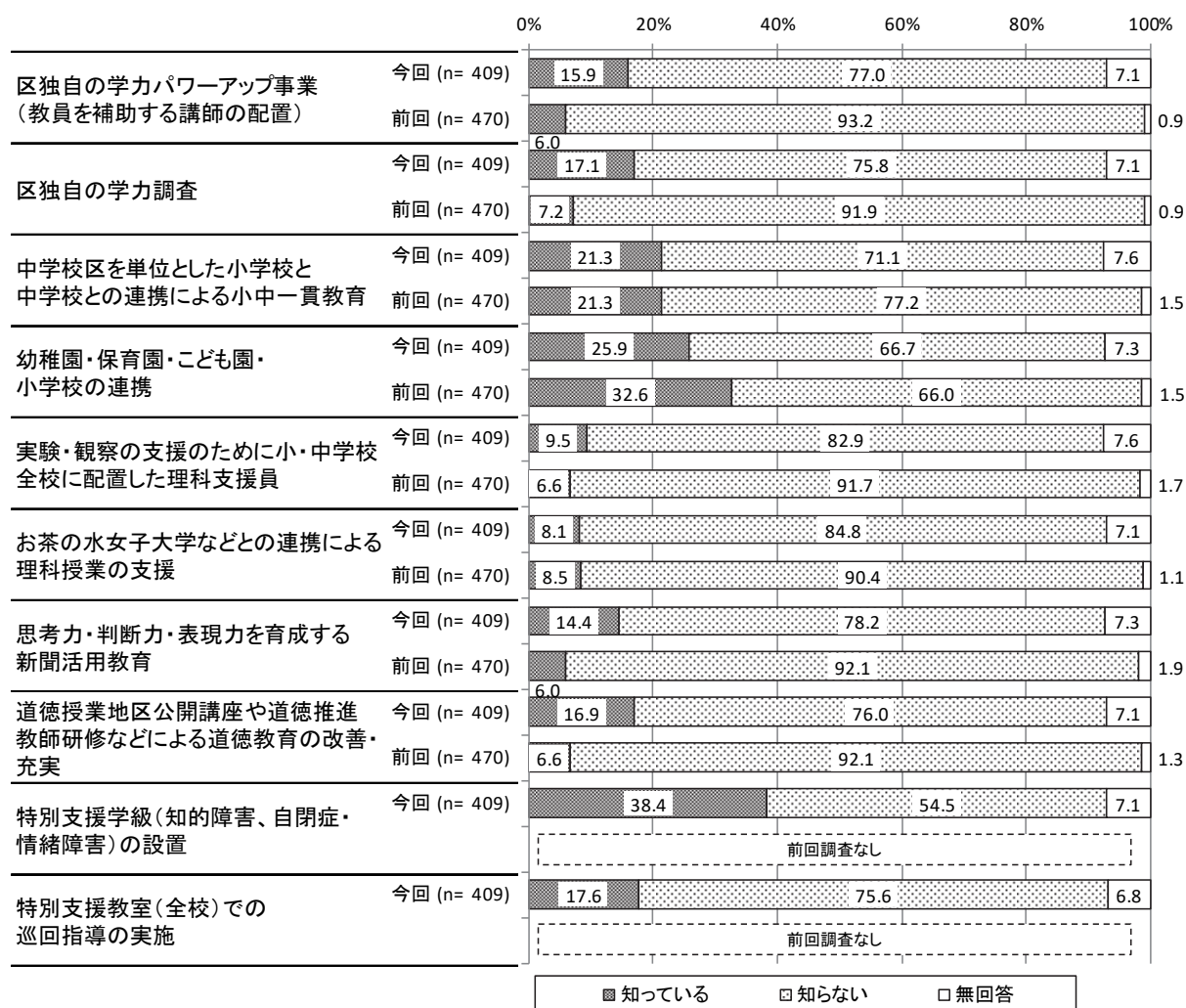
ア. 認知度

「知っている」という回答は、「特別支援学級（知的障害、自閉症・情緒障害）の設置」が38.4%と最も高く、次いで「二学期制の実施」が29.8%、「小学校の外国語・外国語活動や中学校英語の授業へのALT（外国人講師）配置」が29.3%となっています。

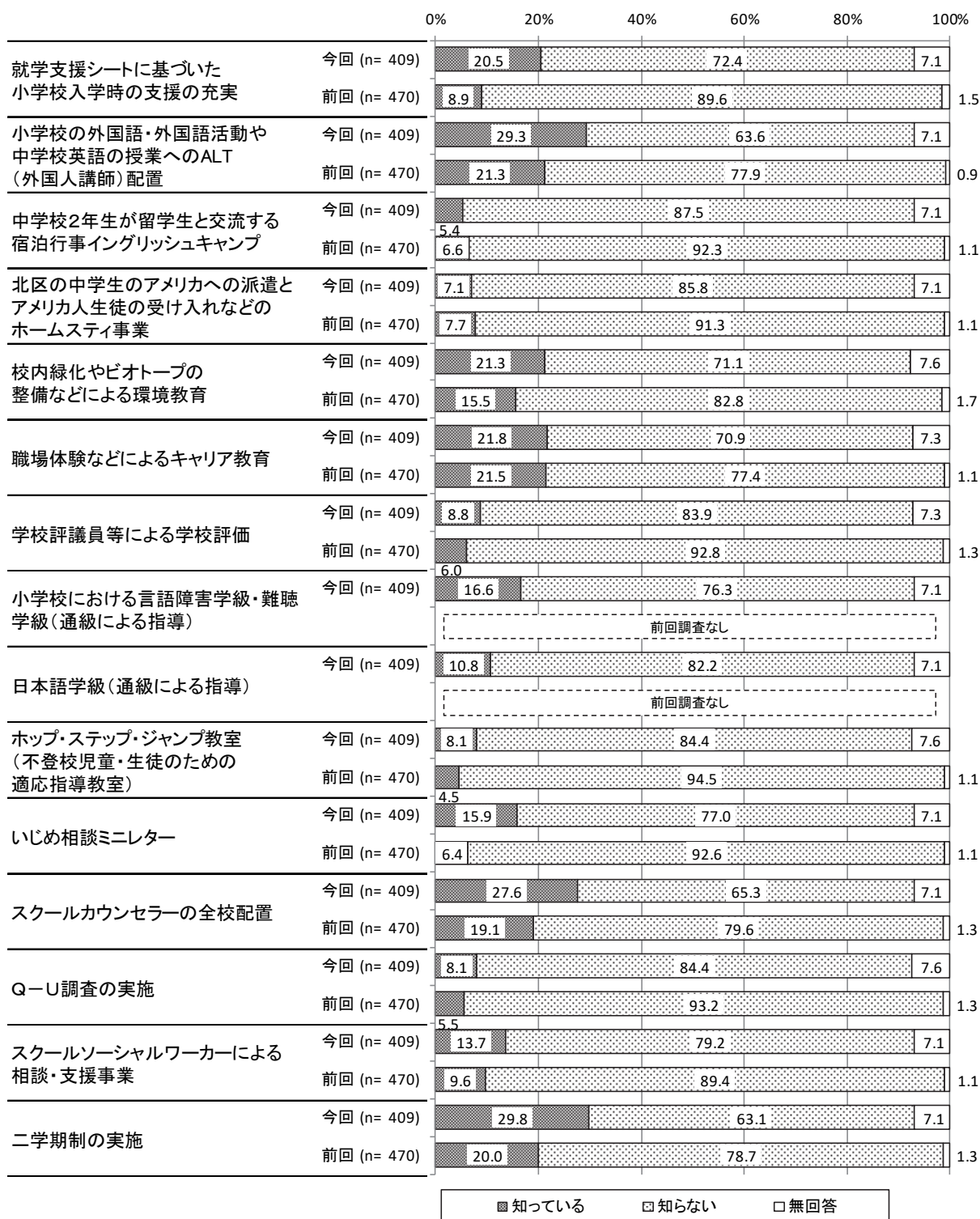
一方、「知らない」という回答は、「中学校2年生が留学生と交流する宿泊行事イングリッシュキャンプ」が87.5%と最も高く、次いで、「北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒の受け入れなどのホームステイ事業」が85.8%、「お茶の水女子大学などとの連携による理科授業の支援」が84.8%となっています。

前回調査と比較すると、「知っている」は「就学支援シートに基づいた小学校入学時の支援の充実」、「道徳授業地区公開講座や道徳推進教師研修などによる道徳教育の改善・充実」、「区独自の学力調査」で高くなっています。

図 北区の区立小・中学校の取り組みの認知度（就学前）



(前ページからの続き)



イ. 満足度

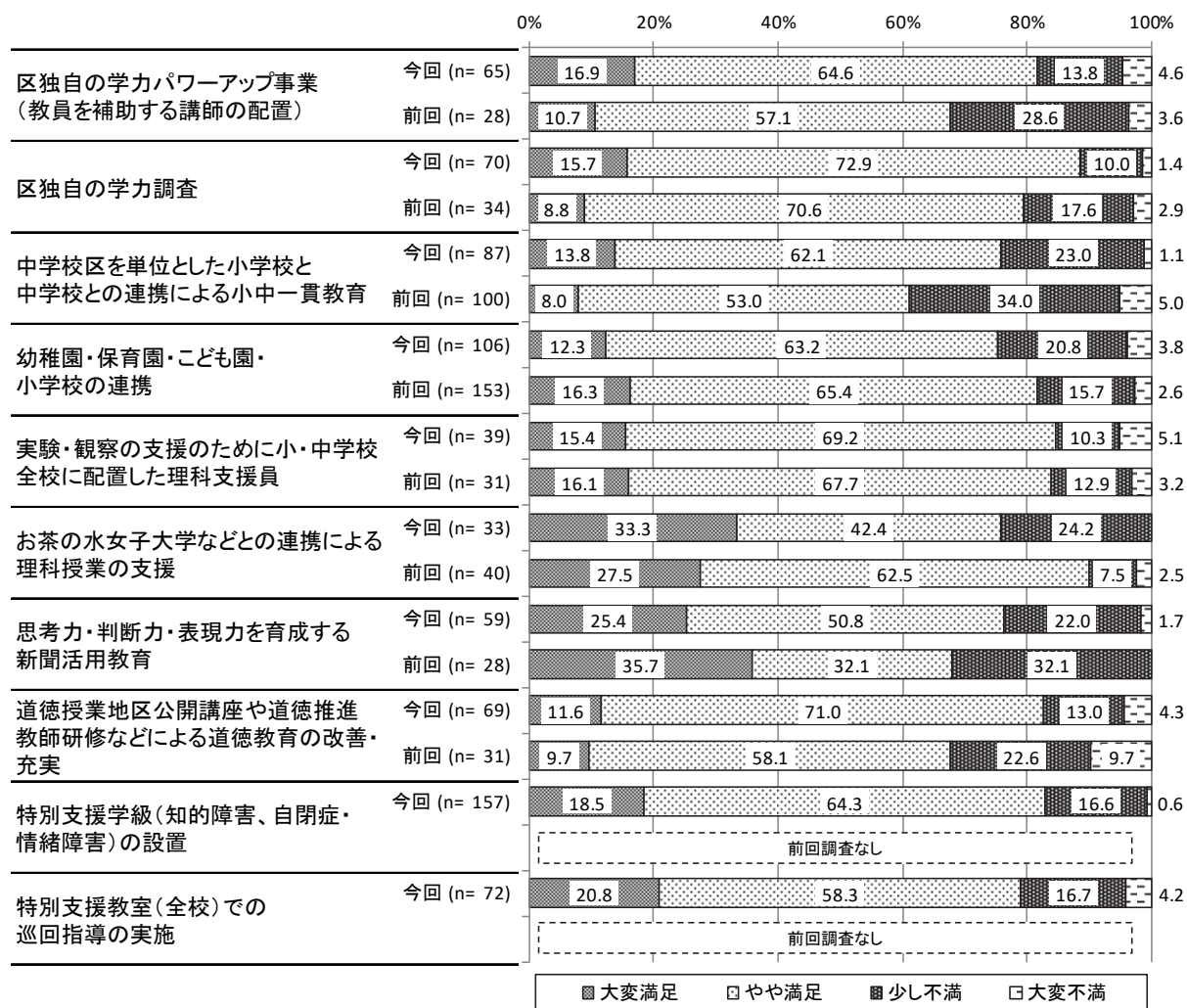
『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「スクールカウンセラーの全校配置」が91.1%と最も高く、次いで「職場体験などによるキャリア教育」が88.8%、「区独自の学力調査」が88.6%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「ホップ・ステップ・ジャンプ教室（不登校児童・生徒のための適応指導教室）」が33.3%と最も高く、次いで、「二学期制の実施」が27.9%、「幼稚園・保育園・こども園・小学校の連携」が24.6%となっています。

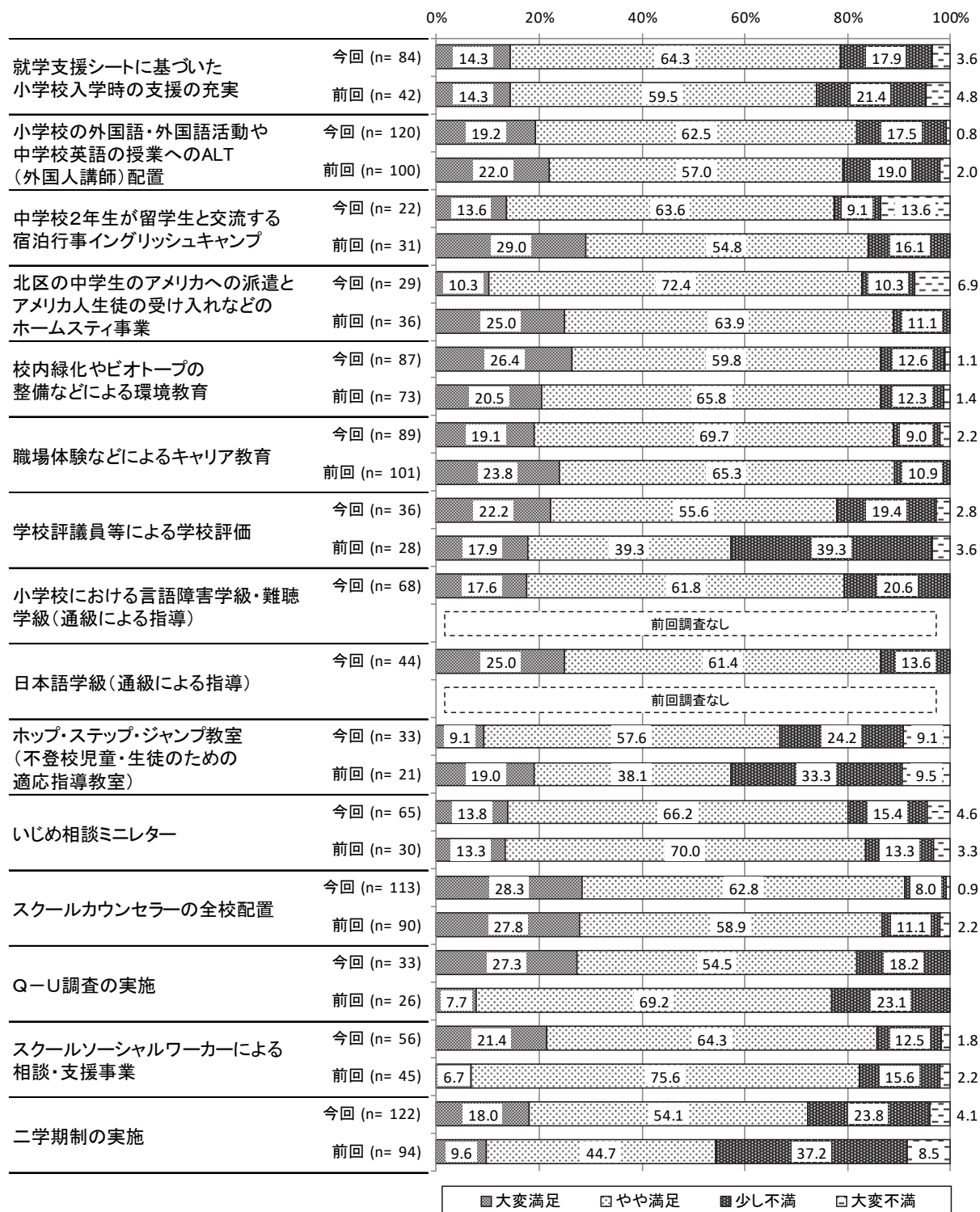
前回調査と比較すると、『満足』は「学校評議員等による学校評価」、「二学期制の実施」、「中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育」、「道徳授業地区公開講座や道徳推進教師研修などによる道徳教育の改善・充実」、「区独自の学力パワーアップ事業（教員を補助する講師の配置）」で高くなっています。

一方、『不満』は「お茶の水女子大学などとの連携による理科授業の支援」、「中学校2年生が留学生と交流する宿泊行事イングリッシュキャンプ」、「幼稚園・保育園・こども園・小学校の連携」で高くなっています。

図 北区の区立小・中学校の取り組みの満足度（就学前）



(前ページからの続き)



③小学校

ア. 認知度

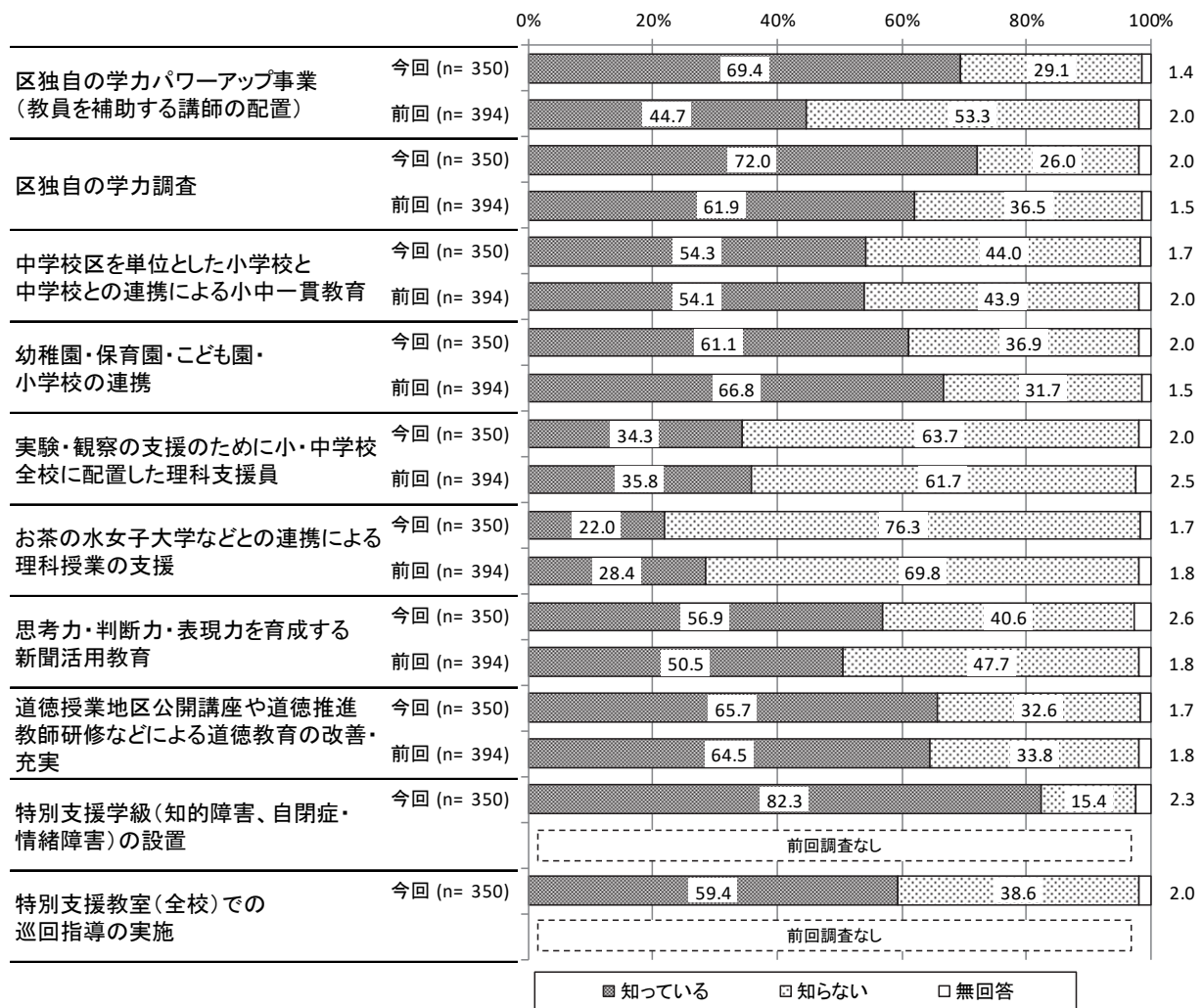
「知っている」という回答は、「二学期制の実施」が 90.6%と最も高く、次いで「小学校の外国語・外国語活動や中学校英語の授業へのALT（外国人講師）配置」が 90.3%、「スクールカウンセラーの全校配置」が 86.9%となっています。

一方、「知らない」という回答は、「北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒の受け入れなどのホームステイ事業」が 84.3%と最も高く、次いで、「中学校2年生が留学生と交流する宿泊行事イングリッシュキャンプ」が 78.9%、「お茶の水女子大学などとの連携による理科授業の支援」が 76.3%となっています。

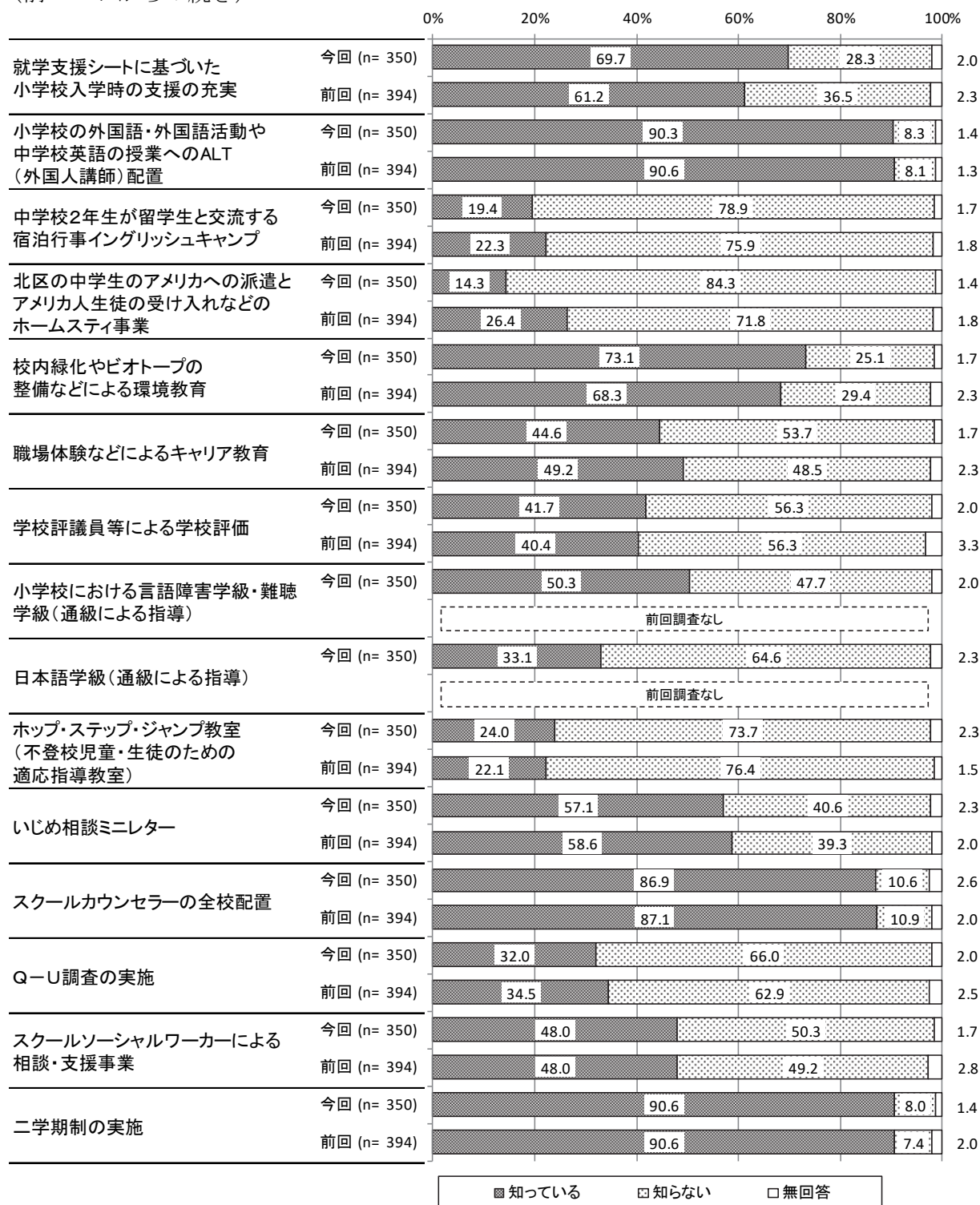
前回調査と比較すると、「知っている」は「区独自の学力パワーアップ事業（教員を補助する講師の配置）」、「区独自の学力調査」、「就学支援シートに基づいた小学校入学時の支援の充実」で高くなっています。

一方、「知らない」は「北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒の受け入れなどのホームステイ事業」、「お茶の水女子大学などとの連携による理科授業の支援」、「職場体験などによるキャリア教育」で高くなっています。

図 北区の区立小・中学校の取り組みの認知度（小学校）



(前ページからの続き)



イ. 満足度

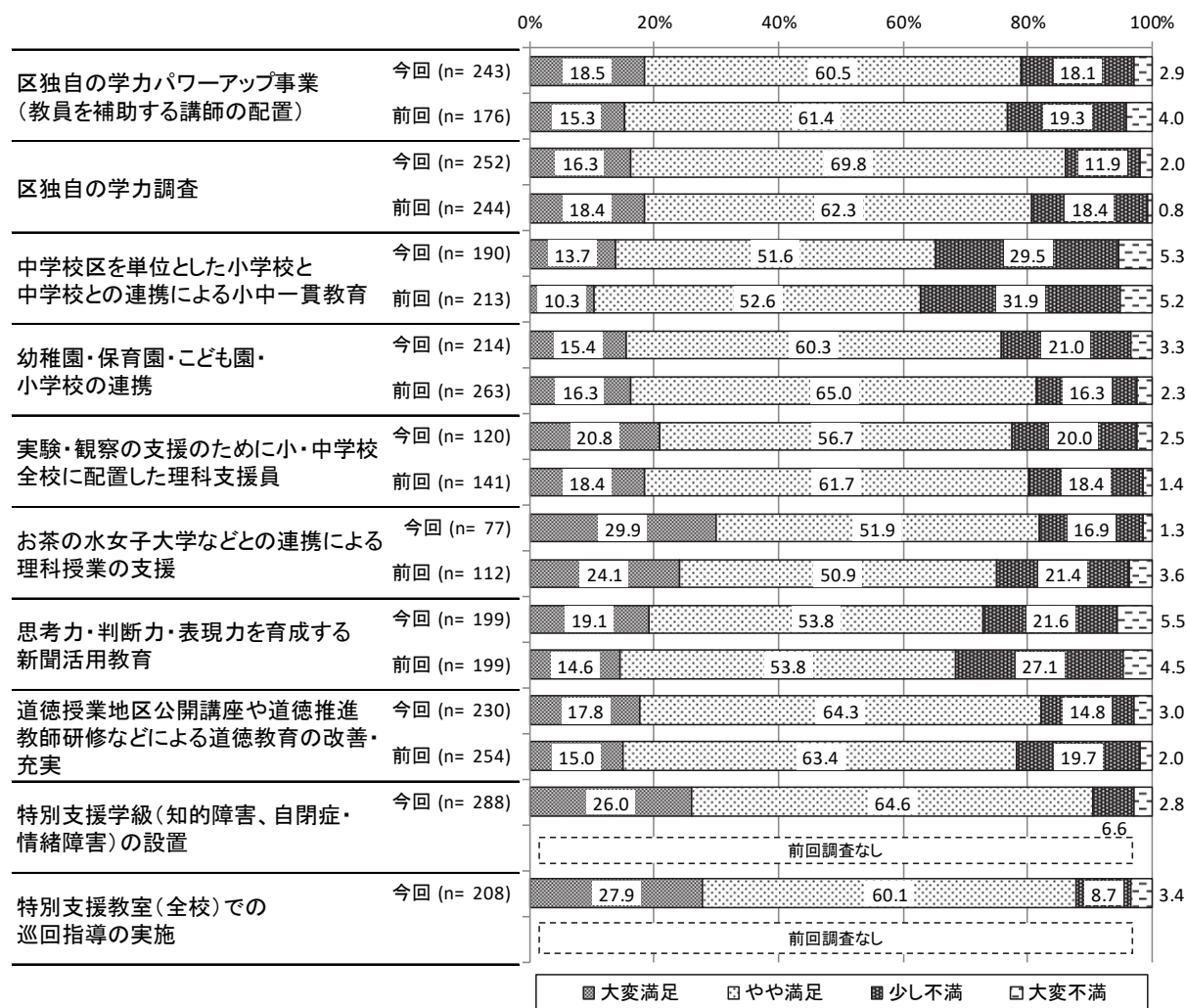
『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「小学校における言語障害学級・難聴学級（通級による指導）」が93.7%と最も高く、次いで「日本語学級（通級による指導）」が93.1%、「特別支援学級（知的障害、自閉症・情緒障害）の設置」が90.6%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育」が34.8%と最も高く、次いで、「二学期制の実施」が32.8%、「学校評議員等による学校評価」が29.4%となっています。

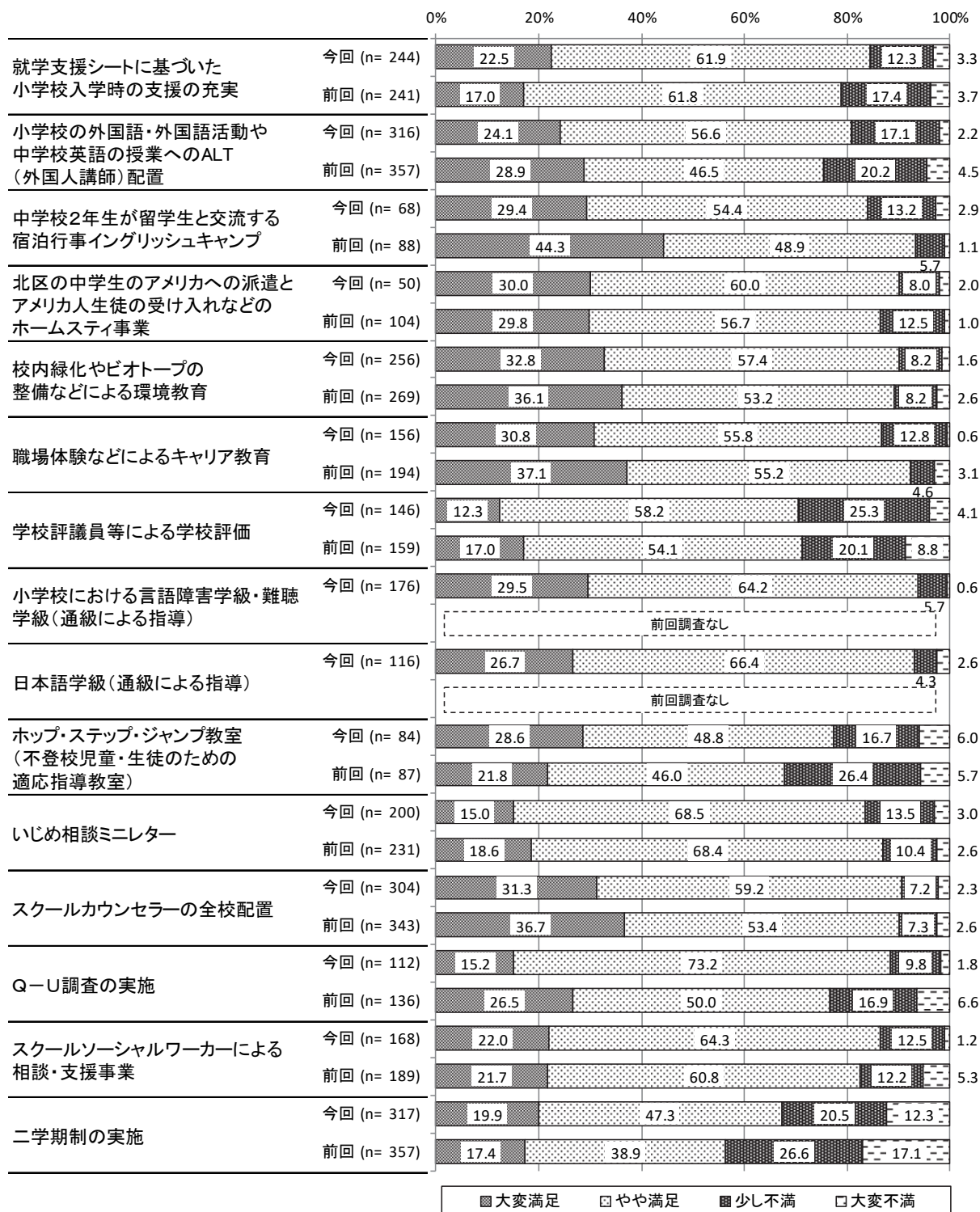
前回調査と比較すると、『満足』は「Q-U調査の実施」、「二学期制の実施」、「ホップ・ステップ・ジャンプ教室（不登校児童・生徒のための適応指導教室）」で高くなっています。

一方、『不満』は「中学校2年生が留学生と交流する宿泊行事イングリッシュキャンプ」、「幼稚園・保育園・こども園・小学校の連携」、「職場体験などによるキャリア教育」で高くなっています。

図 北区の区立小・中学校の取り組みの満足度（小学校）



(前ページからの続き)



④中学校

ア. 認知度

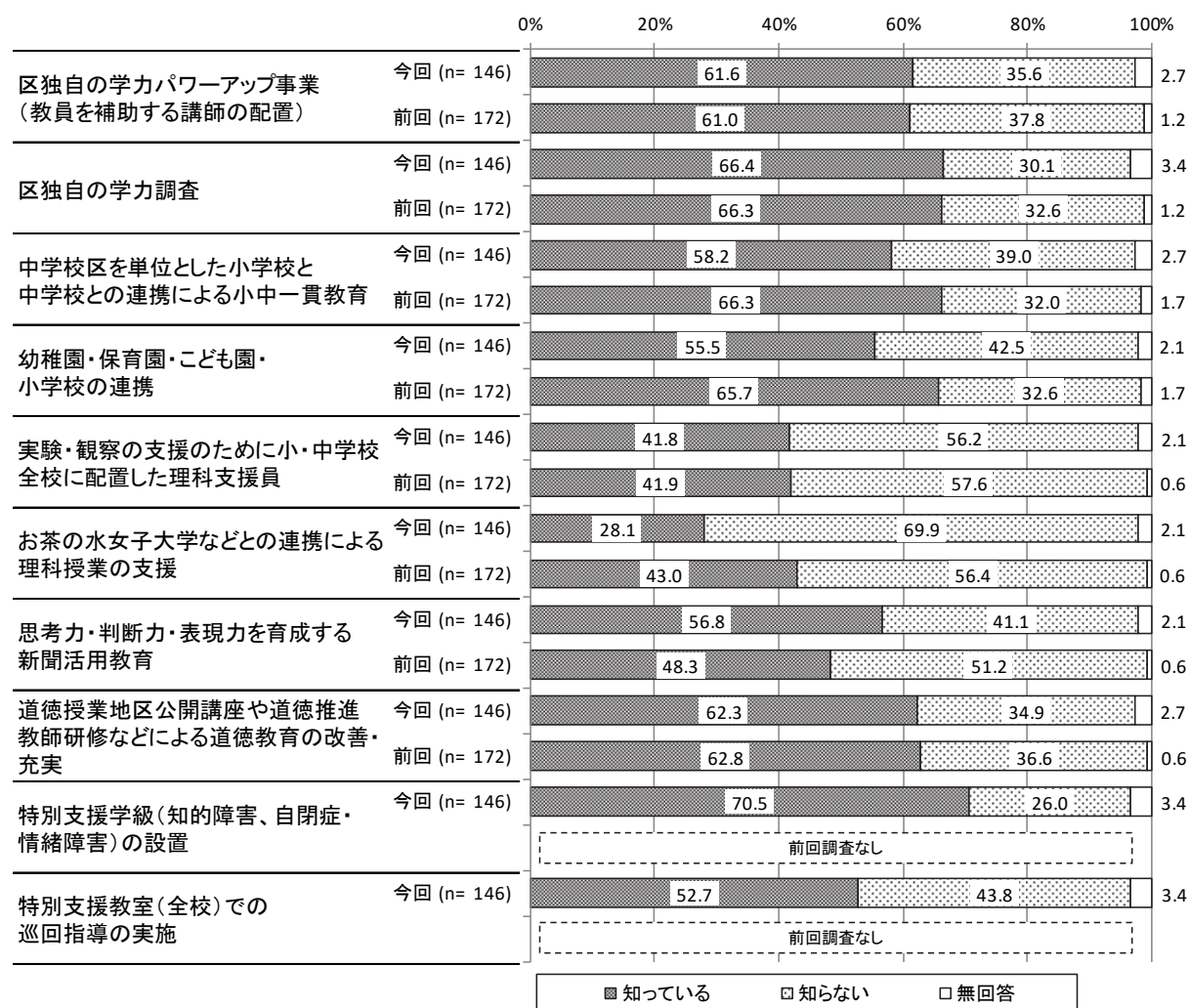
「知っている」という回答は、「二学期制の実施」が 84.2%と最も高く、次いで「スクールカウンセラーの全校配置」が 81.5%、「小学校の外国語・外国語活動や中学校英語の授業への ALT（外国人講師）配置」が 80.8%となっています。

一方、「知らない」という回答は、「お茶の水女子大学などとの連携による理科授業の支援」が 69.9%と最も高く、次いで、「ホップ・ステップ・ジャンプ教室（不登校児童・生徒のための適応指導教室）」が 62.3%、「北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒の受け入れなどのホームステイ事業」が 56.8%となっています。

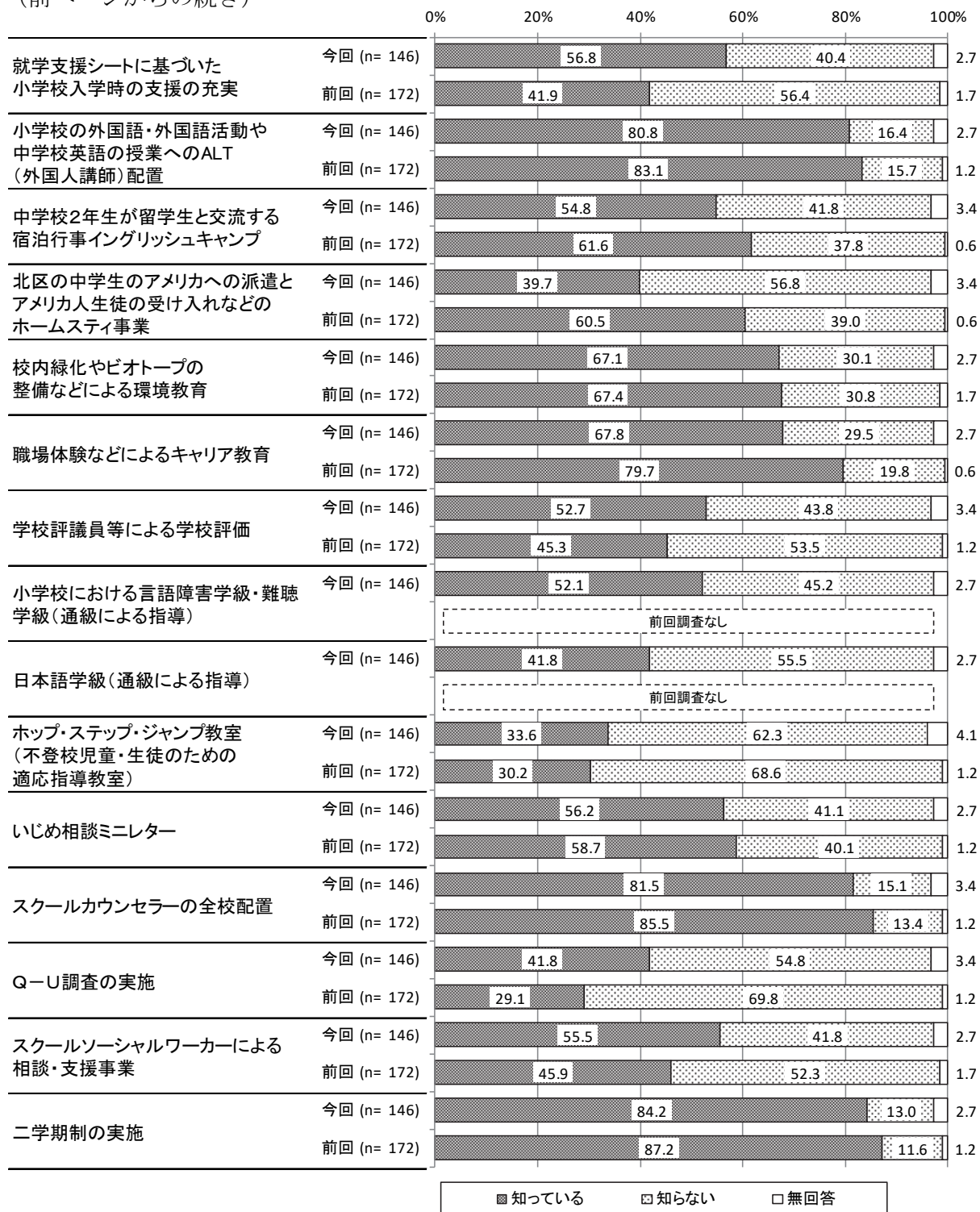
前回調査と比較すると、「知っている」は「就学支援シートに基づいた小学校入学時の支援の充実」、「Q-U調査の実施」、「スクールソーシャルワーカーによる相談・支援事業」で高くなっています。

一方、「知らない」は「北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒の受け入れなどのホームステイ事業」、「お茶の水女子大学などとの連携による理科授業の支援」、「幼稚園・保育園・こども園・小学校の連携」で高くなっています。

図 北区の区立小・中学校の取り組みの認知度（中学校）



(前ページからの続き)



イ. 満足度

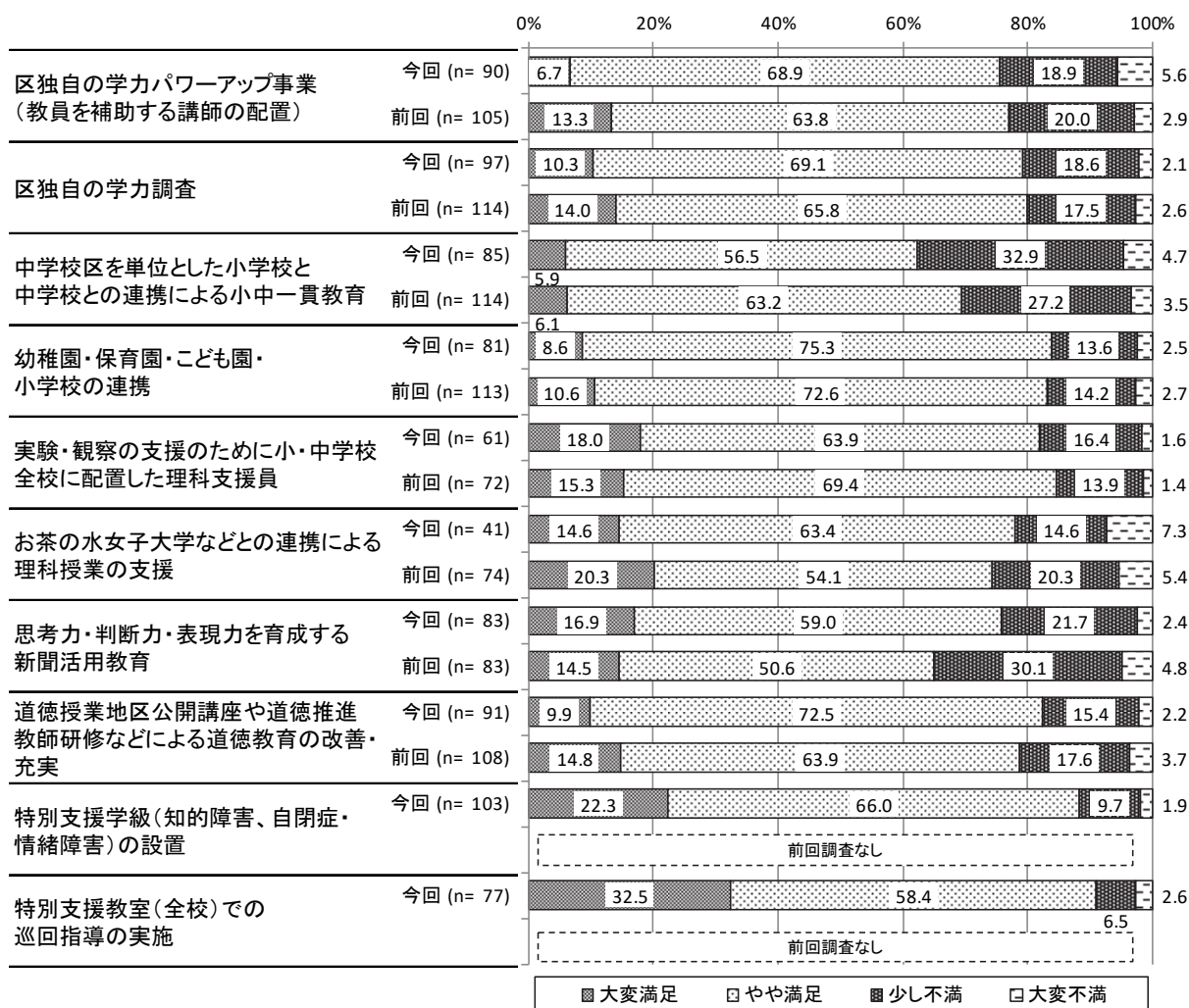
『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「特別支援教室（全校）での巡回指導の実施」が90.9%と最も高く、次いで「小学校における言語障害学級・難聴学級（通級による指導）」が89.5%、「日本語学級（通級による指導）」が88.6%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「二学期制の実施」が52.0%と最も高く、次いで、「中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育」が37.6%、「学校評議員等による学校評価」が33.8%となっています。

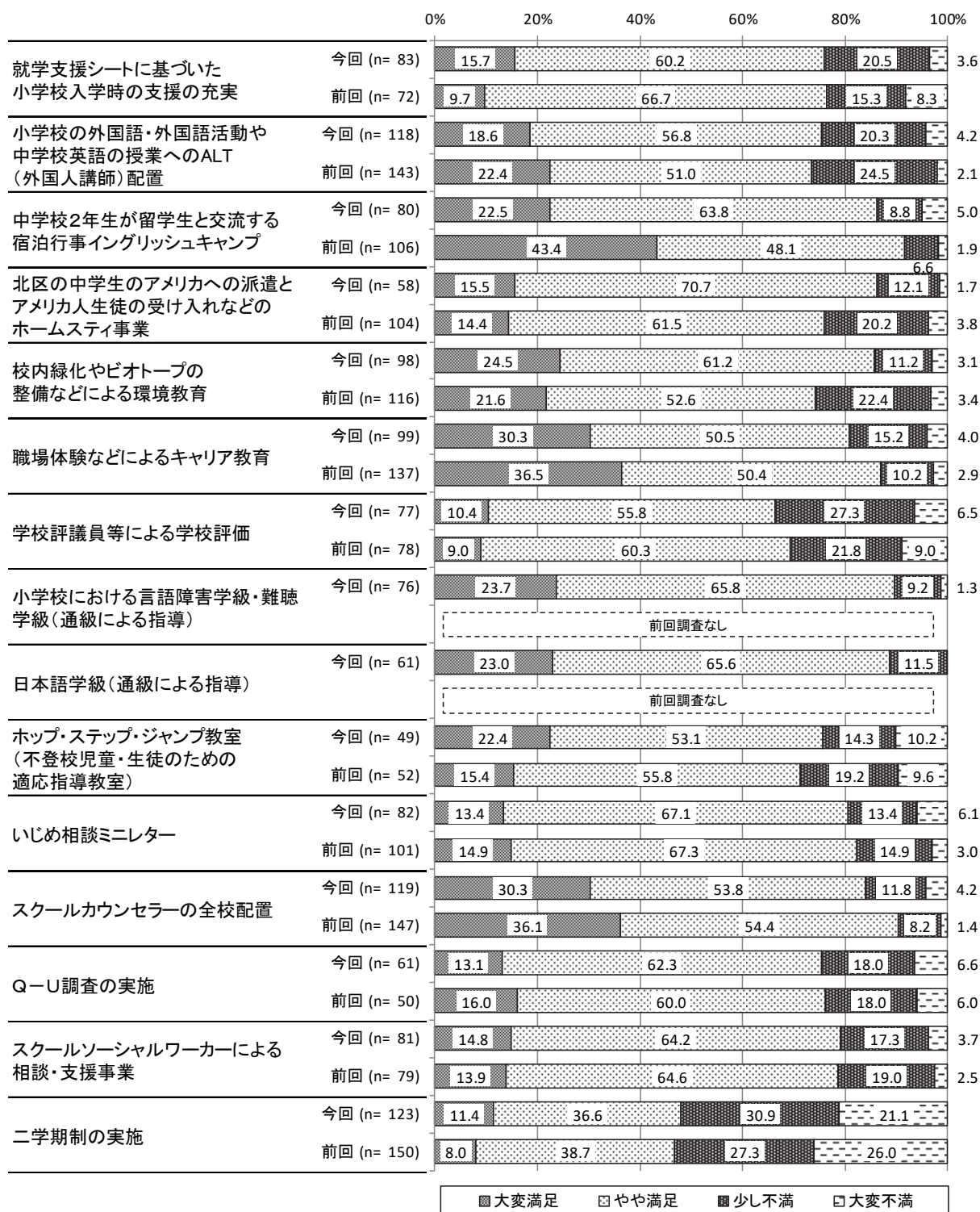
前回調査と比較すると、『満足』は「校内緑化やビオトープの整備などによる環境教育」、「思考力・判断力・表現力を育成する新聞活用教育」、「北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒の受け入れなどのホームステイ事業」で高くなっています。

一方、『不満』は「中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育」、「スクールカウンセラーの全校配置」、「職場体験などによるキャリア教育」で高くなっています。

図 北区の区立小・中学校の取り組みの満足度（中学校）



(前ページからの続き)



3 北区の教育行政（全般）について

（1）北区の教育行政（全般）の現状の満足度と今後の重要度

問8 「①現状の満足度」と「②今後の重要度」をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。
 ①は、封筒の宛名のお子さんが北区の区立小・中学校に在籍している方のみお答えください。

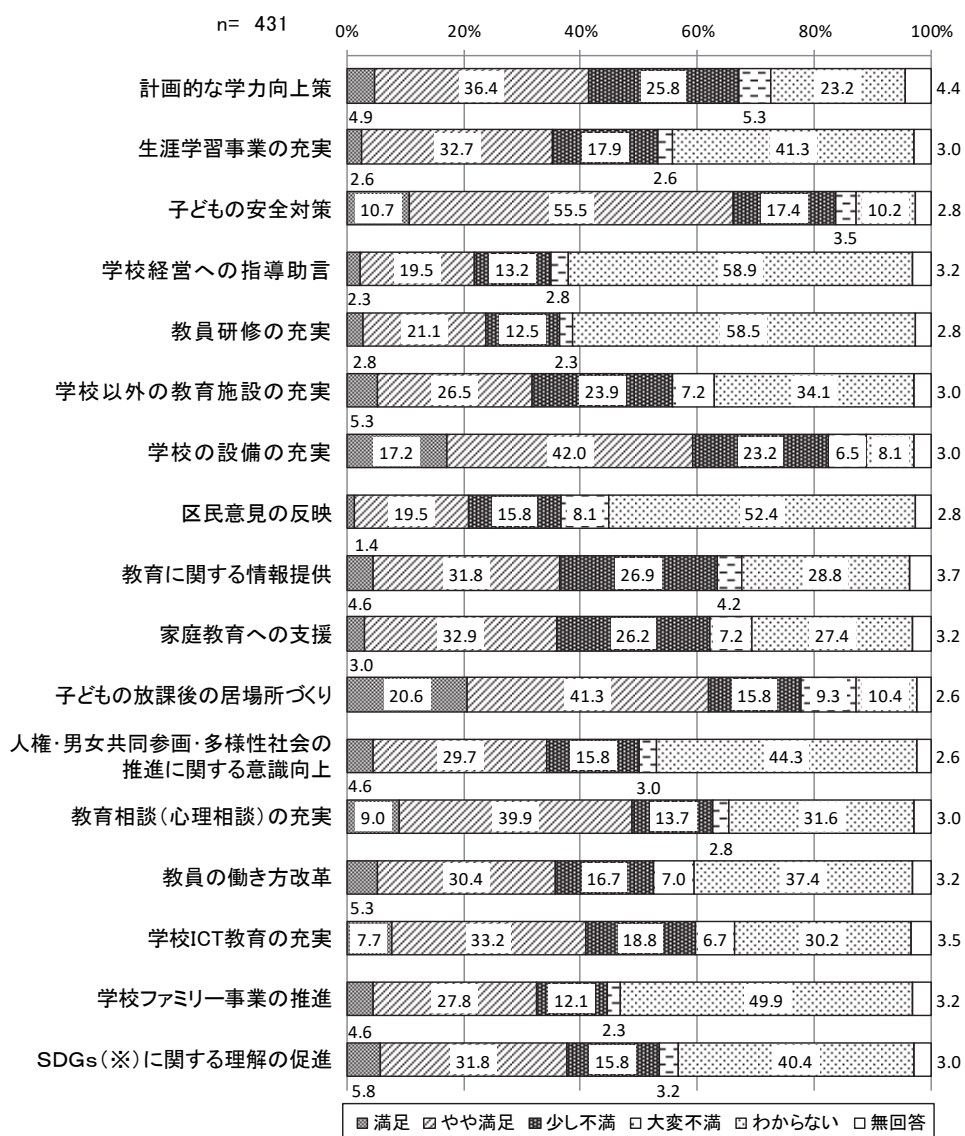
①現状の満足度

ア. 区立の小・中学校

『満足』（「満足」＋「やや満足」という回答は、「子どもの安全対策」が66.2%と最も高く、次いで「子どもの放課後の居場所づくり」が61.9%、「学校の設備の充実」が59.2%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」という回答は、「家庭教育への支援」が33.4%と最も高く、次いで、「計画的な学力向上策」、「学校以外の教育施設の充実」、「教育に関する情報提供」が31.1%となっています。

図 北区の教育行政（全般）の現状の満足度（区立の小・中学校）



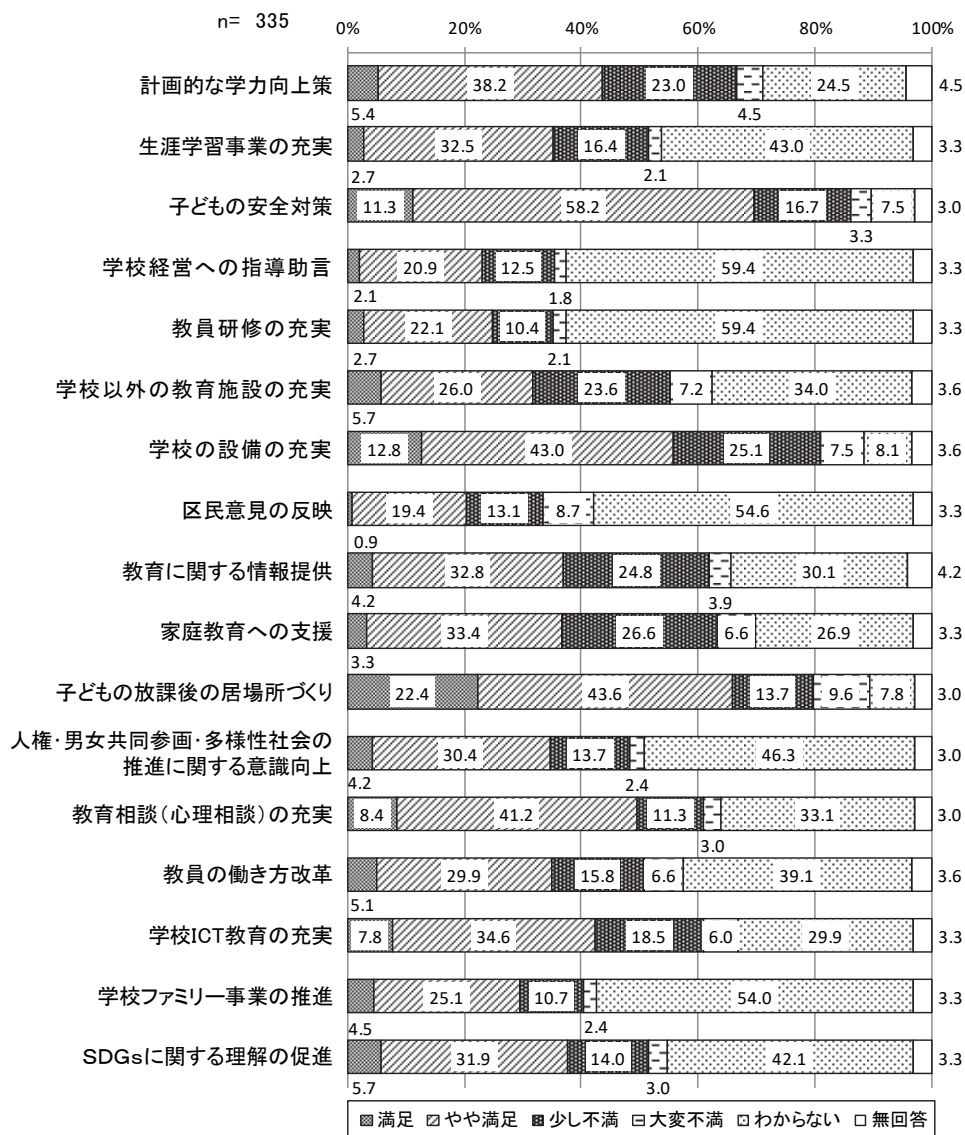
※SDGs：SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

イ. 区立の小学校

『満足』（「満足」＋「やや満足」）という回答は、「子どもの安全対策」が69.5%と最も高く、次いで「子どもの放課後の居場所づくり」が66.0%、「学校の設備の充実」が55.8%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「家庭教育への支援」が33.2%と最も高く、次いで、「学校の設備の充実」が32.6%、「学校以外の教育施設の充実」が30.8%となっています。

図 北区の教育行政（全般）の現状の満足度（区立の小学校）

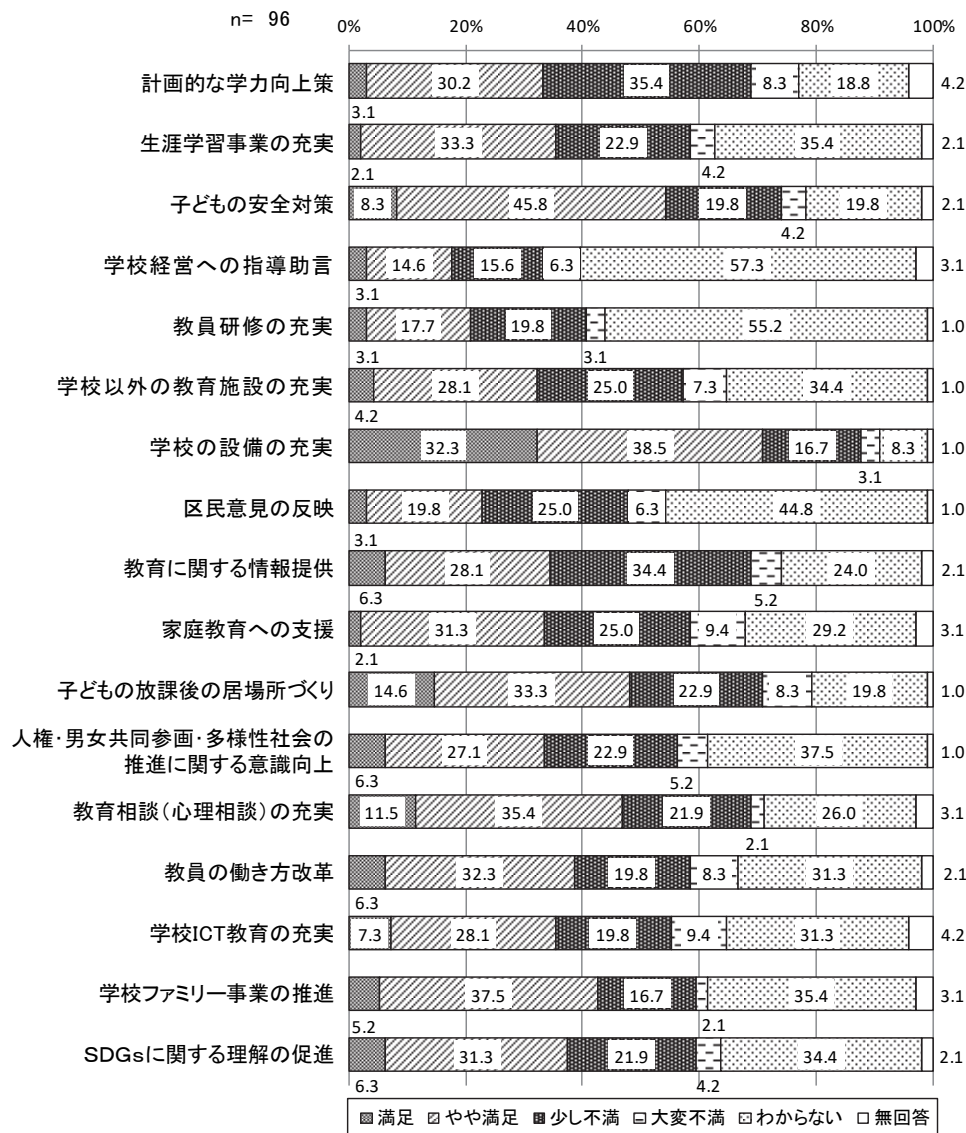


ウ. 区立の中学校

『満足』（「満足」＋「やや満足」）という回答は、「学校の設備の充実」が70.8%と最も高く、次いで「子どもの安全対策」が54.1%、「子どもの放課後の居場所づくり」が47.9%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「計画的な学力向上策」が43.7%と最も高く、次いで、「教育に関する情報提供」が39.6%、「家庭教育への支援」が34.4%となっています。

図 北区の教育行政（全般）の現状の満足度（区立の中学校）



エ. 現状の満足度の点数化

各回答者の項目ごとの満足度を以下に示す方法で点数化したうえで、各項目において回答者全体の平均点を算出した結果が下図になります。

(点数化の方法)

「現状の満足度」の評価点

「満足」 2点、「やや満足」 1点、「やや不満」 -1点、「不満」 -2点、「わからない」 0点

「現状の満足度」の平均評価点

= (「満足」と答えた人数×2点+「やや満足」と答えた人数×1点+「やや不満」と答えた人数×-1点+「不満」と答えた人数×-2点+「わからない」と答えた人数×0点) ÷ 無回答を除く全回答者数

図 北区の教育行政（全般）の現状の満足度（点数化：就学状況別）

		現状の満足度		
		区立の 小・中学校	区立の 小学校	区立の 中学校
1	計画的な学力向上策	0.10	0.18	-0.16
2	生涯学習事業の充実	0.15	0.18	0.06
3	子どもの安全対策	0.54	0.59	0.35
4	学校経営への指導助言	0.06	0.09	-0.08
5	教員研修の充実	0.10	0.13	-0.02
6	学校以外の教育施設の充実	-0.01	-0.01	-0.03
7	学校の設備の充実	0.41	0.30	0.81
8	区民意見の反映	-0.10	-0.10	-0.12
9	教育に関する情報提供	0.06	0.09	-0.04
10	家庭教育への支援	-0.02	0.00	-0.09
11	子どもの放課後の居場所づくり	0.50	0.57	0.23
12	人権・男女共同参画・多様性社会の推進に関する意識向上	0.18	0.21	0.06
13	教育相談(心理相談)の充実	0.40	0.42	0.33
14	教員の働き方改革	0.11	0.11	0.09
15	学校ICT教育の充実	0.17	0.20	0.04
16	学校ファミリー事業の推進	0.21	0.19	0.28
17	SDGsに関する理解の促進	0.22	0.24	0.14
平均		0.18	0.20	0.11

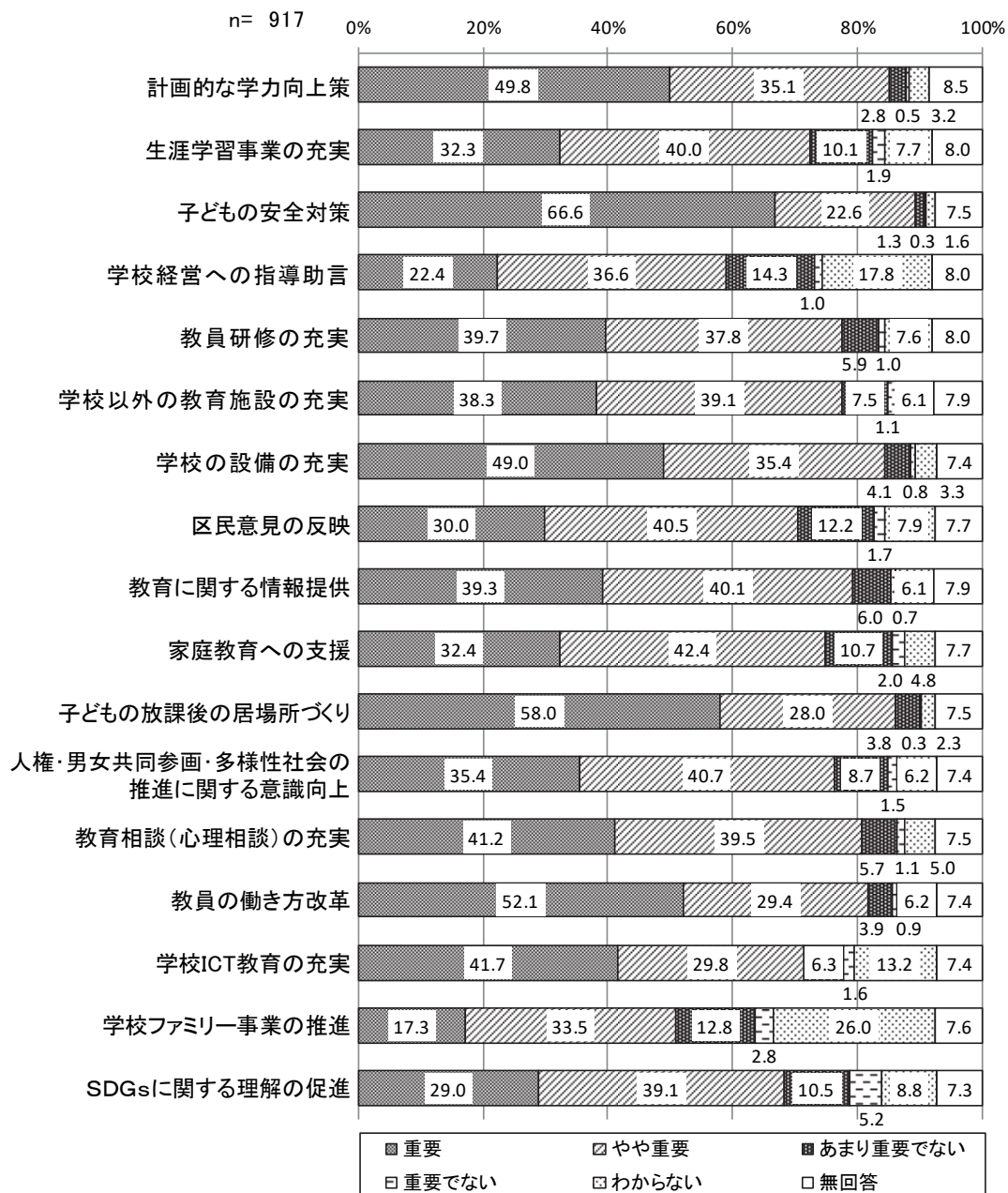
②今後の重要度

ア. 全体

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「子どもの安全対策」が89.2%と最も高く、次いで「子どもの放課後の居場所づくり」が86.0%、「計画的な学力向上策」が84.9%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「SDGsに関する理解の促進」が15.7%と最も高く、次いで、「学校ファミリー事業の推進」が15.6%、「学校経営への指導助言」が15.3%となっています。

図 北区の教育行政（全般）の今後の重要度（全体）

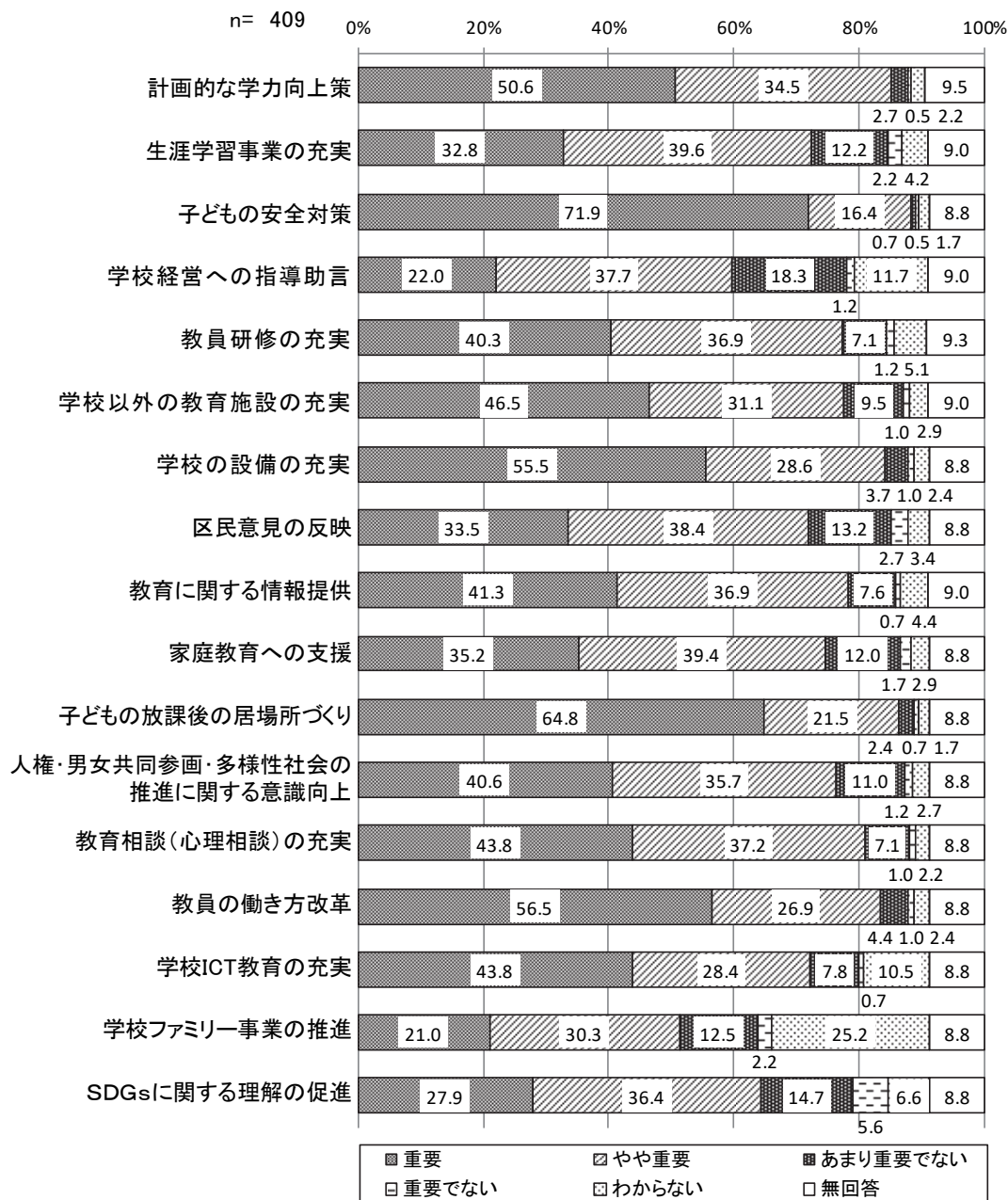


イ. 就学前

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「子どもの安全対策」が88.3%と最も高く、次いで「子どもの放課後の居場所づくり」が86.3%、「計画的な学力向上策」が85.1%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「SDGsに関する理解の促進」が20.3%と最も高く、次いで、「学校経営への指導助言」が19.5%、「区民意見の反映」が15.9%となっています。

図 北区の教育行政（全般）の今後の重要度（就学前）

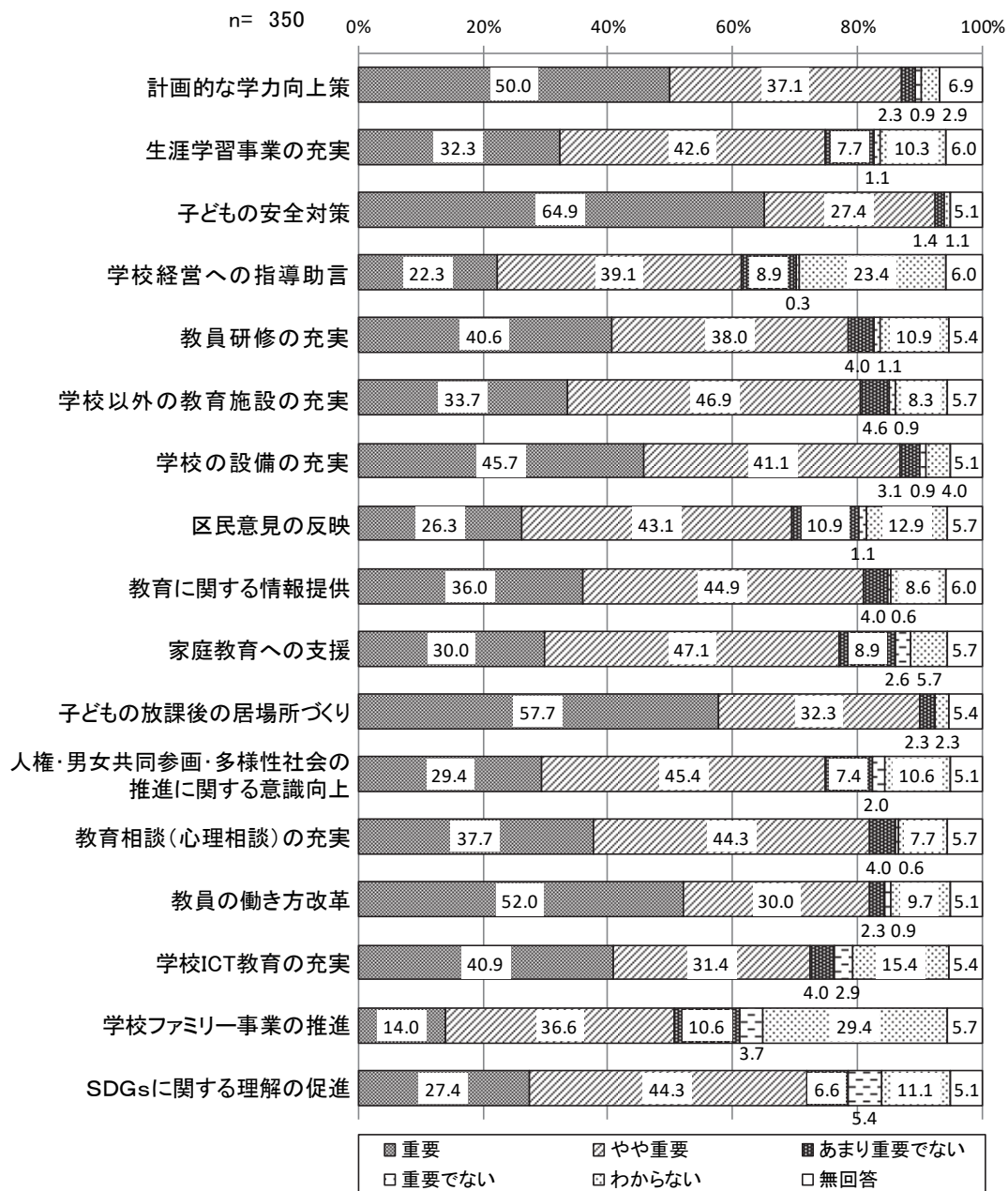


ウ. 小学校

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「子どもの安全対策」が92.3%と最も高く、次いで「子どもの放課後の居場所づくり」が90.0%、「計画的な学力向上策」が87.1%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「学校ファミリー事業の推進」が14.3%と最も高く、次いで、「区民意見の反映」と「SDGsに関する理解の促進」が12.0%となっています。

図 北区の教育行政（全般）の今後の重要度（小学校）

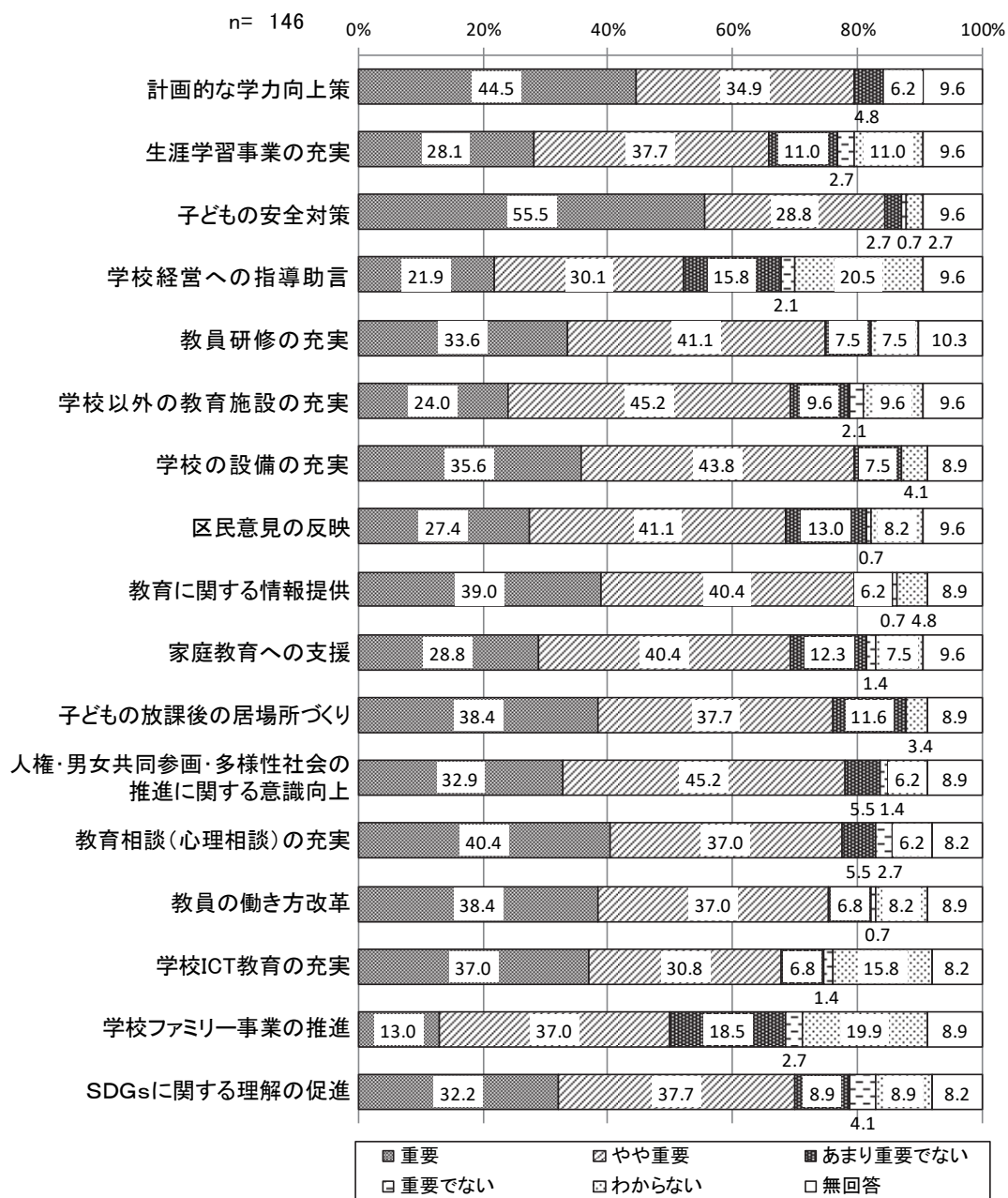


エ. 中学校

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「子どもの安全対策」が84.3%と最も高く、次いで「計画的な学力向上策」、「学校の設備の充実」、「教育に関する情報提供」が79.4%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「学校ファミリー事業の推進」が21.2%と最も高く、次いで、「学校経営への指導助言」が17.9%、「家庭教育への支援」が13.7%となっています。

図 北区の教育行政（全般）の今後の重要度（中学校）



オ. 今後の重要度の点数化

各回答者の項目ごとの重要度を以下に示す方法で点数化したうえで、各項目において回答者全体の平均点を算出した結果が下図になります。

(点数化の方法)

「今後の重要度」の評価点

「重要」 2点、「やや重要」 1点、「あまり重要でない」 - 1点、「重要でない」 - 2点、「わからない」 0点

「今後の重要度」の平均評価点

= (「重要」と答えた人数×2点+「やや重要」と答えた人数×1点+「あまり重要でない」と答えた人数×-1点+「重要でない」と答えた人数×-2点+「わからない」と答えた人数×0点) ÷ 無回答を除く全回答者数

図 北区の教育行政（全般）の今後の重要度（点数化：就学状況別）

		今後の重要度			
		全体	就学状況別		
			就学前	小学校	中学校
1	計画的な学力向上策	1.43	1.46	1.43	1.32
2	生涯学習事業の充実	0.99	0.97	1.03	0.86
3	子どもの安全対策	1.66	1.74	1.64	1.50
4	学校経営への指導助言	0.71	0.67	0.79	0.60
5	教員研修の充実	1.19	1.19	1.19	1.12
6	学校以外の教育施設の充実	1.15	1.24	1.15	0.88
7	学校の設備の充実	1.38	1.47	1.35	1.18
8	区民意見の反映	0.92	0.95	0.88	0.90
9	教育に関する情報提供	1.21	1.22	1.19	1.22
10	家庭教育への支援	1.00	1.03	0.99	0.92
11	子どもの放課後の居場所づくり	1.51	1.61	1.54	1.13
12	人権・男女共同参画・多様性社会の推進に関する意識向上	1.08	1.13	0.98	1.13
13	教育相談(心理相談)の充実	1.23	1.27	1.22	1.16
14	教員の働き方改革	1.38	1.46	1.37	1.16
15	学校ICT教育の充実	1.12	1.17	1.09	1.04
16	学校ファミリー事業の推進	0.54	0.61	0.49	0.43
17	SDGsに関する理解の促進	0.82	0.73	0.86	0.93
平均		1.14	1.17	1.13	1.03

③現状の満足度と今後の重要度の相関

施策の満足度と重要度について、それぞれの平均値（満足度 0.18、重要度 1.14）を基準として、「A：満足度は低いが、重要度は高い」「B：満足度・重要度がともに高い」「C：満足度・重要度がともに低い」「D：満足度は高いが、重要度は低い」の4つの領域に分けています。

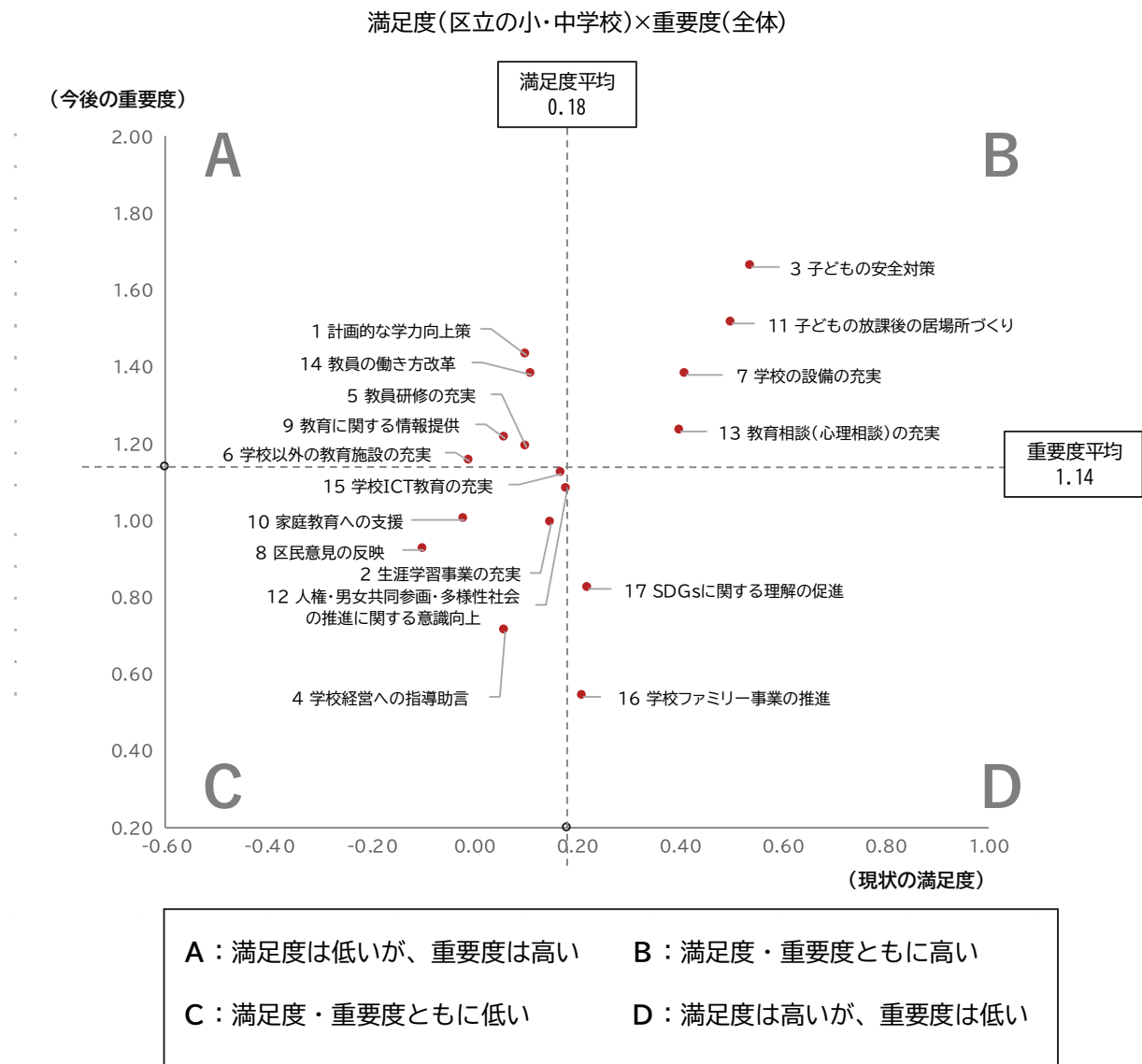
満足度は低いが、重要度は高いA領域には、「1 計画的な学力向上策」「5 教員研修の充実」「6 学校以外の教育施設の充実」「9 教育に関する情報提供」「14 教員の働き方改革」が位置付けられます。

満足度・重要度がともに高いB領域には「3 子どもの安全対策」「7 学校の設備の充実」「11 子どもの放課後の居場所づくり」「13 教育相談（心理相談）の充実」が位置付けられます。

満足度・重要度がともに低いC領域には「2 生涯学習事業の充実」「4 学校経営への指導助言」「8 区民意見の反映」「10 家庭教育への支援」「12 人権・男女共同参画・多様性社会の推進に関する意識向上」「15 学校ICT教育の充実」が位置付けられます。

満足度は高いが、重要度は低いD領域には「16 学校ファミリー事業の推進」「17 SDGsに関する理解の促進」が位置付けられます。

図 北区の教育行政（全般）の現状の満足度と今後の重要度の相関



(2) 北区教育委員会の取り組みの認知度・満足度

問9 北区教育委員会では、以下の教育に関する取り組みを行っています。それぞれの取り組みについて、知っている場合はその満足度を、知らない場合は「知らない」に○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

①全体

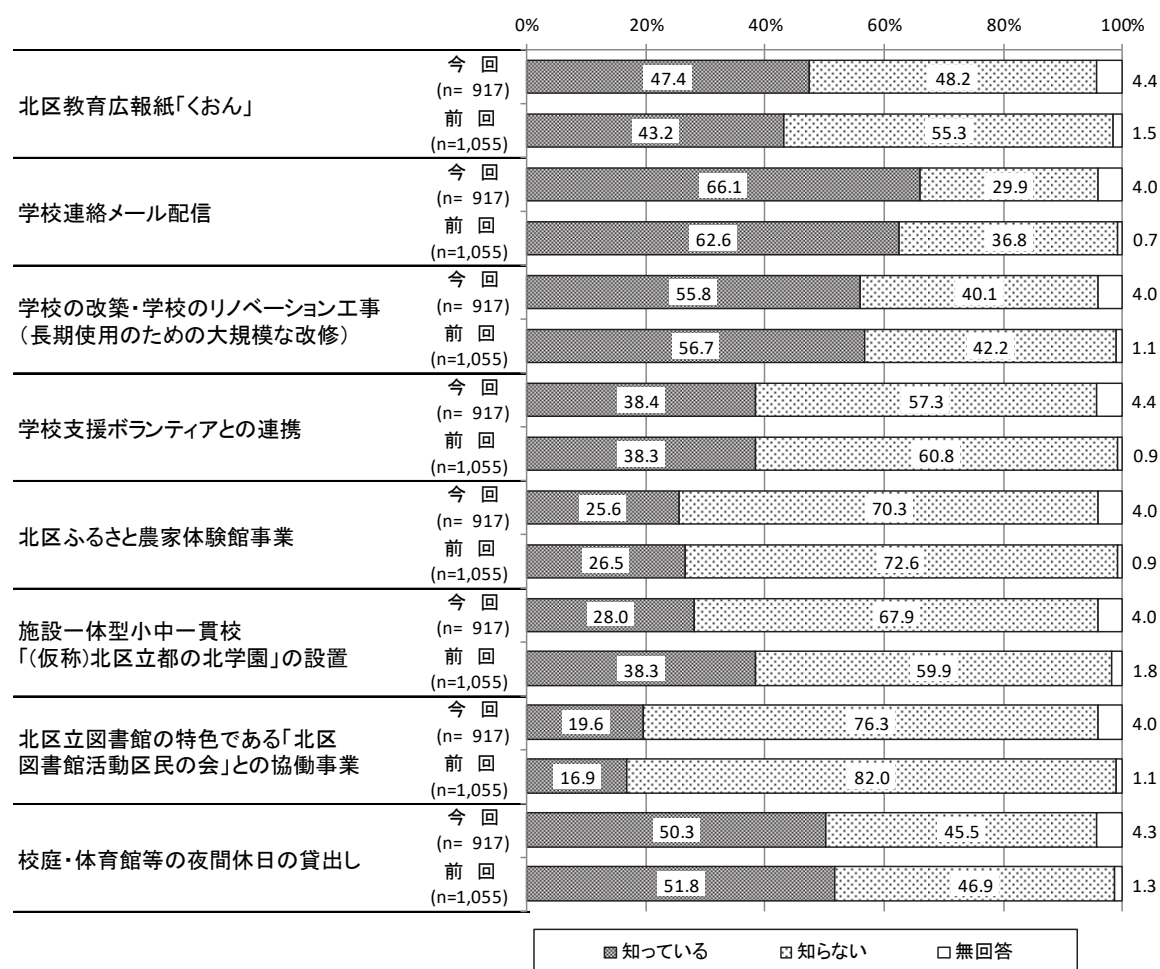
ア. 認知度

「知っている」という回答は、「学校連絡メール配信」が66.1%と最も高く、次いで「学校の改築・学校のリノベーション工事（長期使用のための大規模な改修）」が55.8%、「校庭・体育館等の夜間休日の貸出し」が50.3%となっています。

一方、「知らない」という回答は、「北区立図書館の特色である『北区図書館活動区民の会』との協働事業」が76.3%と最も高く、次いで、「北区ふるさと農家体験館事業」が70.3%、「施設一体型小中一貫校『（仮称）北区立都の北学園』の設置」が67.9%となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」は「施設一体型小中一貫校『（仮称）北区立都の北学園』の設置」で高くなっています。

図 北区教育委員会の取り組みの認知度（全体）



※「学校の改築・学校のリノベーション工事」は、前回調査では「学校の改築」で実施。

※「校庭・体育館等の夜間休日の貸出し」は、前回調査では「学校施設の地域開放」で実施。

イ. 満足度

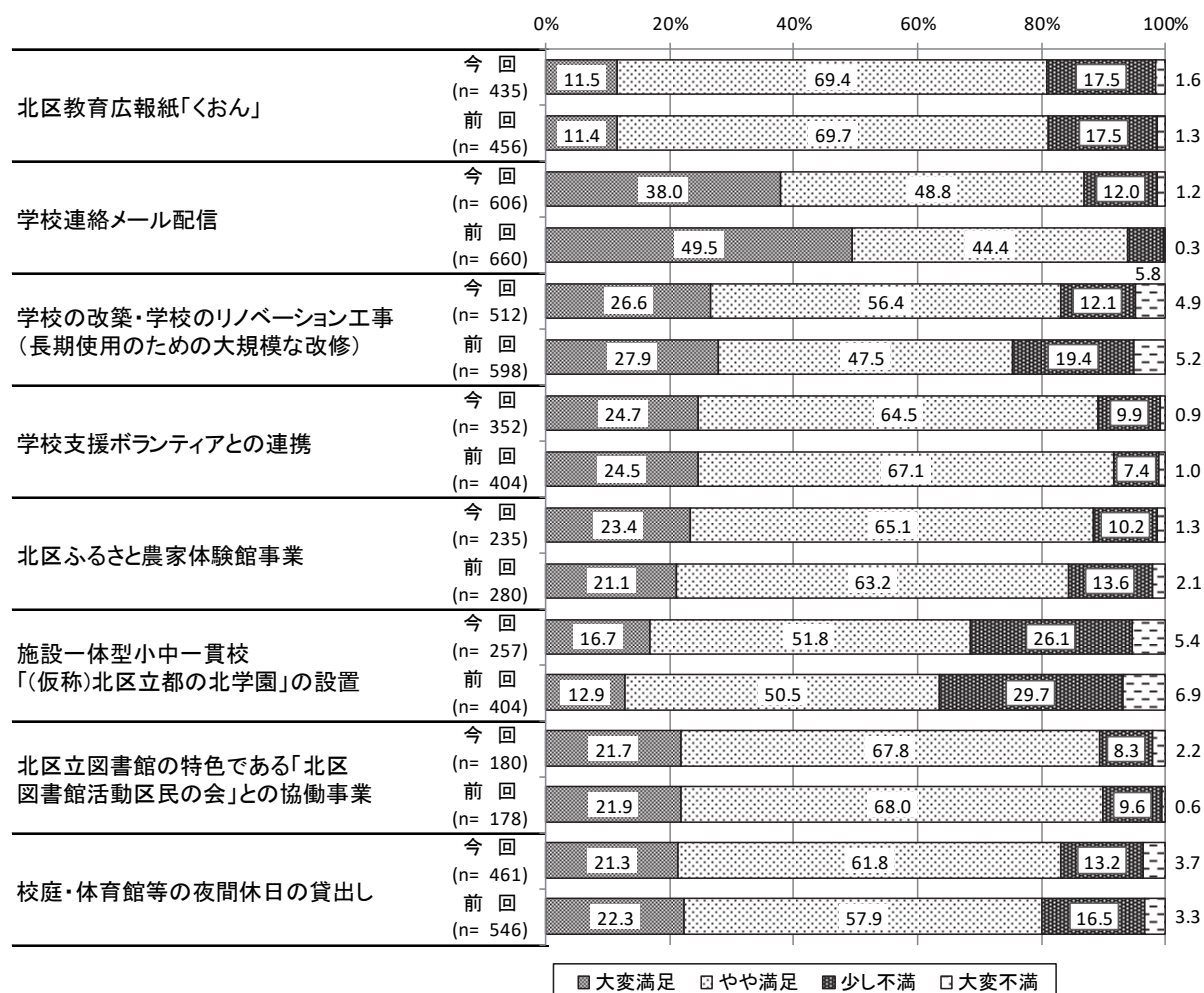
『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「北区立図書館の特色である『北区図書館活動区民の会』との協働事業」が89.5%と最も高く、次いで「学校支援ボランティアとの連携」が89.2%、「北区ふるさと農家体験館事業」が88.5%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「施設一体型小中一貫校『（仮称）北区立都の北学園』の設置」が31.5%と最も高く、次いで、「北区教育広報紙『くおん』」が19.1%、「学校の改築・学校のリノベーション工事（長期使用のための大規模な改修）」が17.0%となっています。

前回調査と比較すると、『満足』は「学校の改築・学校のリノベーション工事（長期使用のための大規模な改修）」、「施設一体型小中一貫校『（仮称）北区立都の北学園』の設置」で高くなっています。

一方、『不満』は「学校連絡メール配信」で高くなっています。

図 北区教育委員会の取り組みの満足度（全体）



②就学前

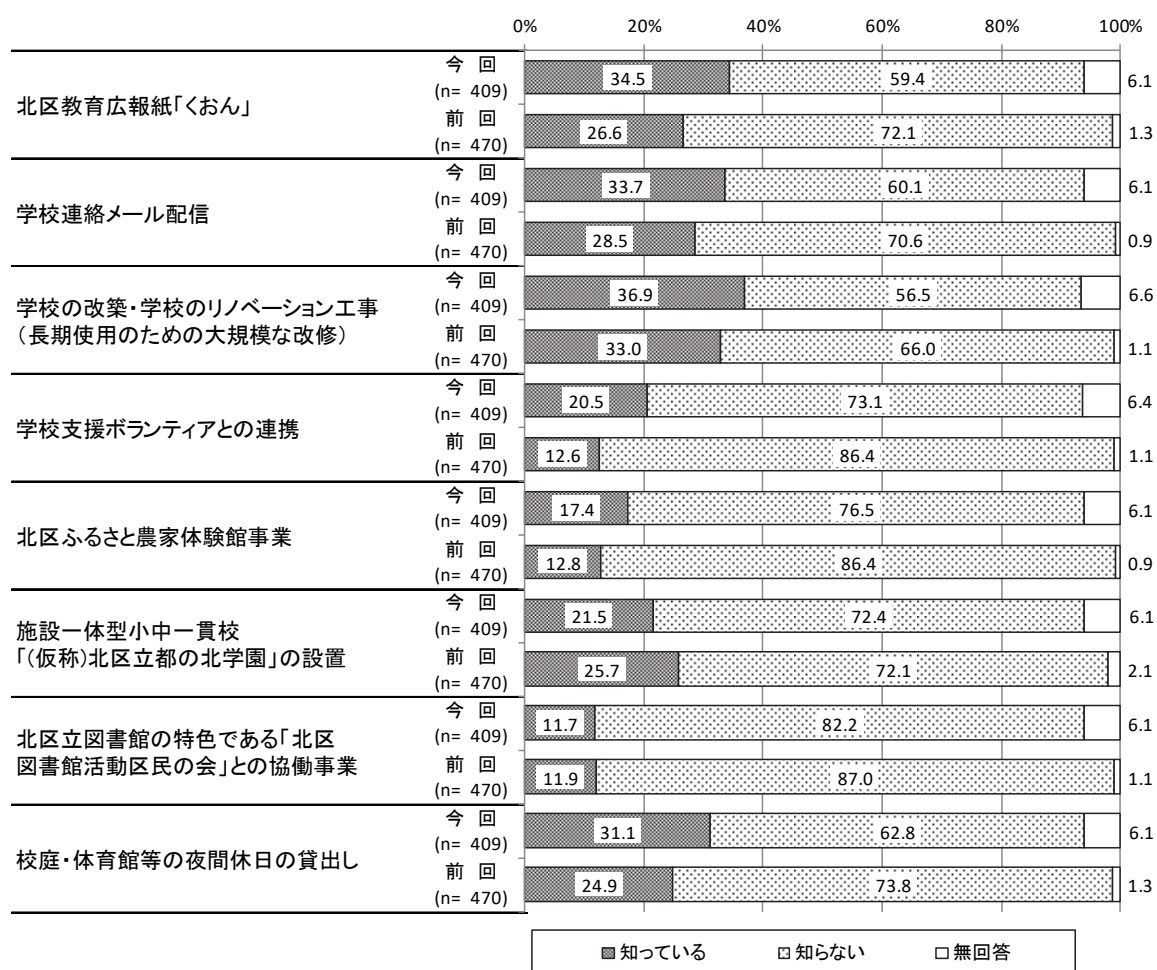
ア. 認知度

「知っている」という回答は、「学校の改築・学校のリノベーション工事（長期使用のための大規模な改修）」が36.9%と最も高く、次いで「北区教育広報紙『くおん』」が34.5%、「学校連絡メール配信」が33.7%となっています。

一方、「知らない」という回答は、「北区立図書館の特色である『北区図書館活動区民の会』との協働事業」が82.2%と最も高く、次いで、「北区ふるさと農家体験館事業」が76.5%、「学校支援ボランティアとの連携」が73.1%となっています。

前回調査と比較すると、「知っている」は「北区教育広報紙『くおん』」、「学校支援ボランティアとの連携」、「校庭・体育館等の夜間休日の貸出し」で高くなっています。

図 北区教育委員会の取り組みの認知度（就学前）



イ. 満足度

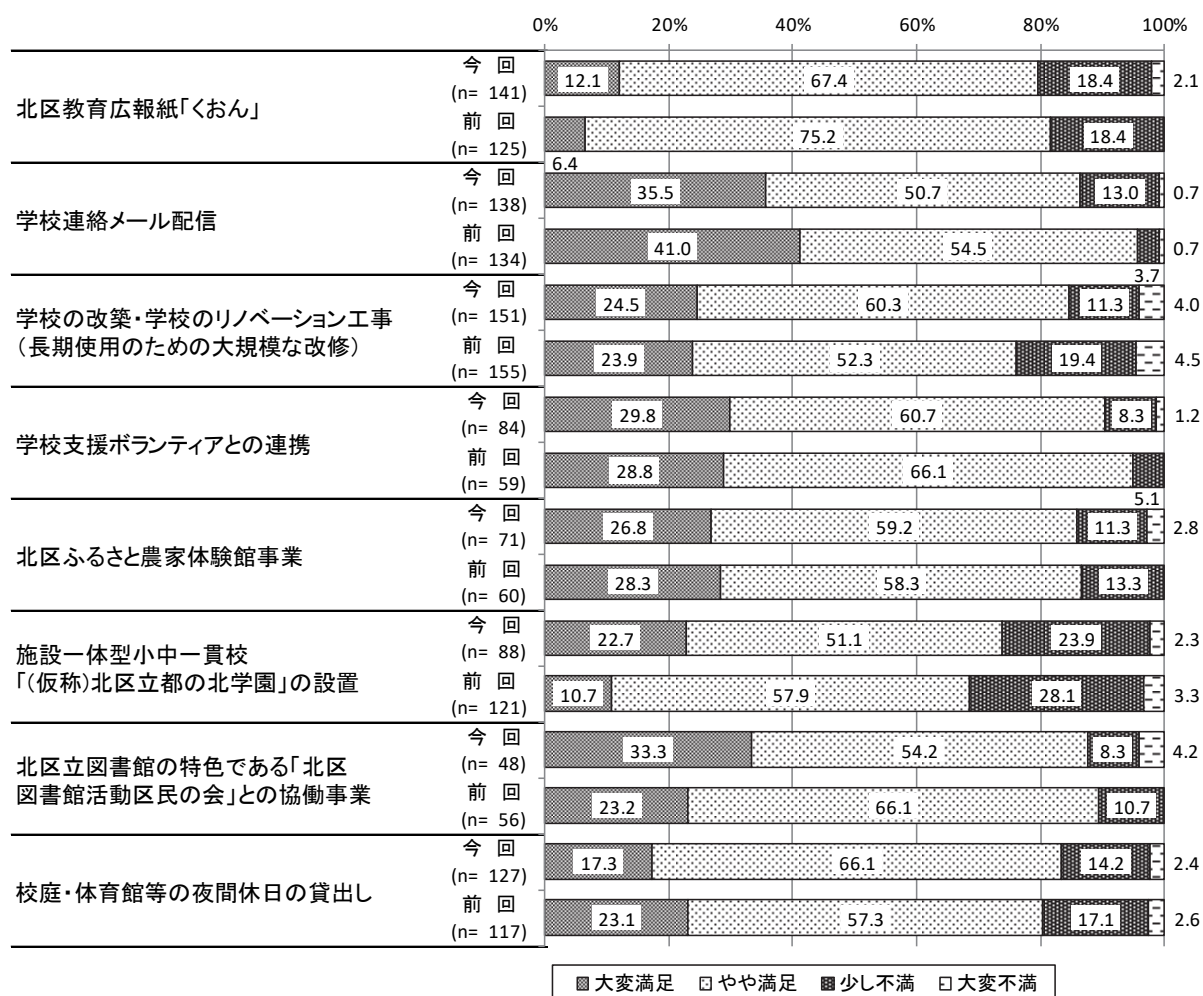
『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「学校支援ボランティアとの連携」が90.5%と最も高く、次いで「北区立図書館の特色である『北区図書館活動区民の会』との協働事業」が87.5%、「学校連絡メール配信」が86.2%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「施設一体型小中一貫校『（仮称）北区立都の北学園』の設置」が26.2%と最も高く、次いで、「北区教育広報紙『くおん』」が20.5%、「校庭・体育館等の夜間休日の貸出し」が16.6%となっています。

前回調査と比較すると、『満足』は「学校の改築・学校のリノベーション工事（長期使用のための大規模な改修）」、「施設一体型小中一貫校『（仮称）北区立都の北学園』の設置」で高くなっています。

一方、『不満』は「学校連絡メール配信」で高くなっています。

図 北区教育委員会の取り組みの満足度（就学前）



③小学校

ア. 認知度

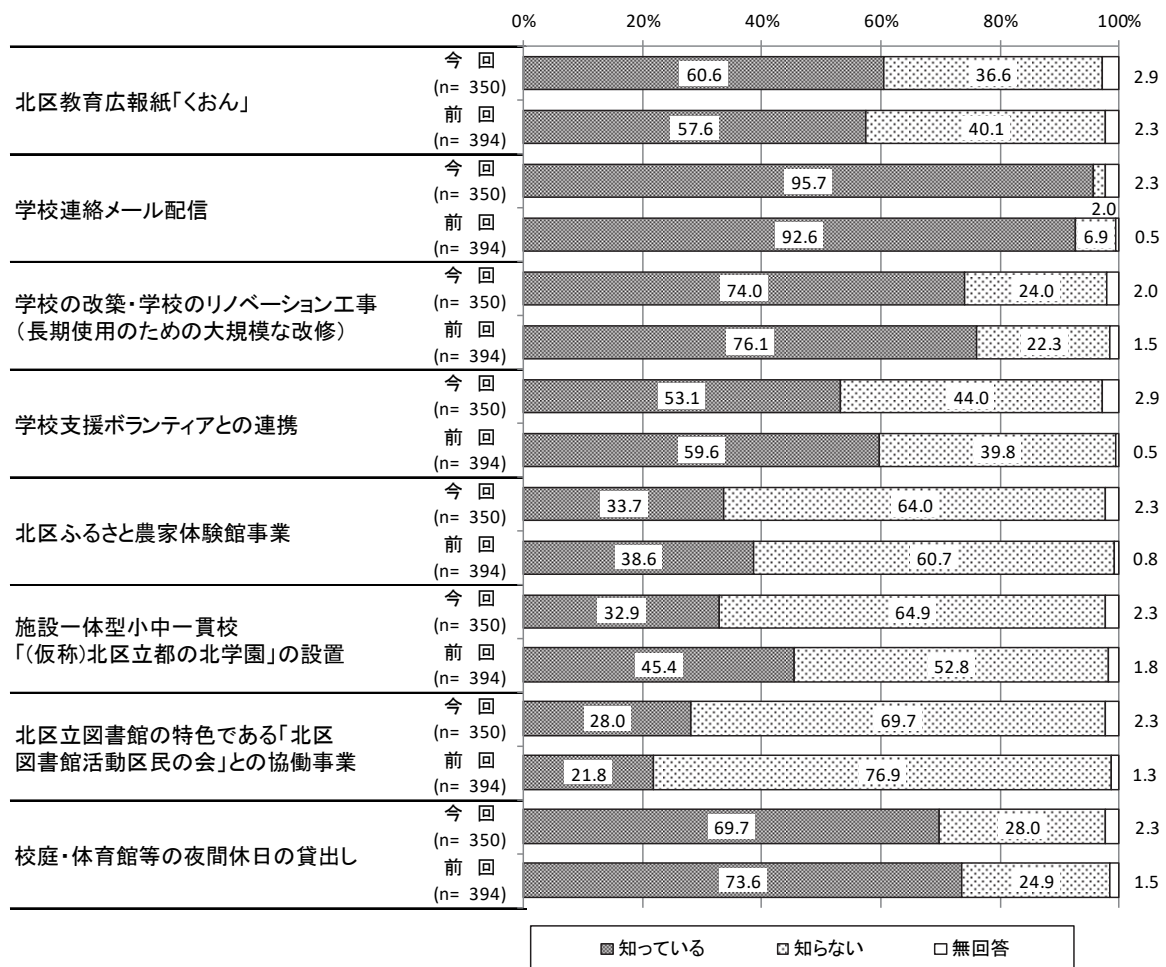
「知っている」という回答は、「学校連絡メール配信」が 95.7%と最も高く、次いで「学校の改築・学校のリノベーション工事（長期使用のための大規模な改修）」が 74.0%、「校庭・体育館等の夜間休日の貸出し」が 69.7%となっています。

一方、「知らない」という回答は、「北区立図書館の特色である『北区図書館活動区民の会』との協働事業」が 69.7%と最も高く、次いで、「施設一体型小中一貫校『（仮称）北区立都の北学園』の設置」が 64.9%、「北区ふるさと農家体験館事業」が 64.0%となっています。

前回調査と比較すると、「知っている」は「北区立図書館の特色である『北区図書館活動区民の会』との協働事業」で高くなっています。

一方、「知らない」は「施設一体型小中一貫校『（仮称）北区立都の北学園』の設置」で高くなっています。

図 北区教育委員会の取り組みの認知度（小学校）



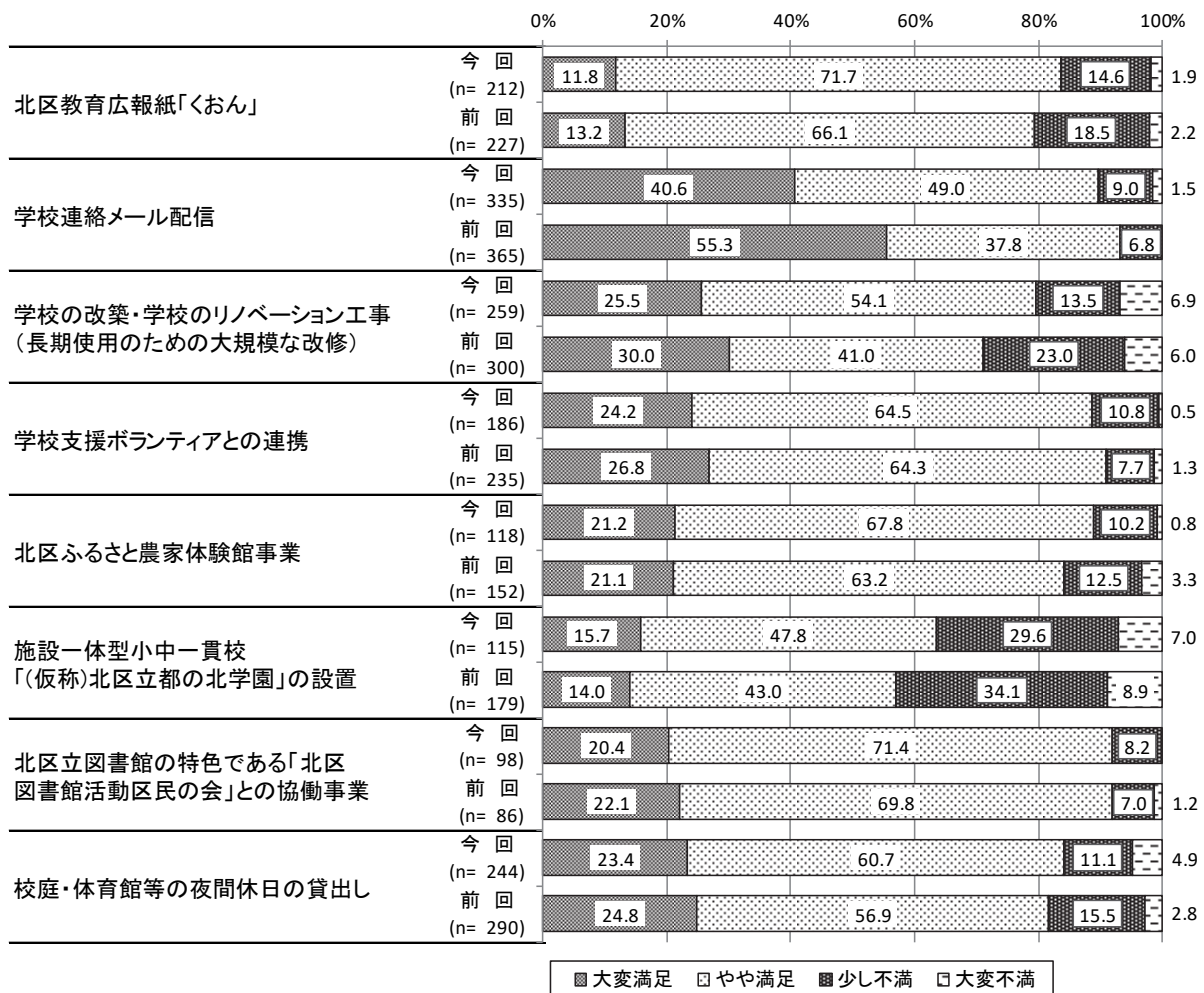
イ. 満足度

『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「北区立図書館の特色である『北区図書館活動区民の会』との協働事業」が91.8%と最も高く、次いで「学校連絡メール配信」が89.6%、「北区ふるさと農家体験館事業」が89.0%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「施設一体型小中一貫校『（仮称）北区立都の北学園』の設置」が36.6%と最も高く、次いで、「学校の改築・学校のリノベーション工事（長期使用のための大規模な改修）」が20.4%、「北区教育広報紙『くおん』」が16.5%となっています。

前回調査と比較すると、『満足』は「学校の改築・学校のリノベーション工事（長期使用のための大規模な改修）」、「施設一体型小中一貫校『（仮称）北区立都の北学園』の設置」で高くなっています。

図 北区教育委員会の取り組みの満足度（小学校）



④中学校

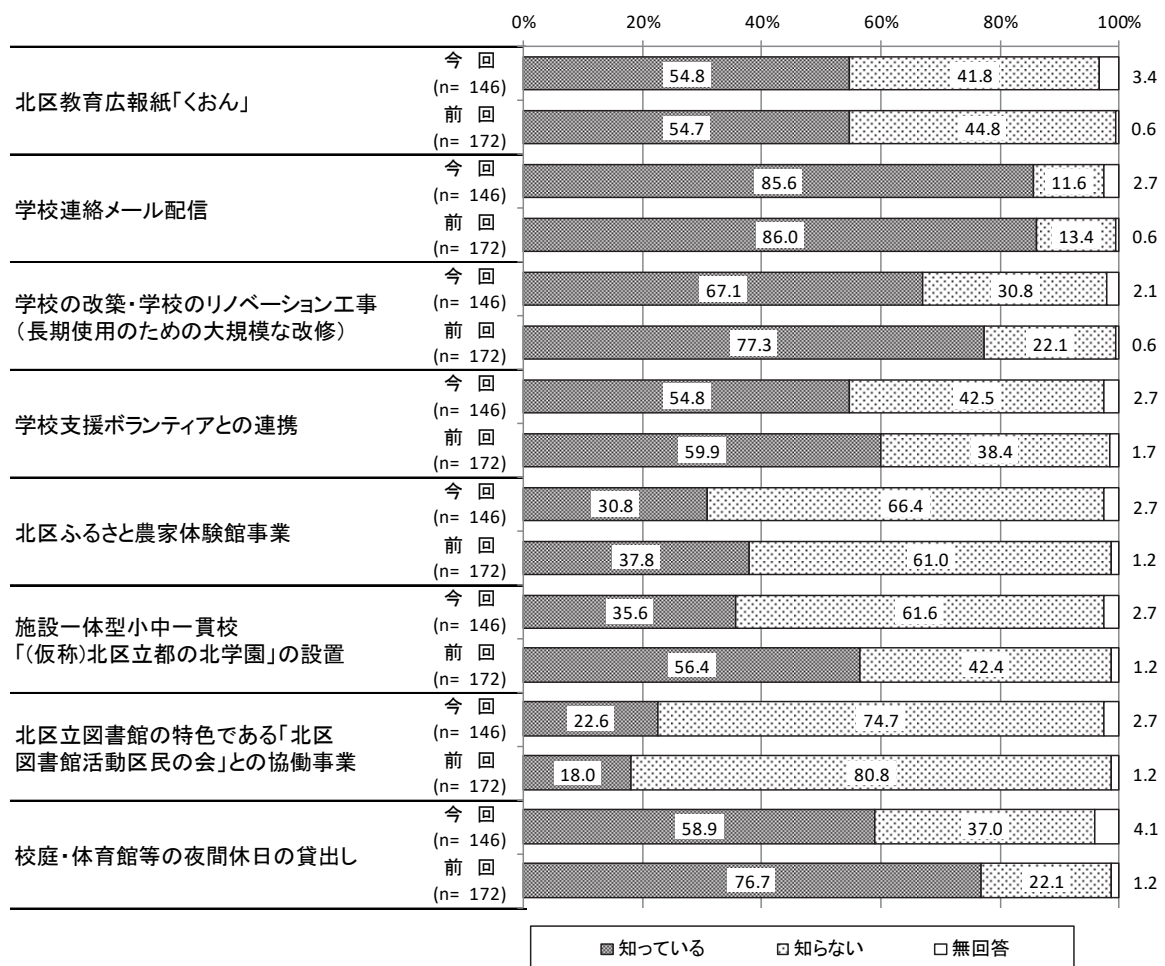
ア. 認知度

「知っている」という回答は、「学校連絡メール配信」が 85.6%と最も高く、次いで「学校の改築・学校のリノベーション工事（長期使用のための大規模な改修）」が 67.1%、「校庭・体育館等の夜間休日の貸出し」が 58.9%となっています。

一方、「知らない」という回答は、「北区立図書館の特色である『北区図書館活動区民の会』との協働事業」が 74.7%と最も高く、次いで、「北区ふるさと農家体験館事業」が 66.4%、「施設一体型小中一貫校『（仮称）北区立都の北学園』の設置」が 61.6%となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」は「施設一体型小中一貫校『（仮称）北区立都の北学園』の設置」、「校庭・体育館等の夜間休日の貸出し」、「学校の改築・学校のリノベーション工事（長期使用のための大規模な改修）」で高くなっています。

図 北区教育委員会の取り組みの認知度（中学校）



イ. 満足度

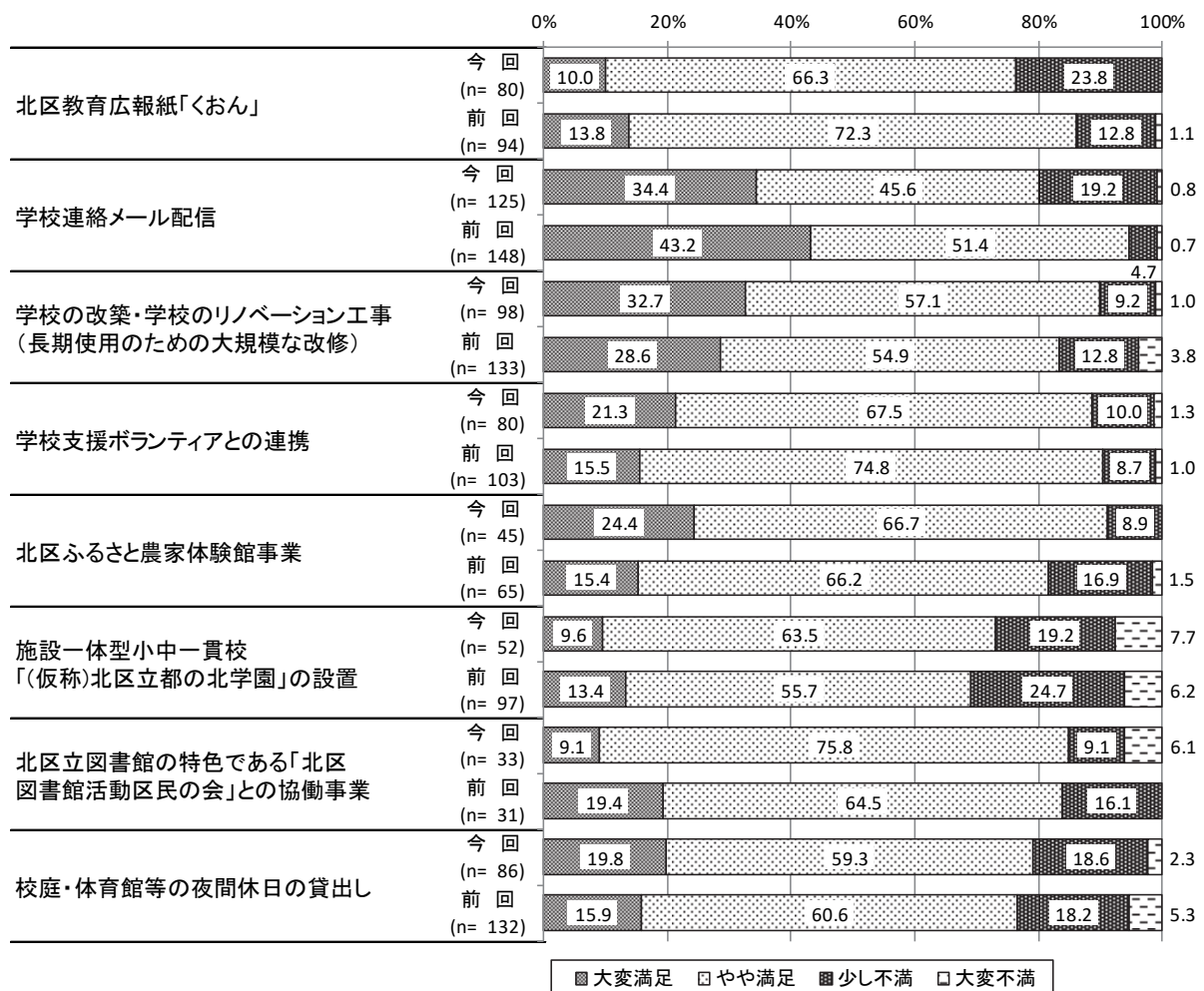
『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「北区ふるさと農家体験館事業」が91.1%と最も高く、次いで「学校の改築・学校のリノベーション工事（長期使用のための大規模な改修）」が89.8%、「学校支援ボランティアとの連携」が88.8%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「施設一体型小中一貫校『（仮称）北区立都の北学園』の設置」が26.9%と最も高く、次いで、「北区教育広報紙『くおん』」が23.8%、「校庭・体育館等の夜間休日の貸出し」が20.9%となっています。

前回調査と比較すると、『満足』は『北区ふるさと農家体験館事業』、「学校の改築・学校のリノベーション工事（長期使用のための大規模な改修）」で高くなっています。

一方、『不満』は「学校連絡メール配信」、「北区教育広報紙『くおん』」で高くなっています。

図 北区教育委員会の取り組みの満足度（中学校）



4 子どもたちが自ら未来を切り拓く力を育む取り組みについて

(1) 「個別最適な学びの充実」の取り組みの現状の満足度と今後の重要度

問 10 「個別最適な学び（子ども一人ひとりに合わせた学習）の充実」のための北区の取り組みについて、「①現状の満足度」と「②今後の重要度」をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。①は、封筒の宛名のお子さんが北区の区立小・中学校に在籍している方のみお答えください。

①現状の満足度

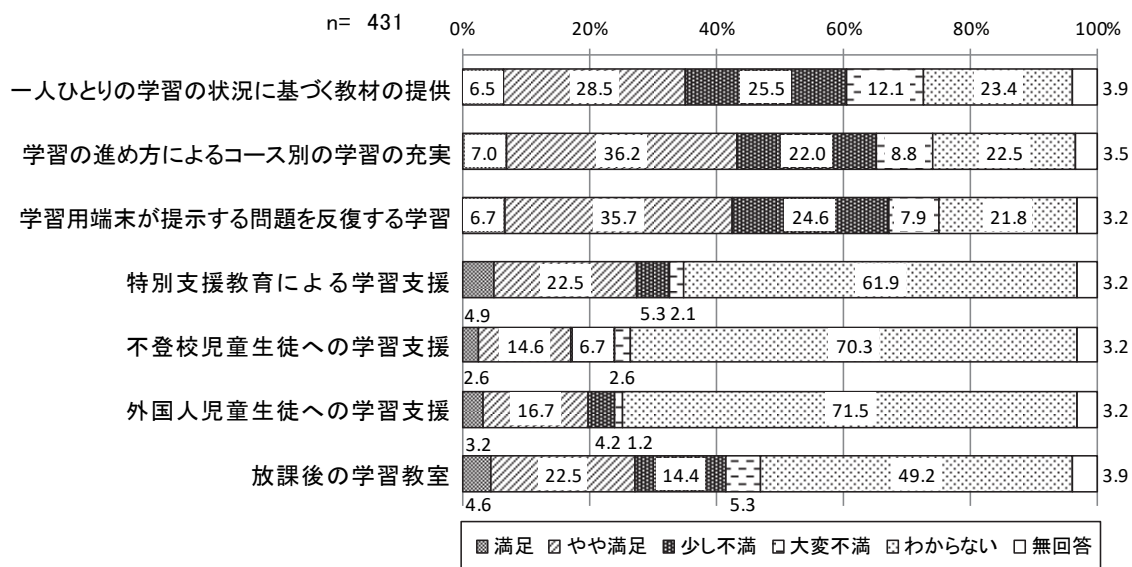
ア. 区立の小・中学校

『満足』（「満足」＋「やや満足」）という回答は、「学習の進め方によるコース別の学習の充実」が43.2%と最も高く、次いで「学習用端末が提示する問題を反復する学習」が42.4%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「一人ひとりの学習の状況に基づく教材の提供」が37.6%と最も高く、次いで、「学習用端末が提示する問題を反復する学習」が32.5%となっています。

また、「わからない」という回答は、「外国人児童生徒への学習支援」が71.5%と最も高く、次いで、「不登校児童生徒への学習支援」が70.3%、「特別支援教育による学習支援」が61.9%となっています。

図 「個別最適な学びの充実」の取り組みの現状の満足度（区立の小・中学校）



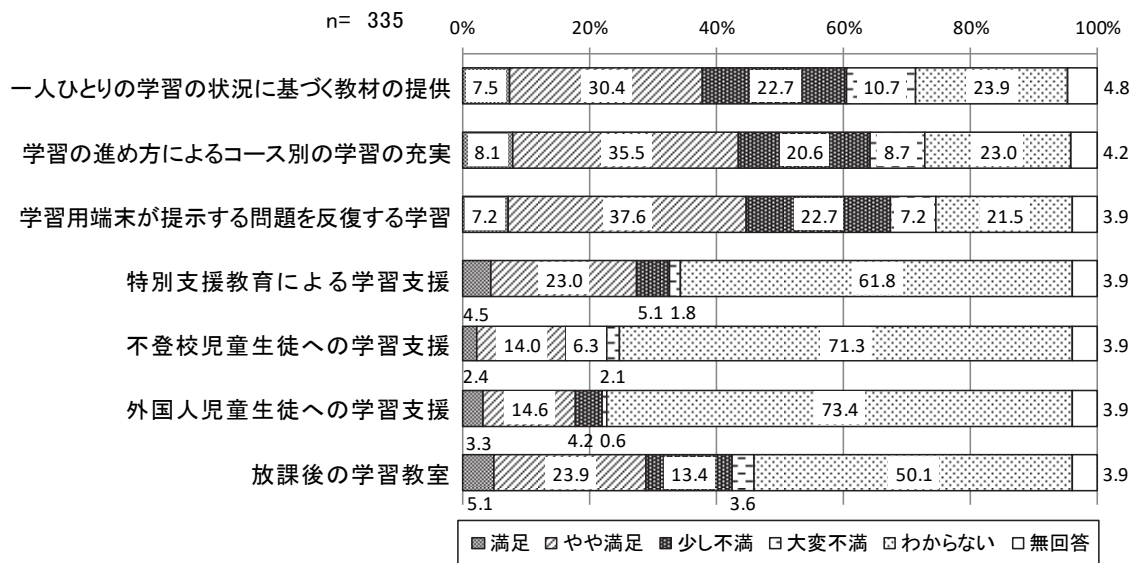
イ. 区立の小学校

『満足』（「満足」＋「やや満足」）という回答は、「学習用端末が提示する問題を反復する学習」が44.8%と最も高く、次いで「学習の進め方によるコース別の学習の充実」が43.6%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「一人ひとりの学習の状況に基づく教材の提供」が33.4%と最も高く、次いで、「学習用端末が提示する問題を反復する学習」が29.9%となっています。

また、「わからない」という回答は、「外国人児童生徒への学習支援」が73.4%と最も高く、次いで、「不登校児童生徒への学習支援」が71.3%、「特別支援教育による学習支援」が61.8%となっています。

図 「個別最適な学びの充実」の取り組みの現状の満足度（区立の小学校）



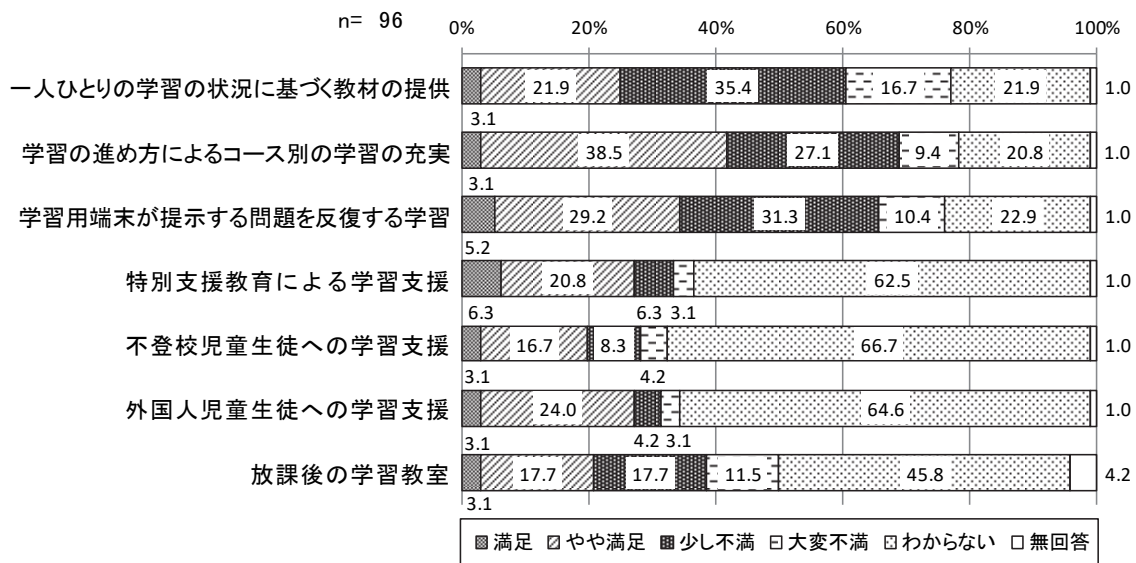
ウ. 区立の中学校

『満足』（「満足」＋「やや満足」）という回答は、「学習の進め方によるコース別の学習の充実」が41.6%と最も高く、次いで「学習用端末が提示する問題を反復する学習」が34.4%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「一人ひとりの学習の状況に基づく教材の提供」が52.1%と最も高く、次いで、「学習用端末が提示する問題を反復する学習」が41.7%となっています。

また、「わからない」という回答は、「不登校児童生徒への学習支援」が66.7%と最も高く、次いで、「外国人児童生徒への学習支援」が64.6%、「特別支援教育による学習支援」が62.5%となっています。

図 「個別最適な学びの充実」の取り組みの現状の満足度（区立の中学校）



エ. 現状の満足度の点数化

各回答者の項目ごとの満足度を以下に示す方法で点数化したうえで、各項目において回答者全体の平均点を算出した結果が下図になります。

(点数化の方法)

「現状の満足度」の評価点

「満足」 2点、「やや満足」 1点、「やや不満」 -1点、「不満」 -2点、「わからない」 0点

「現状の満足度」の平均評価点

= (「満足」と答えた人数×2点+「やや満足」と答えた人数×1点+「やや不満」と答えた人数×-1点+「不満」と答えた人数×-2点+「わからない」と答えた人数×0点) ÷ 無回答を除く全回答者数

図 「個別最適な学びの充実」の取り組みの現状の満足度（点数化：就学状況別）

		現状の満足度		
		区立の 小・中学校	区立の 小学校	区立の 中学校
1	一人ひとりの学習の状況に基づく教材の提供	-0.08	0.01	-0.41
2	学習の進め方によるコース別の学習の充実	0.11	0.14	-0.01
3	学習用端末が提示する問題を反復する学習	0.09	0.16	-0.13
4	特別支援教育による学習支援	0.24	0.24	0.21
5	不登校児童生徒への学習支援	0.08	0.09	0.06
6	外国人児童生徒への学習支援	0.17	0.16	0.20
7	放課後の学習教室	0.07	0.14	-0.17
平均		0.10	0.13	-0.04

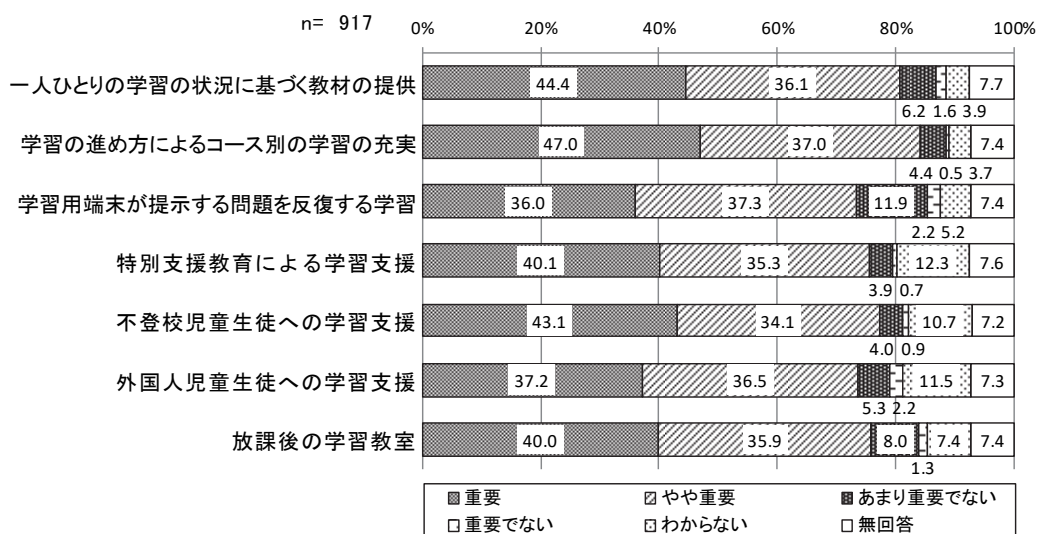
②今後の重要度

ア. 全体

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「学習の進め方によるコース別の学習の充実」が84.0%と最も高く、次いで「一人ひとりの学習の状況に基づく教材の提供」が80.5%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「学習用端末が提示する問題を反復する学習」が14.1%と最も高く、次いで、「放課後の学習教室」が9.3%となっています。

図 「個別最適な学びの充実」の取り組みの今後の重要度（全体）

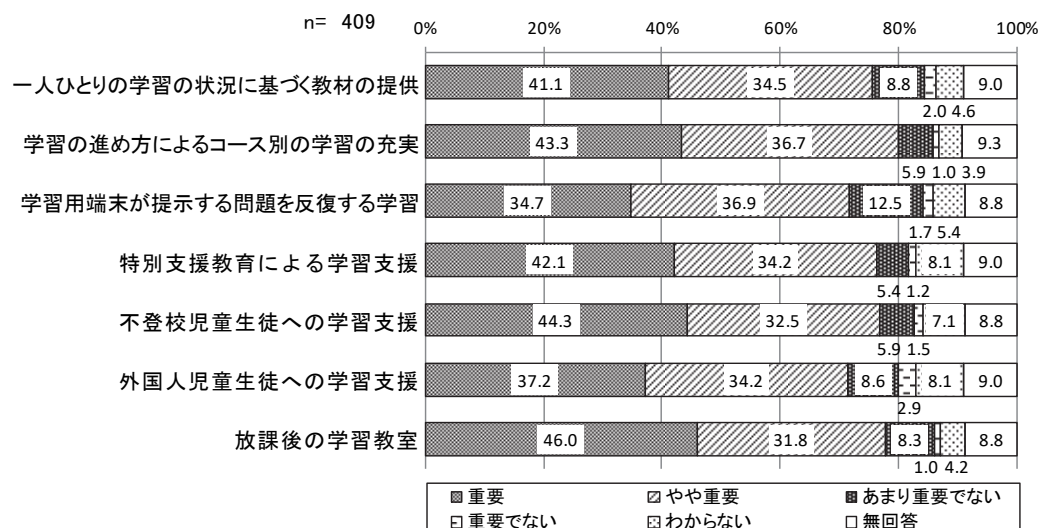


イ. 就学前

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「学習の進め方によるコース別の学習の充実」が80.0%と最も高く、次いで「放課後の学習教室」が77.8%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「学習用端末が提示する問題を反復する学習」が14.2%と最も高く、次いで、「外国人児童生徒への学習支援」が11.5%となっています。

図 「個別最適な学びの充実」の取り組みの今後の重要度（就学前）

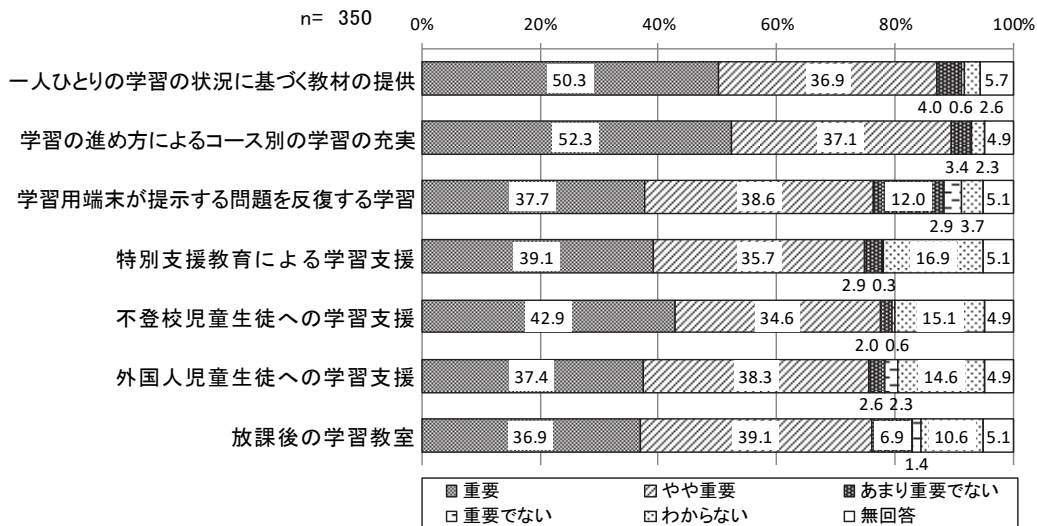


ウ. 小学校

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「学習の進め方によるコース別の学習の充実」が89.4％と最も高く、次いで「一人ひとりの学習の状況に基づく教材の提供」が87.2％となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「学習用端末が提示する問題を反復する学習」が14.9％と最も高く、次いで、「放課後の学習教室」が8.3％となっています。

図 「個別最適な学びの充実」の取り組みの今後の重要度（小学校）

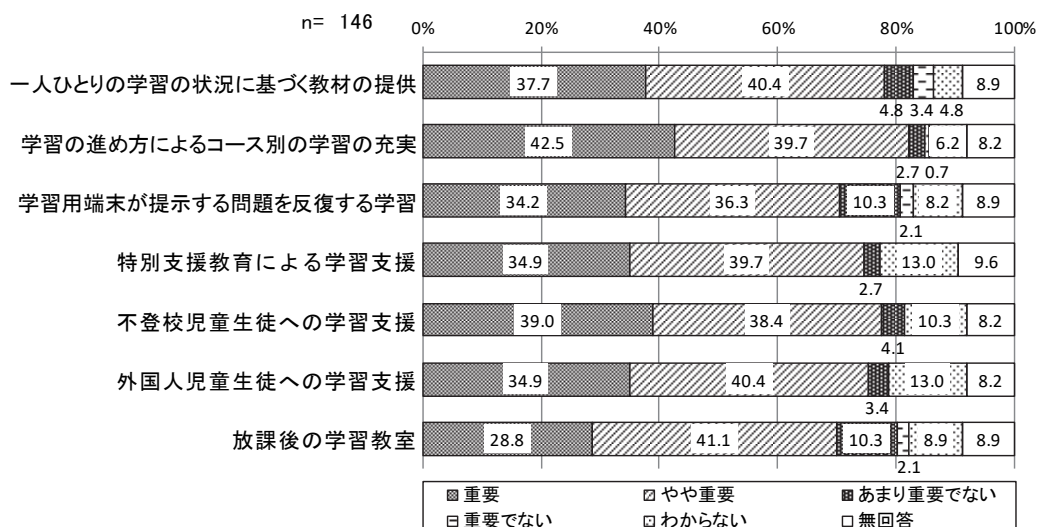


エ. 中学校

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「学習の進め方によるコース別の学習の充実」が82.2％と最も高く、次いで「一人ひとりの学習の状況に基づく教材の提供」が78.1％となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「学習用端末が提示する問題を反復する学習」と「放課後の学習教室」が12.4％と最も高くなっています。

図 「個別最適な学びの充実」の取り組みの今後の重要度（中学校）



オ. 今後の重要度の点数化

各回答者の項目ごとの重要度を以下に示す方法で点数化したうえで、各項目において回答者全体の平均点を算出した結果が下図になります。

(点数化の方法)

「今後の重要度」の評価点

「重要」 2点、「やや重要」 1点、「あまり重要でない」 - 1点、「重要でない」 - 2点、「わからない」 0点

「今後の重要度」の平均評価点

= (「重要」と答えた人数×2点+「やや重要」と答えた人数×1点+「あまり重要でない」と答えた人数×-1点+「重要でない」と答えた人数×-2点+「わからない」と答えた人数×0点) ÷無回答を除く全回答者数

図 「個別最適な学びの充実」の取り組みの今後の重要度（点数化：就学状況別）

		今後の重要度			
		全体	就学状況別		
			就学前	小学校	中学校
1	一人ひとりの学習の状況に基づく教材の提供	1.25	1.14	1.40	1.14
2	学習の進め方によるコース別の学習の充実	1.36	1.27	1.45	1.31
3	学習用端末が提示する問題を反復する学習	1.00	0.99	1.02	0.99
4	特別支援教育による学習支援	1.19	1.22	1.17	1.18
5	不登校児童生徒への学習支援	1.23	1.23	1.23	1.22
6	外国人児童生徒への学習支援	1.09	1.03	1.11	1.16
7	放課後の学習教室	1.14	1.24	1.09	0.92
平均		1.18	1.16	1.21	1.13

③現状の満足度と今後の重要度の相関

施策の満足度と重要度について、それぞれの平均値（満足度 0.10、重要度 1.18）を基準として、「A：満足度は低いが、重要度は高い」「B：満足度・重要度がともに高い」「C：満足度・重要度がともに低い」「D：満足度は高いが、重要度は低い」の4つの領域に分けています。

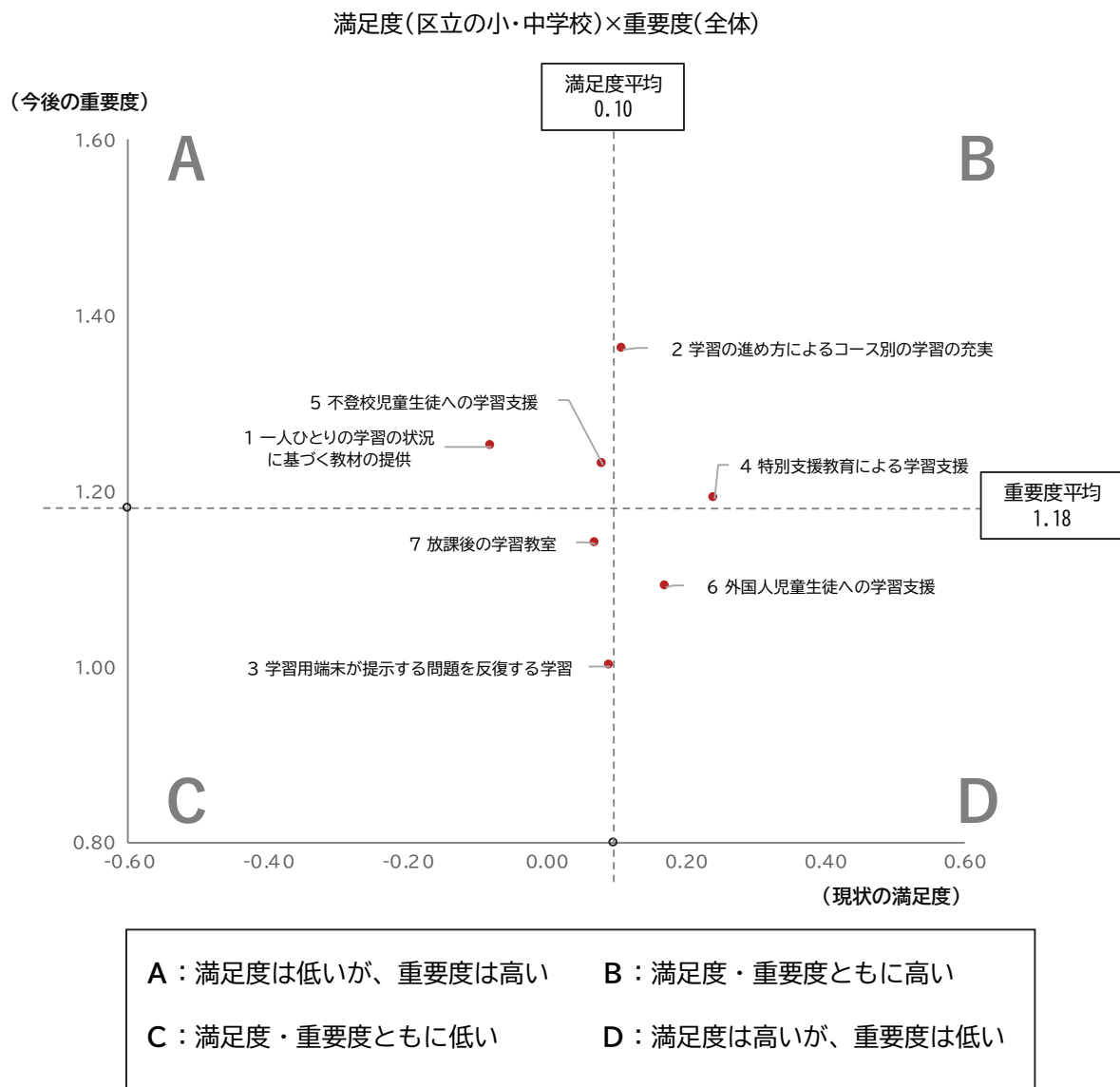
満足度は低いが、重要度は高いA領域には、「1 一人ひとりの学習の状況に基づく教材の提供」「5 不登校児童生徒への学習支援」が位置付けられます。

満足度・重要度がともに高いB領域には「2 学習の進め方によるコース別の学習の充実」「4 特別支援教育による学習支援」が位置付けられます。

満足度・重要度がともに低いC領域には「3 学習用端末が提示する問題を反復する学習」「7 放課後の学習教室」が位置付けられます。

満足度は高いが、重要度は低いD領域には「6 外国人児童生徒への学習支援」が位置づけられます。

図 「個別最適な学びの充実」の取り組みの現状の満足度と今後の重要度の相関



(2) 「協働的な学びの充実」の取り組みの現状の満足度と今後の重要度

問 11 「協働的な学び（他の人とともに力を高め合う学習）の充実」のための北区の取り組みについて、「①現状の満足度」と「②今後の重要度」をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。①は、封筒の宛名のお子さんが北区の区立小・中学校に在籍している方のみお答えください。

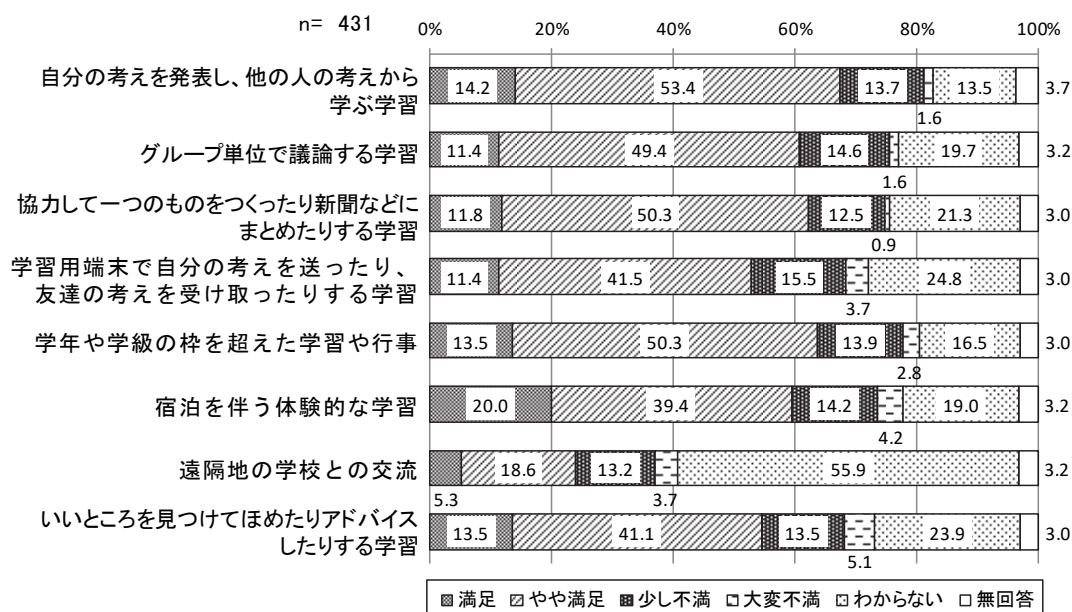
①現状の満足度

ア. 区立の小・中学校

『満足』（「満足」＋「やや満足」）という回答は、「自分の考えを発表し、他の人の考えから学ぶ学習」が67.6%と最も高く、次いで「学年や学級の枠を超えた学習や行事」が63.8%、「協力して一つのものをつくったり新聞などにまとめたりする学習」が62.1%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「学習用端末で自分の考えを送ったり、友達の考えを受け取ったりする学習」が19.2%と最も高く、次いで、「いいところを見つけてほめたりアドバイスしたりする学習」が18.6%、「宿泊を伴う体験的な学習」が18.4%となっています。

図 「協働的な学びの充実」の取り組みの現状の満足度（区立の小・中学校）

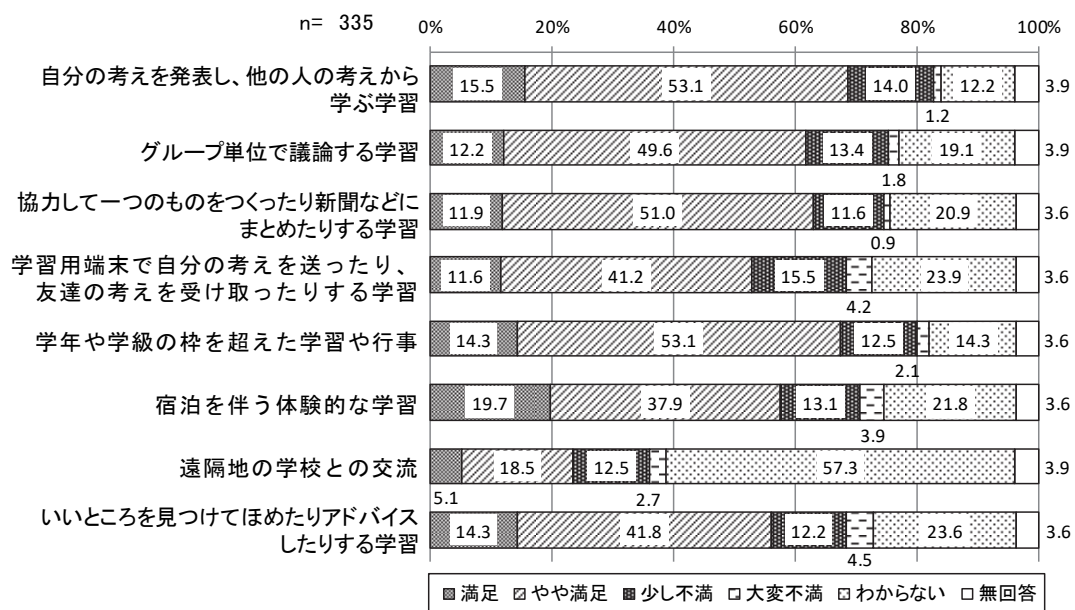


イ. 区立の小学校

『満足』（「満足」＋「やや満足」）という回答は、「自分の考えを発表し、他の人の考えから学ぶ学習」が68.6%と最も高く、次いで「学年や学級の枠を超えた学習や行事」が67.4%、「協力して一つのものをつくったり新聞などにまとめたりする学習」が62.9%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「学習用端末で自分の考えを送ったり、友達の考えを受け取ったりする学習」が19.7%と最も高く、次いで、「宿泊を伴う体験的な学習」が17.0%、「いいところを見つけてほめたりアドバイスしたりする学習」が16.7%となっています。

図 「協働的な学びの充実」の取り組みの現状の満足度（区立の小学校）

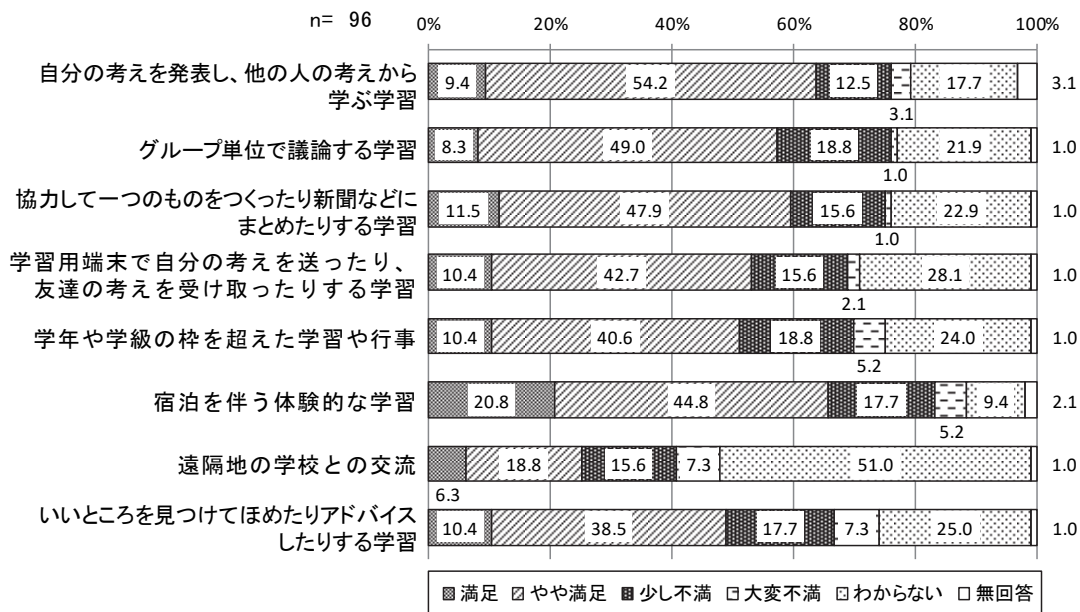


ウ. 区立の中学校

『満足』（「満足」＋「やや満足」）という回答は、「宿泊を伴う体験的な学習」が65.6%と最も高く、次いで「自分の考えを発表し、他の人の考えから学ぶ学習」が63.6%、「協力して一つのものをつくったり新聞などにまとめたりする学習」が59.4%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「いいところを見つけてほめたりアドバイスしたりする学習」が25.0%と最も高く、次いで、「学年や学級の枠を超えた学習や行事」が24.0%、「宿泊を伴う体験的な学習」と「遠隔地の学校との交流」が22.9%となっています。

図 「協働的な学びの充実」の取り組みの現状の満足度（区立の中学校）



エ. 現状の満足度の点数化

各回答者の項目ごとの満足度を以下に示す方法で点数化したうえで、各項目において回答者全体の平均点を算出した結果が下図になります。

(点数化の方法)

「現状の満足度」の評価点

「満足」 2点、「やや満足」 1点、「やや不満」 -1点、「不満」 -2点、「わからない」 0点

「現状の満足度」の平均評価点

= (「満足」と答えた人数×2点+「やや満足」と答えた人数×1点+「やや不満」と答えた人数×-1点+「不満」と答えた人数×-2点+「わからない」と答えた人数×0点) ÷ 無回答を除く全回答者数

図 「協働的な学びの充実」の取り組みの現状の満足度（点数化：就学状況別）

		現状の満足度		
		区立の 小・中学校	区立の 小学校	区立の 中学校
1	自分の考えを発表し、他の人の考えから学ぶ学習	0.67	0.70	0.56
2	グループ単位で議論する学習	0.56	0.59	0.45
3	協力して一つのものをつくったり新聞などにまとめたりする学習	0.61	0.64	0.54
4	学習用端末で自分の考えを送ったり、友達の考えを受け取ったりする学習	0.43	0.42	0.44
5	学年や学級の枠を超えた学習や行事	0.60	0.67	0.33
6	宿泊を伴う体験的な学習	0.59	0.59	0.60
7	遠隔地の学校との交流	0.09	0.11	0.01
8	いいところを見つけてほめたりアドバイスしたりする学習	0.46	0.51	0.27
平均		0.50	0.53	0.40

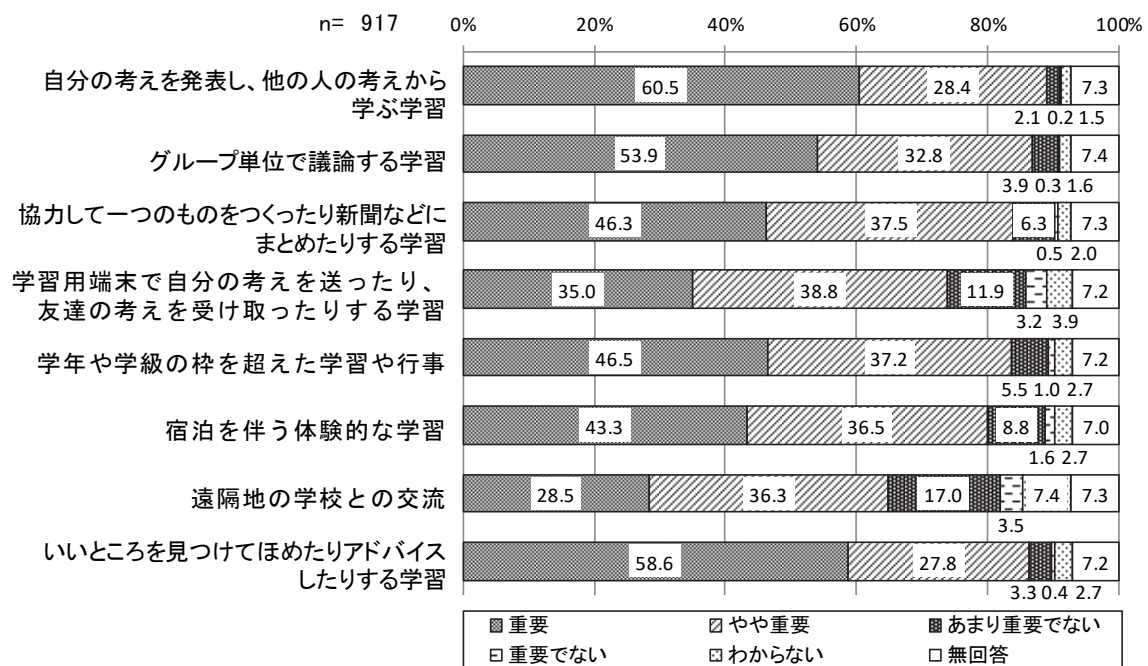
②今後の重要度

ア. 全体

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「自分の考えを発表し、他の人の考えから学ぶ学習」が88.9%と最も高く、次いで「グループ単位で議論する学習」が86.7%、「いいところを見つけてほめたりアドバイスしたりする学習」が86.4%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「遠隔地の学校との交流」が20.5%と最も高く、次いで、「学習用端末で自分の考えを送ったり、友達の考えを受け取ったりする学習」が15.1%となっています。

図 「協働的な学びの充実」の取り組みの今後の重要度（全体）

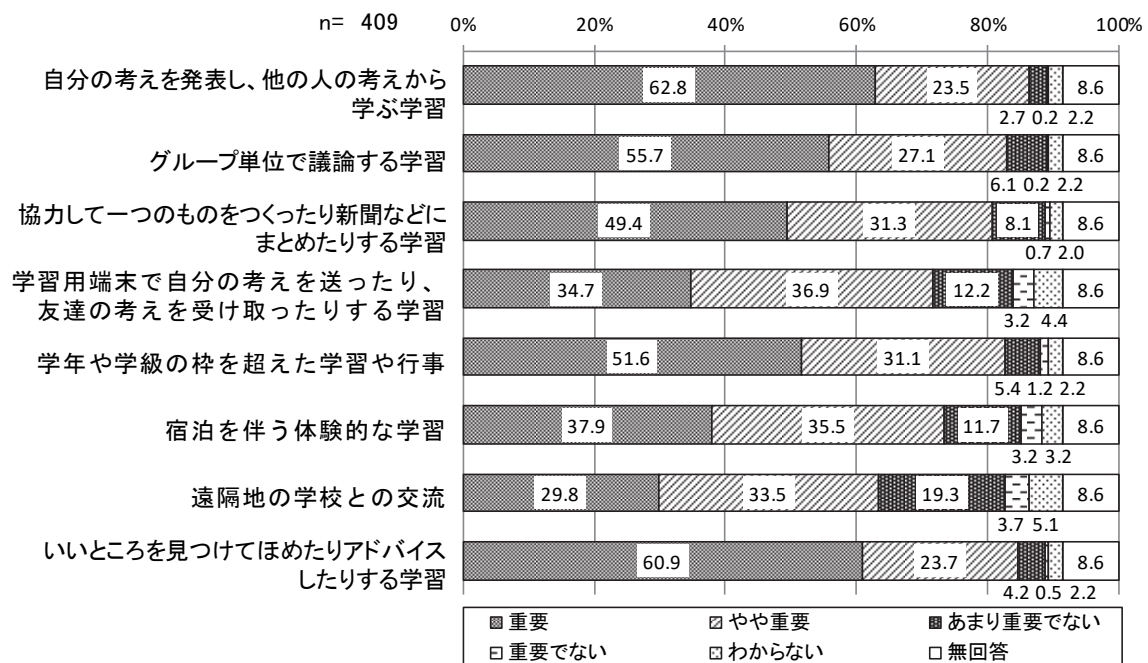


イ. 就学前

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「自分の考えを発表し、他の人の考えから学ぶ学習」が86.3%と最も高く、次いで「いいところを見つけてほめたりアドバイスしたりする学習」が84.6%、「グループ単位で議論する学習」が82.8%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「遠隔地の学校との交流」が23.0%と最も高く、次いで、「学習用端末で自分の考えを送ったり、友達の考えを受け取ったりする学習」が15.4%となっています。

図 「協働的な学びの充実」の取り組みの今後の重要度（就学前）

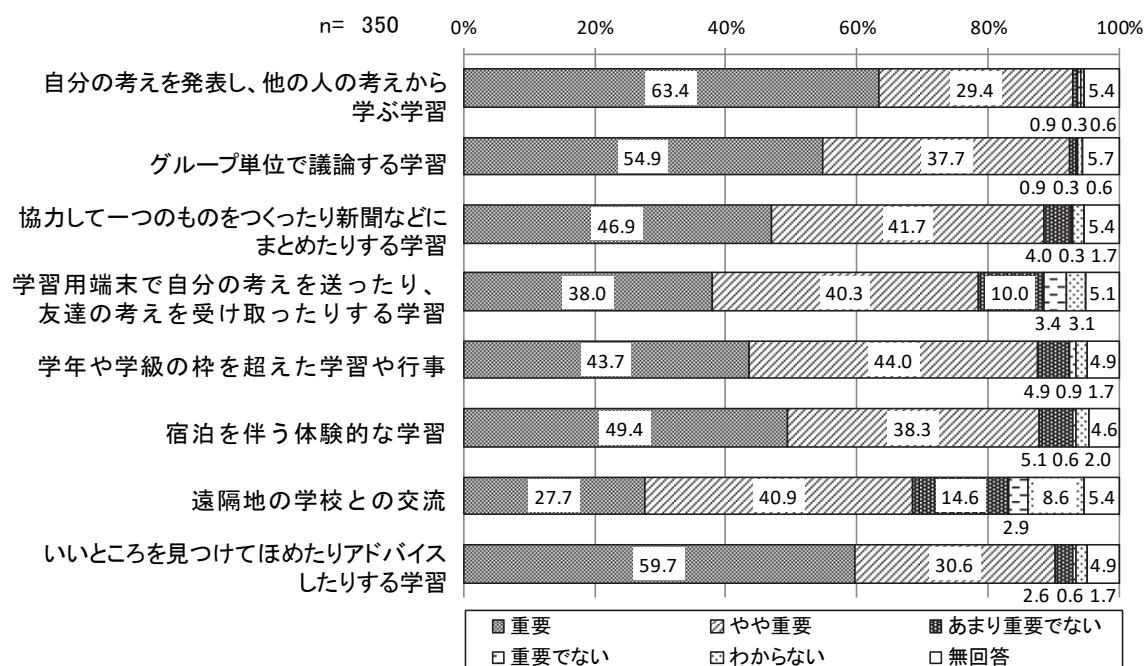


ウ. 小学校

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「自分の考えを発表し、他の人の考えから学ぶ学習」が92.8%と最も高く、次いで「グループ単位で議論する学習」が92.6%、「いいところを見つけてほめたりアドバイスしたりする学習」が90.3%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「遠隔地の学校との交流」が17.5%と最も高く、次いで、「学習用端末で自分の考えを送ったり、友達の考えを受け取ったりする学習」が13.4%となっています。

図 「協働的な学びの充実」の取り組みの今後の重要度（小学校）

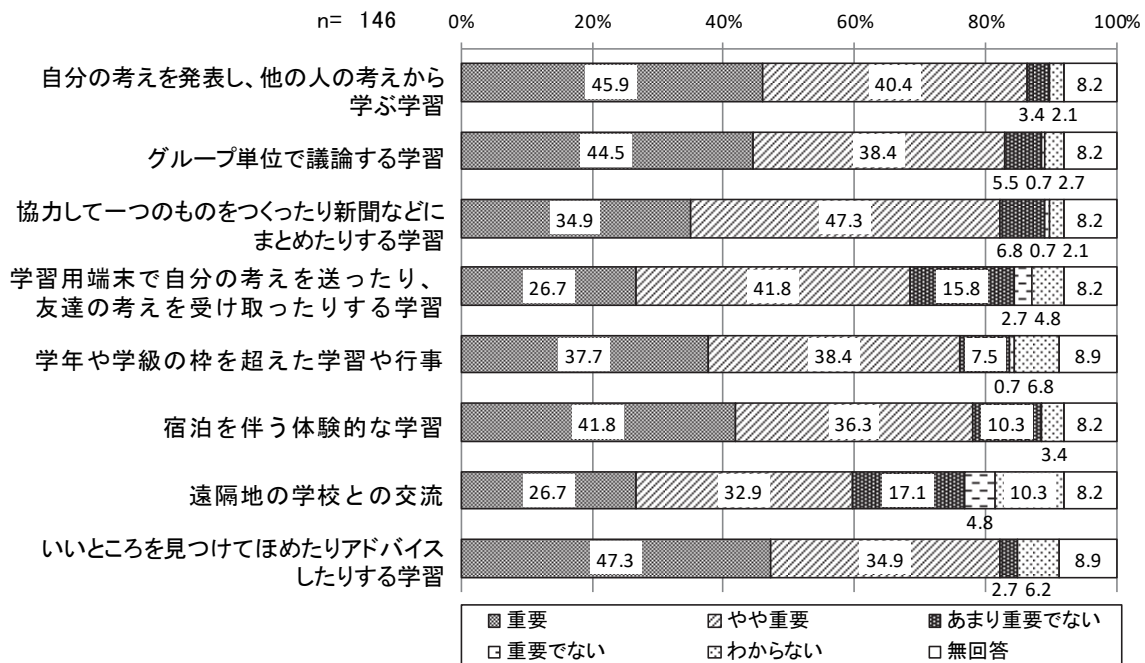


エ. 中学校

『重要』（「重要」＋「やや重要」）という回答は、「自分の考えを発表し、他の人の考えから学ぶ学習」が86.3%と最も高く、次いで「グループ単位で議論する学習」が82.9%、「協力して一つのものをつくったり新聞などにまとめたりする学習」と「いいところを見つけてほめたりアドバイスしたりする学習」が82.2%となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）という回答は、「遠隔地の学校との交流」が21.9%と最も高く、次いで、「学習用端末で自分の考えを送ったり、友達の考えを受け取ったりする学習」が18.5%となっています。

図 「協働的な学びの充実」の取り組みの今後の重要度（中学校）



オ. 今後の重要度の点数化

各回答者の項目ごとの重要度を以下に示す方法で点数化したうえで、各項目において回答者全体の平均点を算出した結果が下図になります。

(点数化の方法)

「今後の重要度」の評価点

「重要」 2点、「やや重要」 1点、「あまり重要でない」 -1点、「重要でない」 -2点、「わからない」 0点

「今後の重要度」の平均評価点

= (「重要」と答えた人数×2点+「やや重要」と答えた人数×1点+「あまり重要でない」と答えた人数×-1点+「重要でない」と答えた人数×-2点+「わからない」と答えた人数×0点) ÷無回答を除く全回答者数

図 「協働的な学びの充実」の取り組みの今後の重要度（点数化：就学状況別）

		今後の重要度			
		全体	就学状況別		
	就学前		小学校	中学校	
1	自分の考えを発表し、他の人の考えから学ぶ学習	1.58	1.60	1.64	1.40
2	グループ単位で議論する学習	1.47	1.44	1.55	1.31
3	協力して一つのものをつくったり新聞などにまとめたりする学習	1.32	1.32	1.38	1.19
4	学習用端末で自分の考えを送ったり、友達の考えを受け取ったりする学習	0.98	0.96	1.05	0.81
5	学年や学級の枠を超えた学習や行事	1.32	1.38	1.31	1.15
6	宿泊を伴う体験的な学習	1.19	1.02	1.37	1.19
7	遠隔地の学校との交流	0.75	0.73	0.80	0.65
8	いいところを見つけてほめたりアドバイスしたりする学習	1.52	1.53	1.54	1.39
平均		1.27	1.25	1.33	1.14

③現状の満足度と今後の重要度の相関

施策の満足度と重要度について、それぞれの平均値（満足度 0.50、重要度 1.27）を基準として、「A：満足度は低いが、重要度は高い」「B：満足度・重要度がともに高い」「C：満足度・重要度がともに低い」「D：満足度は高いが、重要度は低い」の4つの領域に分けています。

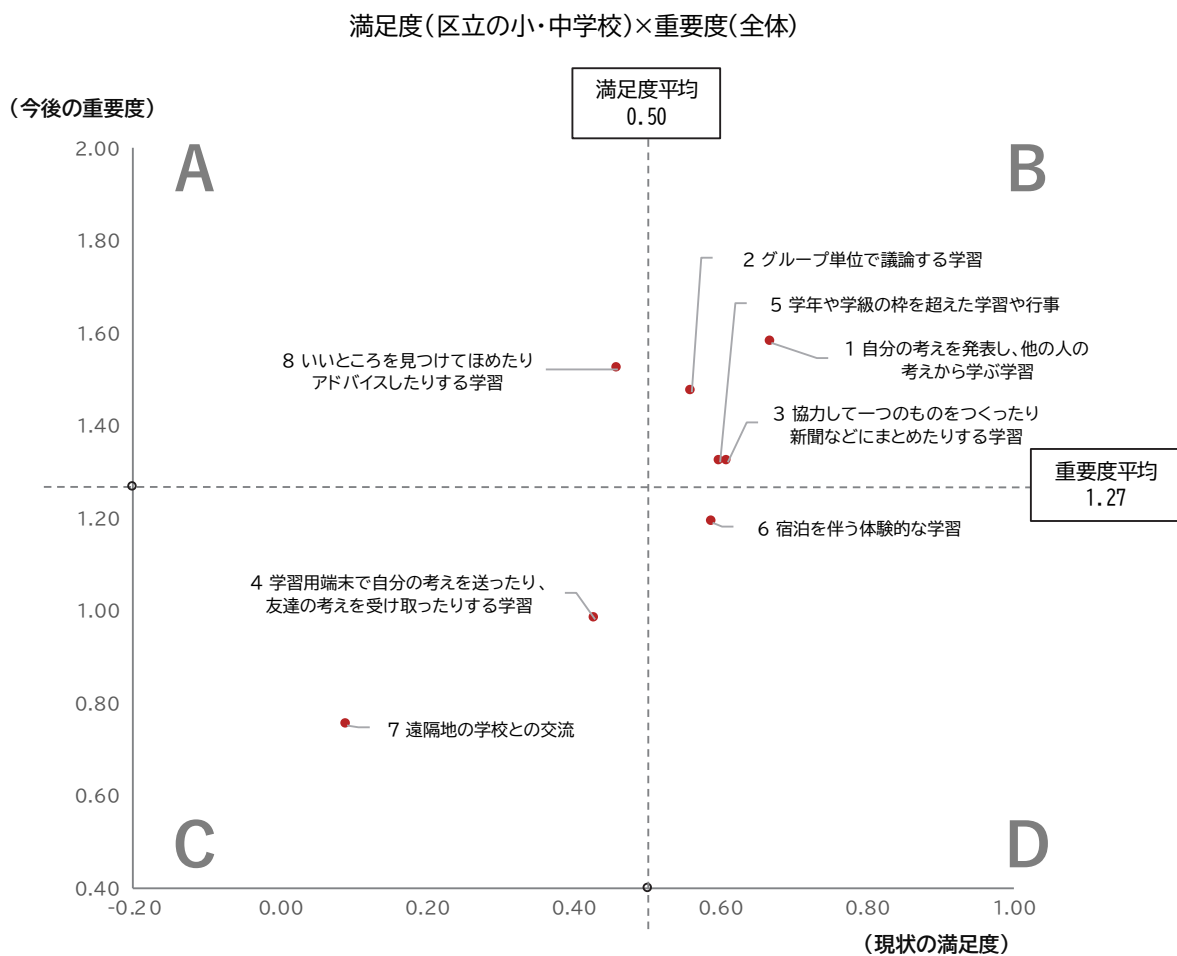
満足度は低いが、重要度は高いA領域には、「8 いいところを見つけてほめたりアドバイスしたりする学習」が位置付けられます。

満足度・重要度がともに高いB領域には「1 自分の考えを発表し、他の人の考えから学ぶ学習」「2 グループ単位で議論する学習」「3 協力して一つのものをつくったり新聞などにまとめたりする学習」「5 学年や学級の枠を超えた学習や行事」が位置付けられます。

満足度・重要度がともに低いC領域には「4 学習用端末で自分の考えを送ったり、友達の考えを受け取ったりする学習」「7 遠隔地の学校との交流」などが位置付けられます。

満足度は高いが、重要度は低いD領域には「6 宿泊を伴う体験的な学習」が位置づけられます。

図 「協働的な学びの充実」の取り組みの現状の満足度と今後の重要度の相関



A：満足度は低いが、重要度は高い	B：満足度・重要度ともに高い
C：満足度・重要度ともに低い	D：満足度は高いが、重要度は低い

5 就学前教育について

(1) 家庭で子どもに身に付けさせるべきこと

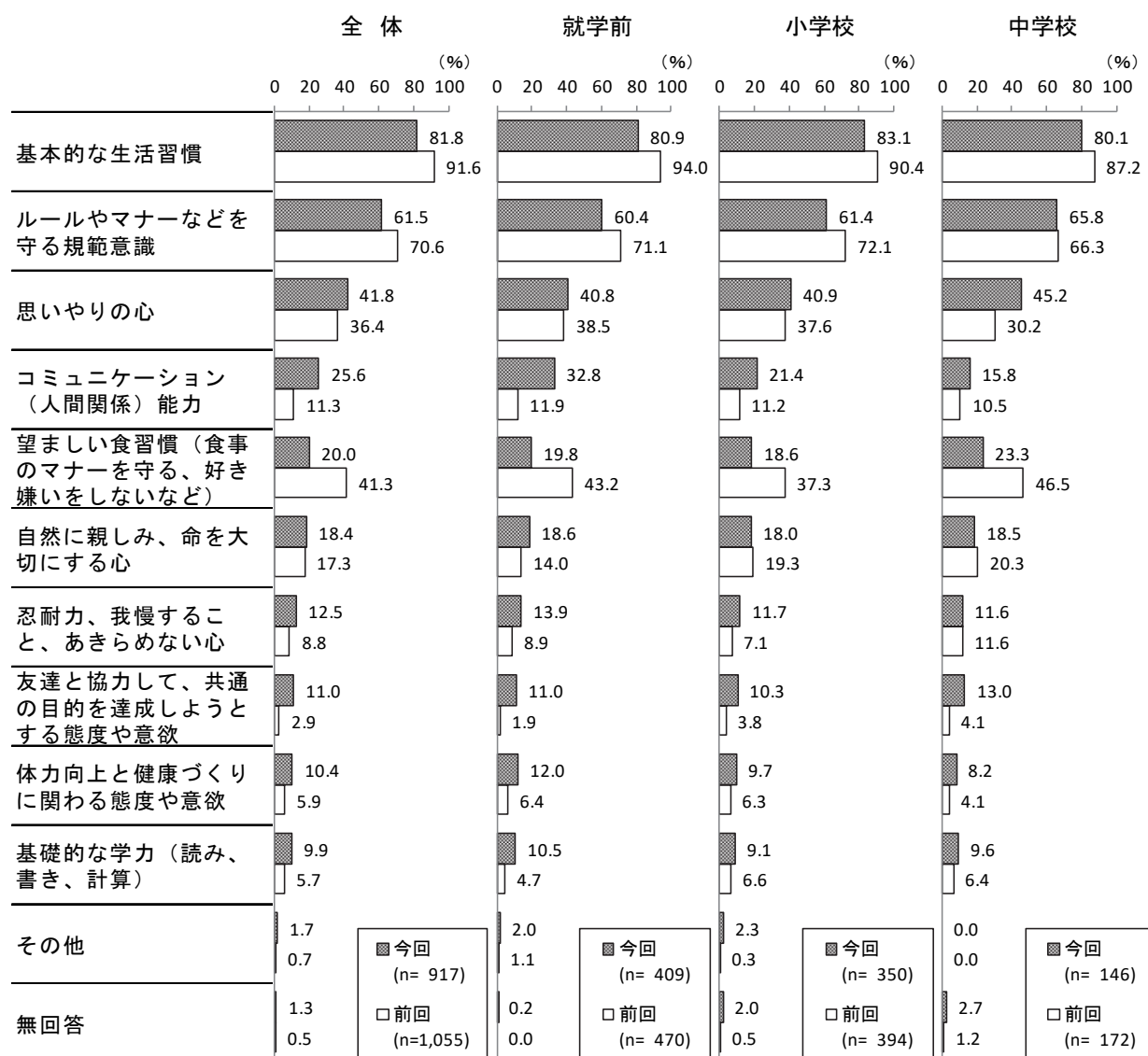
問 12 家庭では、就学前、特に何を子どもに身につけさせるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「基本的な生活習慣」が 81.8%と最も高く、次いで「ルールやマナーなどを守る規範意識」が 61.5%、「思いやりの心」が 41.8%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「コミュニケーション(人間関係)能力」は就学前が小学校、中学校より高くなっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も「思いやりの心」、「コミュニケーション(人間関係)能力」が高くなっています。一方で、「基本的な生活習慣」、「ルールやマナーなどを守る規範意識」、「望ましい食習慣(食事のマナーを守る、好き嫌いをしないなど)」は低くなっています。

図 家庭で子どもに身に付けさせるべきこと



(2) 幼稚園・保育園・こども園で子どもに身に付けさせるべきこと

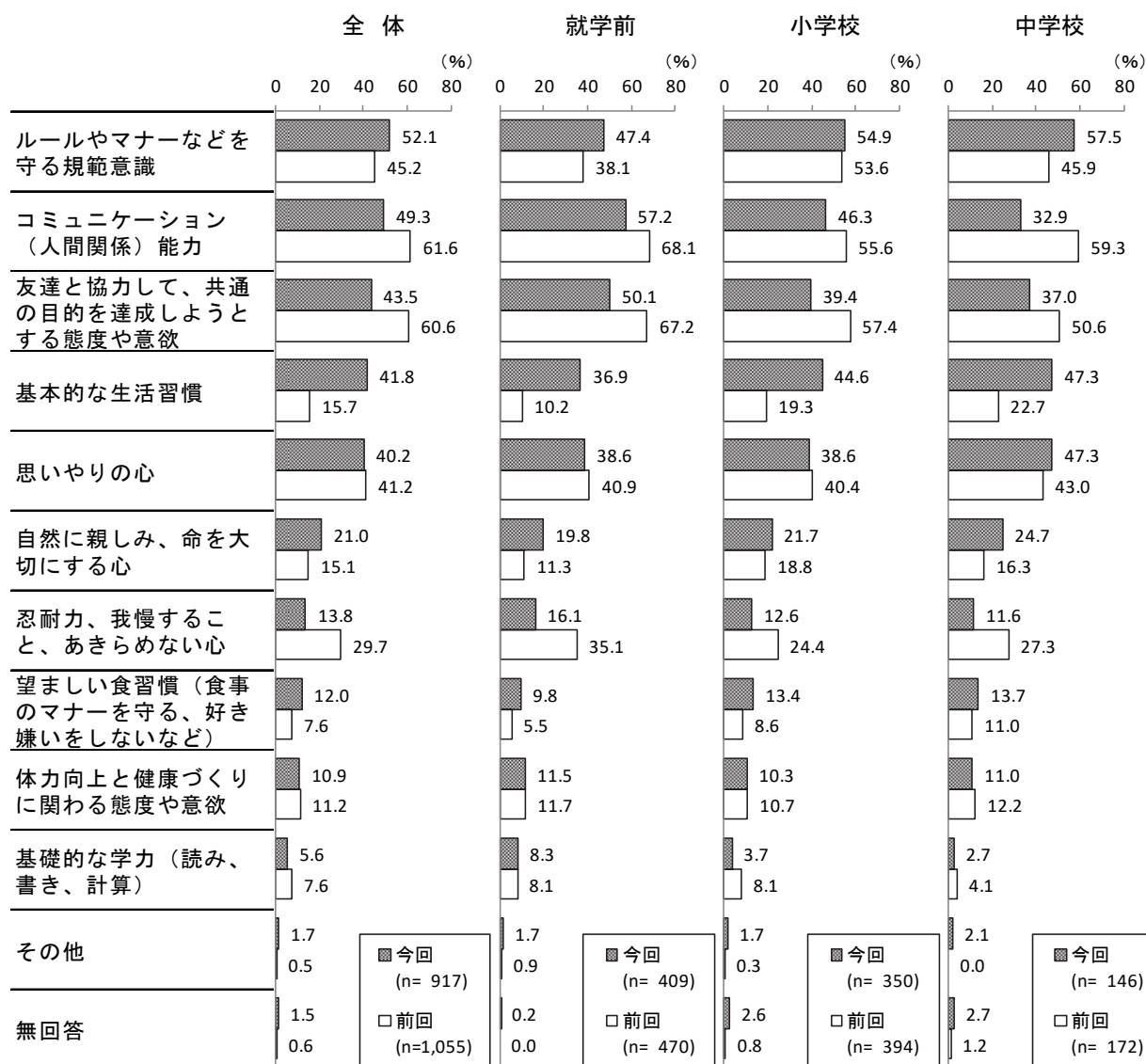
問 13 幼稚園・保育園・こども園では、特に何を子どもに身につけさせるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「ルールやマナーなどを守る規範意識」が 52.1%と最も高く、次いで「コミュニケーション（人間関係）能力」が 49.3%、「友達と協力して、共通の目的を達成しようとする態度や意欲」が 43.5%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「コミュニケーション（人間関係）能力」と「友達と協力して、共通の目的を達成しようとする態度や意欲」は就学前が小学校、中学校より高くなっています。

前回調査と比較すると、どの就学先も「ルールやマナーなどを守る規範意識」、「基本的な生活習慣」、「自然に親しみ、命を大切にすること」が高くなっています。一方で、「コミュニケーション（人間関係）能力」、「友達と協力して、共通の目的を達成しようとする態度や意欲」、「忍耐力、我慢すること、あきらめない心」は低くなっています。

図 幼稚園・保育園・こども園で子どもに身に付けさせるべきこと



6 義務教育について

(1) ICTを活用した授業及び家庭学習の満足度

問 14 封筒の宛名のお子さんが、北区の区立小・中学校に在籍している方のみお答えください。

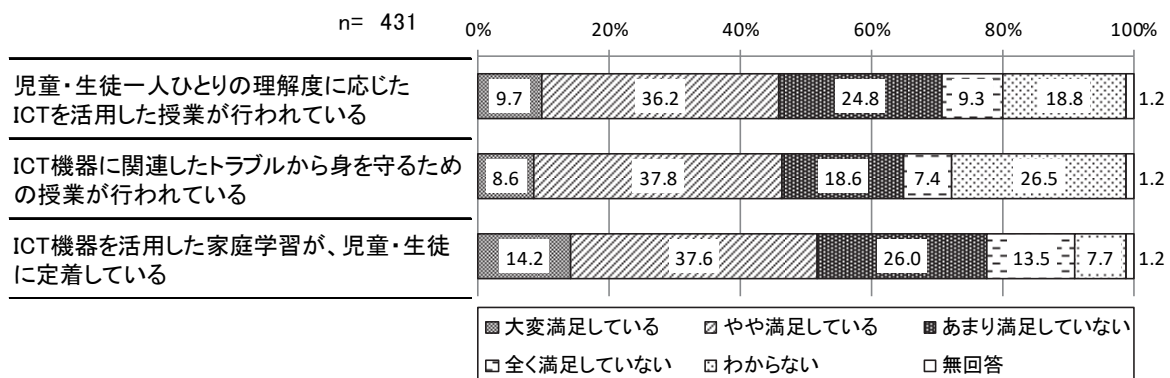
封筒の宛名のお子さんが在籍している学校で実施されているICT（※）を活用した授業及び家庭学習について、次の項目をどの程度評価できますか。（それぞれの項目で○は1つ）

※ICT：一人1台の学習用端末、電子黒板機能付きプロジェクター、授業支援・ドリル教材等各種ソフトウェア、デジタル教科書など

①区立の小・中学校

『満足している』（「大変満足している」＋「やや満足している」）という回答は、「ICT機器を活用した家庭学習が、児童・生徒に定着している」が51.8%と最も高く、次いで「ICT機器に関連したトラブルから身を守るための授業が行われている」が46.4%、「児童・生徒一人ひとりの理解度に応じたICTを活用した授業が行われている」が45.9%となっています。

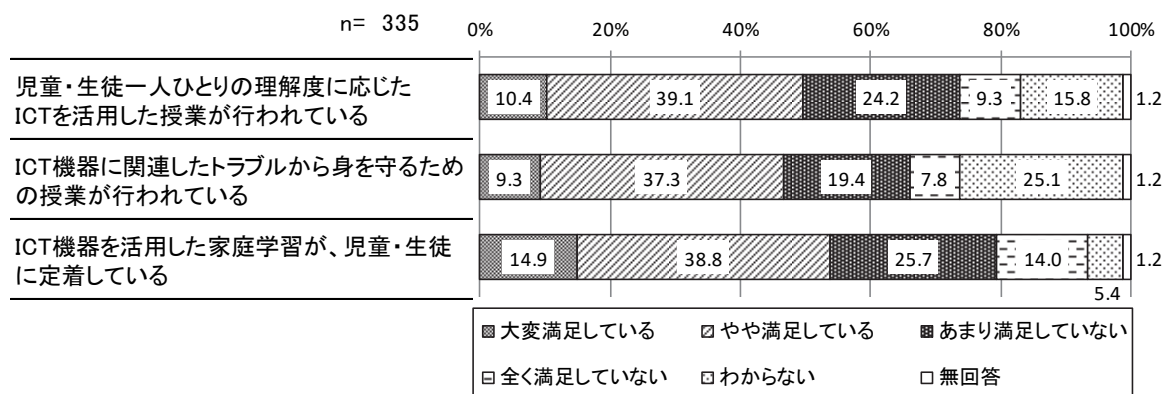
図 ICTを活用した授業及び家庭学習の満足度（区立の小・中学校）



②区立の小学校

『満足している』（「大変満足している」＋「やや満足している」）という回答は、「ICT 機器を活用した家庭学習が、児童・生徒に定着している」が 53.7%と最も高く、次いで「児童・生徒一人ひとりの理解度に応じた ICT を活用した授業が行われている」が 49.5%、「ICT 機器に関連したトラブルから身を守るための授業が行われている」が 46.6%となっています。

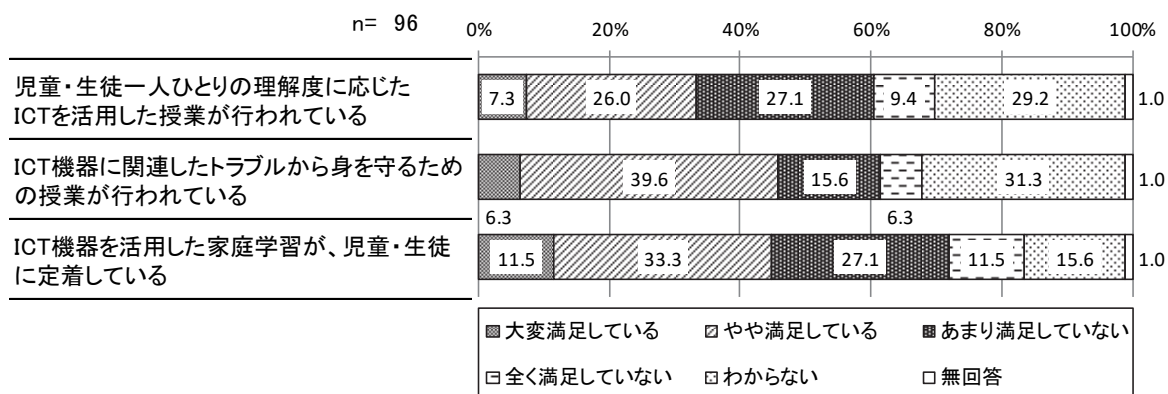
図 ICTを活用した授業及び家庭学習の満足度（区立の小学校）



③区立の中学校

『満足している』（「大変満足している」＋「やや満足している」）という回答は、「ICT 機器に関連したトラブルから身を守るための授業が行われている」が 45.9%と最も高く、次いで「ICT 機器を活用した家庭学習が、児童・生徒に定着している」が 44.8%、「児童・生徒一人ひとりの理解度に応じた ICT を活用した授業が行われている」が 33.3%となっています。

図 ICTを活用した授業及び家庭学習の満足度（区立の中学校）



(2) ICTを活用した授業及び家庭学習に期待すること

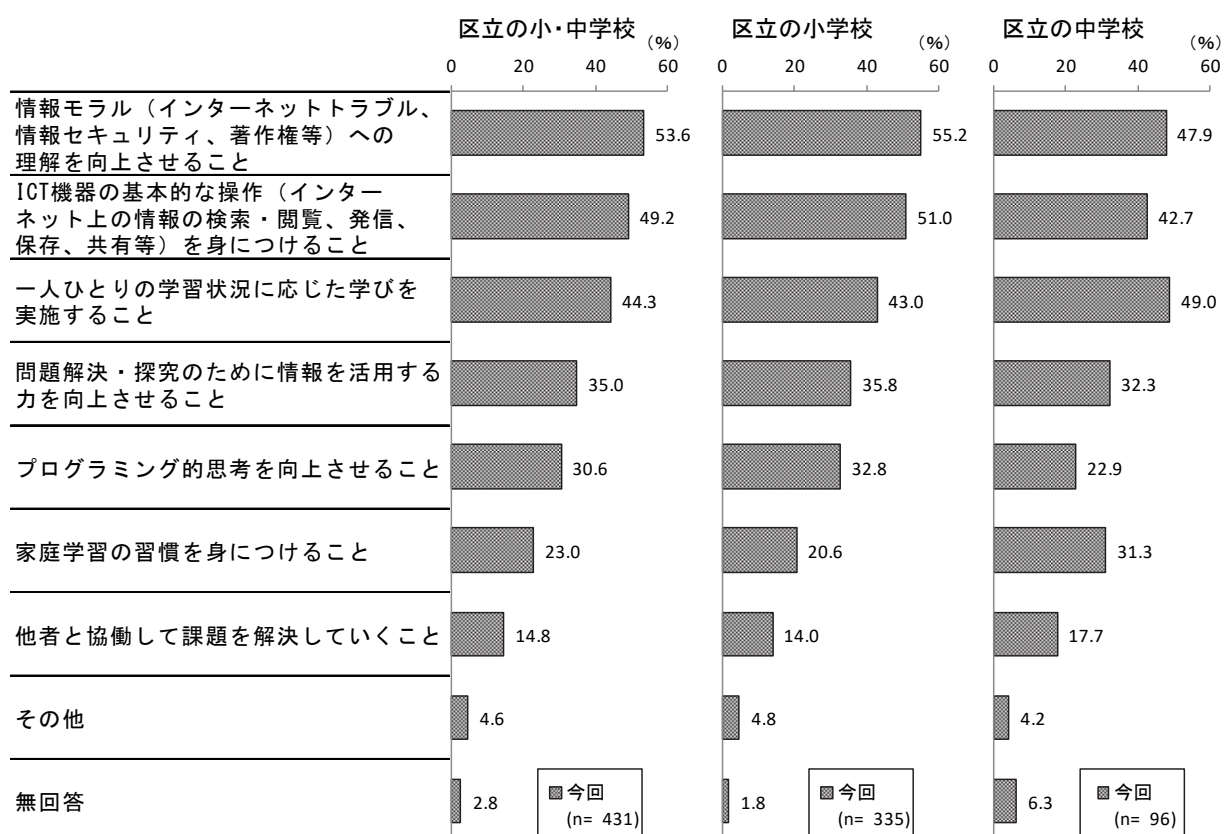
問 15 封筒の宛名のお子さんが、北区の区立小・中学校に在籍している方のみお答えください。

封筒の宛名のお子さんが在籍している学校で実施されている ICT を活用した授業または家庭学習に期待することは何ですか。(〇は3つまで)

区立の小・中学校では、「情報モラル（インターネットトラブル、情報セキュリティ、著作権等）への理解を向上させること」が 53.6%と最も高く、次いで「ICT 機器の基本的な操作（インターネット上の情報の検索・閲覧、発信、保存、共有等）を身につけること」が 49.2%、「一人ひとりの学習状況に応じた学びを実施すること」が 44.3%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「情報モラル（インターネットトラブル、情報セキュリティ、著作権等）への理解を向上させること」、「ICT 機器の基本的な操作（インターネット上の情報の検索・閲覧、発信、保存、共有等）を身につけること」、「プログラミング的思考を向上させること」は区立の小学校が高くなっています。「一人ひとりの学習状況に応じた学びを実施すること」、「家庭学習の習慣を身につけること」は区立の中学校が高くなっています。

図 ICTを活用した授業及び家庭学習に期待すること



(3) 学校の評価

問 16 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。

封筒の宛名のお子さんが在籍している学校に関して、次の項目をどの程度評価できますか。
(それぞれの項目で○は1つ)

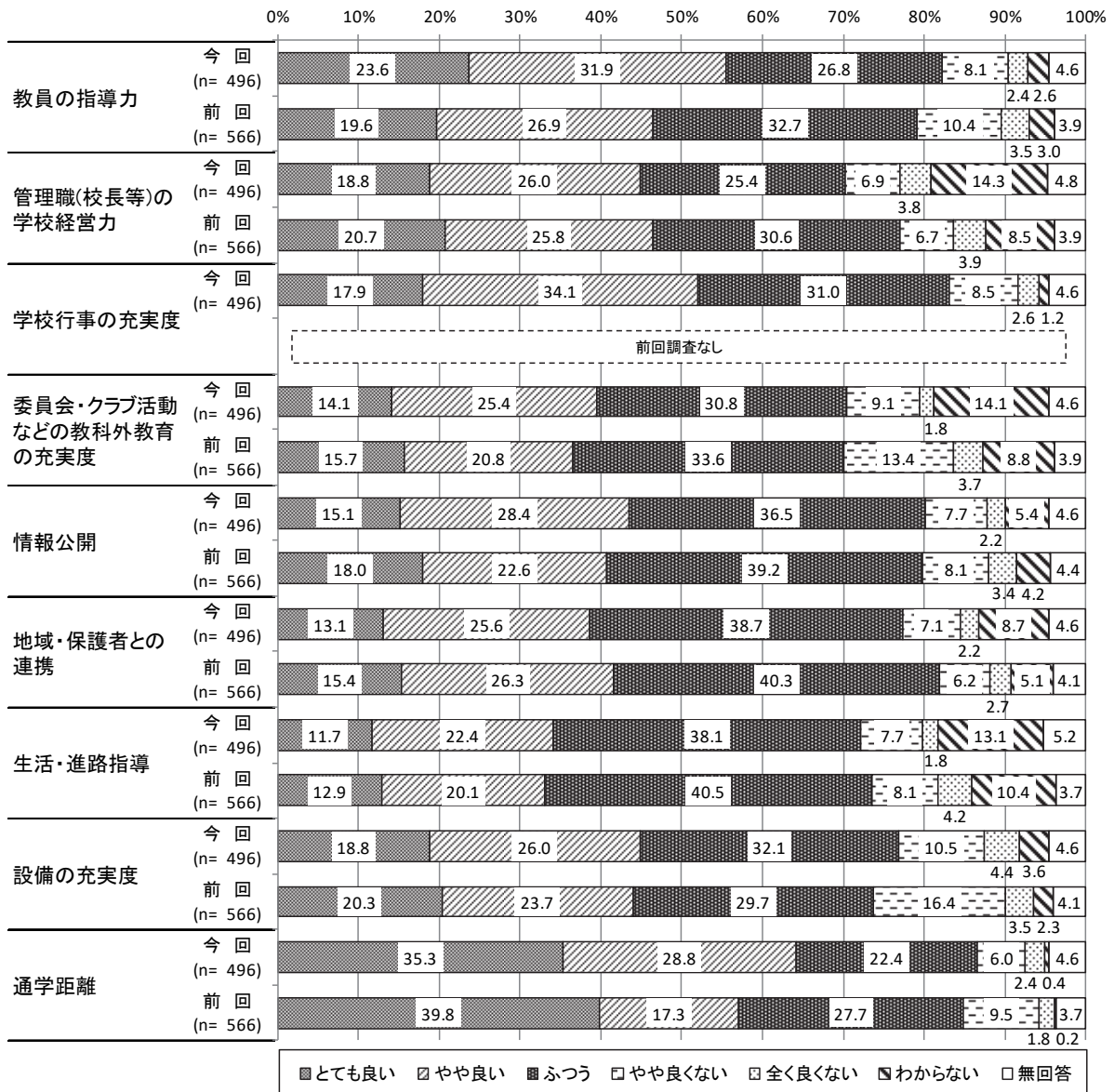
①小・中学校

『良い』(「とても良い」+「やや良い」)という回答は、「通学距離」が64.1%と最も高く、次いで「教員の指導力」が55.5%、「学校行事の充実度」が52.0%となっています。

一方、『良くない』(「やや良くない」+「全く良くない」)という回答は、「設備の充実度」が14.9%と最も高く、次いで「学校行事の充実度」が11.1%となっています。

前回調査と比較すると、「教員の指導力」「通学距離」では『良い』が高くなっています。

図 学校の評価 (小・中学校)



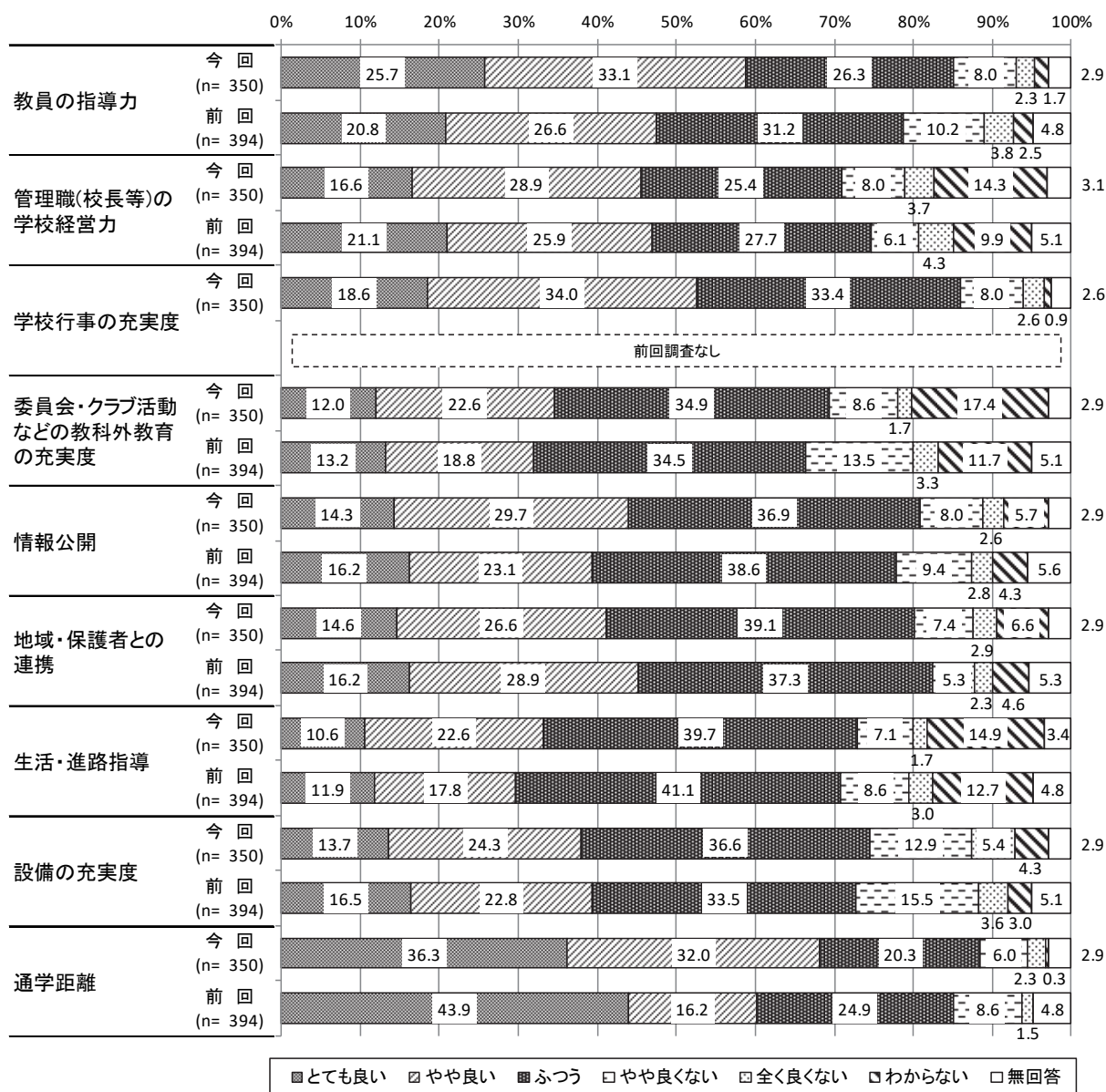
②小学校

『良い』（「とても良い」＋「やや良い」）という回答は、「通学距離」が68.3%と最も高く、次いで「教員の指導力」が58.8%、「学校行事の充実度」が52.6%となっています。

一方、『良くない』（「やや良くない」＋「全く良くない」）という回答は、「設備の充実度」が18.3%と最も高く、次いで「管理職(校長等)の学校経営力」が11.7%となっています。

前回調査と比較すると、「教員の指導力」「通学距離」では『良い』が高くなっています。

図 学校の評価（小学校）



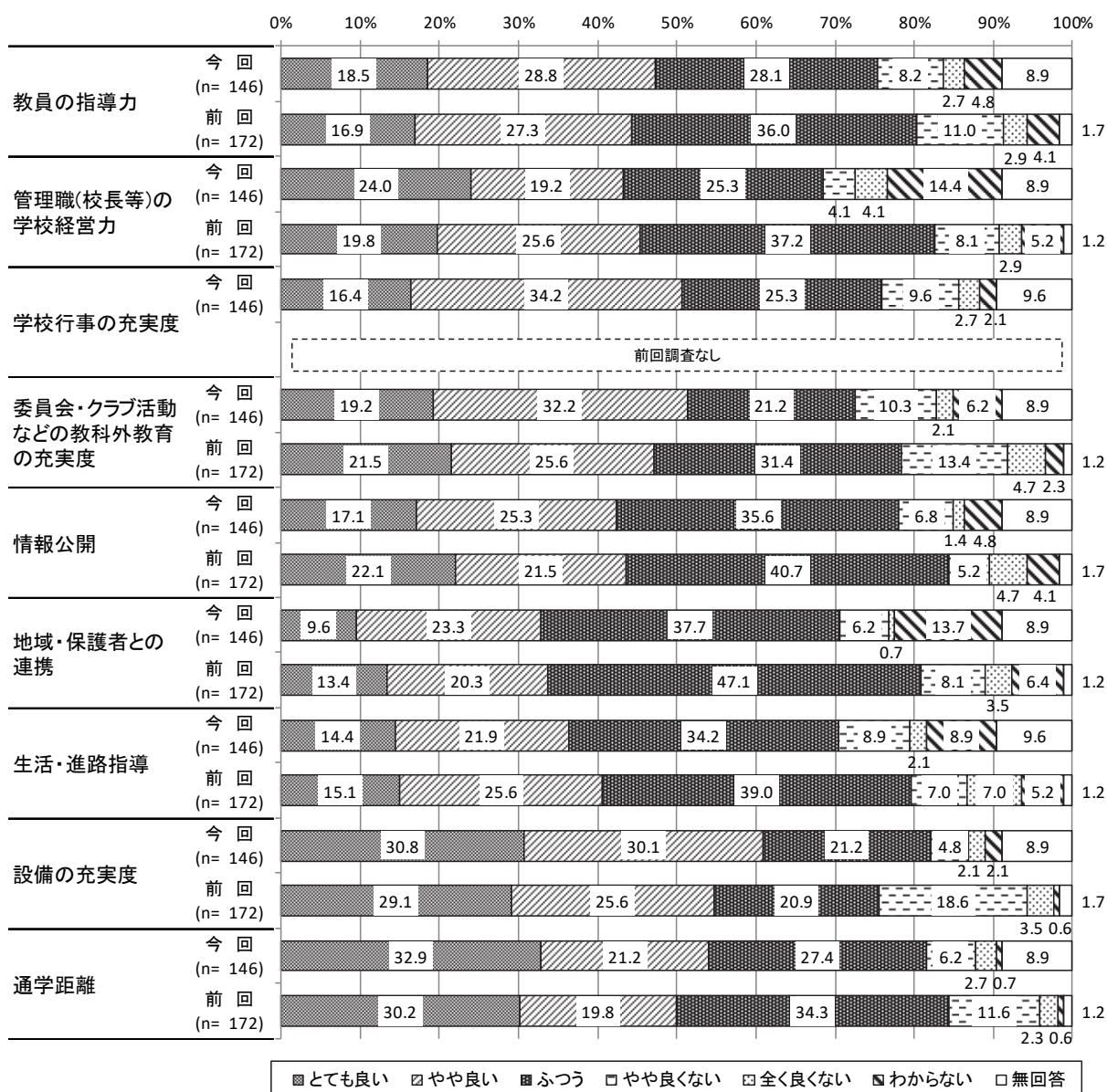
③中学校

『良い』（「とても良い」＋「やや良い」）という回答は、「設備の充実度」が60.9％と最も高く、次いで「通学距離」が54.1％、「委員会・クラブ活動などの教科外教育の充実度」が51.4％となっています。

一方、『良くない』（「やや良くない」＋「全く良くない」）という回答は、「委員会・クラブ活動などの教科外教育の充実度」が12.4％と最も高く、次いで「学校行事の充実度」が12.3％となっています。

前回調査と比較すると、「設備の充実度」では『良い』が高くなっています。

図 学校の評価（中学校）



(4) 教員の評価

問 17 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。

封筒の宛名のお子さんが在籍している学校の教員（担任以外を含む）について、総じて次の項目をどう思いますか。（それぞれの項目で○は1つ）

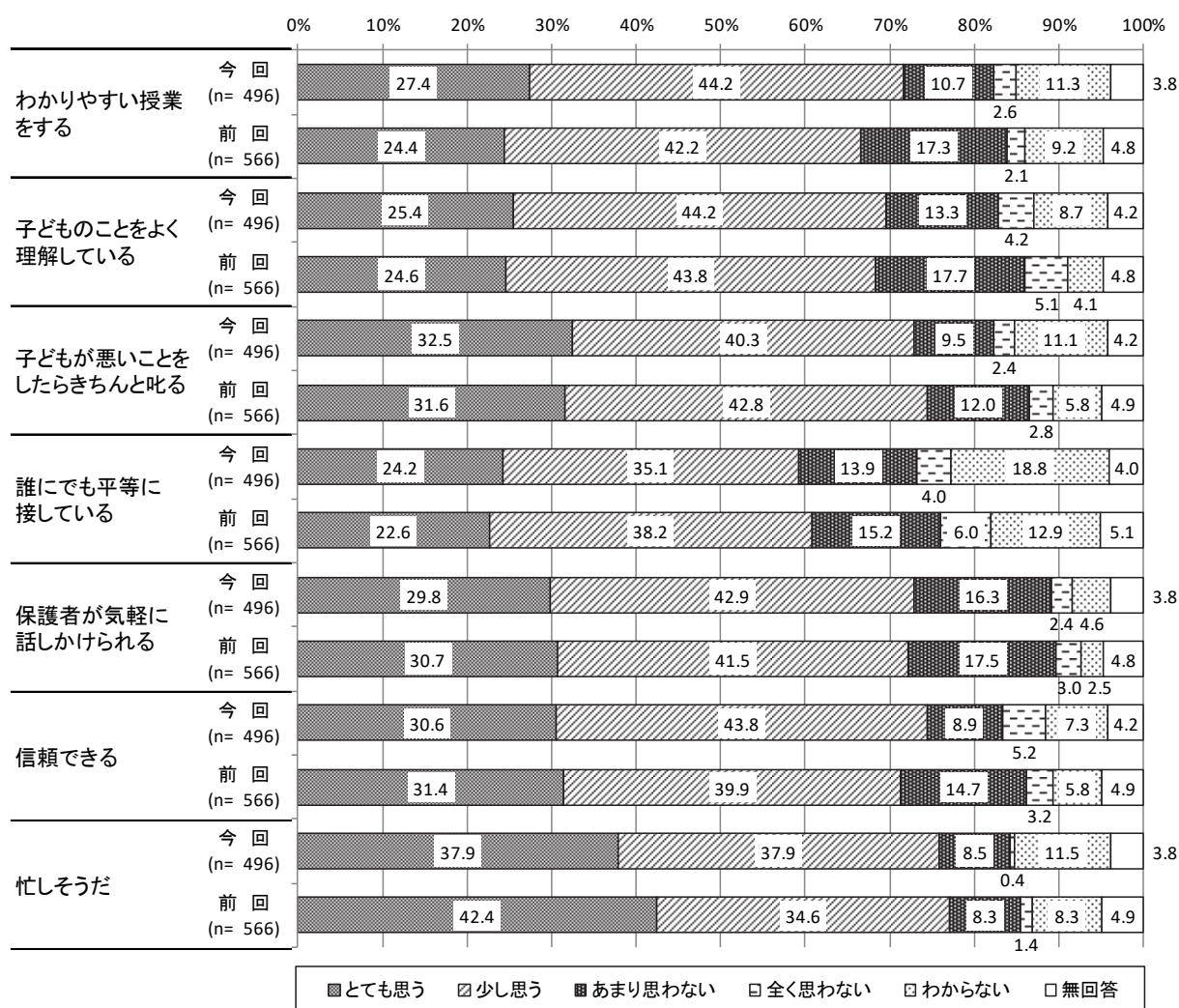
①小・中学校

『思う』（「とても思う」＋「少し思う」）という回答は、「忙しそうだ」が75.8%と最も高く、次いで「信頼できる」が74.4%、「子どもが悪いことをしたらきちんと叱る」が72.8%となっています。

一方、『思わない』（「あまり思わない」＋「全く思わない」）という回答は、「保護者が気軽に話しかけられる」が18.7%と最も高く、次いで「誰にでも平等に接している」が17.9%となっています。

前回調査と比較すると、「わかりやすい授業をする」では『思う』が高くなっています。

図 教員の評価（小・中学校）



※前回調査は「封筒の宛名のお子さんが通っている学校の教員について、総じて次の項目をどう思いますか。」という設問文で実施。

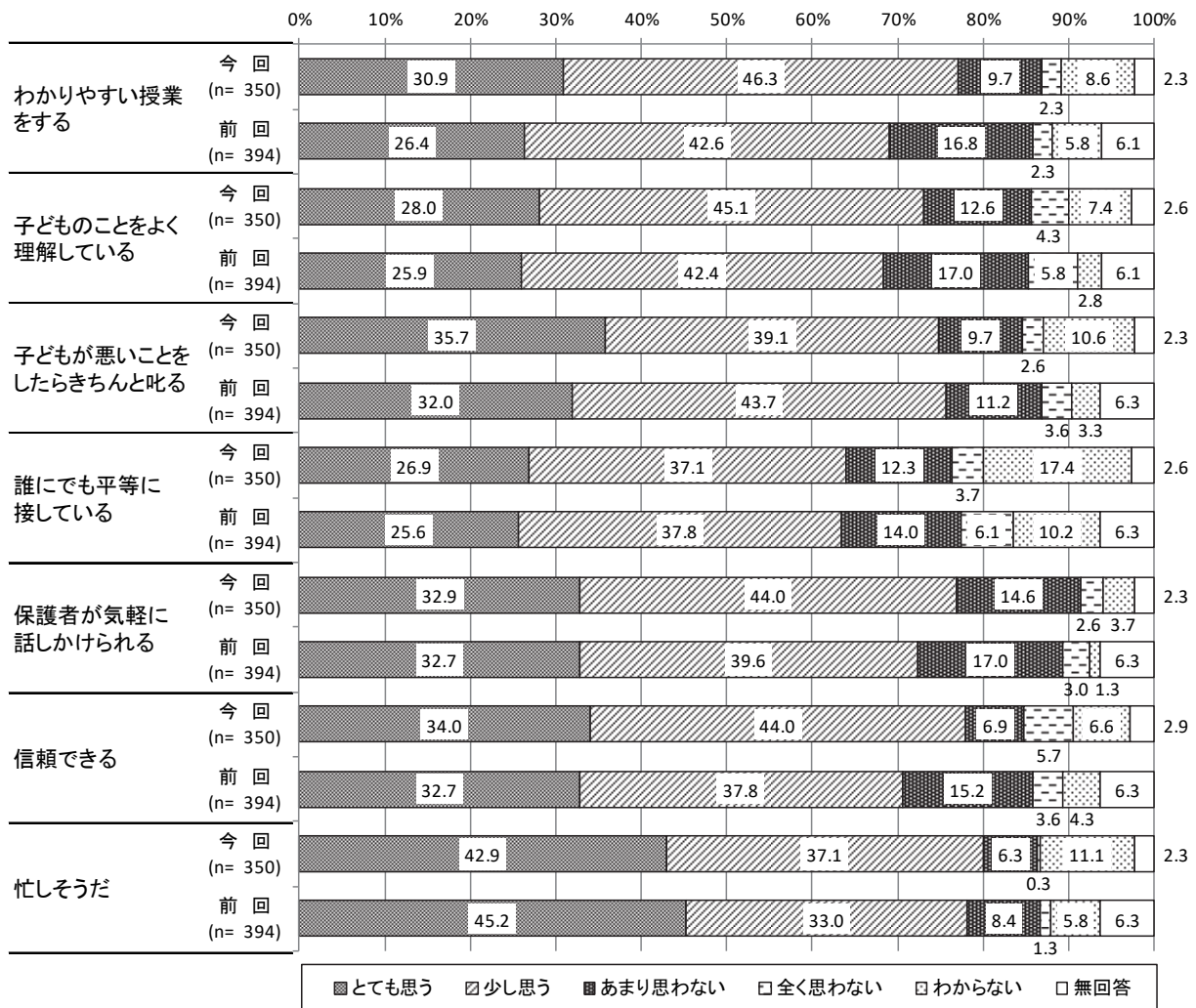
②小学校

『思う』（「とても思う」＋「少し思う」）という回答は、「忙しそうだ」が80.0%と最も高く、次いで「信頼できる」が78.0%、「わかりやすい授業をする」が77.2%となっています。

一方、『思わない』（「あまり思わない」＋「全く思わない」）という回答は、「保護者が気軽に話しかけられる」が17.2%と最も高く、次いで「子どものことをよく理解している」が16.9%となっています。

前回調査と比較すると、「わかりやすい授業をする」、「信頼できる」では『思う』が高くなっています。

図 教員の評価（小学校）



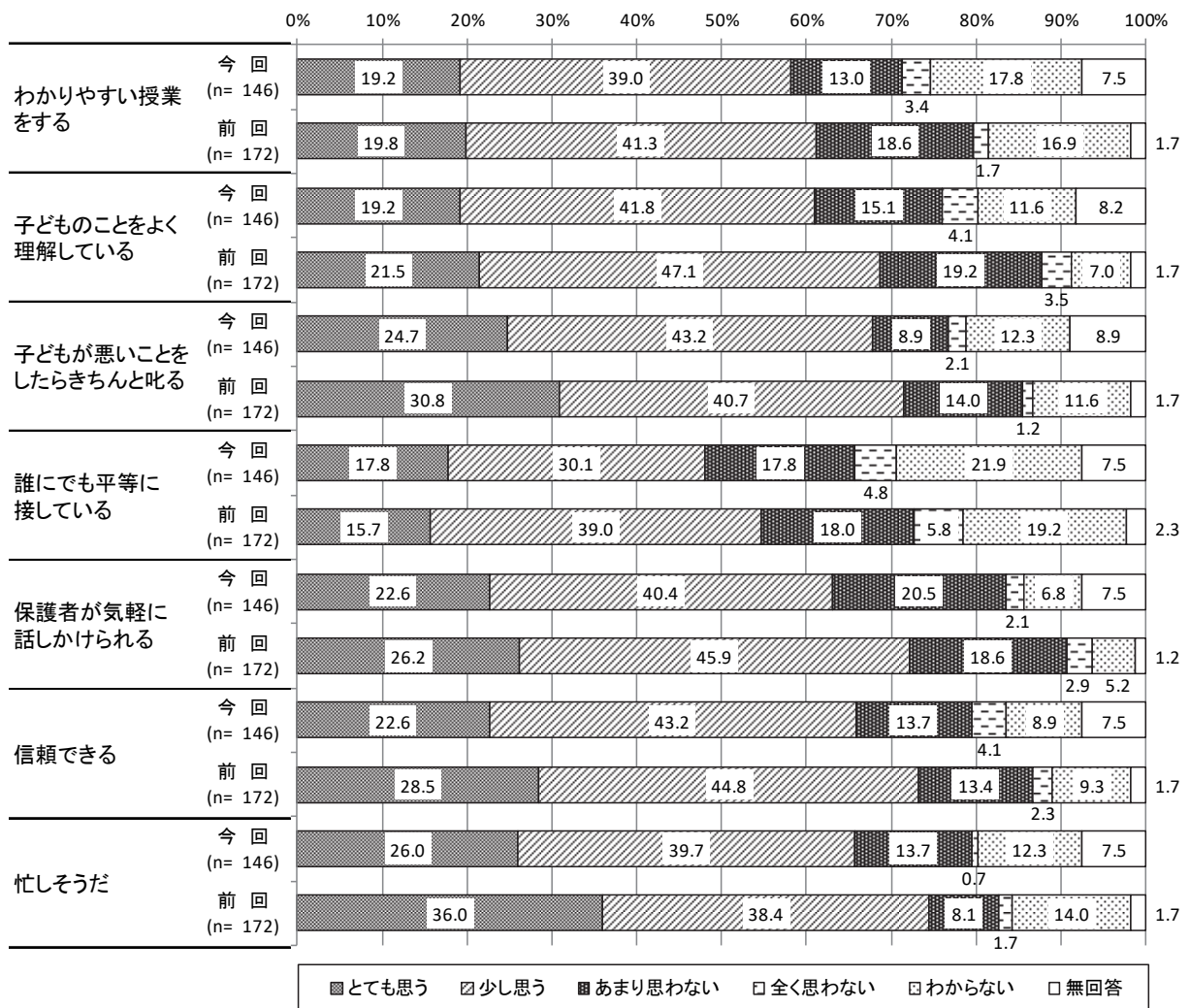
③中学校

『思う』（「とても思う」＋「少し思う」）という回答は、「子どもが悪いことをしたらきちんと叱る」が67.9%と最も高く、次いで「信頼できる」が65.8%、「忙しそうだ」が65.7%となっています。

一方、『思わない』（「あまり思わない」＋「全く思わない」）という回答は、「誰にでも平等に接している」と「保護者が気軽に話しかけられる」が22.6%と最も高く、次いで「子どものことをよく理解している」が19.2%となっています。

前回調査と比較すると、「忙しそうだ」では『思わない』がやや高くなっている。

図 教員の評価（中学校）



(5) 子どもの学校図書館の利用内容

問 18 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。

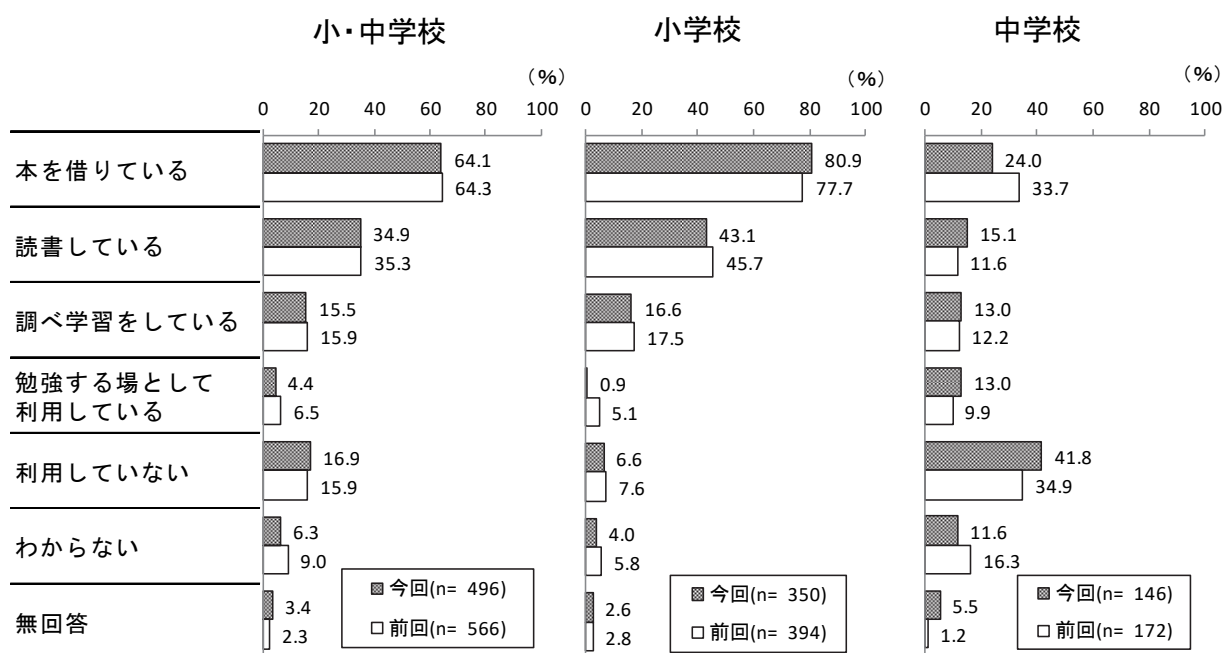
封筒の宛名のお子さんは、学校図書館（図書室）をどのように利用していると思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

小・中学校では、「本を借りている」が64.1%と最も高く、次いで「読書している」が34.9%、「調べ学習をしている」が15.5%となっています。一方、「利用していない」は16.9%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「本を借りている」、「読書している」は小学校が高く、中学校が低くなっています。「利用していない」は中学校で41.8%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、中学校では「利用していない」が高くなっています。

図 子どもの学校図書館の利用内容



(6) 小学校卒業後の進路

問 19 封筒の宛名のお子さんが小学生の方のみお答えください。

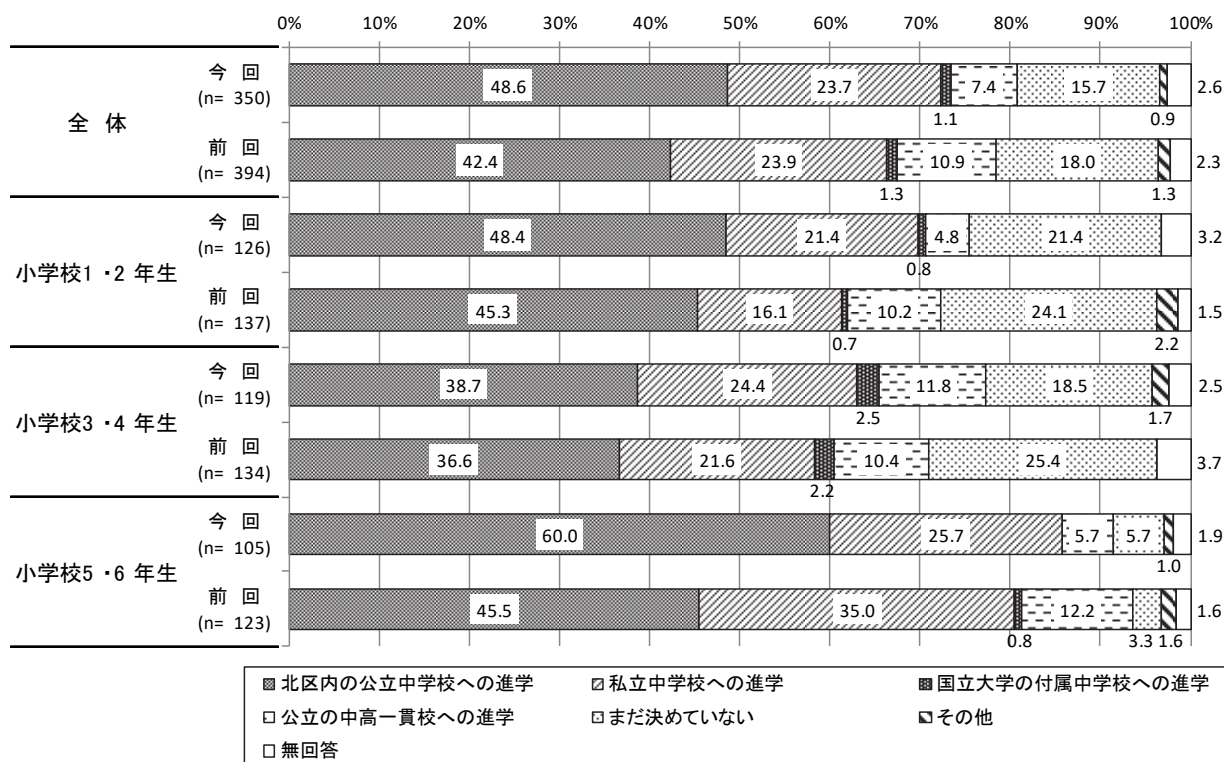
封筒の宛名のお子さんの小学校卒業後の進路は、どのように考えていますか。(〇は1つだけ)

「北区内の公立中学校への進学」が48.6%と最も高く、次いで「私立中学校への進学」が23.7%、「まだ決めていない」が15.7%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、小学校1・2年生、小学校5・6年生に比べ小学校3・4年生では、「北区内の公立中学校への進学」が低く、「公立の中高一貫校への進学」と「国立大学の付属中学校への進学」が高くなっています。

前回調査と比較すると、全体では、「北区内の公立中学校への進学」が高くなっています。子どもの就学状況別に見ると、小学校1・2年生で「私立中学校への進学」が高く、小学校5・6年生では「北区内の公立中学校への進学」が高くなっています。

図 小学校卒業後の進路



(7) 北区の公立中学校以外への進学を考えている理由

問 20 問 19 で「2 私立中学校への進学」、「3 国立大学の付属中学校への進学」、「4 公立の中高一貫校への進学」と答えた方にお聞きします。

北区の公立中学校以外への進学を考えているのはなぜですか。(〇は3つまで)

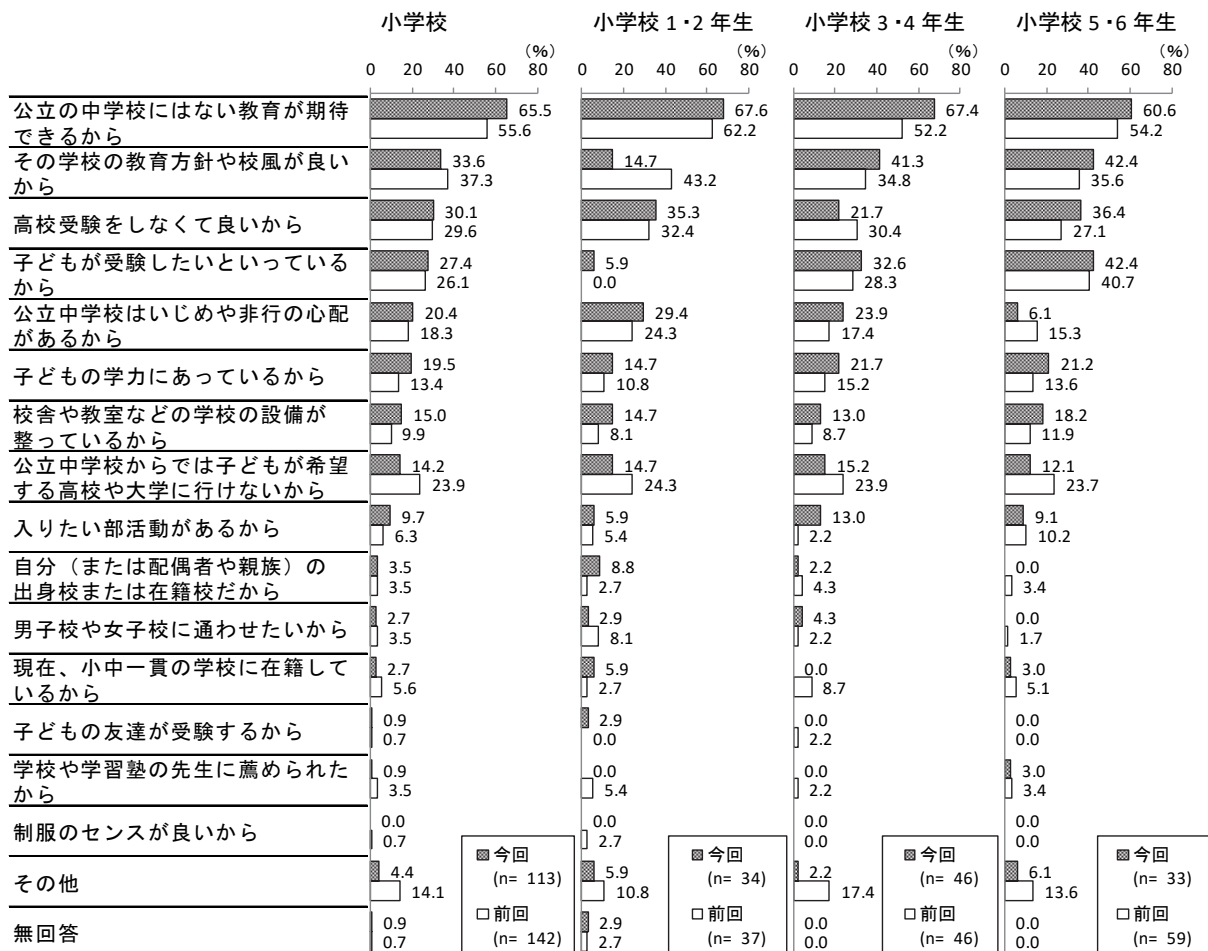
「公立の中学校にはない教育が期待できるから」が 65.5%と最も高く、次いで「その学校の教育方針や校風が良いから」が 33.6%、「高校受験をしなくて良いから」が 30.1%となっています。

学年別にみると、小学校 1・2 年生では「公立中学校はいじめや非行の心配があるから」が他の学年と比べて高くなっています。小学校 5・6 年生では、「子どもが受験したいといっているから」が他の学年と比べて高くなっています。

前回調査と比較すると、「公立の中学校にはない教育が期待できるから」はどの学年でも高くなっています。一方で、「公立中学校からでは子どもが希望する高校や大学に行けないから」はどの学年でも低くなっています。

また、「公立中学校はいじめや非行の心配があるから」は、小学校 1・2 年生と小学校 3・4 年生で高くなっています。

図 北区の公立中学校以外への進学を考えている理由



7 家庭・地域の教育力について

(1) 居住地域における家庭や地域の教育力に対する考え

問 21 お住まいの地域における家庭や地域の教育力に関する以下の項目についてお答えください。(それぞれの項目で○は1つ)

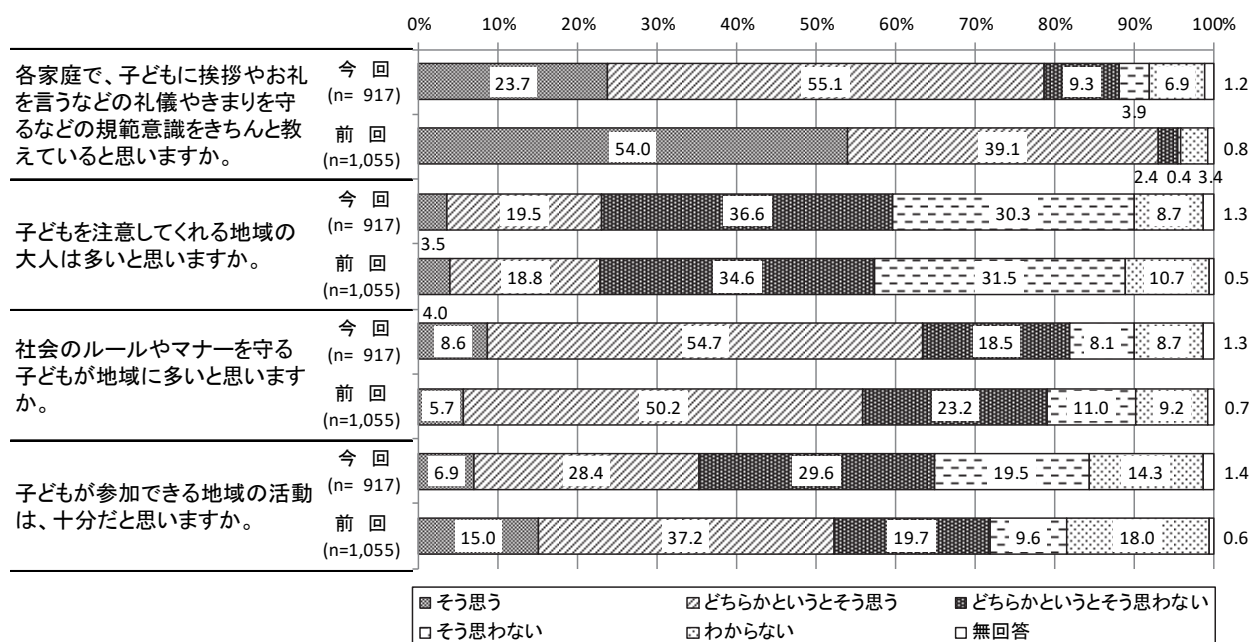
①全体

『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)という回答は、「各家庭で、子どもに挨拶やお礼を言うなどの礼儀やきまりを守るなどの規範意識をきちんと教えていると思いますか。」が78.8%と最も高く、次いで「社会のルールやマナーを守る子どもが地域に多いと思いますか。」が63.3%となっています。

一方、『そう思わない』(「どちらかというと思わない」+「そう思わない」)という回答は、「子どもを注意してくれる地域の大人は多いと思いますか。」が66.9%と最も高く、次いで「子どもが参加できる地域の活動は、十分だと思いますか。」が49.1%となっています。

前回調査と比較すると、「社会のルールやマナーを守る子どもが地域に多いと思いますか。」では『そう思う』が高くなっています。一方で、「各家庭で、子どもに挨拶やお礼を言うなどの礼儀やきまりを守るなどの規範意識をきちんと教えていると思いますか。」と「子どもが参加できる地域の活動は、十分だと思いますか。」では『そう思わない』が高くなっています。

図 居住地域における家庭や地域の教育力に対する考え



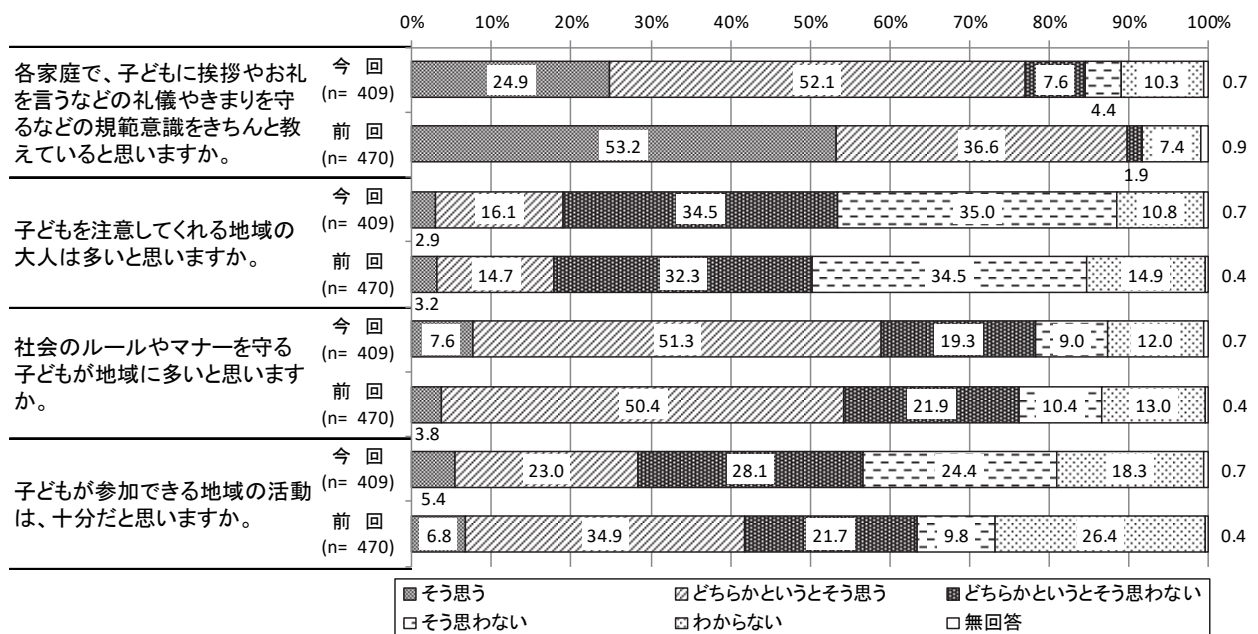
②就学前

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかというと思う」）という回答は、「各家庭で、子どもに挨拶やお礼を言うなどの礼儀やきまりを守るなどの規範意識をきちんと教えていると思いますか。」が77.0%と最も高く、次いで「社会のルールやマナーを守る子どもが地域に多いと思いますか。」が58.9%となっています。

一方、『そう思わない』（「どちらかというと思わない」＋「そう思わない」）という回答は、「子どもを注意してくれる地域の大人は多いと思いますか。」が69.5%と最も高く、次いで「子どもが参加できる地域の活動は、十分だと思いますか。」が52.5%となっています。

前回調査と比較すると、「各家庭で、子どもに挨拶やお礼を言うなどの礼儀やきまりを守るなどの規範意識をきちんと教えていると思いますか。」と「子どもが参加できる地域の活動は、十分だと思いますか。」では『そう思わない』が高くなっています。

図 居住地域における家庭や地域の教育力に対する考え（就学前）



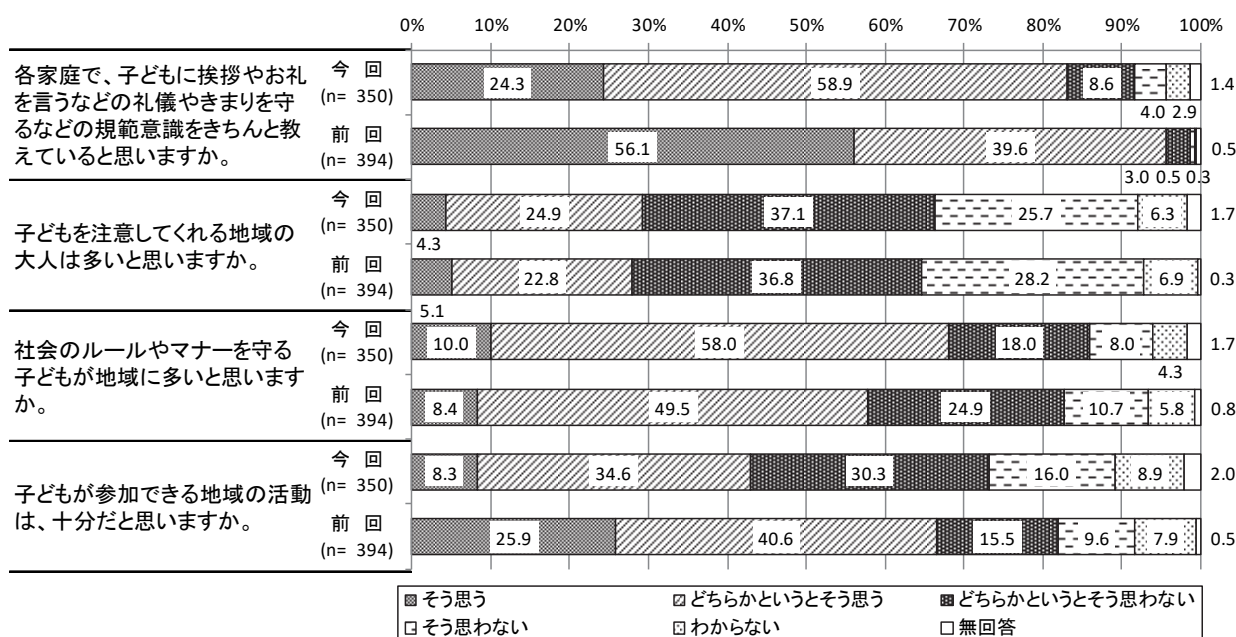
③小学校

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかというそう思う」）という回答は、「各家庭で、子どもに挨拶やお礼を言うなどの礼儀やきまりを守るなどの規範意識をきちんと教えていると思いますか。」が 83.2%と最も高く、次いで「社会のルールやマナーを守る子どもが地域に多いと思いますか。」が 68.0%となっています。

一方、『そう思わない』（「どちらかというそう思わない」＋「そう思わない」）という回答は、「子どもを注意してくれる地域の大人は多いと思いますか。」が 62.8%と最も高く、次いで「子どもが参加できる地域の活動は、十分だと思いますか。」が 46.3%となっています。

前回調査と比較すると、「社会のルールやマナーを守る子どもが地域に多いと思いますか。」では『そう思う』が高くなっています。一方で、「子どもが参加できる地域の活動は、十分だと思いますか。」と「各家庭で、子どもに挨拶やお礼を言うなどの礼儀やきまりを守るなどの規範意識をきちんと教えていると思いますか。」では『そう思わない』が高くなっています。

図 居住地域における家庭や地域の教育力に対する考え（小学校）



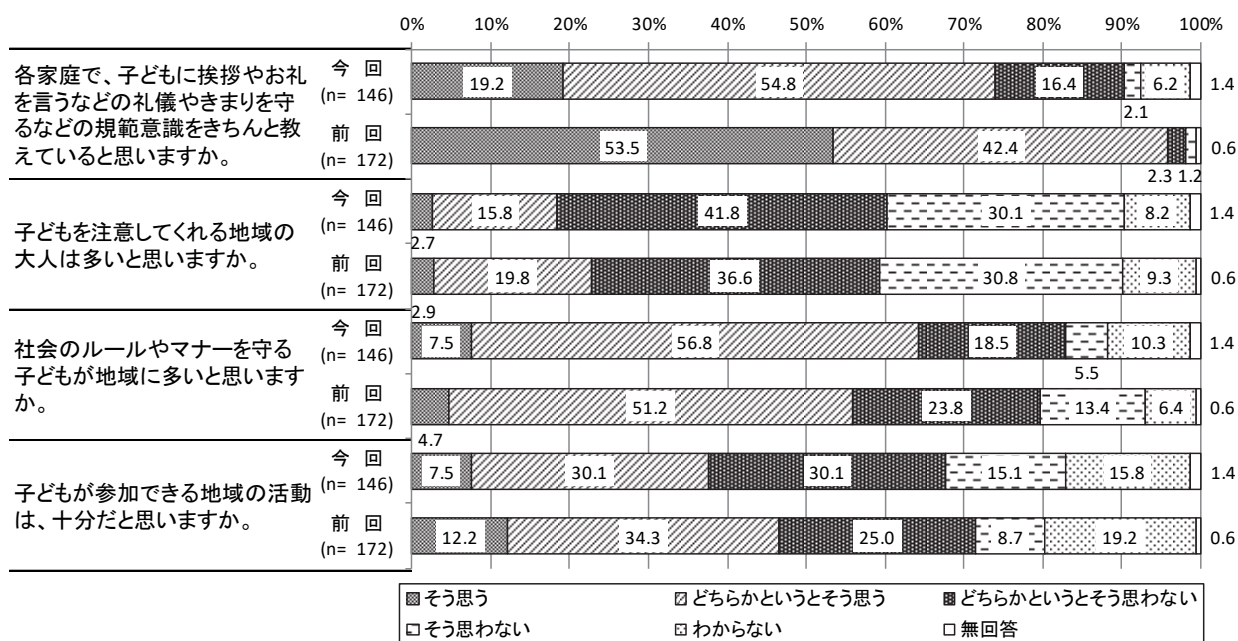
④中学校

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかというそう思う」）という回答は、「各家庭で、子どもに挨拶やお礼を言うなどの礼儀やきまりを守るなどの規範意識をきちんと教えていると思いますか。」が74.0%と最も高く、次いで「社会のルールやマナーを守る子どもが地域に多いと思いますか。」が64.3%となっています。

一方、『そう思わない』（「どちらかというそう思わない」＋「そう思わない」）という回答は、「子どもを注意してくれる地域の大人は多いと思いますか。」が71.9%と最も高く、次いで「子どもが参加できる地域の活動は、十分だと思いますか。」が45.2%となっています。

前回調査と比較すると、「社会のルールやマナーを守る子どもが地域に多いと思いますか。」では『そう思う』が高くなっています。一方で、「各家庭で、子どもに挨拶やお礼を言うなどの礼儀やきまりを守るなどの規範意識をきちんと教えていると思いますか。」と「子どもが参加できる地域の活動は、十分だと思いますか。」では『そう思わない』が高くなっています。

図 居住地における家庭や地域の教育力に対する考え（中学校）



(2) 自分の子どもの学力の程度

問 22 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。

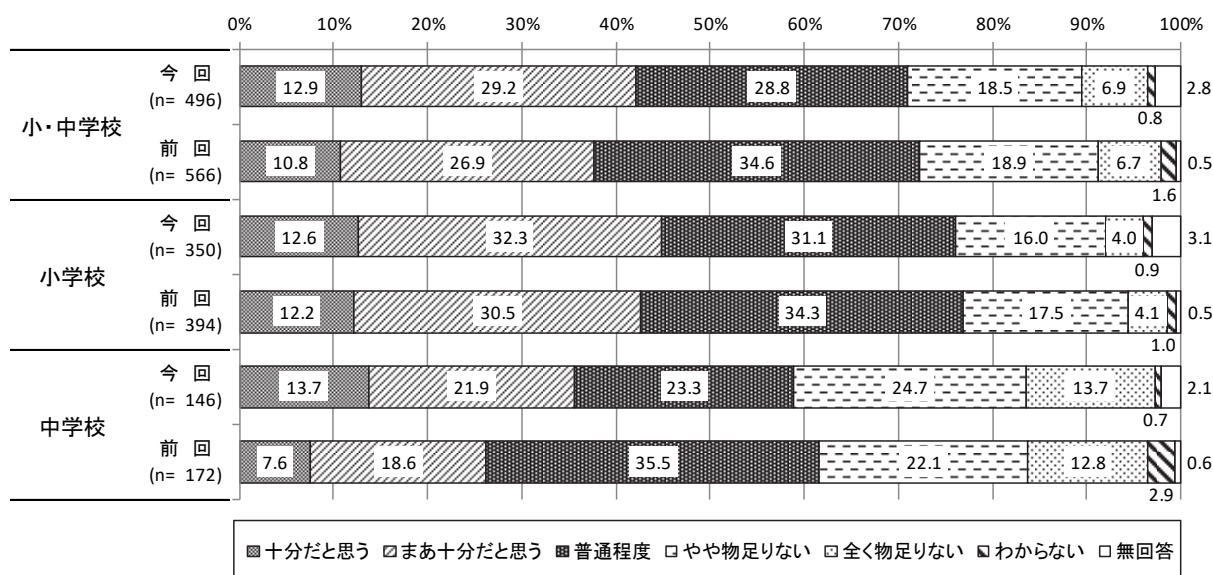
あなたからみて、封筒の宛名のお子さんの学力をどう思いますか。(○は1つだけ)

小・中学校では、「十分だと思う」が12.9%、「まあ十分だと思う」が29.2%で、合わせて42.1%が『十分だと思う』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『十分だと思う』(「十分だと思う」+「まあ十分だと思う」)は、小学校では44.9%、中学校では35.6%で、中学校になると低くなっています。

前回調査と比較すると、中学校で『十分だと思う』が高くなっています。

図 自分の子どもの学力の程度



(3) 家庭での子どもとの関わり

問 23 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。

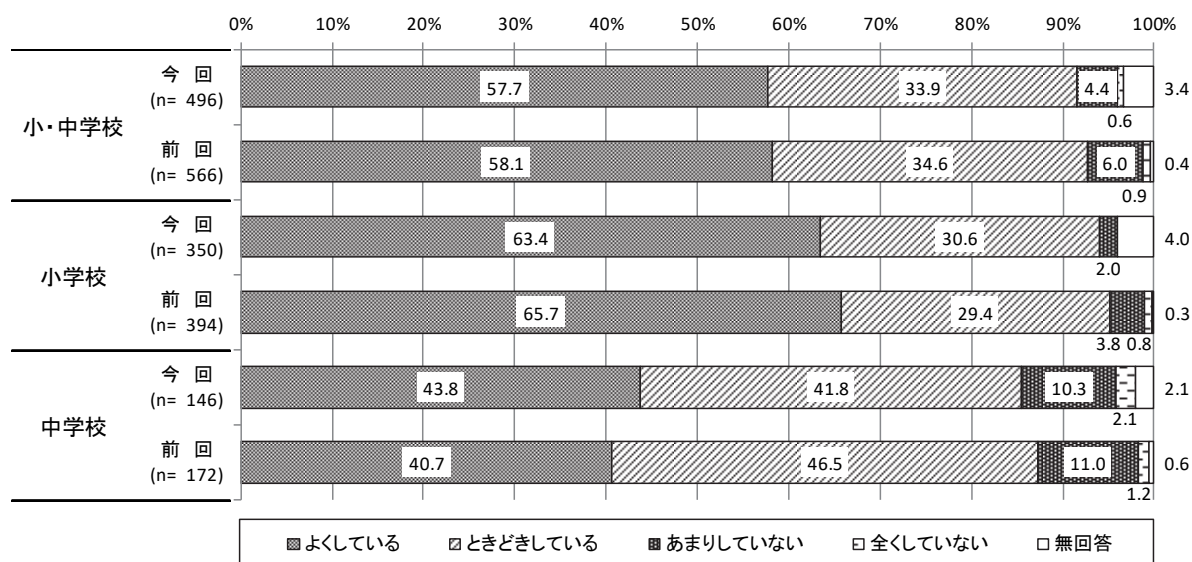
ご家庭で封筒の宛名のお子さんに勉強を教えたり、宿題をみたり、学校のできごとを話したりしていますか。(○は1つだけ)

小・中学校では、「よくしている」が57.7%、「ときどきしている」が33.9%で、合わせて91.6%が『している』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『している』(「よくしている」+「ときどきしている」)は、小学校では94.0%、中学校では85.6%となっています。

前回調査と比較すると、特に大きな差はみられませんでした。

図 家庭での子どもとの関わり



(4) 子どもを学習塾に通わせることに対する考え

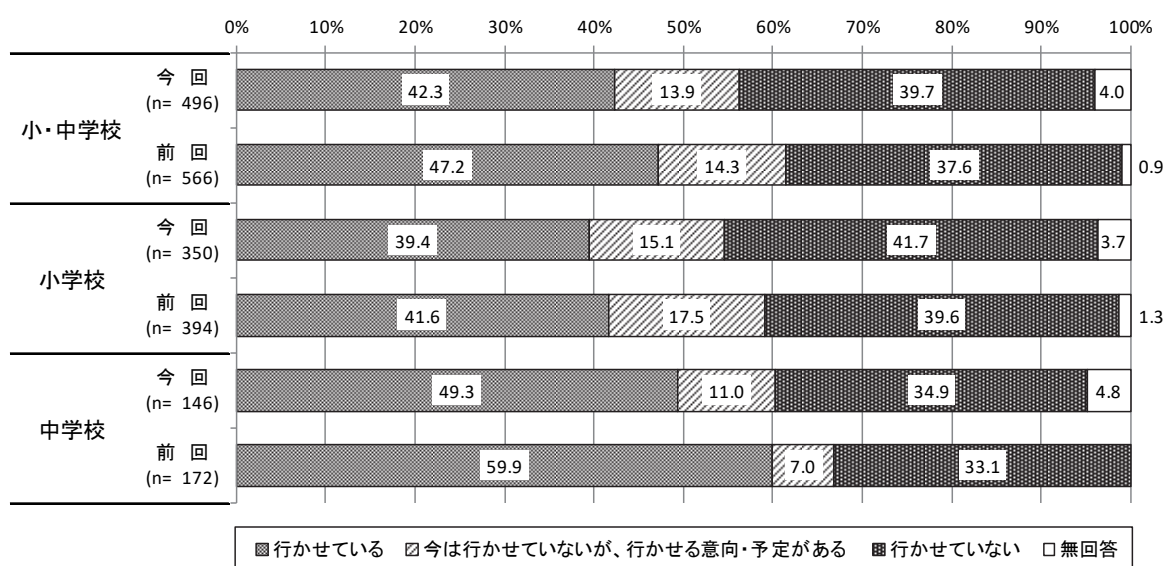
問 24 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。

封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせていますか。(○は1つだけ)

小・中学校では、「行かせている」が42.3%、「今は行かせていないが、行かせる意向・予定がある」が13.9%、「行かせていない」が39.7%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「行かせている」は中学校が小学校より高くなっています。前回調査と比較すると、中学校では「行かせている」が低くなっています。

図 子どもを学習塾に通わせているか



①子どもを学習塾に通わせている目的

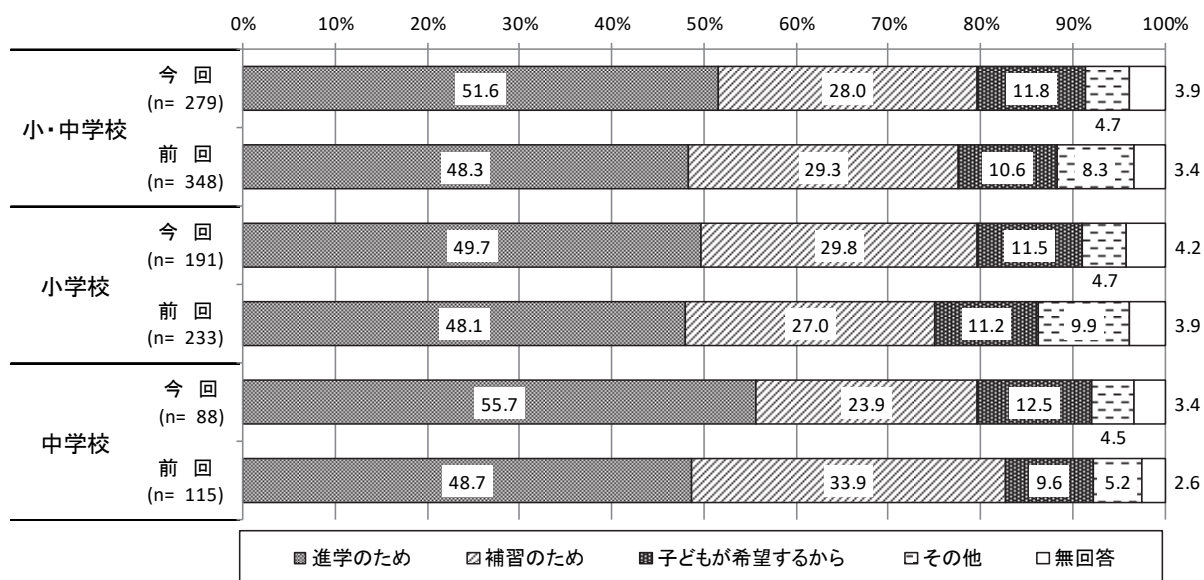
(1) 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせている方(予定を含む。)のみお答えください。
お子さんを学習塾に行かせている目的は何ですか。(〇は1つだけ)

※ 本設問は、小・中学校に通う子どもを持つ保護者のみの調査結果となっています。

小・中学校では、「進学のため」が51.6%と最も高く、次いで「補習のため」が28.0%、「子どもが希望するから」が11.8%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「進学のため」は中学校が小学校より高くなっています。
前回調査と比較すると、中学校では「進学のため」が高くなっています。

図 子どもを学習塾に通わせている目的



②子どもを学習塾に通わせない理由

(2) 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせていない方のみお答えください。
 お子さんを学習塾へ行かせない理由をお聞かせください。(〇は1つだけ)

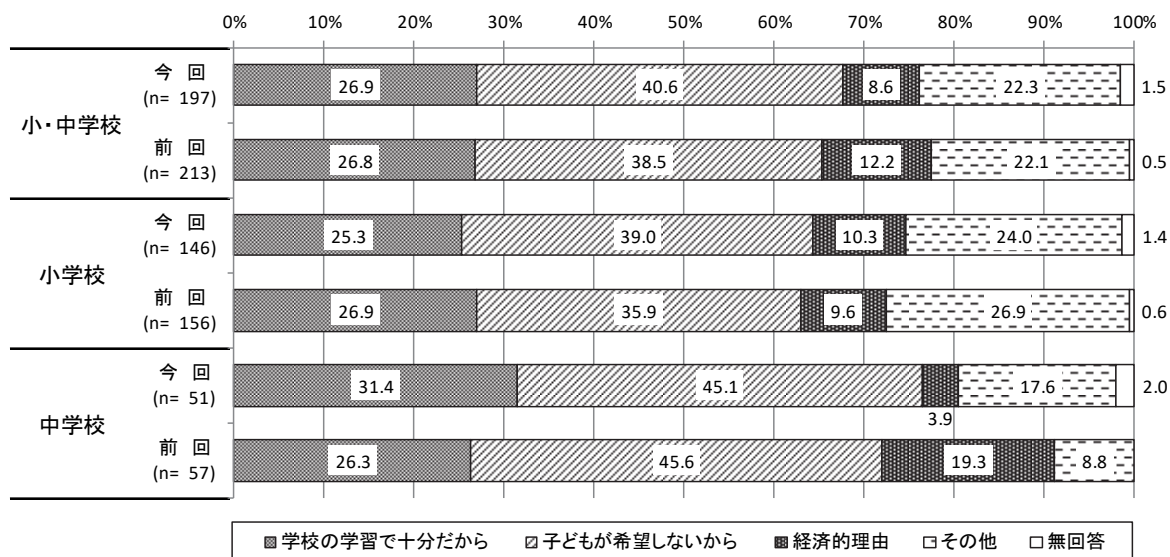
※ 本設問は、小・中学校に通う子どもを持つ保護者のみの調査結果となっています。

小・中学校では、「子どもが希望しないから」が40.6%と最も高く、次いで「学校の学習で十分だから」が26.9%、「経済的理由」が8.6%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「子どもが希望しないから」、「学校の学習で十分だから」は中学校が小学校より高くなっています。

前回調査と比較すると、中学校では「学校の学習で十分だから」が高くなっています。

図 子どもを学習塾に通わせない理由



(5) 学校の授業以外の1日の勉強時間

問 25 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。

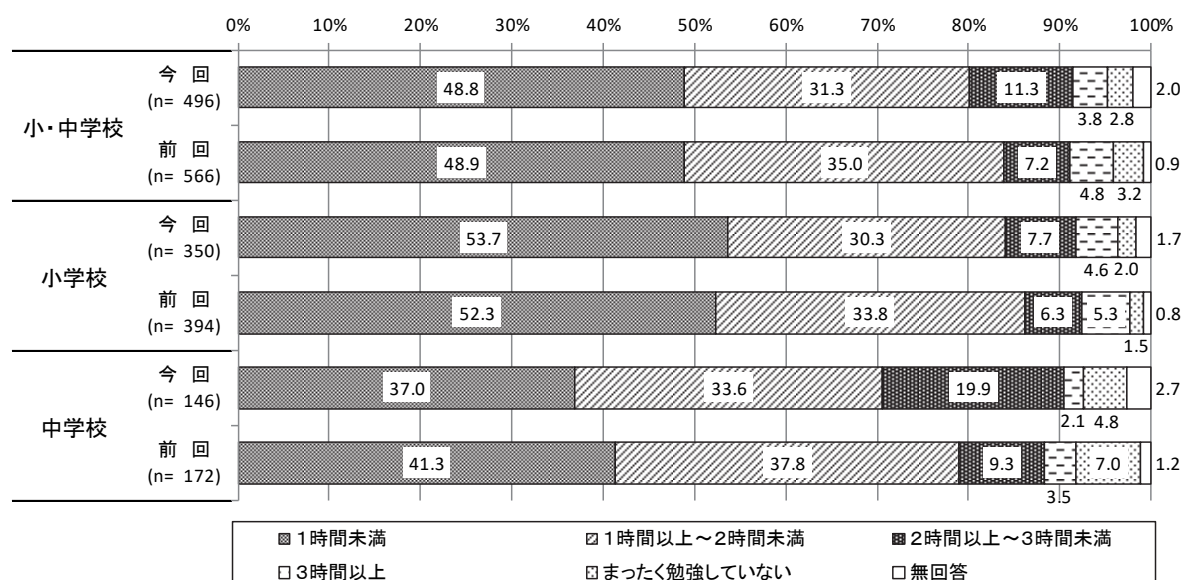
封筒の宛名のお子さんは、学校の授業以外に【1日平均で】どのくらい勉強（学校の宿題、通信教育、学習塾、家庭教師等による学習時間）をしていますか。（○は1つだけ）

小・中学校では、「1日平均1時間未満」が48.8%と最も高く、次いで「1日平均1時間以上～2時間未満」が31.3%、「1日平均2時間以上～3時間未満」が11.3%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、小学校に比べ中学校では、「1日平均2時間以上～3時間未満」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、中学校では「1日平均2時間以上～3時間未満」が高くなっています。

図 学校の授業以外の1日の勉強時間



8 教育全般について

(1) 教育全般に関する認識

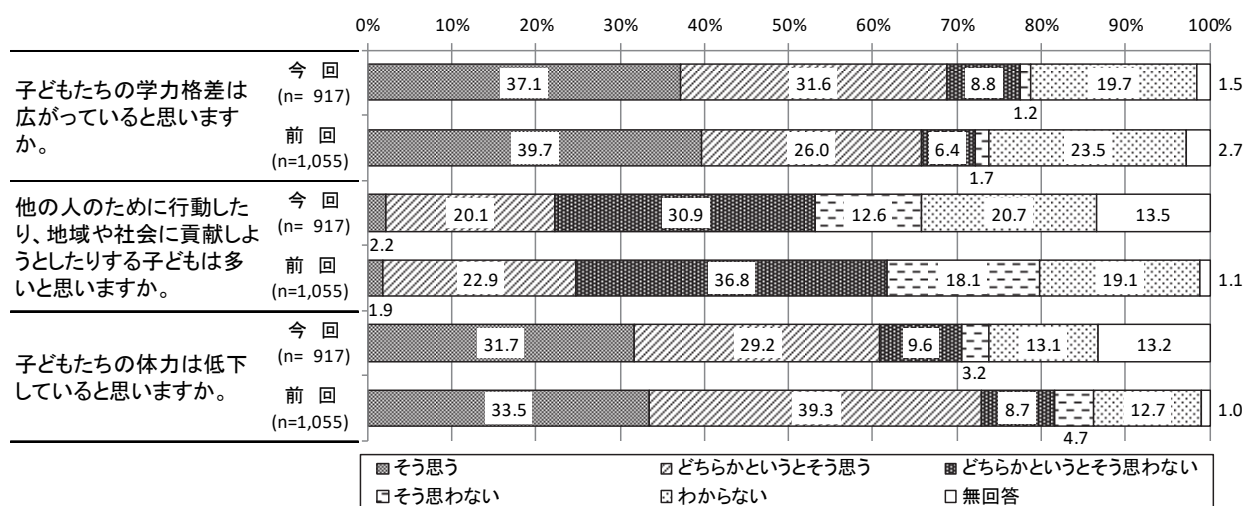
問 26 教育全般に関する以下の項目について、どのように思うかお答えください。(それぞれの項目で○は1つ)

①全体

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかというと思う」）という回答は、「子どもたちの学力格差は広がっていると思いますか。」が68.7%と最も高く、次いで「子どもたちの体力は低下していると思いますか。」が60.9%となっています。

一方、『そう思わない』（「どちらかというと思わない」＋「そう思わない」）という回答は、「他の人のために行動したり、地域や社会に貢献しようとする子どもは多いと思いますか。」が43.5%と最も高くなっています。

図 教育全般に関する認識

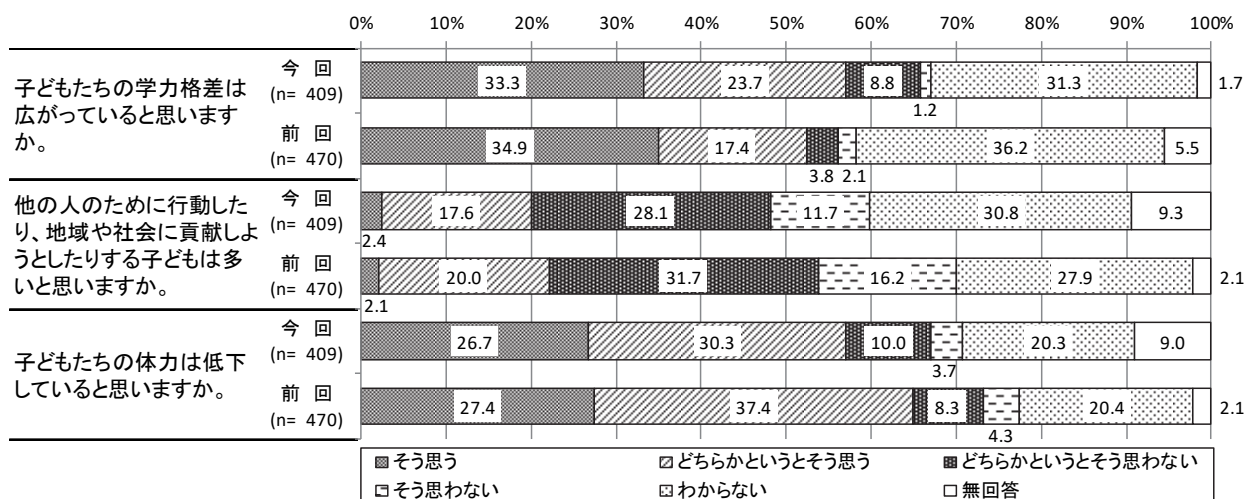


②就学前

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかというと思う」）という回答は、「子どもたちの学力格差は広がっていると思いますか。」と「子どもたちの体力は低下していると思いますか。」が57.0%と最も高くなっています。

一方、『そう思わない』（「どちらかというと思わない」＋「そう思わない」）という回答は、「他の人のために行動したり、地域や社会に貢献しようとする子どもは多いと思いますか。」が39.8%と最も高くなっています。

図 教育全般に関する認識（就学前）

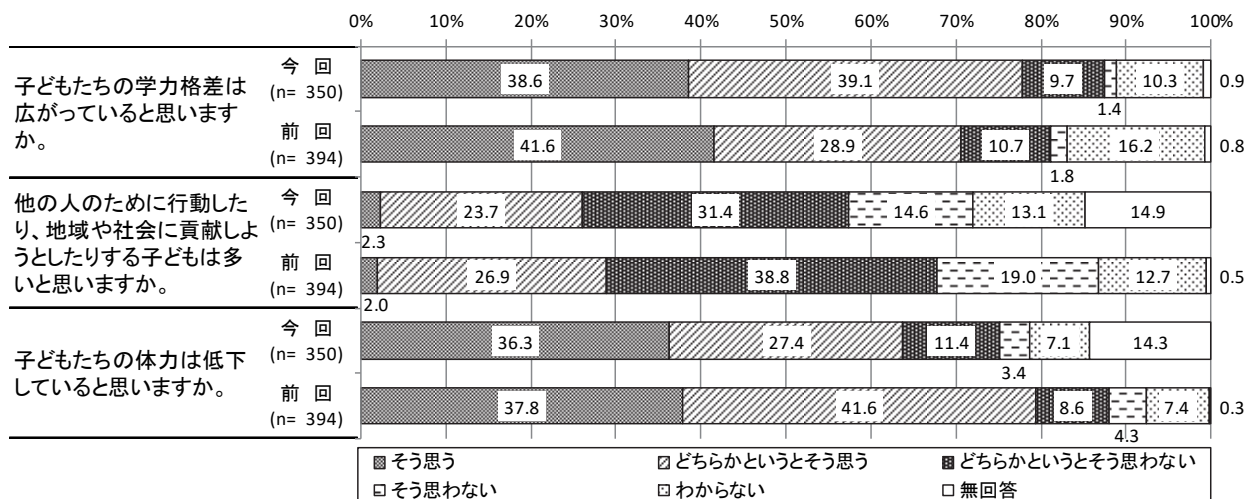


③小学校

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかというと思う」）という回答は、「子どもたちの学力格差は広がっていると思いますか。」が77.7%と最も高く、次いで「子どもたちの体力は低下していると思いますか。」が63.7%となっています。

一方、『そう思わない』（「どちらかというと思わない」＋「そう思わない」）という回答は、「他の人のために行動したり、地域や社会に貢献しようとする子どもは多いと思いますか。」が46.0%と最も高くなっています。

図 教育全般に関する認識（小学校）

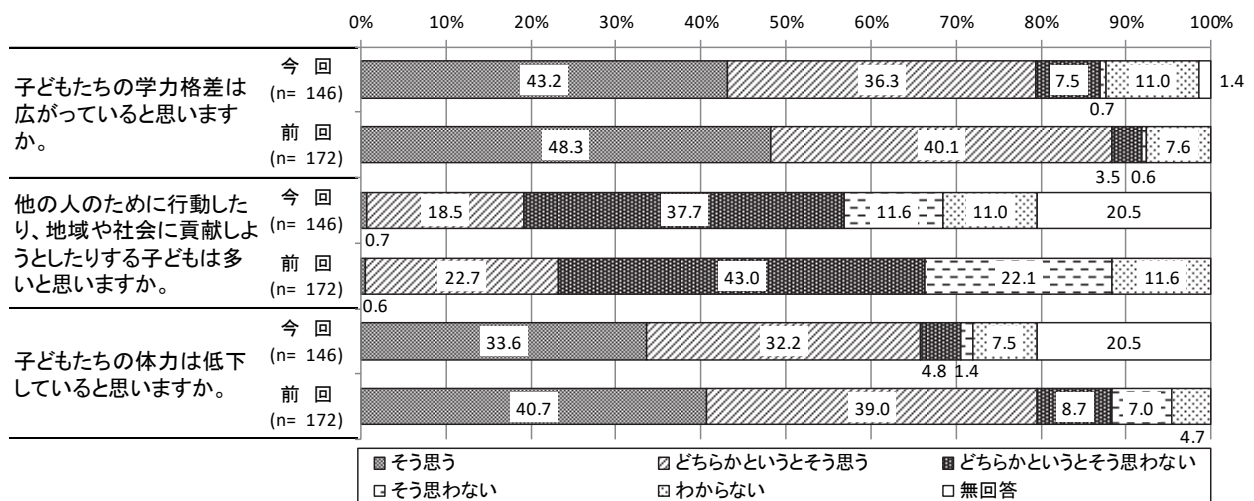


④中学校

『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかというと思う」）という回答は、「子どもたちの学力格差は広がっていると思いますか。」が79.5%と最も高く、次いで「子どもたちの体力は低下していると思いますか。」が65.8%となっています。

一方、『そう思わない』（「どちらかというと思わない」＋「そう思わない」）という回答は、「他の人のために行動したり、地域や社会に貢献しようとする子どもは多いと思いますか。」が49.3%と最も高くなっています。

図 教育全般に関する認識（中学校）



(2) 学力格差が特に広がっていると思う段階

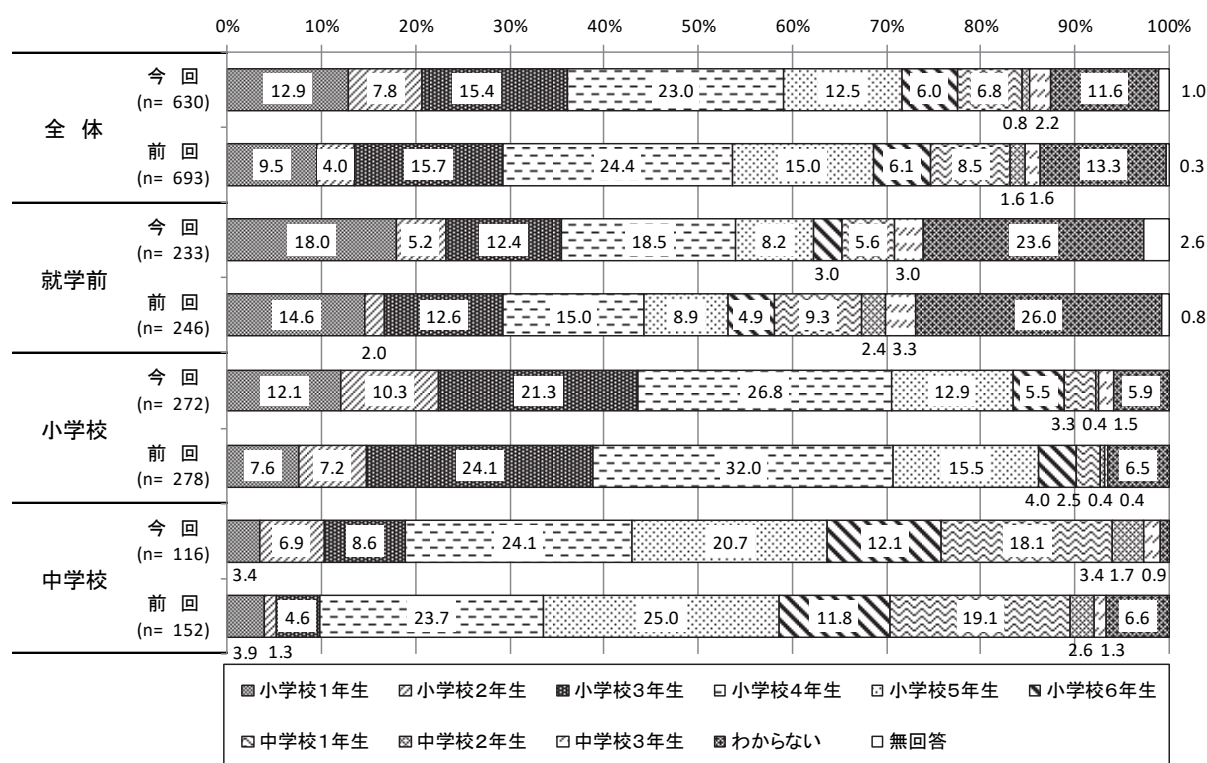
問 27 問 26 項目 1「子どもたちの学力格差は広がっていると思いますか。」で、「そう思う」または、「どちらかというと思う」と答えた方にお聞きします。
どの段階で学力格差が特に広がっていると思いますか。(〇は1つだけ)

全体では、「小学校4年生」が23.0%と最も高く、次いで「小学校3年生」が15.4%、「小学校5年生」が12.5%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前では「小学校4年生」が18.5%と最も高く、次いで「小学校1年生」が18.0%となっており、また「わからない」が23.6%となっています。小学校では「小学校4年生」が26.8%と最も高く、次いで「小学校3年生」が21.3%となっています。中学校では「小学校4年生」が24.1%と最も高く、次いで「小学校5年生」が20.7%となっています。

前回調査と比較すると、小学校では「小学校4年生」が低くなり、「小学校1年生」がやや高くなっています。

図 学力格差が特に広がっていると思う段階



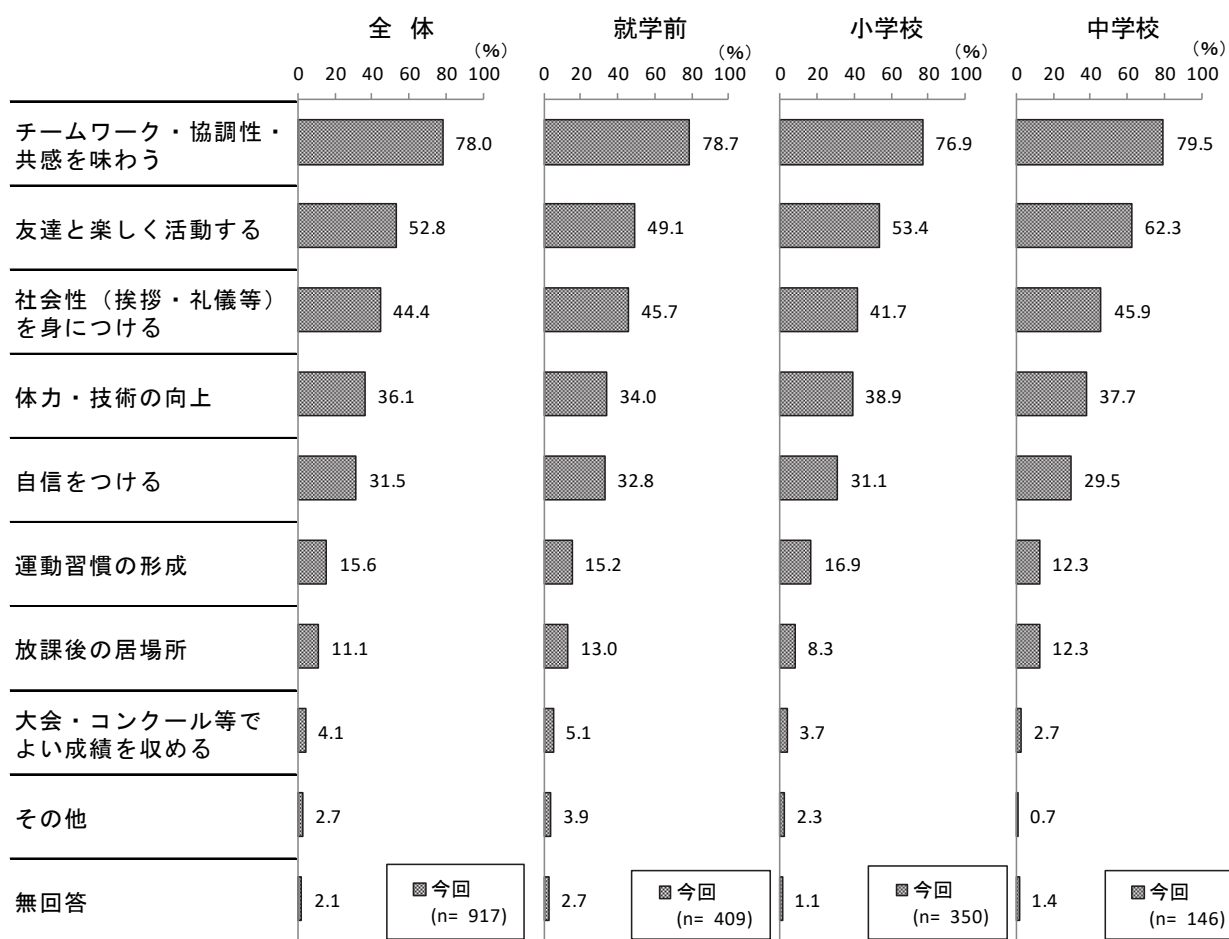
(3) 部活動に期待すること

問 28 部活動に期待することは何ですか。(〇は3つまで)

全体では、「チームワーク・協調性・共感を味わう」が 78.0%と最も高く、次いで「友達と楽しく活動する」が 52.8%、「社会性（挨拶・礼儀等）を身につける」が 44.4%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校に比べ中学校では「友達と楽しく活動する」の割合が高くなっています。

図 部活動に期待すること



(4) 休日の運動部活動の段階的な地域移行に対する考え

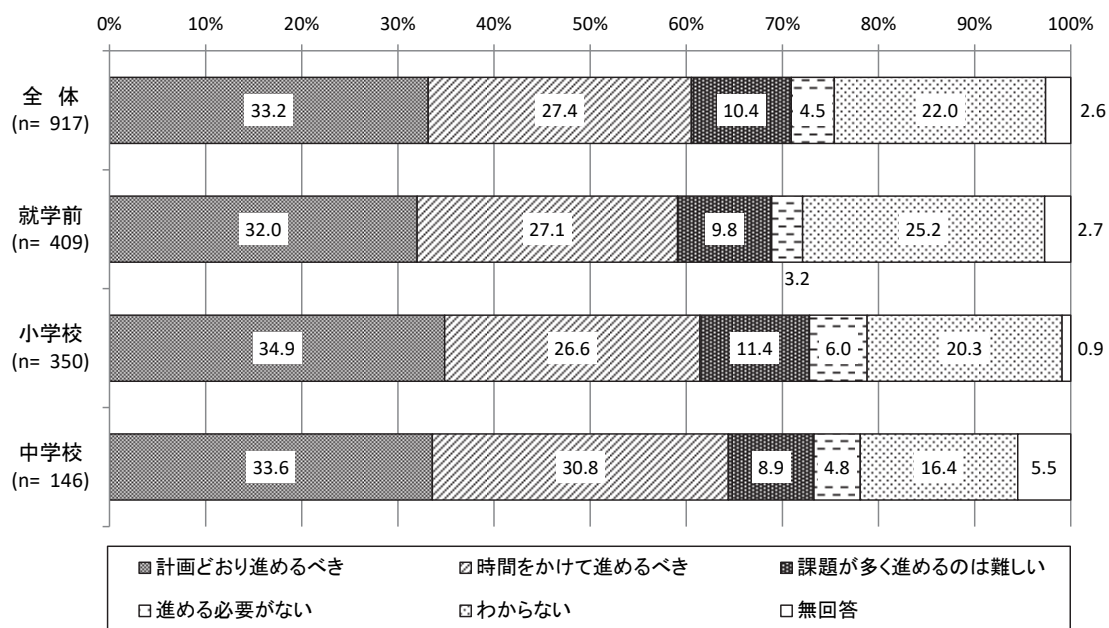
問 29 休日の運動部活動を、段階的に地域での活動に移行することなどについて、国が提言(※)していますが、このことについてどのように感じますか。(○は1つだけ)

※国の提言の概要：令和5年度から3年間で公立中学校での休日の運動部活動を段階的に地域での活動に移行し、将来的には平日の活動や文化部も地域移行して、子どもが生涯にわたり継続して地域でスポーツや文化活動等に親しむことができる持続可能なスポーツ（文化）環境の構築を図る。

全体では、「計画どおり進めるべき」が33.2%と最も高く、次いで「時間をかけて進めるべき」が27.4%となっています。一方、「課題が多く進めるのは難しい」は10.4%、「進める必要がない」が4.5%となっています。また、「わからない」は22.0%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校に比べ中学校では「時間をかけて進めるべき」が30.8%とやや高く、「わからない」が16.4%と低くなっています。

図 休日の運動部活動の段階的な地域移行に対する考え



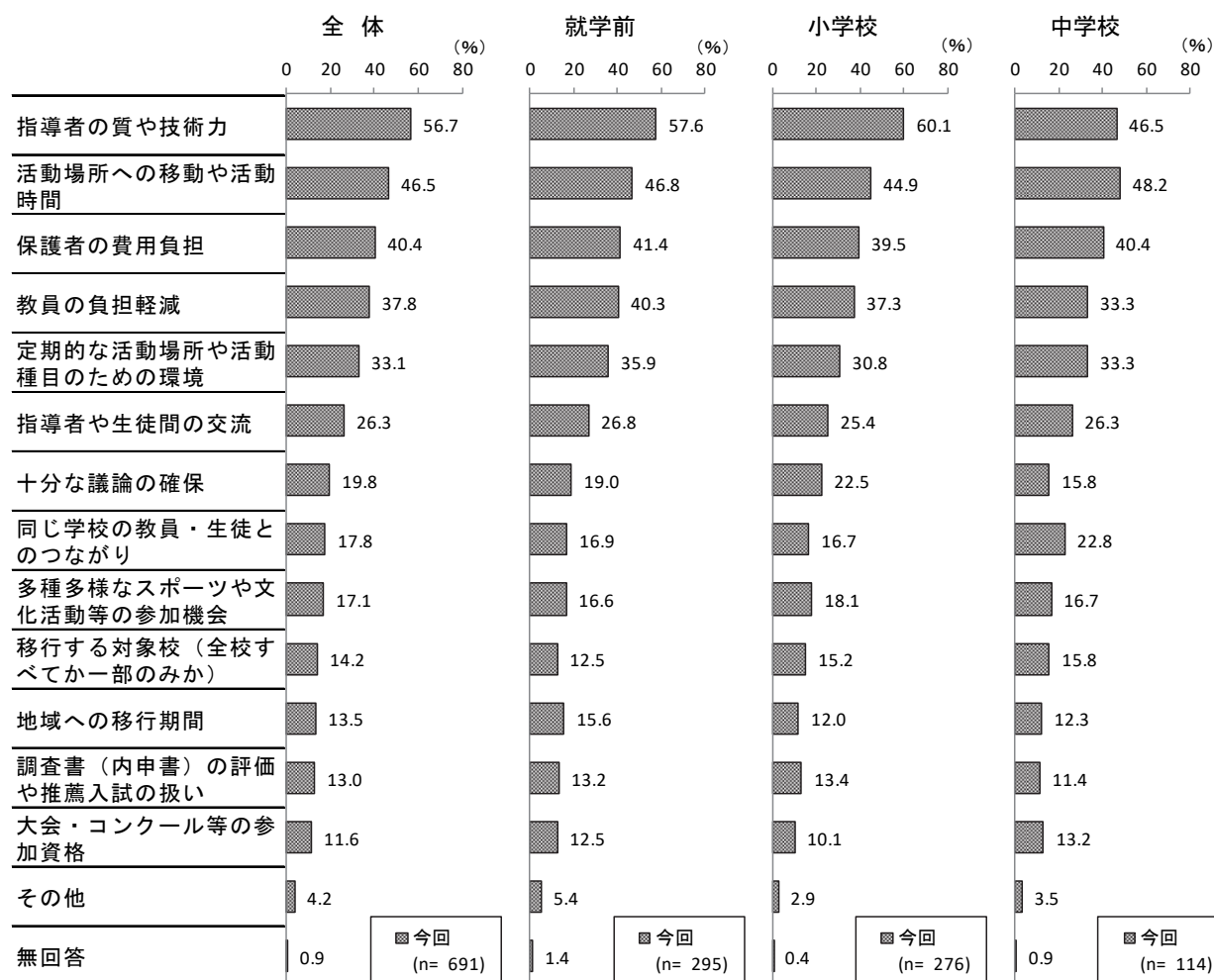
(5) 部活動の地域移行に関する課題で気になること

問 30 問 29 で「1 計画どおり進めるべき」、「2 時間をかけて進めるべき」、「3 課題が多く進めるのは難しい」、「4 進める必要がない」と答えた方にお聞きします。
部活動の地域移行については、以下のような課題が示されています。あなたが気になることはありますか。(〇は5つまで)

全体では、「指導者の質や技術力」が 56.7%と最も高く、次いで「活動場所への移動や活動時間」が 46.5%、「保護者の費用負担」が 40.4%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校に比べ中学校では「指導者の質や技術力」の割合が低く、「同じ学校の教員・生徒とのつながり」が高くなっています。

図 部活動の地域移行に関する課題で気になること



(6) 「ヤングケアラー」という言葉の認知度

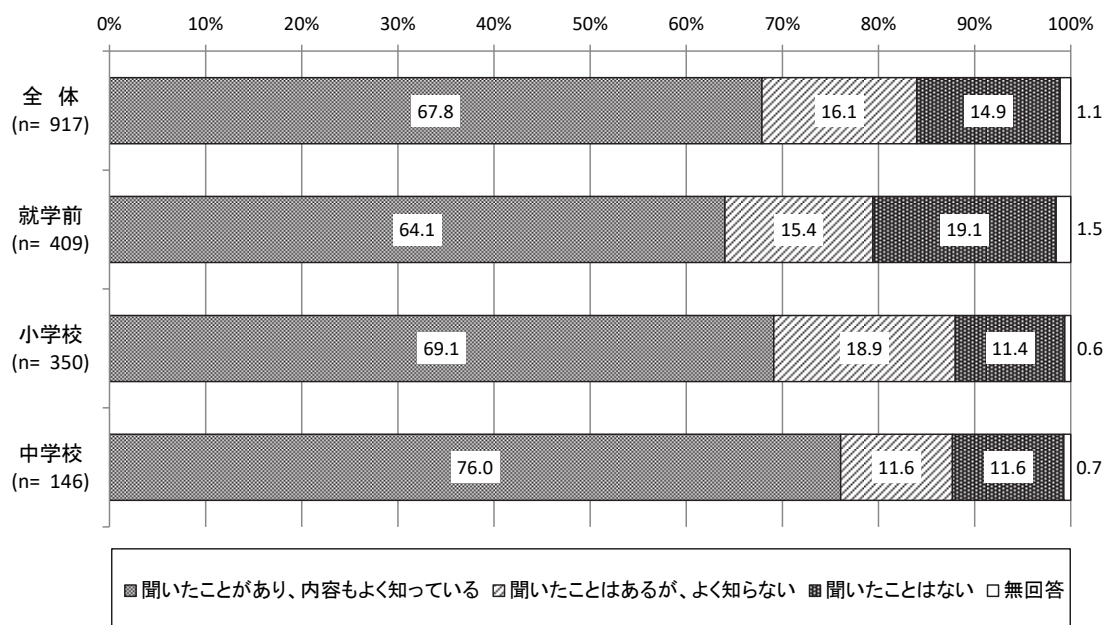
問 31 「ヤングケアラー（※）」という言葉を知っていますか。（○は1つだけ）

※ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。

全体では、「聞いたことがあります、内容もよく知っている」が 67.8%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 16.1%、「聞いたことはない」が 14.9%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「聞いたことがあります、内容もよく知っている」は、就学前では 64.1%、小学校では 69.1%、中学校では 76.0%となっています。

図 「ヤングケアラー」という言葉の認知度



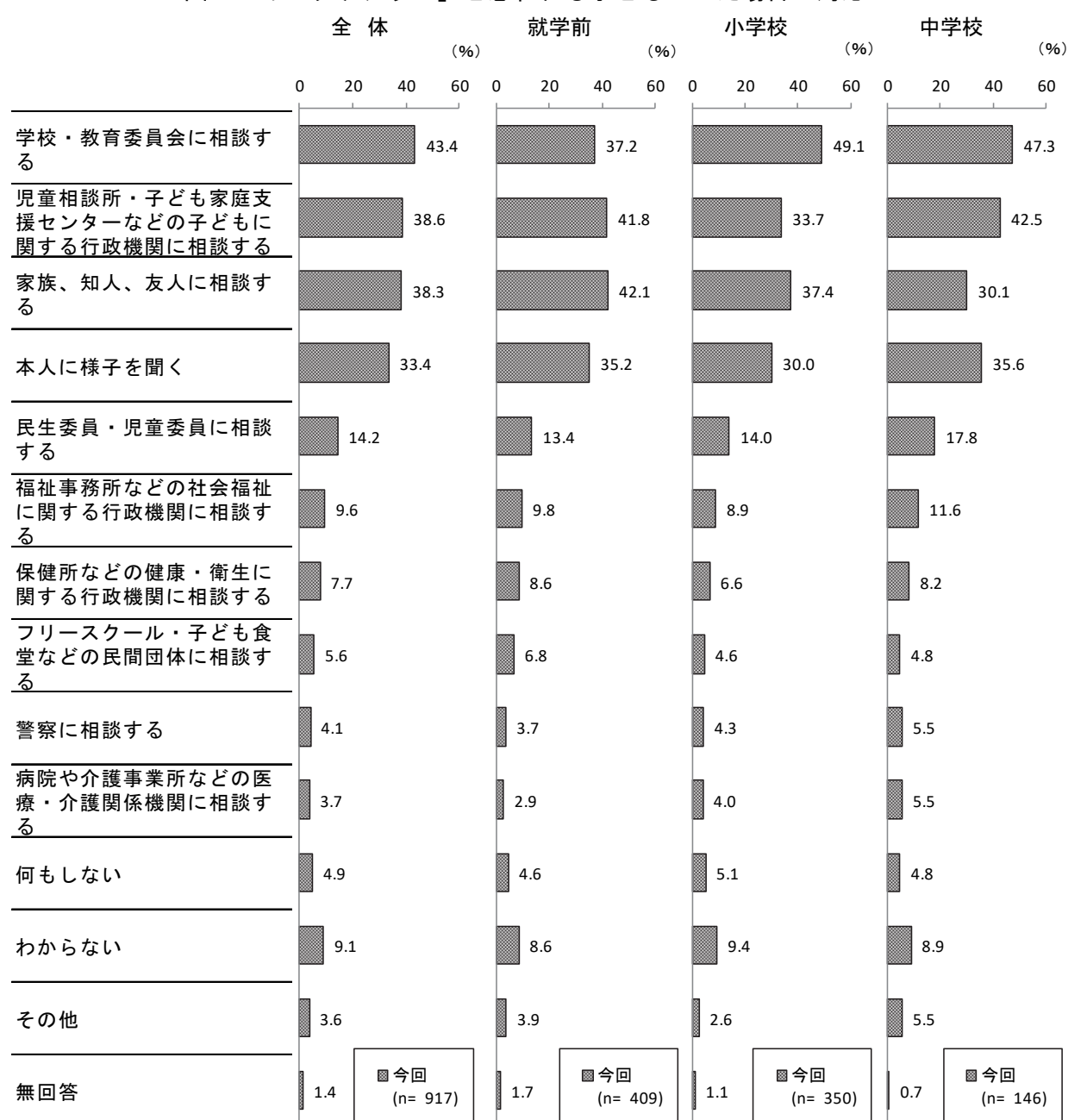
(7) 「ヤングケアラー」と思われる子どもがいた場合の対応

問 32 「ヤングケアラー」と思われる子どもがいた場合、あなたならどうしますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「学校・教育委員会に相談する」が 43.4%と最も高く、次いで「児童相談所・子ども家庭支援センターなどの子どもに関する行政機関に相談する」が 38.6%、「家族、知人、友人に相談する」が 38.3%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前では「家族、知人、友人に相談する」が最も高く、小学校、中学校では「学校・教育委員会に相談する」がそれぞれ最も高くなっています。

図 「ヤングケアラー」と思われる子どもがいた場合の対応



9 北区の教育行政について

(1) 「学校ファミリー」で実施している教育施策に対する考え

問 33 北区では、通学区域の異なる保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校でつくる近隣複数校のネットワークとして「学校ファミリー」を形成し、以下の教育施策を実施しています。それぞれについて、どのように考えますか。

① 保幼小連携で重点的に取り組むべき活動

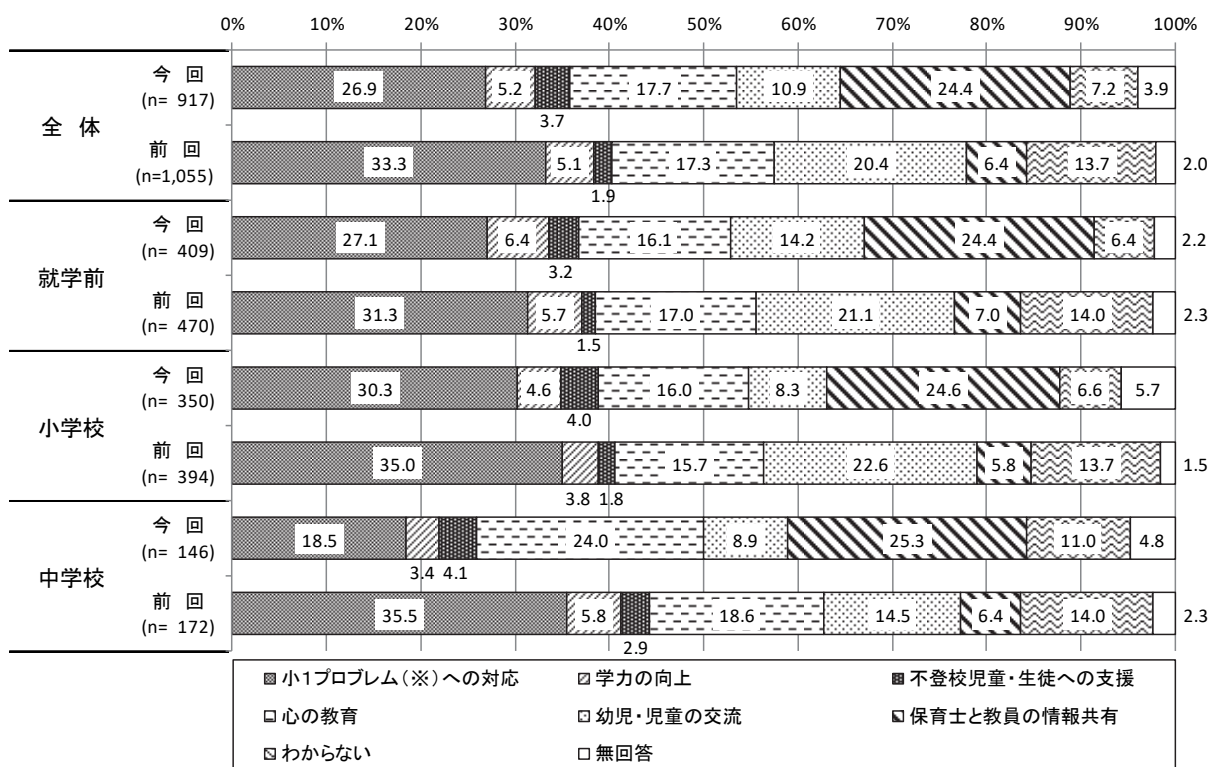
(1) 保幼小連携で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つだけ)

全体では、「小1プロブレムへの対応」が26.9%と最も高く、次いで「保育士と教員の情報共有」が24.4%、「心の教育」が17.7%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校に比べ中学校では「心の教育」が高くなっています。

前回調査と比較すると、就学前、小学校、中学校のいずれでも「保育士と教員の情報共有」が高く、「幼児・児童の交流」が低くなっています。

図 保幼小連携で重点的に取り組むべき活動



※ 小1プロブレム：小学校1年生の学級において、入学後の落ち着かない状態がいつまでも解消されず、教師の話をきかない、授業中に座ってられないなど、授業規律が成立しない状態へと拡大し、こうした状態が数か月に渡って継続する状態。

②小中一貫教育で重点的に取り組むべき活動

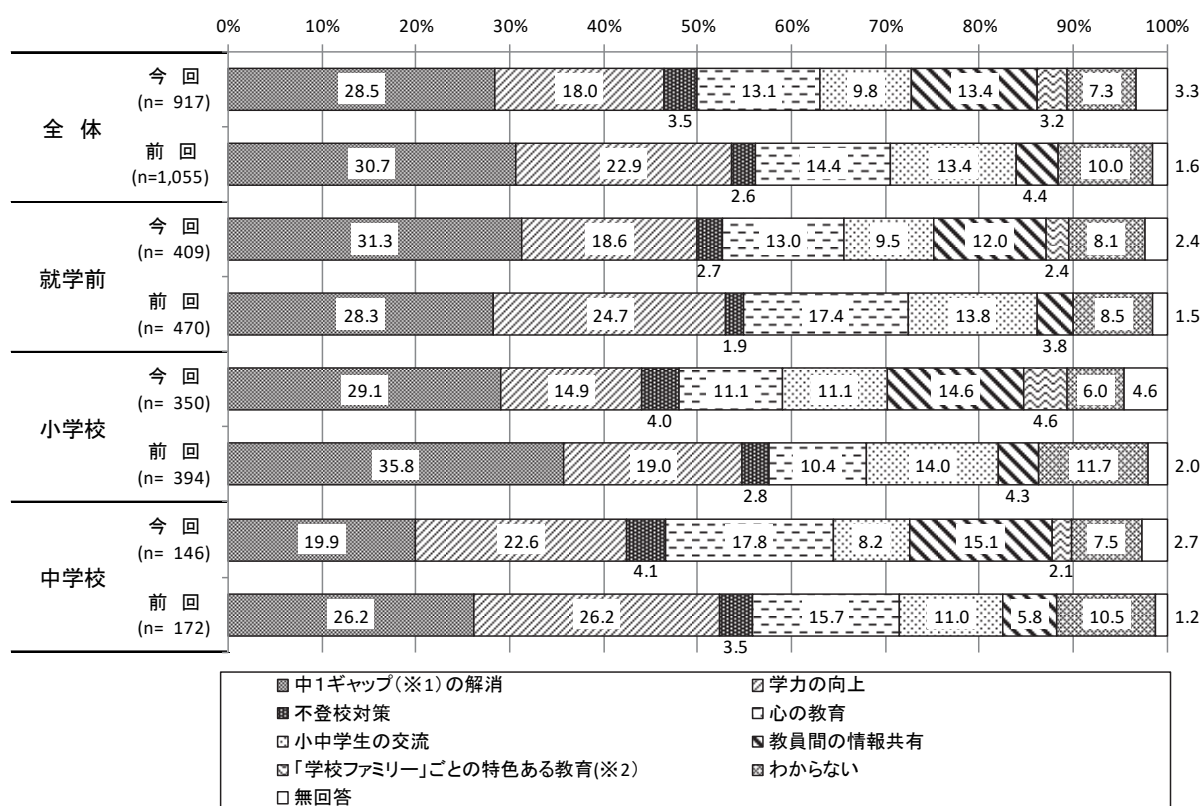
(2) 小中一貫教育で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つだけ)

全体では、「中1ギャップの解消」が28.5%と最も高く、次いで「学力の向上」が18.0%、「教員間の情報共有」が13.4%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校に比べ中学校では「学力の向上」がやや高くなっています。

前回調査と比較すると、就学前、小学校、中学校のいずれでも「教員間の情報共有」が高くなっています。

図 小中一貫教育で重点的に取り組むべき活動



※1 中1ギャップ：中学1年生になった途端、学習内容や生活リズムの変化になじめずに不登校となったり、いじめが急増したりする現象。

※2 「『学校ファミリー』ごとの特色ある教育」は、今回調査から追加。

(2) 地域と学校との連携を進める上で重点的に取り組むべき活動

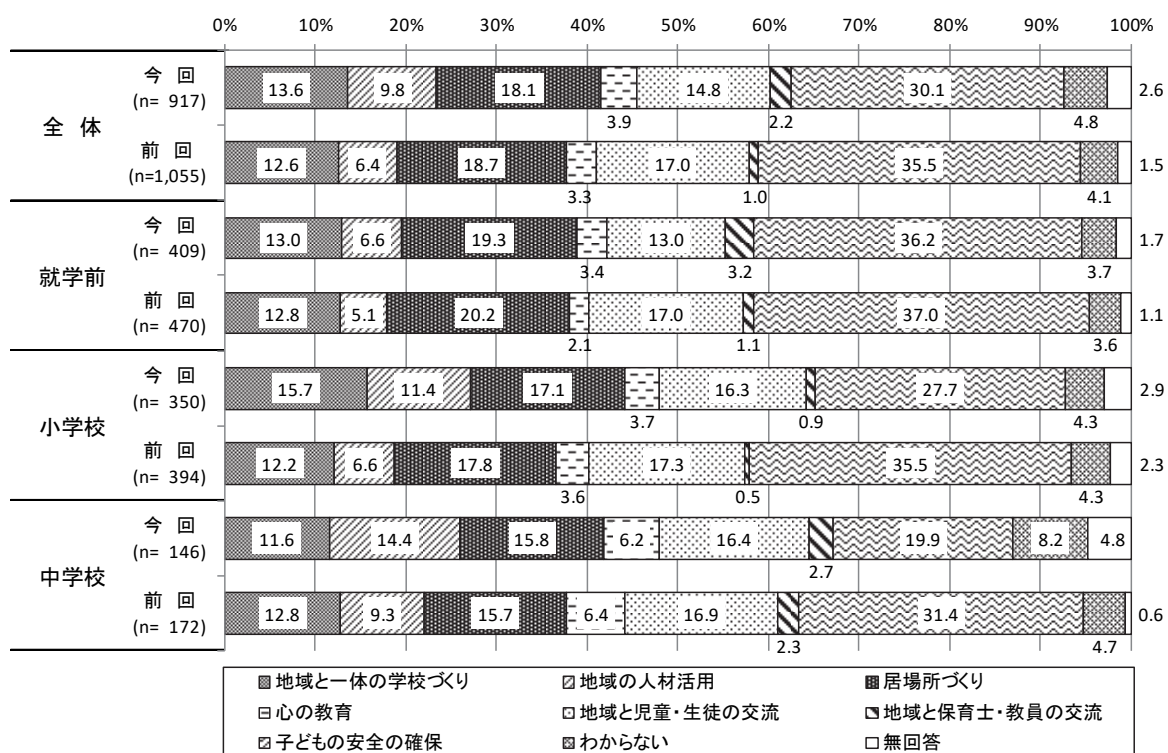
問 34 地域と学校との連携を進める上で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つだけ)

全体では、「子どもの安全の確保」が30.1%と最も高く、次いで「居場所づくり」が18.1%、「地域と児童・生徒の交流」が14.8%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「子どもの安全の確保」は就学前で特に高くなっています。

前回調査と比較すると、小学校と中学校で「子どもの安全の確保」が低くなっています。また、中学校で「地域の人材活用」が高くなっています。

図 地域と学校との連携を進める上で重点的に取り組むべき活動



※ 「地域と保育士・教員の交流」は、前回調査では「保育士・教員との交流」で実施。

(3) 学校施設の整備で優先的に行うべきこと

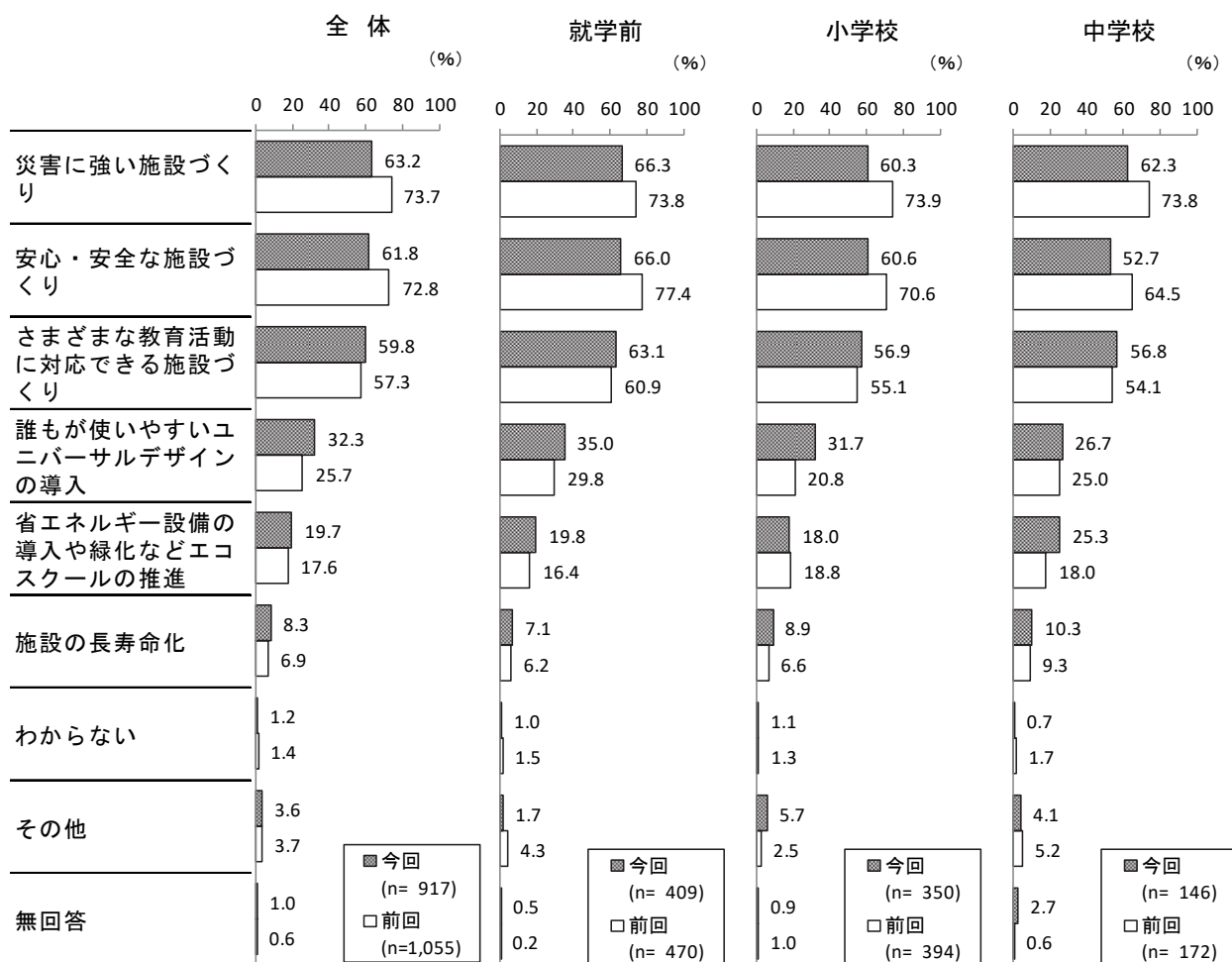
問 35 学校施設の整備について、今後どのようなことを優先的に行うべきだと考えますか。
(〇は3つまで)

全体では、「災害に強い施設づくり」が 63.2%と最も高く、次いで「安心・安全な施設づくり」が 61.8%、「さまざまな教育活動に対応できる施設づくり」が 59.8%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校に比べ中学校では「省エネルギー設備の導入や緑化などエコスクールの推進」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、就学前、小学校、中学校のいずれでも「災害に強い施設づくり」と「安心・安全な施設づくり」が低くなっています。また、就学前、小学校で「誰もが使いやすいユニバーサルデザインの導入」が高く、中学校で「省エネルギー設備の導入や緑化などエコスクールの推進」が高くなっています。

図 学校施設の整備で優先的に行うべきこと



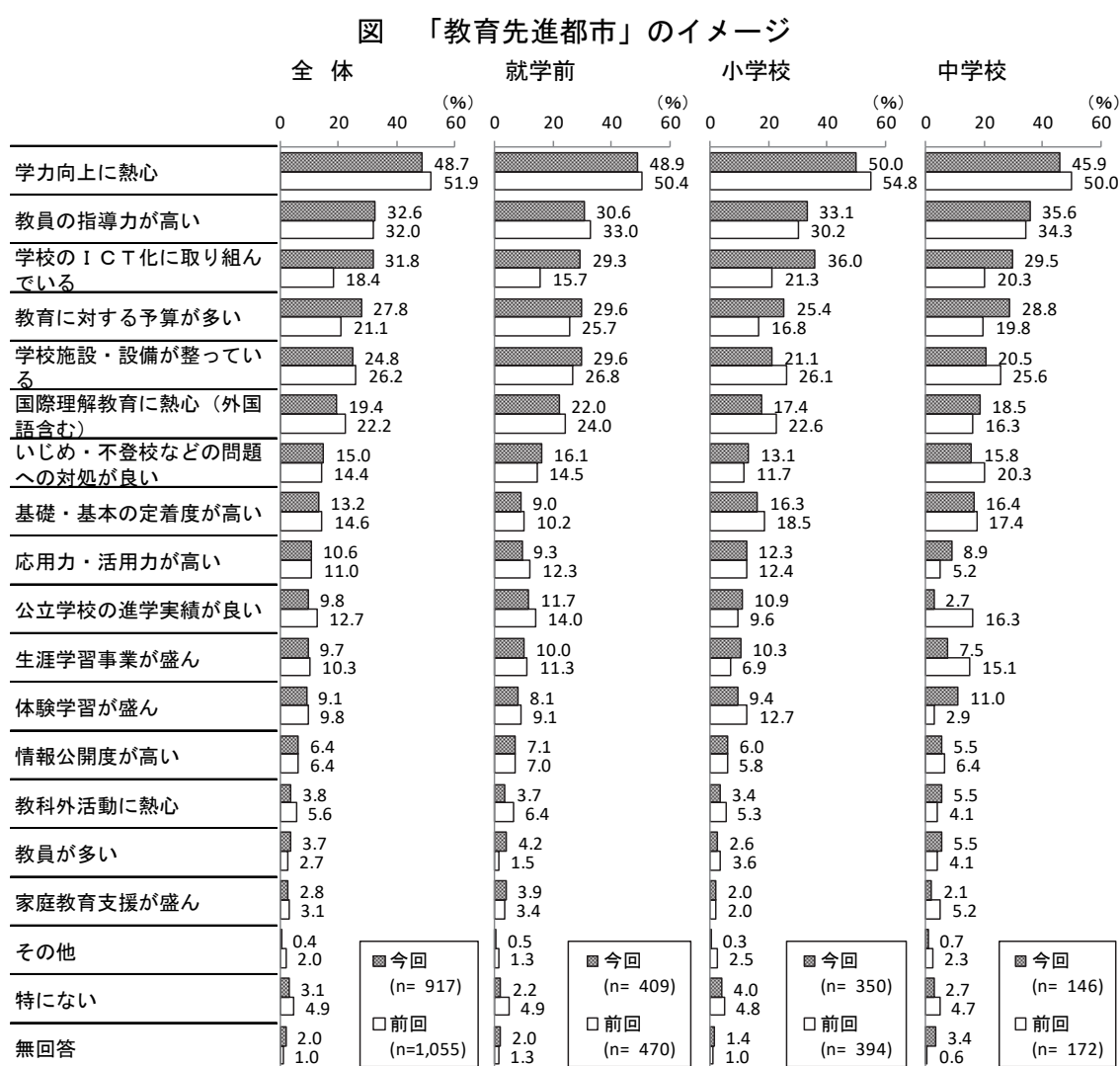
(4) 「教育先進都市」のイメージ

問 36 北区は「教育先進都市」を掲げていますが、「教育先進都市」と聞いて抱くイメージは何ですか。(〇は3つまで)

全体では、「学力向上に熱心」が48.7%と最も高く、次いで「教員の指導力が高い」が32.6%、「学校のICT化に取り組んでいる」が31.8%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、小学校では「学校のICT化に取り組んでいる」の割合がやや高くなっています。

前回調査と比較すると、就学前、小学校、中学校のいずれでも「学校のICT化に取り組んでいる」と「教育に対する予算が多い」が高くなっています。



※ 「教員の指導力が高い」は、前回調査では「教員の質が高い」で実施。

10 生涯学習について

(1) 自分ができることを地域や学校で活かしたいか

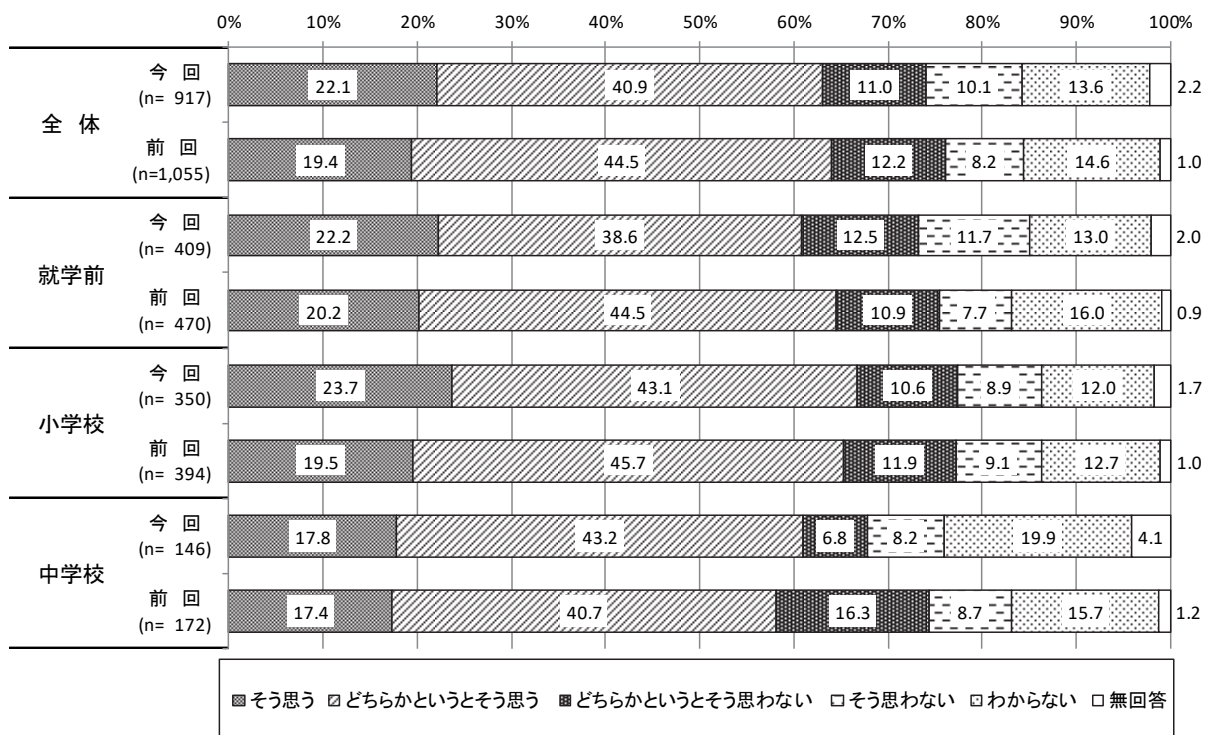
問 37 あなたは、自分ができることを地域や学校で活かしたいと思いますか。(○は1つだけ)

全体では、「そう思う」が 22.1%、「どちらかというと思う」が 40.9%で、合わせて 63.0%が『そう思う』と回答しています。一方、「どちらかというと思わない」が 11.0%、「そう思わない」が 10.1%で、合わせて 21.1%が『そう思わない』と回答しています。

子どもの就学状況別に見ると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかというと思う」)は、就学前では 60.8%、小学校では 66.8%、中学校では 61.0%となっています。

前回調査と比較すると、就学前で『そう思わない』(「そう思わない」+「どちらかというと思わない」)が高くなっています。

図 自分ができることを地域や学校で活かしたいか



(2) 生涯学習活動への参加状況

問 38 あなたは、現在何らかの生涯学習活動に参加していますか。(○は1つだけ)

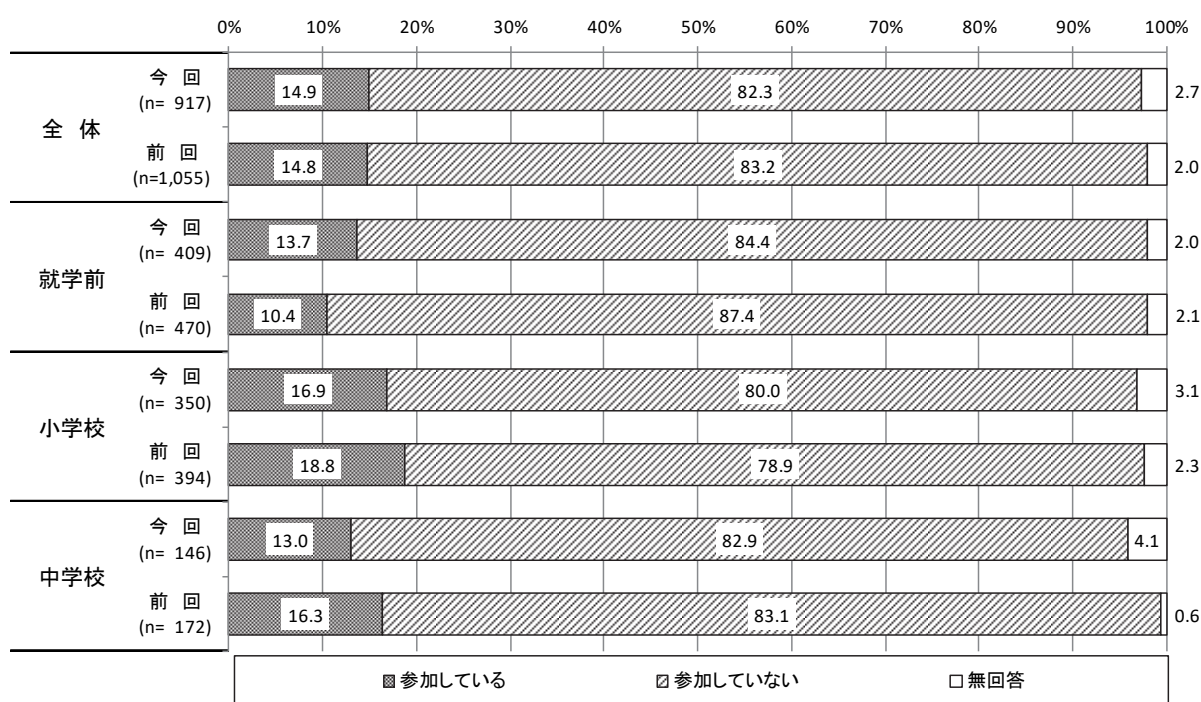
(例:「趣味の講座を受講している」「資格を身につけ、講座を開いている」「ボランティア活動に参加している」「独自に研究を進めている」)

全体では、「参加している」が14.9%、「参加していない」が82.3%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「参加している」は2割未満となっています。

前回調査と比較すると、特に大きな差はみられませんでした。

図 生涯学習活動への参加状況



(3) 文化センターの利用度及び利用満足度

問 39 あなたは、文化センターを利用したことがありますか。以下の項目ごとに、利用満足度について○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

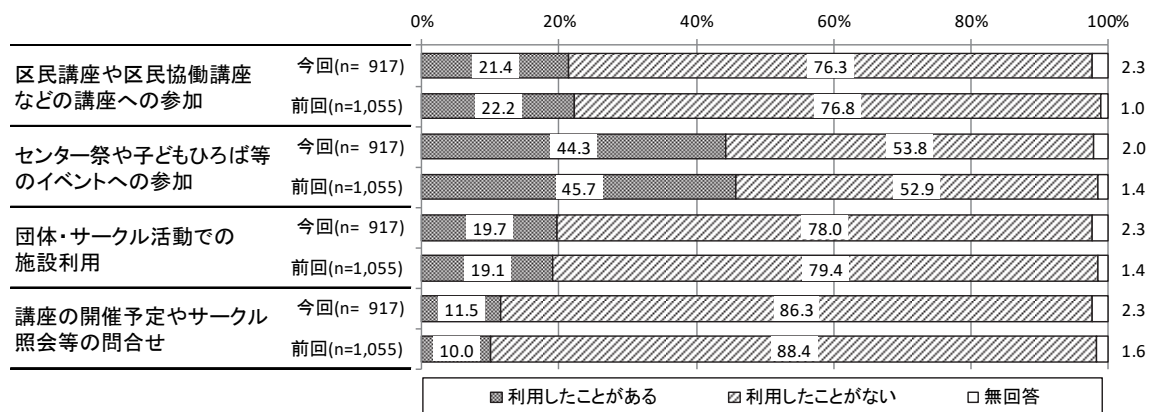
①全体

ア. 利用度

「利用したことがある」は「センター祭や子どもひろば等のイベントへの参加」が44.3%と最も高く、次いで「区民講座や区民協働講座などの講座への参加」が21.4%となっています。一方、「利用したことがない」は「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が86.3%と最も高く、次いで、「団体・サークル活動での施設利用」が78.0%となっています。

前回調査と比較すると、特に大きな差はみられませんでした。

図 文化センターの利用度 (全体)

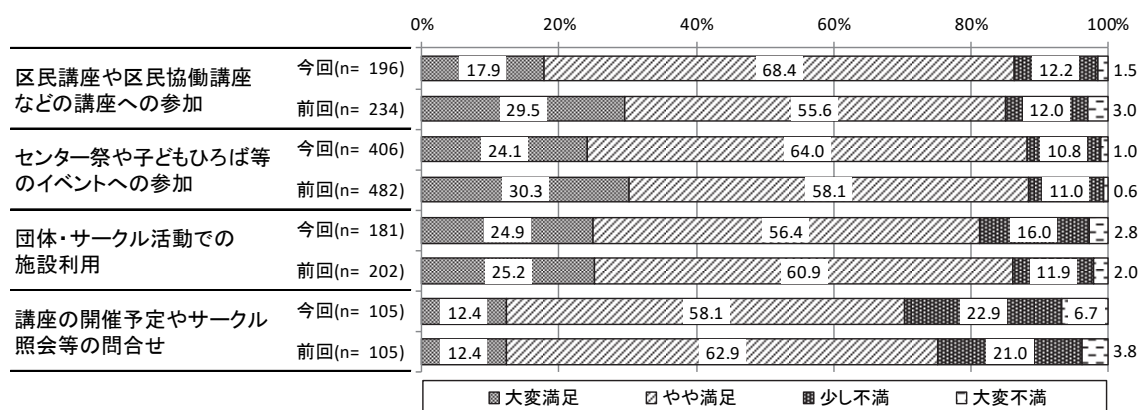


イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「センター祭や子どもひろば等のイベントへの参加」が88.1%と最も高く、次いで「区民講座や区民協働講座などの講座への参加」が86.3%となっています。一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が29.6%と最も高く、次いで、「団体・サークル活動での施設利用」が18.8%となっています。

前回調査と比較すると、「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」と「団体・サークル活動での施設利用」で『不満』がやや高くなっています。

図 文化センターの利用満足度 (全体)



②就学前

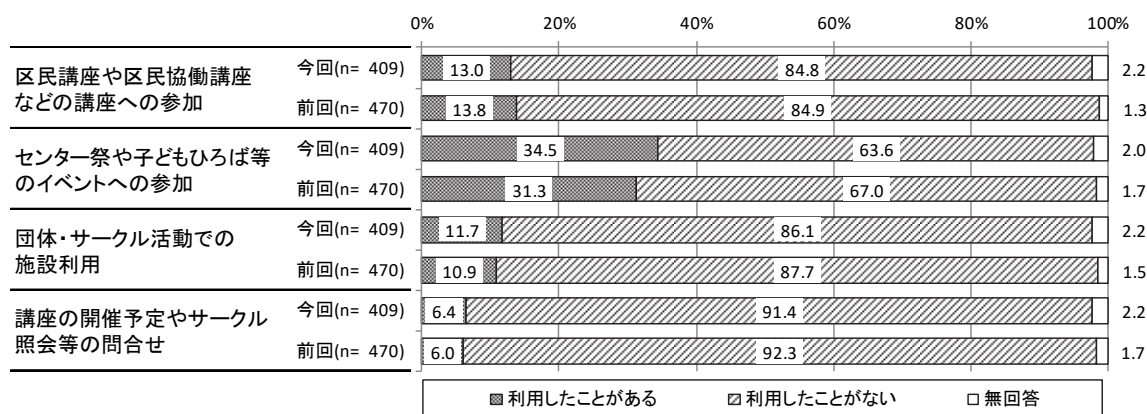
ア. 利用度

「利用したことがある」は「センター祭や子どもひろば等のイベントへの参加」が34.5%と最も高く、次いで「区民講座や区民協働講座などの講座への参加」が13.0%となっています。

一方、「利用したことがない」は「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が91.4%と最も高く、次いで、「団体・サークル活動での施設利用」が86.1%となっています。

前回調査と比較すると、特に大きな差はみられませんでした。

図 文化センターの利用度（就学前）



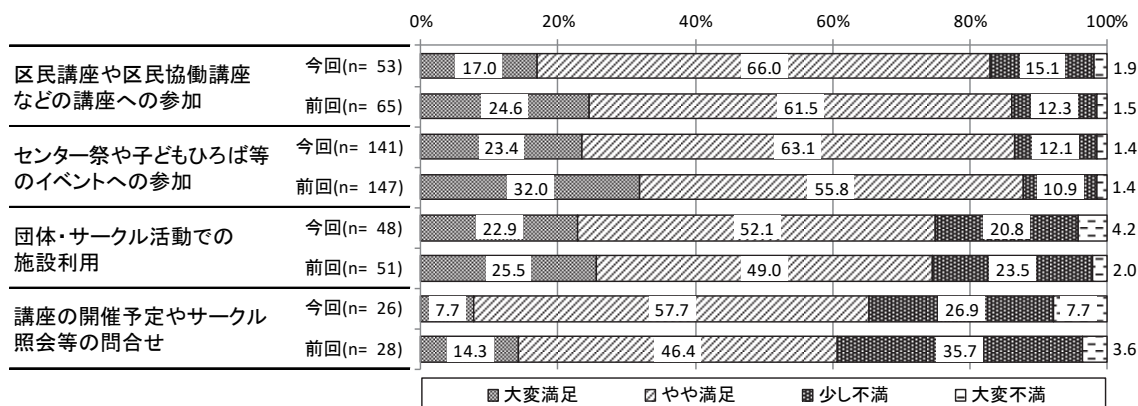
イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「センター祭や子どもひろば等のイベントへの参加」が86.5%と最も高く、次いで「区民講座や区民協働講座などの講座への参加」が83.0%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が34.6%と最も高く、次いで、「団体・サークル活動での施設利用」が25.0%となっています。

前回調査と比較すると、「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」で『満足』がやや高くなっています。

図 文化センターの利用満足度（就学前）



③小学校

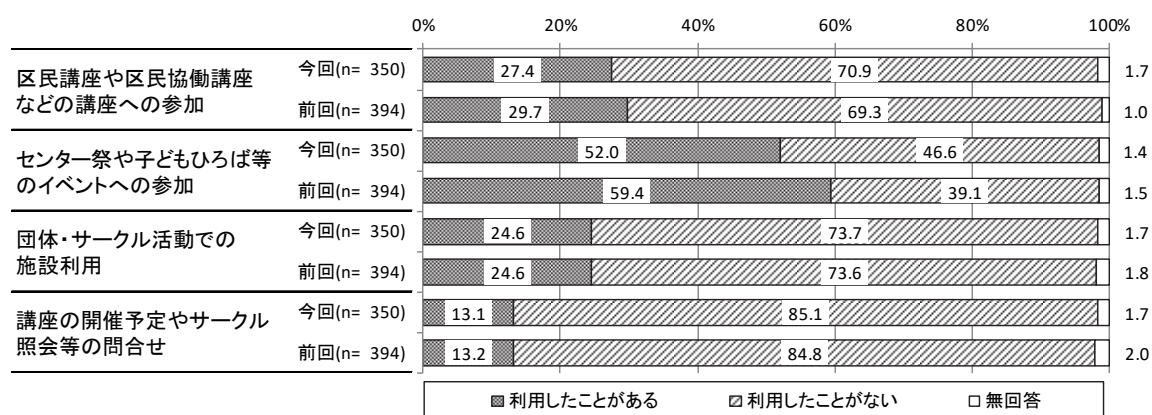
ア. 利用度

「利用したことがある」は「センター祭や子どもひろば等のイベントへの参加」が52.0%と最も高く、次いで「区民講座や区民協働講座などの講座への参加」が27.4%となっています。

一方、「利用したことがない」は「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が85.1%と最も高く、次いで、「団体・サークル活動での施設利用」が73.7%となっています。

前回調査と比較すると、「センター祭や子どもひろば等のイベントへの参加」で「利用したことがない」が高くなっています。

図 文化センターの利用度（小学校）



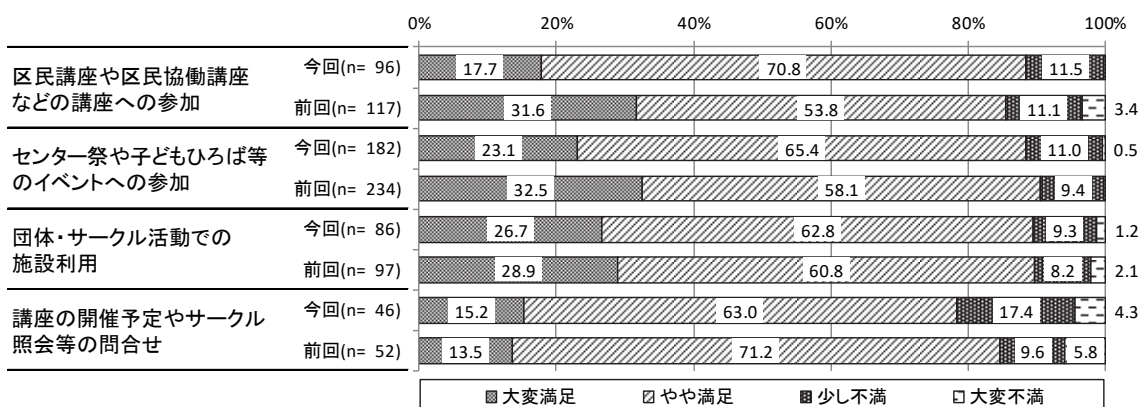
イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「団体・サークル活動での施設利用」が89.5%と最も高く、次いで「センター祭や子どもひろば等のイベントへの参加」と「区民講座や区民協働講座などの講座への参加」が88.5%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が21.7%と最も高く、次いで、「区民講座や区民協働講座などの講座への参加」と「センター祭や子どもひろば等のイベントへの参加」が11.5%となっています。

前回調査と比較すると、「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」で『不満』が高くなっています。

図 文化センターの利用満足度（小学校）



④中学校

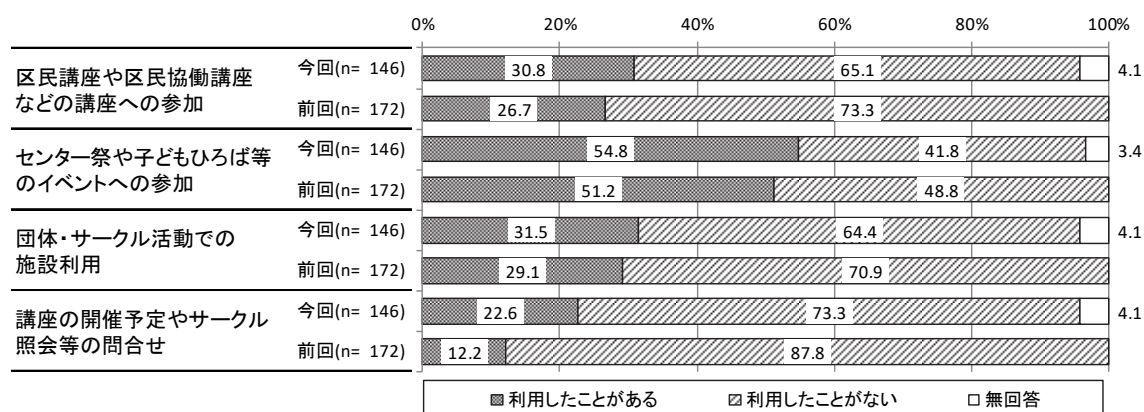
ア. 利用度

「利用したことがある」は「センター祭や子どもひろば等のイベントへの参加」が54.8%と最も高く、次いで「団体・サークル活動での施設利用」が31.5%となっています。

一方、「利用したことがない」は「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が73.3%と最も高く、次いで、「区民講座や区民協働講座などの講座への参加」が65.1%となっています。

前回調査と比較すると、「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」で「利用したことがある」が高くなっています。

図 文化センターの利用度（中学校）



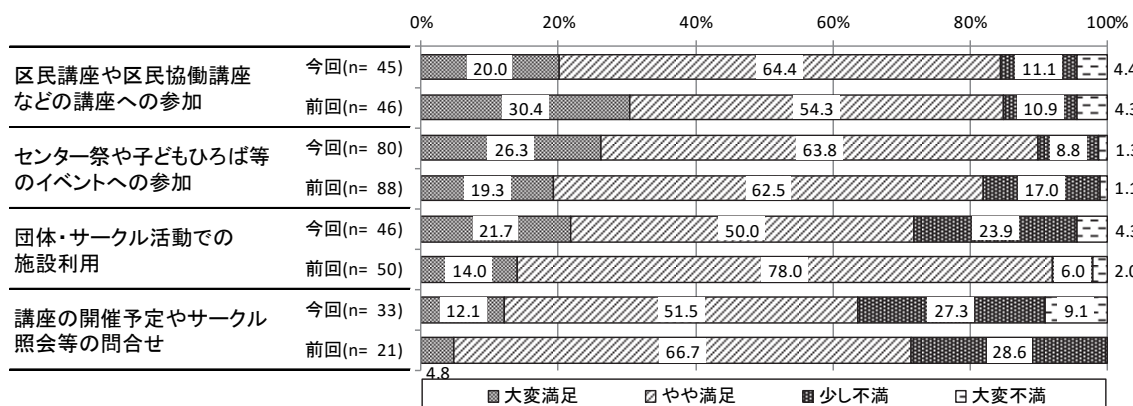
イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「センター祭や子どもひろば等のイベントへの参加」が90.1%と最も高く、次いで「区民講座や区民協働講座などの講座への参加」が84.4%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」が36.4%と最も高く、次いで、「団体・サークル活動での施設利用」が28.2%となっています。

前回調査と比較すると、「センター祭や子どもひろば等のイベントへの参加」で『満足』が高く、「団体・サークル活動での施設利用」と「講座の開催予定やサークル照会等の問合せ」で『不満』が高くなっています。

図 文化センターの利用満足度（中学校）



(4) 今後、文化センターに期待すること

問 40 今後、文化センターに期待することは何ですか。(〇は1つだけ)

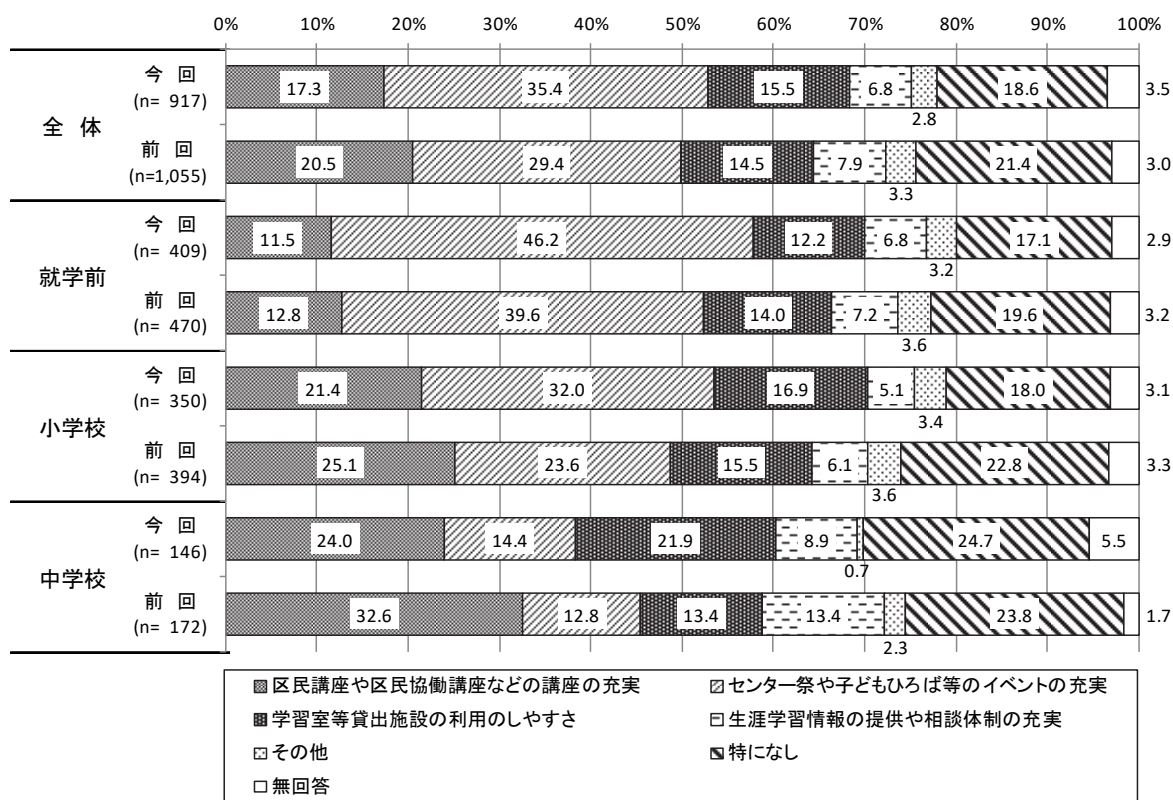
全体では、「センター祭や子どもひろば等のイベントの充実」が 35.4%と最も高く、次いで「区民講座や区民協働講座などの講座の充実」が 17.3%、「学習室等貸出施設の利用のしやすさ」が 15.5%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「区民講座や区民協働講座などの講座の充実」と「学習室等貸出施設の利用のしやすさ」は就学先が上がるにつれて高くなっています。一方、「センター祭や子どもひろば等のイベントの充実」は就学先が上がるにつれて低くなっています。

前回調査と比較すると、全体では「センター祭や子どもひろば等のイベントの充実」が高くなっており、特に就学前と小学校でその傾向が強くなっています。

また、中学校では「学習室等貸出施設の利用のしやすさ」が高く、「区民講座や区民協働講座などの講座の充実」が低くなっています。

図 今後、文化センターに期待すること



(5) 区立図書館の利用度及び利用満足度

問 41 あなたは、区立図書館を利用したことがありますか。以下の項目ごとに、利用満足度について○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

①全体

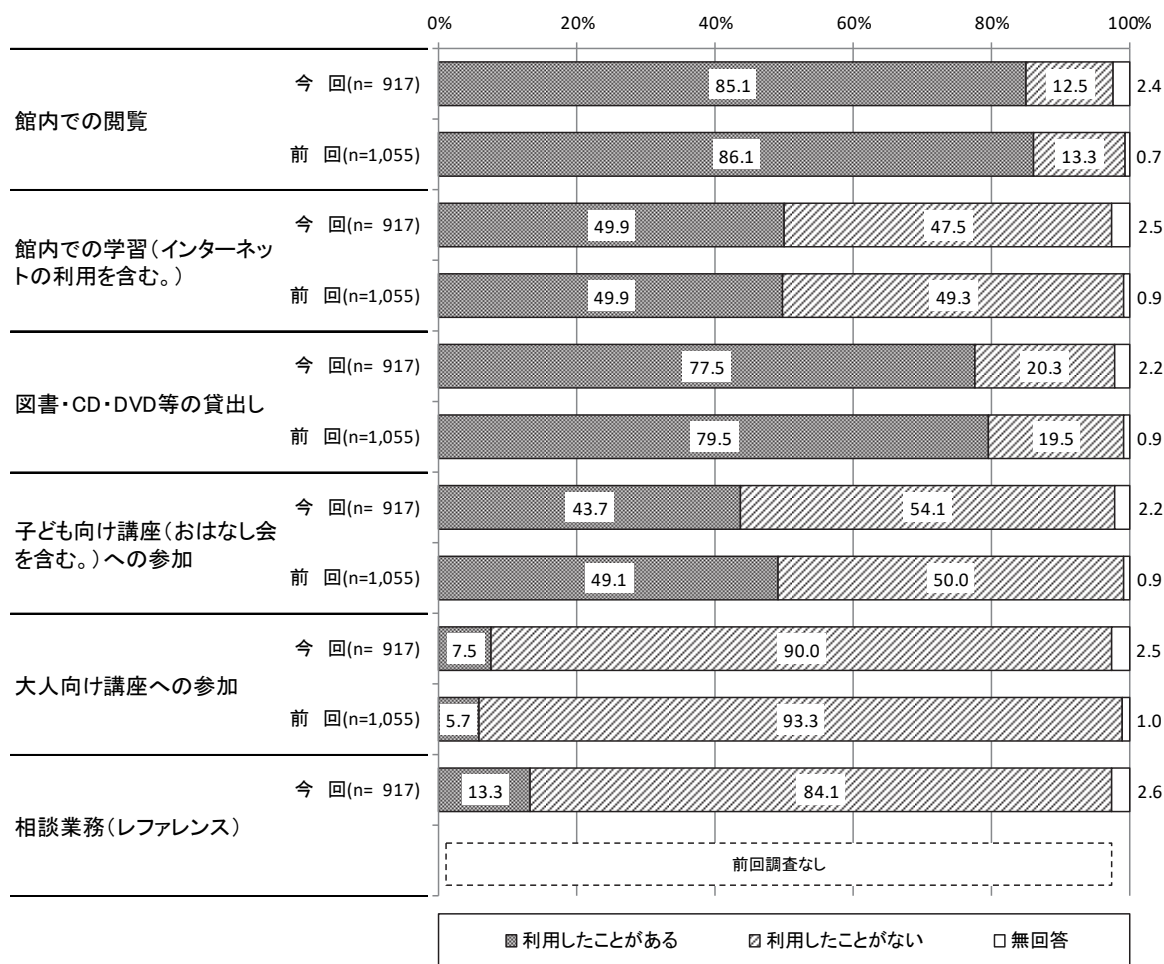
ア. 利用度

「利用したことがある」は「館内での閲覧」が85.1%と最も高く、次いで「図書・CD・DVD等の貸出し」が77.5%となっています。

一方、「利用したことがない」は「大人向け講座への参加」が90.0%と最も高く、次いで、「相談業務(レファレンス)」が84.1%となっています。

前回調査と比較すると、「子ども向け講座(おはなし会を含む。)への参加」の「利用したことがない」がやや高くなっています。

図 区立図書館の利用度(全体)



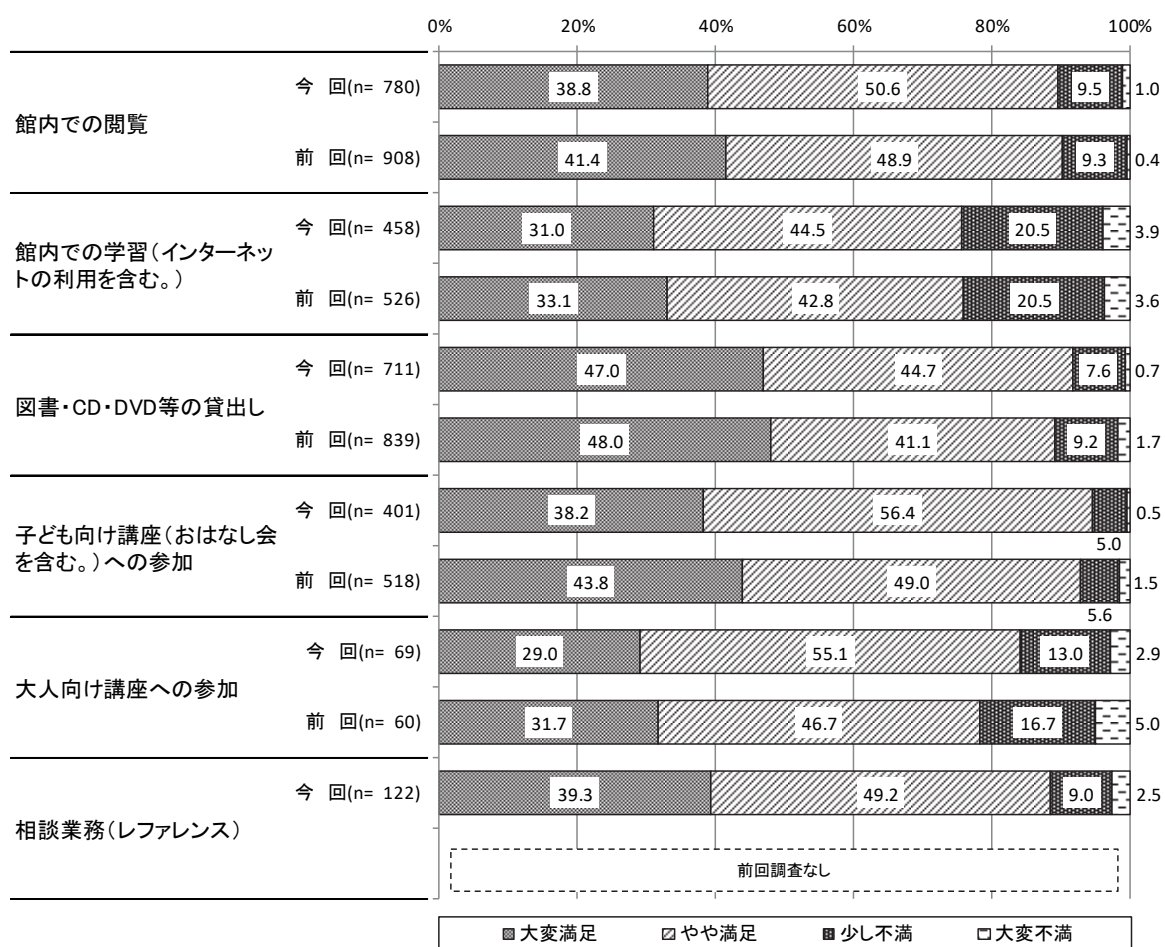
イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加」が94.6%と最も高く、次いで「図書・CD・DVD等の貸出し」が91.7%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「館内での学習（インターネットの利用を含む。）」が24.4%と最も高く、次いで、「大人向け講座への参加」が15.9%となっています。

前回調査と比較すると、「大人向け講座への参加」の『満足』が高くなっています。

図 区立図書館の利用満足度（全体）



②就学前

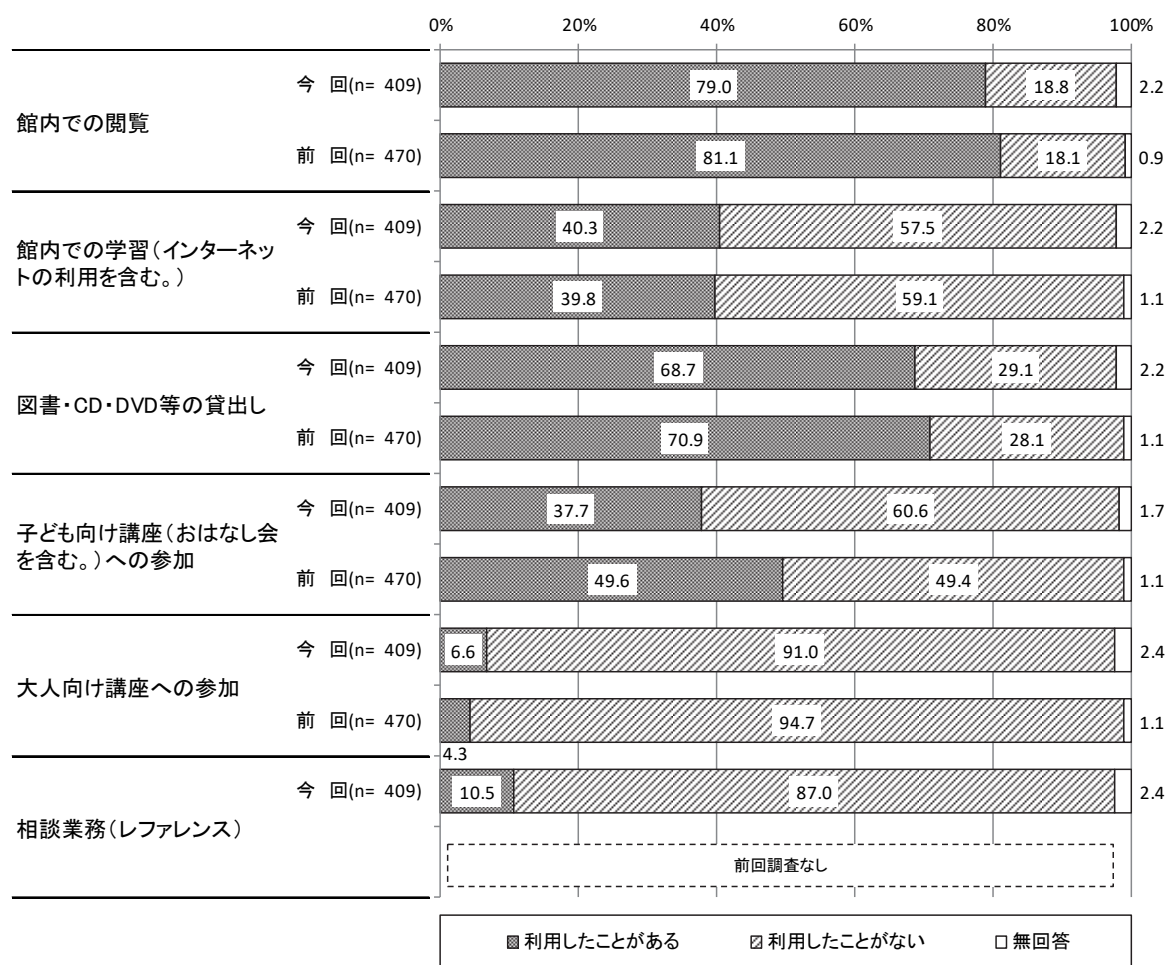
ア. 利用度

「利用したことがある」は「館内での閲覧」が79.0%と最も高く、次いで「図書・CD・DVD等の貸出し」が68.7%となっています。

一方、「利用したことがない」は「大人向け講座への参加」が91.0%と最も高く、次いで、「相談業務（レファレンス）」が87.0%となっています。

前回調査と比較すると、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加」の「利用したことがない」が高くなっています。

図 区立図書館の利用度（就学前）



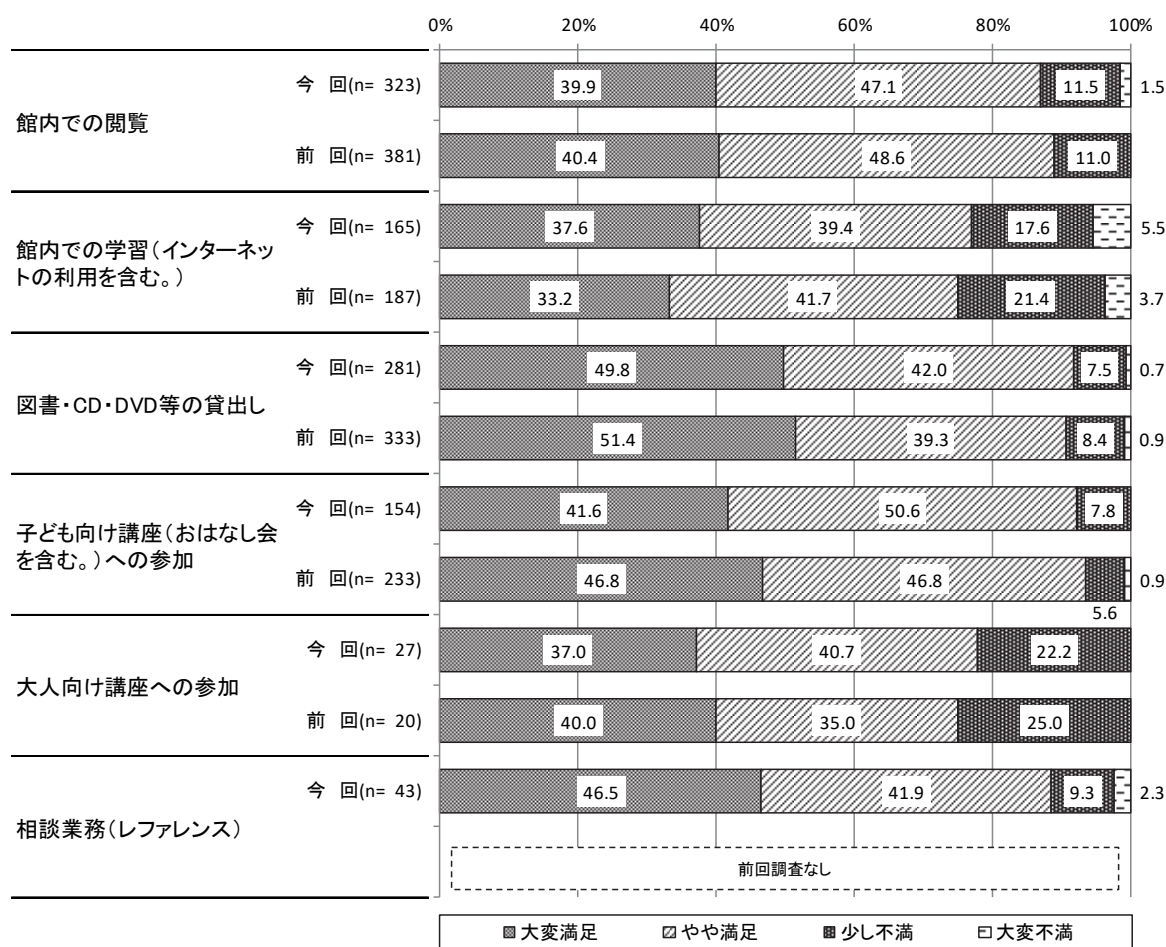
イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加」が92.2%と最も高く、次いで「図書・CD・DVD等の貸出し」が91.8%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「館内での学習（インターネットの利用を含む。）」が23.1%と最も高く、次いで、「大人向け講座への参加」が22.2%となっています。

前回調査と比較すると、特に大きな差はみられませんでした。

図 区立図書館の利用満足度（就学前）



③小学校

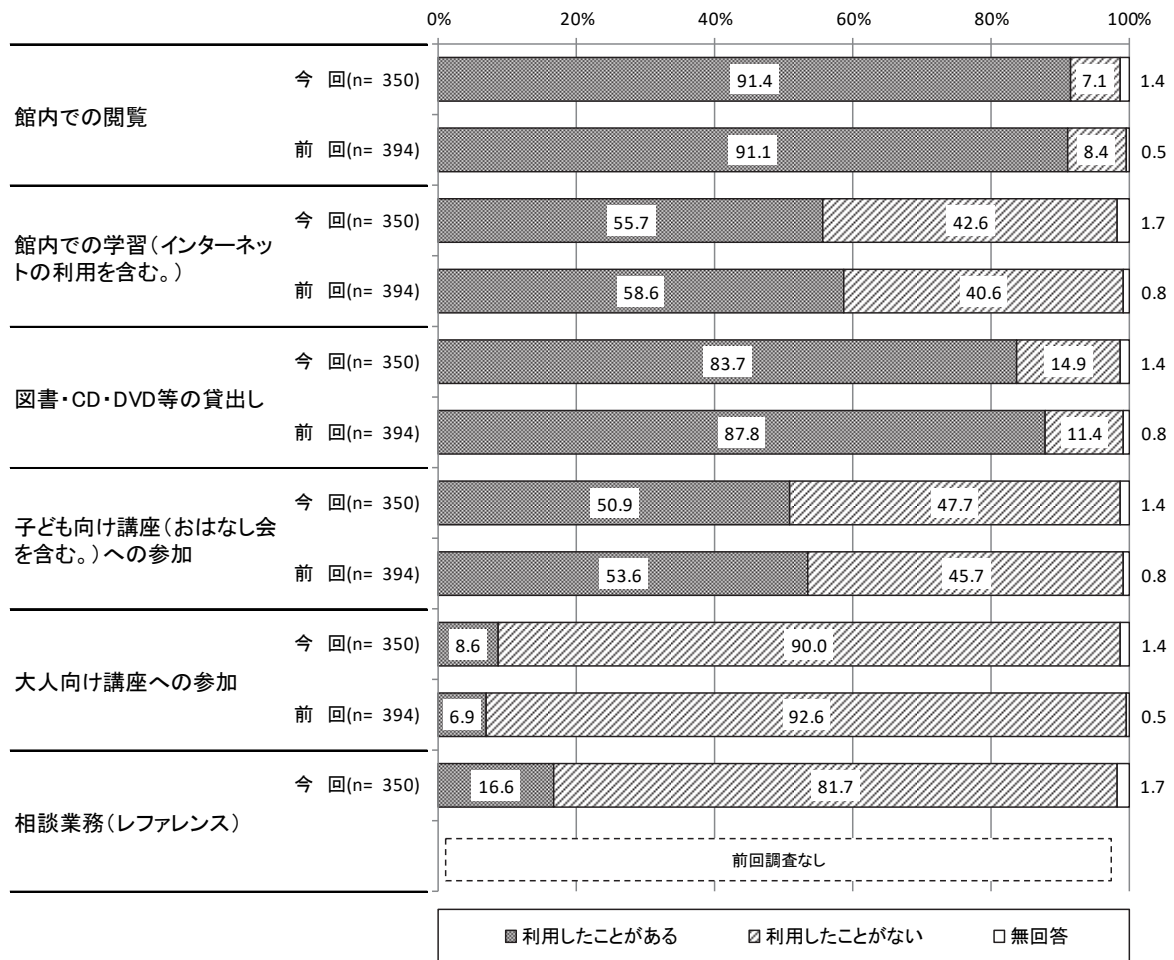
ア. 利用度

「利用したことがある」は「館内での閲覧」が91.4%と最も高く、次いで「図書・CD・DVD等の貸出し」が83.7%となっています。

一方、「利用したことがない」は「大人向け講座への参加」が90.0%と最も高く、次いで、「相談業務（レファレンス）」が81.7%となっています。

前回調査と比較すると、特に大きな差はみられませんでした。

図 区立図書館の利用度（小学校）



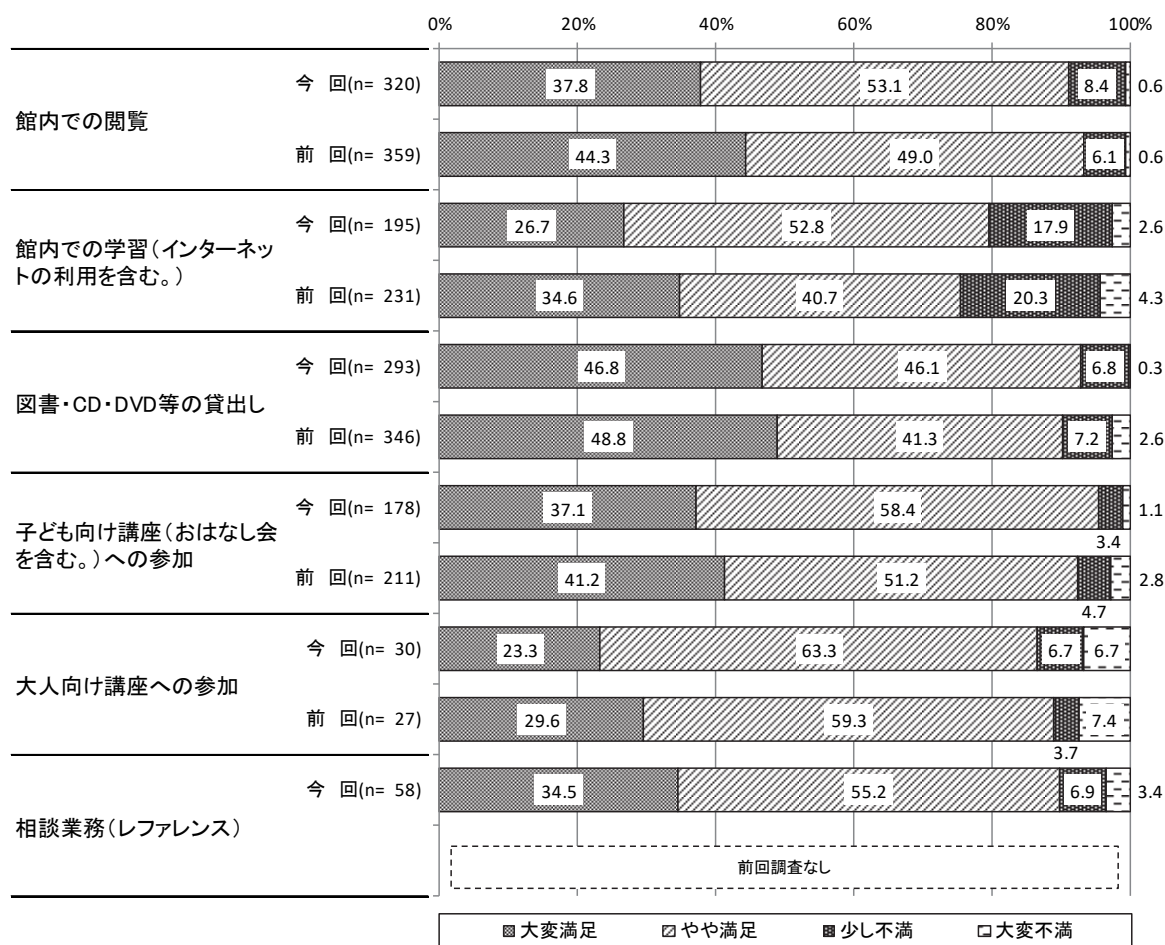
イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加」が95.5%と最も高く、次いで「図書・CD・DVD等の貸出し」が92.9%となっています。

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「館内での学習（インターネットの利用を含む。）」が20.5%と最も高く、次いで、「大人向け講座への参加」が13.4%となっています。

前回調査と比較すると、「館内での学習（インターネットの利用を含む。）」の『満足』がやや高くなっています。

図 区立図書館の利用満足度（小学校）



④中学校

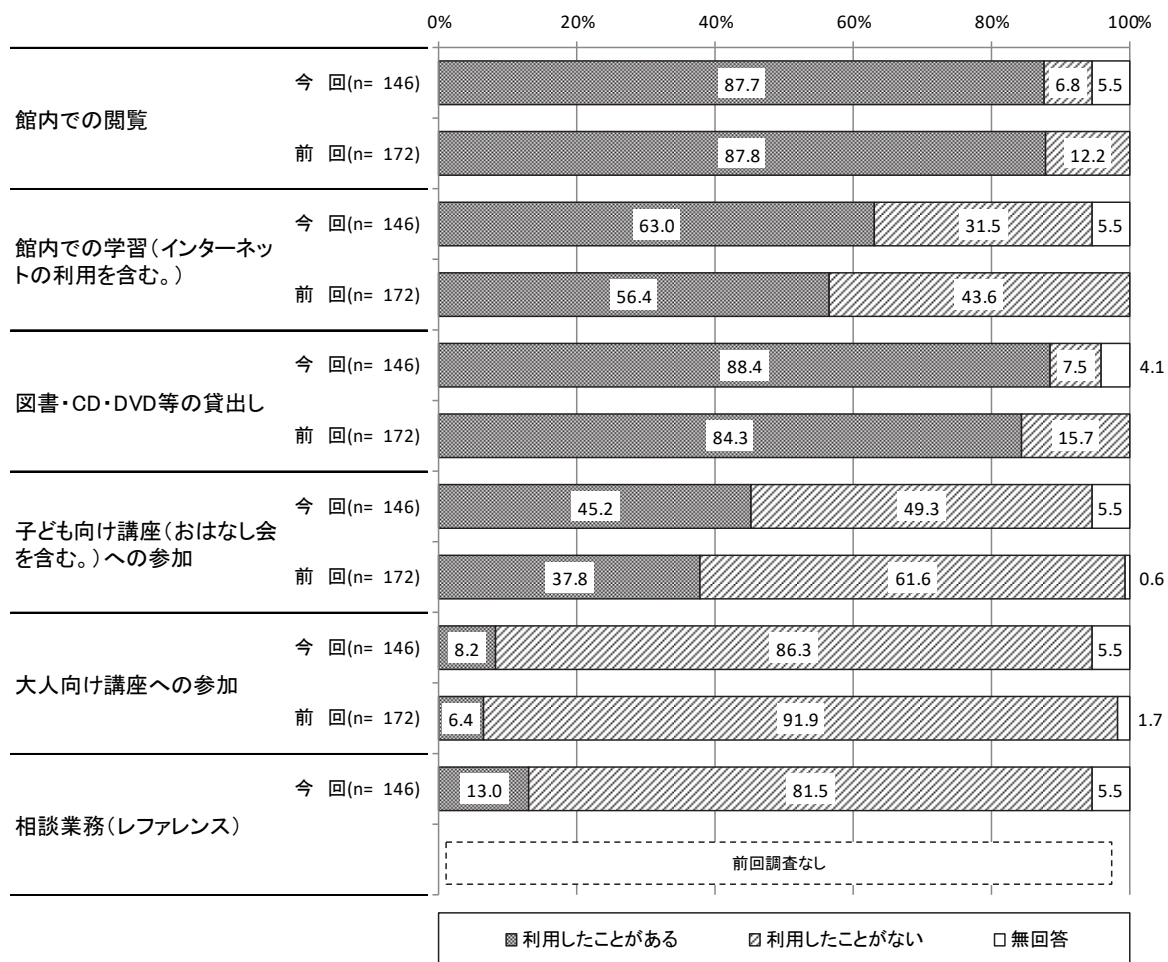
ア. 利用度

「利用したことがある」は「図書・CD・DVD等の貸出し」が88.4%と最も高く、次いで「館内での閲覧」が87.7%となっています。

一方、「利用したことがない」は「大人向け講座への参加」が86.3%と最も高く、次いで、「相談業務（レファレンス）」が81.5%となっています。

前回調査と比較すると、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加」と「館内での学習（インターネットの利用を含む。）」の「利用したことがある」が高くなっています。

図 区立図書館の利用度（中学校）



イ. 満足度

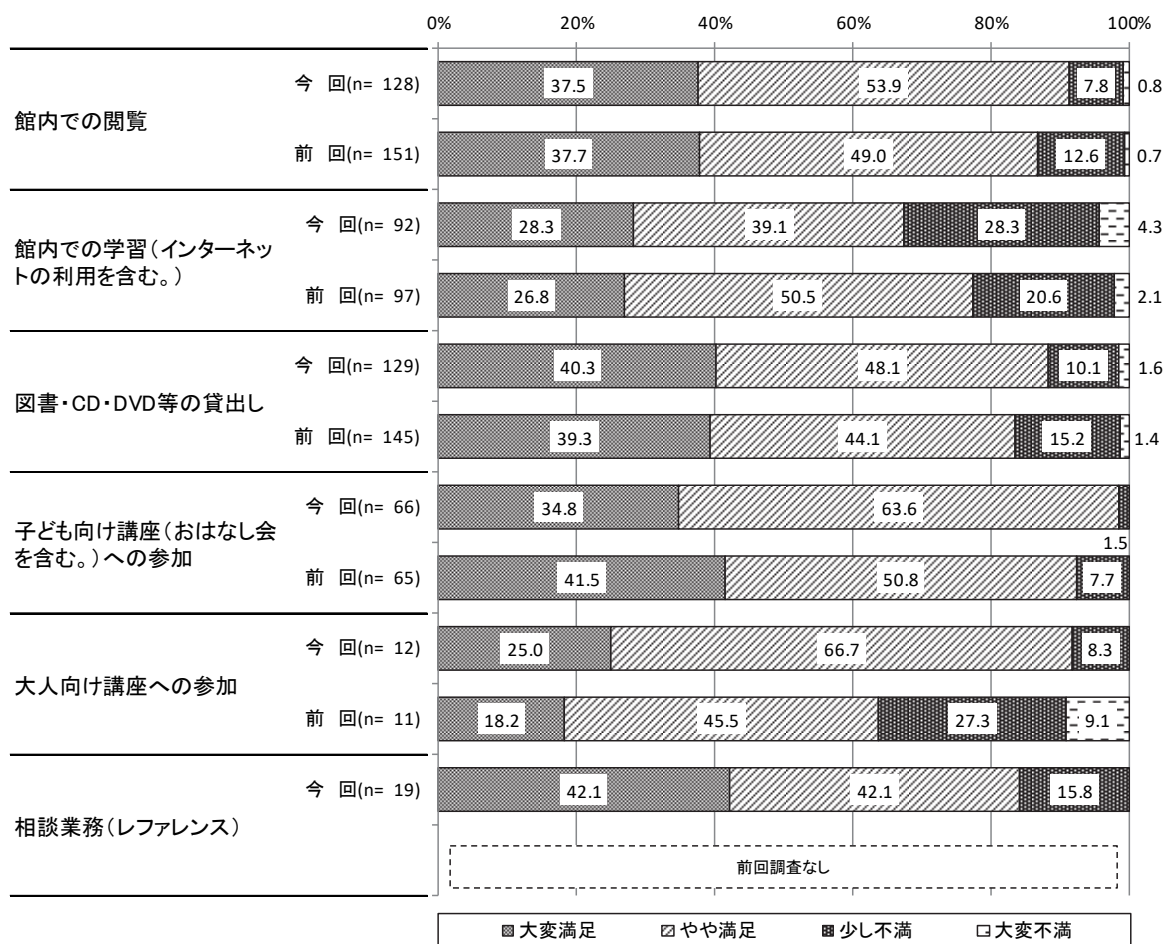
「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加」が 98.4%と最も高く、次いで、「大人向け講座への参加」が 91.7%となっています。（「大人向け講座への参加」は、「利用したことがある」方が少ないため参考情報）

一方、『不満』（「少し不満」＋「大変不満」）という回答は、「館内での学習（インターネットの利用を含む。）」が 32.6%と最も高く、次いで、「相談業務（レファレンス）」が 15.8%となっています。

前回調査と比較すると、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加」と「大人向け講座への参加」の『満足』が高くなっています。（「大人向け講座への参加」は、「利用したことがある」方が少ないため参考情報）

一方、「館内での学習（インターネットの利用を含む。）」の『不満』が高くなっています。

図 区立図書館の利用満足度（中学校）



(6) 今後、区立図書館に期待すること

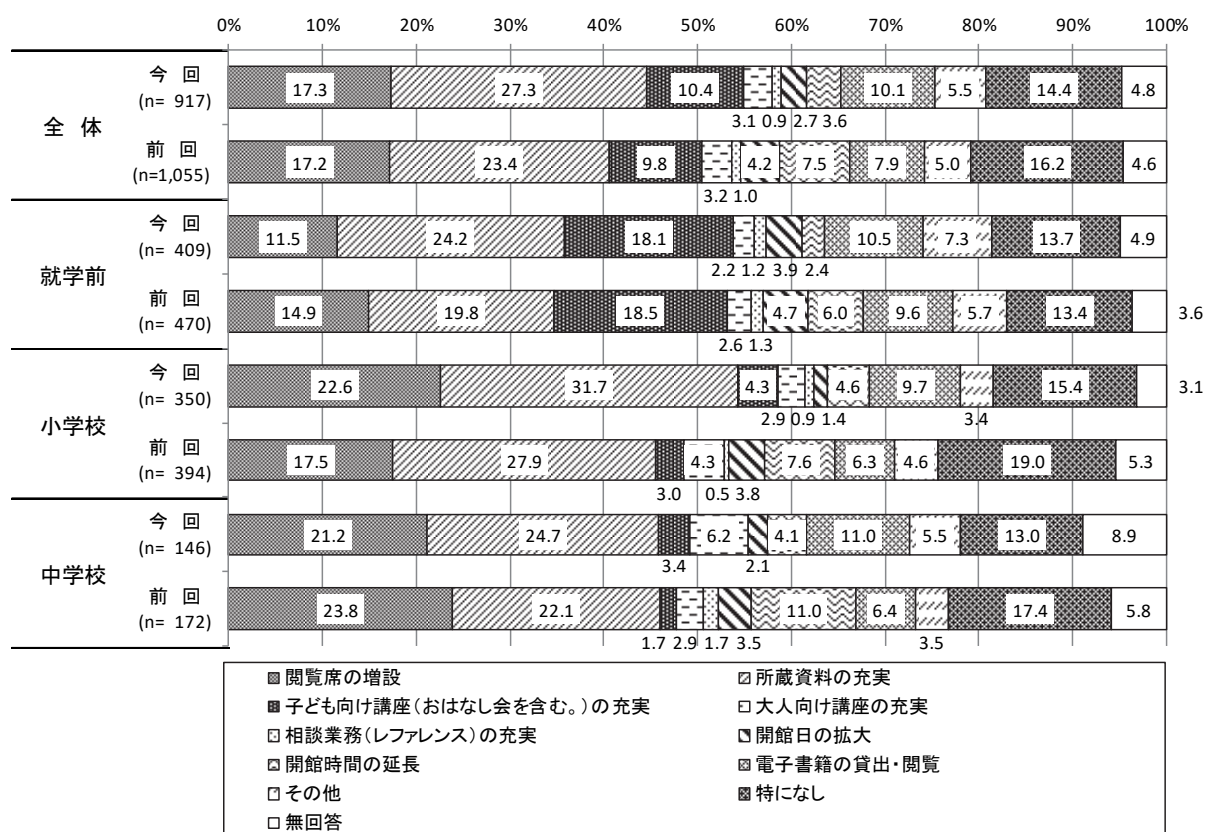
問 42 今後、区立図書館に期待することは何ですか。(〇は1つだけ)

全体では、「所蔵資料の充実」が 27.3%と最も高く、次いで「閲覧席の増設」が 17.3%、「子ども向け講座（おはなし会を含む。）の充実」が 10.4%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、小学校、中学校では「閲覧席の増設」の割合が高く、就学前では「子ども向け講座（おはなし会を含む。）の充実」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、小学校で「閲覧席の増設」が高くなっています。

図 今後、区立図書館に期待すること



(7) 飛鳥山博物館の利用度及び利用満足度

問 43 あなたは、飛鳥山博物館を利用したことがありますか。以下の項目ごとに、利用満足度について○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

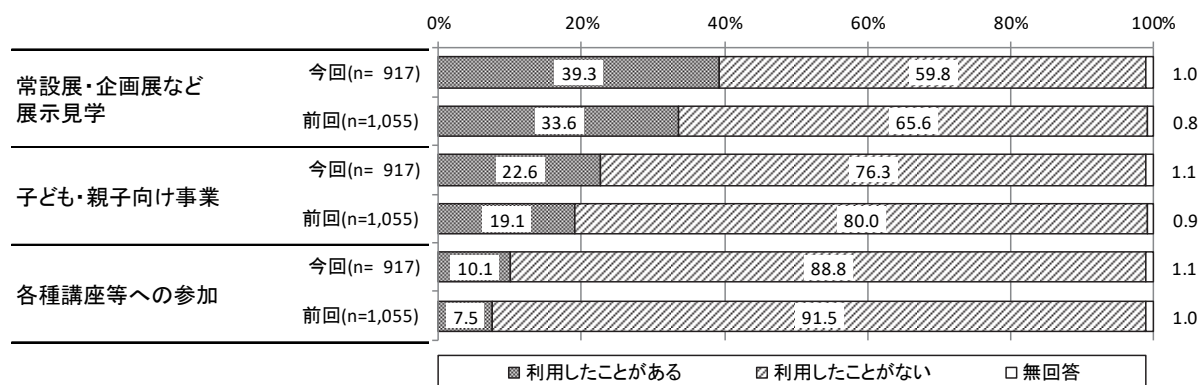
①全体

ア. 利用度

「利用したことがある」は「常設展・企画展など展示見学」が39.3%と最も高く、次いで、「子ども・親子向け事業」が22.6%、「各種講座等への参加」が10.1%となっています。

前回調査と比較すると、「常設展・企画展など展示見学」で「利用したことがある」が高くなっています。

図 飛鳥山博物館の利用度（全体）

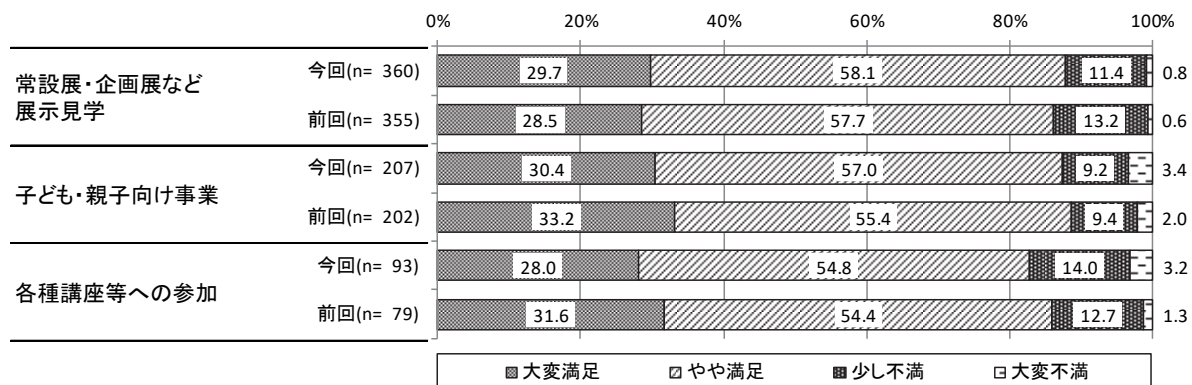


イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「常設展・企画展など展示見学」が87.8%と最も高く、次いで「子ども・親子向け事業」が87.4%、「各種講座等への参加」が82.8%となっています。

前回調査と比較すると、特に大きな差はみられませんでした。

図 飛鳥山博物館の利用満足度（全体）



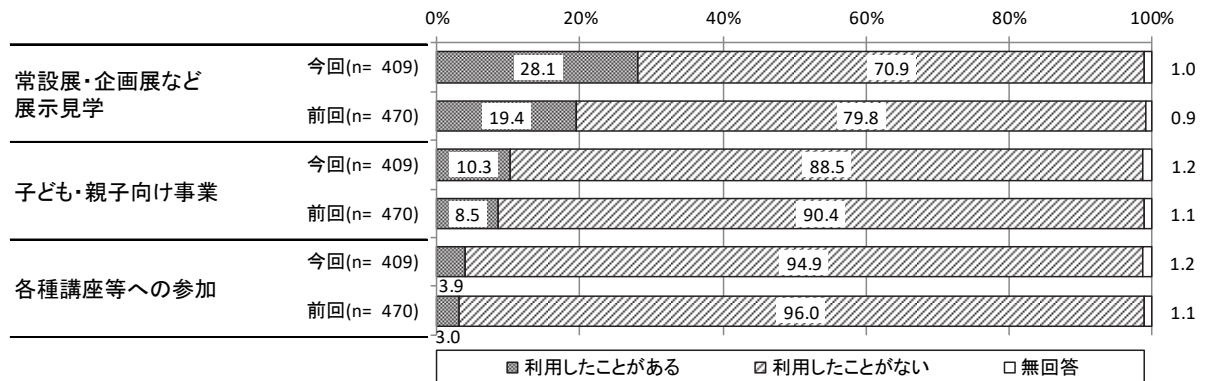
②就学前

ア. 利用度

「利用したことがある」は「常設展・企画展など展示見学」が28.1%と最も高く、次いで、「子ども・親子向け事業」が10.3%、「各種講座等への参加」が3.9%となっています。

前回調査と比較すると、「常設展・企画展など展示見学」で「利用したことがある」が高くなっています。

図 飛鳥山博物館の利用度（就学前）

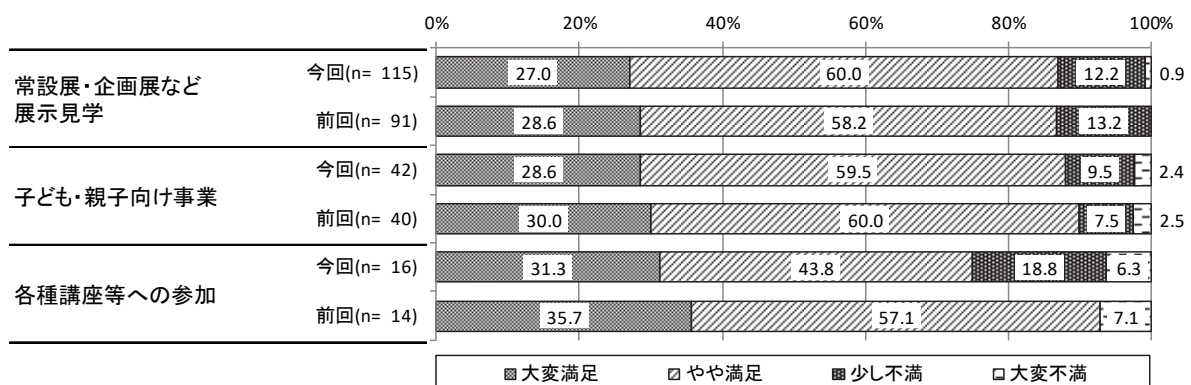


イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「子ども・親子向け事業」が88.1%と最も高く、次いで「常設展・企画展など展示見学」が87.0%、「各種講座等への参加」が75.1%となっています。

前回調査と比較すると、「各種講座等への参加」で『不満』が高くなっています。（「各種講座等への参加」は、「利用したことがある」方が少ないため参考情報）

図 飛鳥山博物館の利用満足度（就学前）



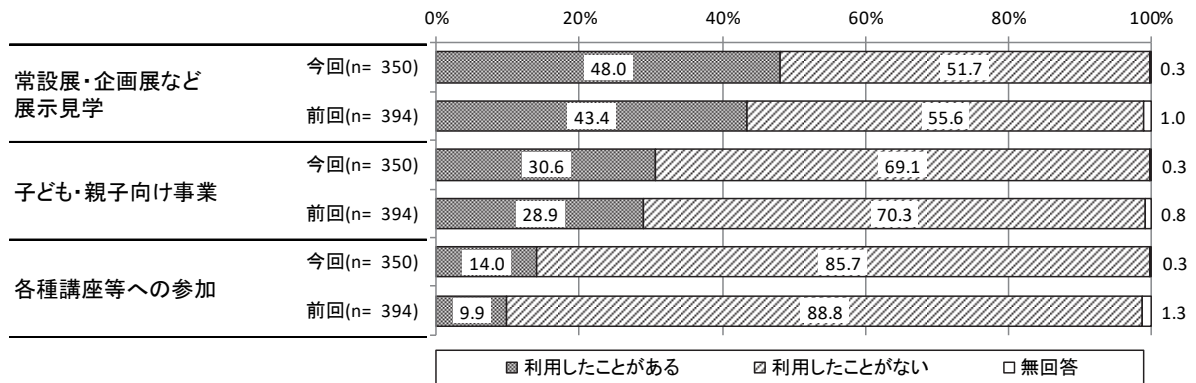
③小学校

ア. 利用度

「利用したことがある」は「常設展・企画展など展示見学」が48.0%と最も高く、次いで、「子ども・親子向け事業」が30.6%、「各種講座等への参加」が14.0%となっています。

前回調査と比較すると、「常設展・企画展など展示見学」と「各種講座等への参加」で「利用したことがある」がやや高くなっています。

図 飛鳥山博物館の利用度（小学校）

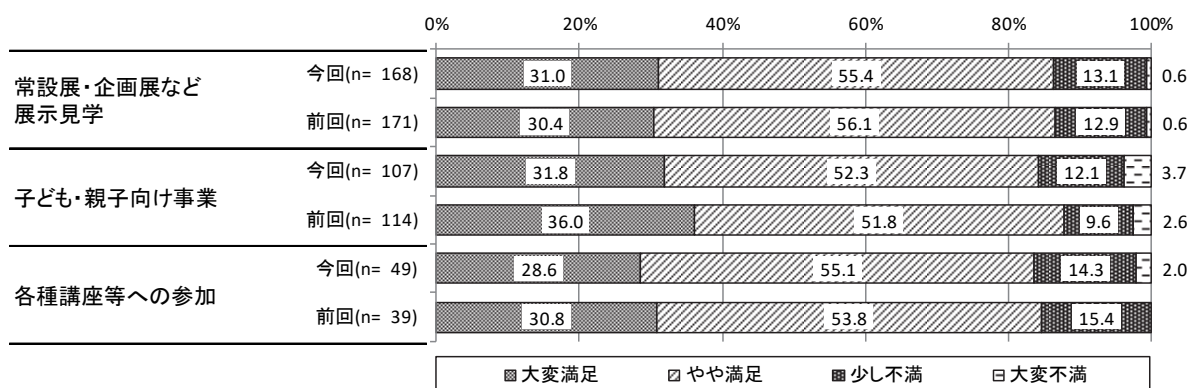


イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「常設展・企画展など展示見学」が86.4%と最も高く、次いで「子ども・親子向け事業」が84.1%、「各種講座等への参加」が83.7%となっています。

前回調査と比較すると、特に大きな差はみられませんでした。

図 飛鳥山博物館の利用満足度（小学校）



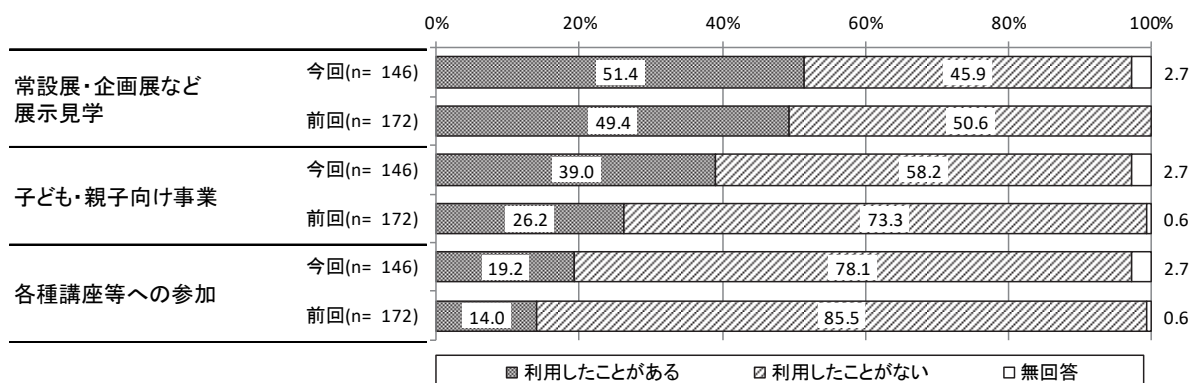
④中学校

ア. 利用度

「利用したことがある」は「常設展・企画展など展示見学」が51.4%と最も高く、次いで、「子ども・親子向け事業」が39.0%、「各種講座等への参加」が19.2%となっています。

前回調査と比較すると、「子ども・親子向け事業」と「各種講座等への参加」で「利用したことがある」が高くなっています。

図 飛鳥山博物館の利用度（中学校）

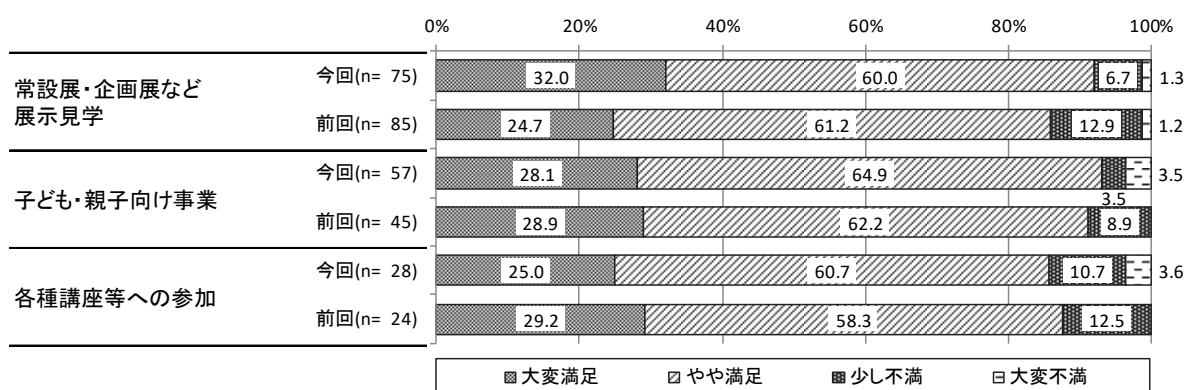


イ. 満足度

「利用したことがある」方で『満足』（「大変満足」＋「やや満足」）という回答は、「子ども・親子向け事業」が93.0%と最も高く、次いで「常設展・企画展など展示見学」が92.0%、「各種講座等への参加」が85.7%となっています。

前回調査と比較すると、「常設展・企画展など展示見学」で『満足』が高くなっています。

図 飛鳥山博物館の利用満足度（中学校）



(8) 今後、飛鳥山博物館に期待すること

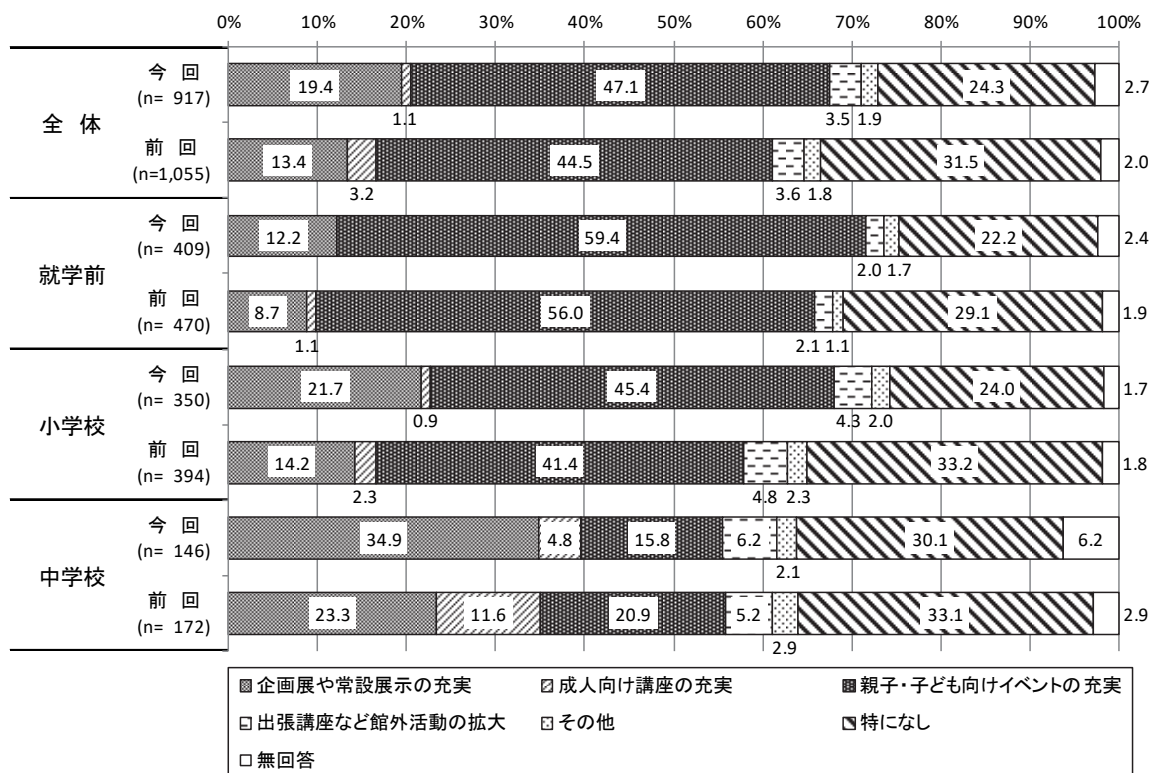
問 44 今後、飛鳥山博物館に期待することは何ですか。(〇は1つだけ)

全体では、「親子・子ども向けイベントの充実」が 47.1%と最も高く、次いで「企画展や常設展示の充実」が 19.4%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「企画展や常設展示の充実」は就学先が上がるにつれて高くなっています。一方、「親子・子ども向けイベントの充実」は就学先が上がるにつれて低くなっています。

前回調査と比較すると、就学前、小学校、中学校のいずれでも「企画展や常設展示の充実」が高くなっています。

図 今後、飛鳥山博物館に期待すること



(9) 生涯学習のために力を入れて欲しいこと

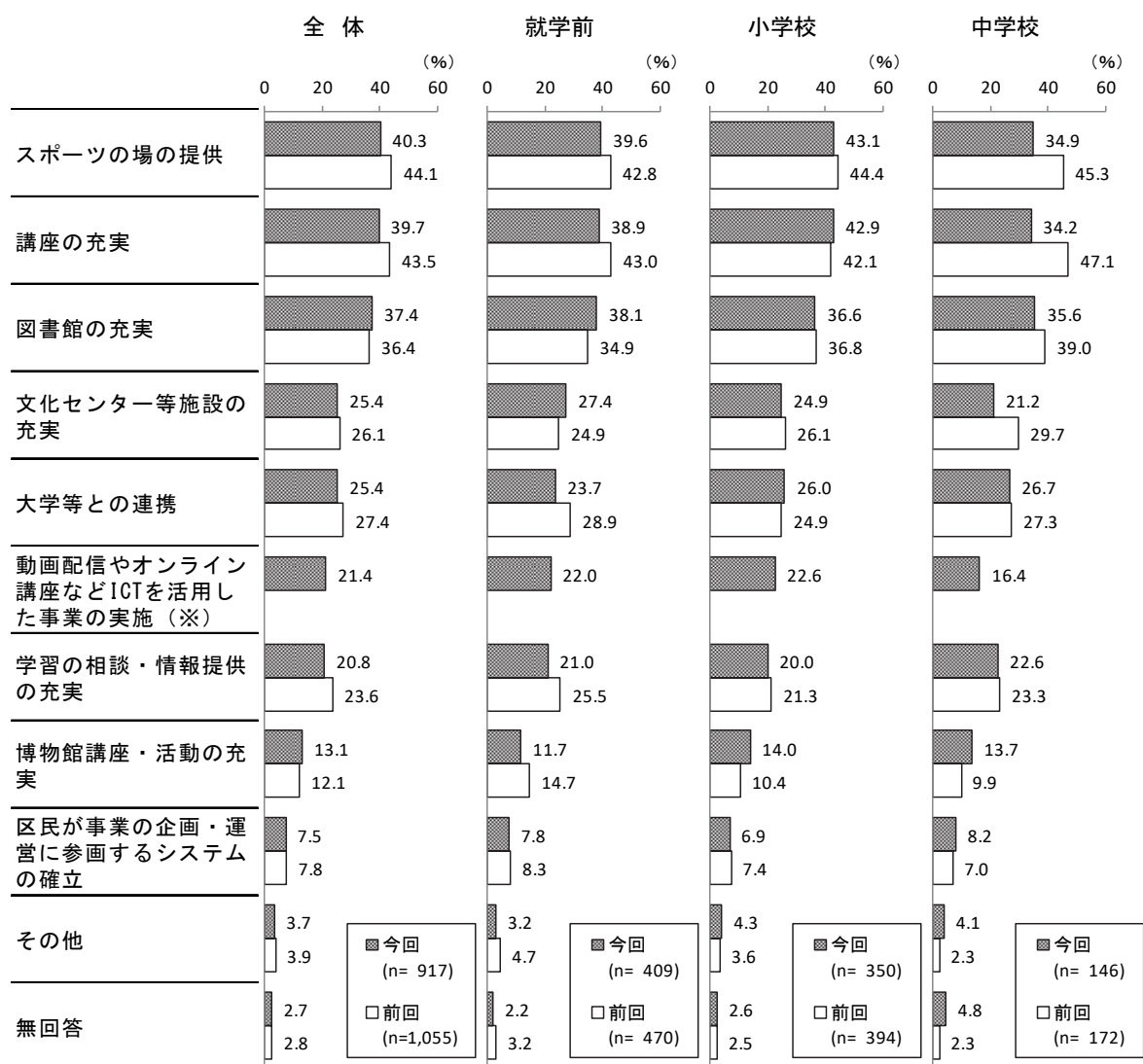
問 45 あなたが、生涯学習のために力を入れて欲しいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「スポーツの場の提供」が40.3%と最も高く、次いで「講座の充実」が39.7%、「図書館の充実」が37.4%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校と比べ中学校では「スポーツの場の提供」、「講座の充実」の割合が低くなっています。

前回調査と比較すると、中学校では「スポーツの場の提供」、「講座の充実」、「文化センター等施設等の充実」が低くなっています。

図 生涯学習のために力を入れて欲しいこと



※「動画配信やオンライン講座などICTを活用した事業の実施」は、今回調査から追加。

(10) グループや団体の自主的な活動を盛んにするために必要な区の支援

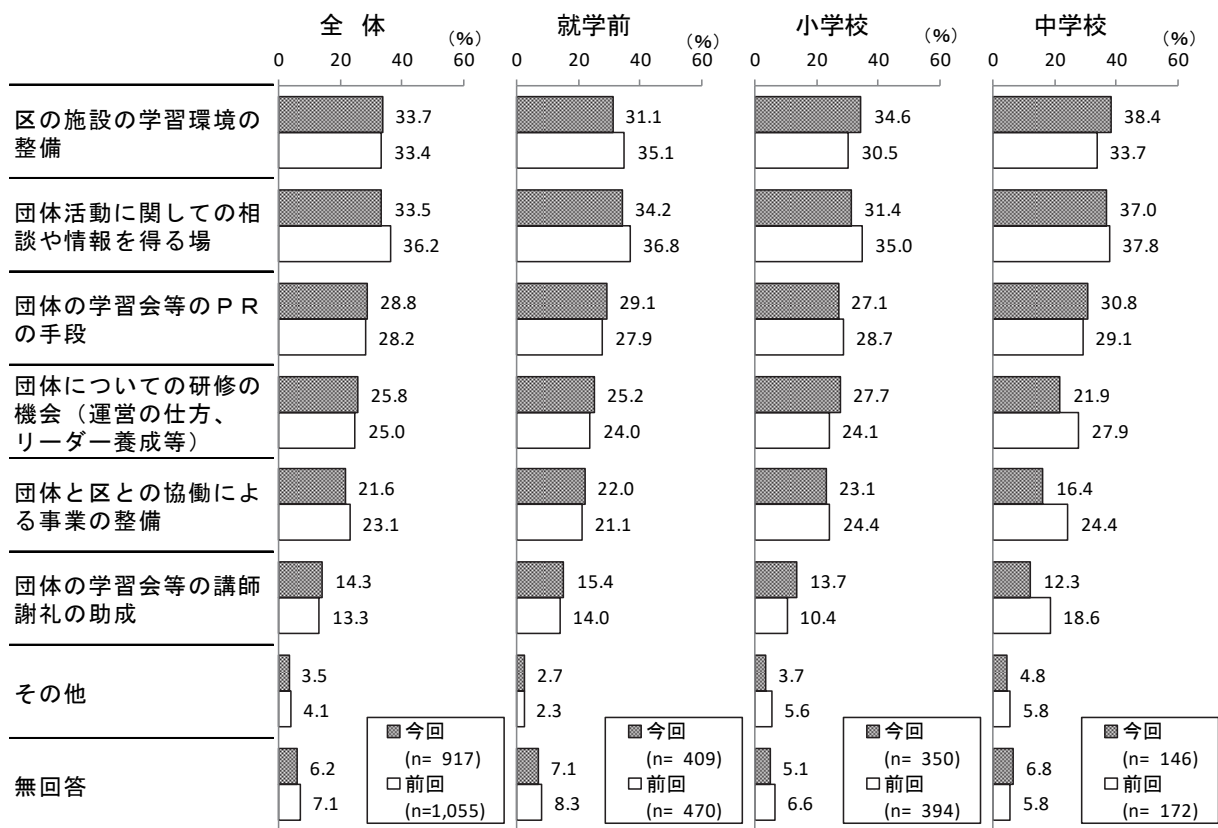
問 46 あなたは、学習・文化・スポーツ・社会活動などのグループや団体の自主的な活動を盛んにするために、どのような区の支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「区の施設の学習環境の整備」が 33.7%と最も高く、次いで「団体活動についての相談や情報を得る場」が 33.5%、「団体の学習会等のPRの手段」が 28.8%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、「区の施設の学習環境の整備」は就学先が上がるにつれて高くなっています。

前回調査と比較すると、中学校では「区の施設の学習環境の整備」がやや高くなっている一方で、「団体についての研修の機会（運営の仕方、リーダー養成等）」、「団体と区との協働による事業の整備」、「団体の学習会等の講師謝礼の助成」がそれぞれ低くなっています。

図 グループや団体の自主的な活動を盛んにするために必要な区の支援



(11) ボランティア活動に参加できる頻度

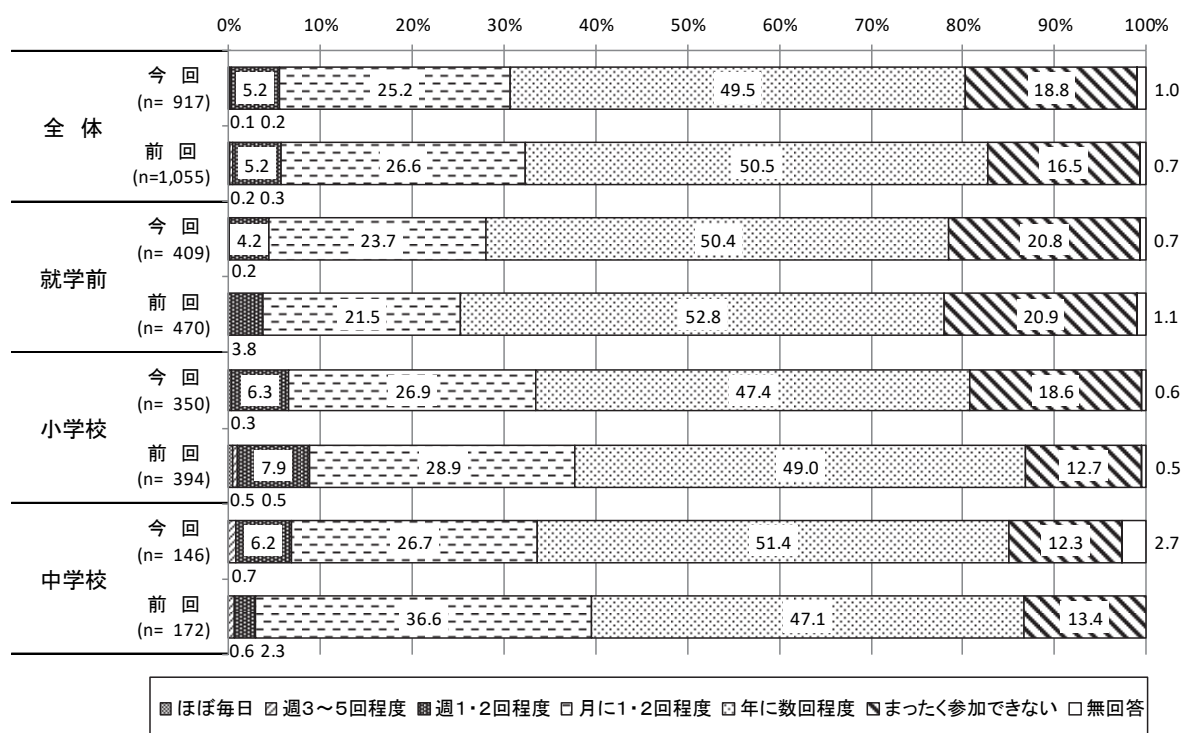
問 47 あなたは、地域や社会のために、余暇時間を活かしてボランティア活動に参加するとしたら、どのくらい参加できますか。(○は1つだけ)

全体では、「年に数回程度」が49.5%と最も高く、次いで「月に1・2回程度」が25.2%となっています。一方、「まったく参加できない」は18.8%となっています。

子どもの就学状況別に見ると、就学前、小学校、中学校とも「年に数回程度」が5割前後を占めています。

前回調査と比較すると、小学校では「まったく参加できない」が高くなっています。

図 ボランティア活動に参加できる頻度



11 自由意見について

有効回収数 917 票中 331 票に記述がありました（1 票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の和は 331 件より多くなっています。）。

項目	件数
(1) 教育内容に関すること	134
① 学力	15
② 英語教育	13
③ 心の教育	6
④ いじめ・不登校	10
⑤ 健康・体力	7
⑥ 就学前教育・保育	24
⑦ 個に応じた教育	12
⑧ 特別支援教育	11
⑨ 安全教育	7
⑩ ICT教育	14
⑪ 教育の質の向上	15
(2) 学校づくり・教育環境に関すること	183
① 教職員	49
② 特色ある学校づくり、学校運営	33
③ 二学期制	10
④ 学区域、学校の適正規模	16
⑤ 学校施設・設置等の環境	17
⑥ 放課後子どもプラン（学童クラブ含む）	8
⑦ 部活動について	7
⑧ 成績評価について	8
⑨ きたコンについて	24
⑩ コロナ禍での行事・イベントの制限	11
(3) 家庭・地域の教育に関すること	58
① 家庭との連携	13
② 地域との連携	4
③ 放課後等の子どもの活動	8
④ 安全・安心な地域環境	23
⑤ 保護者の負担軽減	10
(4) 生涯学習活動に関すること	36
① 生涯学習活動	3
② 子ども向けの講座・イベント等	10
③ 生涯学習関連施設・設備	23
(5) 教育行政に関すること	67
① 情報発信、共有について	17
② 教育費などへの支援の充実	15
③ その他教育行政について	35
(6) アンケートについて	27
(7) その他	26
合計	531

<主な回答内容>

以下、回答内容の中から一部を抜粋・調整・要約し、掲載いたしました。

(1) 教育内容に関すること

①学力

- ・他区と比べて、学力の低さが気になります。学力向上をするために家庭でも出来ることはやりますが、区や学校でも取り組んでいただきたいです。
- ・経済的な理由や共働き、ヤングケアラーなどで学習塾やその他の習い事（スポーツや音楽、外国語、芸術など）に通う事が難しい子どもたちに対して、学力フォローアップ教室などのように、学校終わりにそのまま参加できる教室があると嬉しいなと思います。
- ・学力向上のために学習支援員をもう少し増やしてほしい。宿題の量が小学校は少ない気がするので、増やして学習の速度をはやめてほしい。

②英語教育

- ・自分自身が英語教育に関わる者であるので、英語（国際）教育にもう少し北区は力を入れた方がよいと思います。他区ですと、私立の大学教授にアドバイスをいただいてよい成果をあげていらっしゃるようなので、是非ご検討下さい。
- ・現在、中学1年生の子どもがいますが、中学校の勉強が急に難しくなってきたと言っています。私自身、見ていると、英語などは小学校から始まっていましたが、小学英語は「楽しく」だけに重きを置いている感じでした。小6くらいから簡単な文法も学習しても良かったのでは？と思っています。

③心の教育

- ・心の教育や心のケアの時間をもう少し増やしてほしい。成長期をコロナ禍ですごしている子どもたちのフォローは必要。

④いじめ・不登校

- ・子を持つ親として一番心配なのは、学校などにおける「いじめ問題」です。教員は部活等で忙しいと聞きます。部活動を地域活動にし、教員の負担を減らし、きちんと学校内の子ども達の様子を見られる余裕を持たせて欲しいと思います。
- ・不登校支援について、通信制教育が高校からではなく、小中学校にも同様の制度があったらいいなと思います。
- ・現在、いじめに対する対策がどのようにされているのか情報がわかりづらい為、区内情報誌でも、どの学校がどの様に対策されているのかのせてほしい。環境の変化で学校に行きづらい子どもに行きやすい様に工夫をもっとしてほしい。現在、何か対策されていると聞いた事がない。
- ・不登校児の居場所を増やしてほしい。例えば、児童館は、小学生は放課後の利用がほとんどだと思うが、午前中から利用できたり、「わくわく」も学校の授業に入れないうちに午前中から開放したりしてほしい。そこで家庭ではあまり出来ない、作品を作った

- り、ゲームをしたり、時には学習をしたり、家庭以外の居場所を作ってもらいたい。
- ・いじめに対する調査の仕方。大勢の前で聞いても本当の事が言えず、解決しない。又、支援学級に行く程ではないが、自分の気持ちを上手に伝えられない子にもっとよりそって、気持ちを伝えられる環境作りが必要。

⑤健康・体力

- ・子どもの学力、体力が向上するような取り組みをしてほしいです。親子で参加できるものもうれしいです。
- ・今年、上の子の運動会に参加しましたが、各学年かけっこダンスのみでした。リレーもなく、赤・白にも分かれず、このような運動会になってしまったのは残念でした。コロナの時代になり、子どもたちの運動量が減っています。体力低下が心配です。

⑥就学前教育・保育

- ・北区の保育園では平仮名の読み書きを教えることはあまりないと思いますが、小学校での勉強に向けた下地づくりとして、保育園でも学習の機会を設けていただけると大変有難いです。
- ・区立保育園等でも、年長組に対して週に一度程度、園内で学習できるような時間が設けられると助かります。学部の先生を呼ぶ等し、費用は任意参加者のみが支払うような形だと、不公平感も少ないかと考えます。
- ・まだ就学前なので小中の教育についてはわかりませんが、北区に住み続けるためにも、保育園は希望者全入の体制を頑張って目指してほしいです。
- ・これからの時代、計算や暗記などではなく、考えられる力が重要になると思う。その為には幼児期の勉強が大事なのではなく、自然と関わる、歩く、自分で考えて遊ぶ、が大事だと思うので、そういう園を増やしてほしい。

⑦個に応じた教育

- ・小学校において、子どもの理解度に合った学習をしてほしい（公立の場合、遅れている方に合わせる印象があるが、進んでいる方にもその状況にあった学習を提供してほしい）。
- ・習熟度別少人数指導を推進してほしい。人員確保や予算の関係で難しいかもしれないが、「授業が簡単すぎてつまらない、苦痛、学校行きたくない」という子と、泣きながら2時間かけて宿題をやる子、同じ内容の授業を受けさせるのは双方にとって辛いはず。ご検討いただけますと幸いです。
- ・自分が子どもを産むまでは、教育格差などはそこまで深く考えたことはありませんでした。自分の子どもが小学生になって、お友達の様子などを知って初めて、各ご家庭の事情等で、当たり前にならぬ九九等覚えられない子もいる、ということを知り、衝撃でした。同時に、算数少人数制度等、落ちこぼれを出さない等の取り組みも、本当に有り難いと思っています。本人のやる気、親の無関心等、色々あるとは思いますが、読み書き計算が大人になっても困ることがないように、困っている子どもが一人でも減るよう、願っています。
- ・小・中学校の1クラスの定員を減らす。多くても20人くらい。もしくは担任を2人

以上にした方が良い。

⑧特別支援教育

- ・特別支援学級に通いたい場合、通っている学校に設置がないと転校しなくてはならない現状はどうかすべき。特別支援が必要で、通級を利用したくても週に45分だけとは少なすぎるし、1年間しか利用できないのはおかしい。
- ・特別支援教育の巡回指導は小学校のうちにはありがたいですが、毎週授業を抜けてしまうのは中学校では現実的に難しいと思います。抜けた授業のフォローもありません。部活のような形で、グループで指導してくれると、利用しやすいと思います。
- ・ことばきこえ、巡回、情緒学級など、困っている子どもがみんな利用できるようになってほしい。情緒学級は数が少なすぎるし、ことばきこえも通学の負担が重すぎる。保護者が平日昼間につききりは共働き家庭には不可能だし、他校への行き来で授業を2時間程度受けられないのは親子共に負担。
- ・子どもの発達に心配がある親です。小学校では巡回指導を行っていただいております、大変助かってます。指導内容そのものだけでなく、子どもが担任の先生以外の指導してくれる大人がいる、というのが良いと感じています。自分を見てくれる頼りになる大人がたくさん関わってくれることは、親としては大変ありがたいです。
- ・特別支援教育について、切れ目のない教育と謳っており、さくらファイル等の活用をはじめているが、まとめきれていない親御さんは多いように感じる。福祉サービスと教育・心理の横連携をもっと持つべきではないでしょうか。

⑨安全教育

- ・変質者がよく出没しているので、気をつけるという意味で、危機管理の面でも、子どもたちにしっかりと教育してほしい。
- ・教育という訳ではないのですが、近隣の小学校の生徒さん達が登下校の際に歩道いっぱいに広がって歩いているのをよく見かけます。お友達と楽しくお話をしながら歩くのは楽しいのだと思いますが、多少の渋滞をおこしており、道行く人に迷惑になっています。公道を歩く時は並んで歩く、大きな声で騒がない等、家庭でいえばいいことではあると思うのですが、集団になると自制がきかなくなることもあると思うので、各々学校でも呼びかけをしてほしいなと思っています。

⑩ICT教育

- ・引き続きオンライン授業の充実、子どもに合った学力向上等の実行の程よろしく願います（学習支援ソフトの導入には感激しました！）（学力格差の改善、全体的な学力向上、底上げに役立っています）。
- ・ICTの活用は不登校や学校以外の教育の機会を得るには有効だと思いますが、現在の使用状況では多くの児童の依存性を高めるだけだと危惧しています。ICT推進先進国では児童のPC使用を制限しはじめているところもあると聞きますので、北区の教育現場では、一歩先を行ったICTの活用を検討していただけたらと思います。
- ・ICTを活用しすぎて、本来養われるべき能力が衰退している。調べ学習ではほとんど

どの児童がネット検索をしその内容を写している状態で、図書室で資料をさがすなどしなくなった。良書に出会う機会も減らし、自分で調べて考える力も育っているとは思えない。「教育先進都市」を掲げるならば、ICTは補助的活用とし、IT教育、英語、国際教育を行う前に国語（日本語）、算数の基礎をかため、相手とじかに向き合い、対面で議論できる能力を育成してみたい。

⑪教育の質の向上

- ・先生方の教育レベルが一定で、机上の勉強だけでなく、様々な体験学習ができているため、北区立の小学校ではなく、区外の私立小学校へ通わせています。公立の小学校は費用面での制限があると思いますが、学ぶ事は楽しい事だという点を感じてもらえるような学習を提供して頂きたいです。
- ・昔と比べて自分の意見を発表する機会が増えていると思うが、まだ少ないと思う。北区には色んな施設（印刷局など）があるので、体験や見学などをたくさん行ってほしい。
- ・公立小中の理科教育は素晴らしく思っています。理科実験も非常に充実していると思います。科学環境スクールの定員を増やして頂きたいです。また学校では、お茶大と連携した貴重な実験をたくさん用意して頂き、とてもありがたいと思っています。理科については、私学に負けない程公立小中も充実していると思います。
- ・学校での生活を通じて、人間力も培えるような教育方針をもって臨んで頂きたいと考えます。
- ・ユニバーサルデザインの導入は積極的に進めてほしい（リーディングルーラーやイヤーマフなど、障害の有無に関わらず子どもが使える環境に）。色々な面でマイノリティに属する人が生活しやすい環境であってほしい。子どもがマジョリティに属してしまうと自分では気付けない事も多いと思うので、その自覚を促したり、考え方など視野を広げられるサポートをしてほしい。
- ・税や確定申告についてなどお金のことももっと教えてほしい。

（２）学校づくり・教育環境に関すること

①教職員

- ・小中学校を通して、本当に人（職員）によって全てかわるという事。良い先生は授業も楽しく学力も上がる。授業に工夫のない先生の教科は本当に下がりっぱなし。幼稚園、保育園からの小学校へや小学校から中学校への移行は差が大きすぎて、子どもがすごく戸惑っていた。もう少し子どもへの理解というところを深め、先生方も昔の教え方ではなく、子どもが勉強を好きになるような工夫をして欲しいと願います。
- ・上の子が小学校に通っています。おおむね満足していますが、校長や教員の力量差が大きいと感じています。底上げが必要と思う一方、現場の先生方が多忙を極めているのもわかります。学校教育への期待はある一方、あれもこれもと求めて更に負荷が上がるくらいなら、クラブ活動等、地域・家庭に移行できるものは移行すれば良いと思います。
- ・教育をサポートする人を増員して、一人ひとりの負担を減らして欲しい。先生に余裕があると子どもにとっても良い。とにかく忙しそうで、何か問題があった時に対処す

る時間はあるのか心配になる。その上で勉強以外の児童心理も学んでいただきたい(保育士さんのような)。サブ担任各クラス2人いてもいいのでは。

- ・学校の先生を増やしたり、休みを増やしたり、時間外労働を減らすようにしてあげて下さい。負担が大きすぎて余裕がなくなり、子ども達への教育の質が下がっているように思います。

②特色ある学校づくり、学校運営

- ・先生方の働き方改革を進めて下さい。書類の仕事より子ども達と向き合う時間を増やしてほしいです。登校班の廃止を求めます。校外委員の担当になった先生の負担(大きい負担です)が、なくなります。先生の朝からの見回りは大変です。
- ・小1プロブレムへの対応をしっかり補助教員をつけるなどの対策を期待しています。
- ・小学高学年の授業専任制が進めば、とても良いなと感じております。特に、ICT教育などは教員のしぼりなく、人選があっても良いように思います。
- ・一人一人の個性を大切にしたい。制服は必要ないと思う。制服のみだれは校則違反へと繋がると生活指導の先生から聞いた事があるが、TPOに合わせて子ども達も行動できると思う。制服は、自分で判断する事、また個性を奪っていると感じる。
- ・スクールカウンセラー、巡回教員が各校専属になったらいいなと思います。特にSCは「話を聞いてほしい時にいてくれないと意味がない」と子どもが言っています。

③二学期制

- ・2学期制は小学校では良いと思うが、中学校では試験範囲が広くなり、テスト用紙が小冊子のようにになっているのが気になる(本当に理解できているのか?!)。3学期制だとテストが多くなり大変だとは思いますが、本当に学力がついているか確認方法をしっかりした方が良くと思う。
- ・2学期制について。都内では少数派だと知った。利点が分からない。子どもは塾で他区の友達と一緒にいるが、北区だけ定期テストの時期がずれていて、また部活動の大会時期とも重なり支障がでている。

④学区、学校の適正規模

- ・小学校の指定校について。通う小学校を選択できるシステムがあると、小学6年間をお友達と一緒に楽しく学んで、生活を送ることができると思います。家が近くなのに学区が違く、一緒に登下校もできず、親としても残念です。中学では一緒になるかもしれませんが、6年間というのは結構な期間なので、少子化の今の時代、子どもの為に少しでもより良い方向に、子ども達が過ごしやすくなってくれたらと思います。
- ・学区外通学の利用を選択できる様にしてほしい。又、学区外通学が選択できないなら学力や中学校の進学率にムラ、差がでない様に学校の学力を統一する工夫をしてほしい。

⑤学校施設・設置等の環境

- ・現在、小学校に通学させているが、他の小学校と比べて設備が古く、また改修計画

がない為、今後、他校が先進的かつ快適な設備を導入して、充実した教育を施すところ、遅れをとることを危惧しています。他校と同等程度に設備・環境を一新し、学校に行くことが楽しみになるような場にして頂ければ幸いです。

- ・今、リノベーション工事をしているので校庭が使えず、外で行う部活はできない。休み時間の外遊びもなし、運動会も制限があった。今通っている子どもたちはずっと我慢をして生活していて、あきらめを覚えている。外遊びも校庭での体育もできず、あきらかに運動能力が低下していると思う。
- ・小学校の校庭の大規模工事がありました。近年は天然芝への貼りかえ等が話題になっており、期待をしましたが、同じ素材の校庭であったことは大変残念でした。今後、子どもたちが楽しく、運動しやすい環境が整うことを願います
- ・新設の学校があれば図書室の場所を職員室の隣等、もっと児童・生徒と先生方が気軽にいつでも図書室を利用できる環境作りを。

⑥放課後子どもプラン（学童クラブ含む）

- ・子どもの放課後の居場所問題に対し、早急に対応をお願いしたい。「学童4～6年特例」の朝9時からしか受け入れない体制を変えていただきたい。フルタイム勤務の母親、すごく増えています。保育園入園問題のあとは、4～6年生の放課後問題です。「子育てするなら北区が一番」の名に恥じない施策の展開をお願いします。
- ・学童、「わくわく」の職員には、発達障害のある子どもに対する接し方などを理解してほしい。

⑦部活動について

- ・子ども達が不安なく好きなことに夢中になれる場所は消えないでほしいです。やはり一人一人、得意、不得意ある中で、自信のある物を伸ばしていく場所が必要だと感じます。
- ・区立中学に通っています。区立中学の部活動の少なさは、子ども達の成長の機会をうばっているように思います。地域から指導員を集め、もう少し部活動の種類を増やして欲しいです。

⑧成績評価について

- ・優秀な生徒が多い中学校でも内申点がとれるようにしてほしいです。他の中学校と不平等にならないかたちだとありがたいです（都立高校受験において）。

⑨きたコンについて

- ・学習用PCを毎日家庭に持ち帰るようになっているが、PCで宿題が出される機会はほとんどなく、ランドセル内がかさばるだけで、子どもの負担になっている。家庭では、学習に活用するどころか、ゲーム等に使ってしまうため、かえって学習のさまたげとなり、大変困っています。他デバイスのように、時間制限もかけられないし、学校に相談しても、家庭でのしつけ方を検討して下さいと言われます。コロナになった時にオンライン授業を受けられたということ以外で、家庭への持ち帰りのメリットが

感じられません。他区では学校に置きっぱなし、充電も学校で行うとも聞きます。本当に家庭へ毎日持ち帰りが必要なのか、持ち帰らせるのであれば、それなりに有効活用させる努力を学校、区側でもして頂きたいです。

- ・きたコンを毎日持ち帰るのが重いので、学校で保管・充電できるようにしてほしい。学童にW i F i環境を整備し、きたコンでの宿題ができるようにしてほしい。
- ・I C T学習のためと言うのは理解できるのですが、小学校一年生からのパソコンはどうかかわかりません。ひらがなも読めない、書けない時からパソコンを使い、今後字もまともに書けなくなってしまうことを危惧しています。勉強をしているとパソコンを開いてゲームをしている姿を見ると本当に不安になります。パソコンが与えられ、やっている気分になるだけなのはどうかと思います。好きな子はいつか使えるようになるので、そこまで早くから与えるのはどうなのでしょう。オンライン授業という要素もあるかと思いますが、オンライン授業も一方通行になっているように感じ、今後人づきあいが下手、苦手な子にならなければ良いなと思います。
- ・児童生徒にP Cを貸与して下さったのはよい対応でした。しかし、活用については、学校や先生のスキルによる差が大きい気がします。急なことで困難なのは承知しますが、全体で先生の負担も減る様な活用ができるとよいと思います。

⑩コロナ禍での行事・イベントの制限

- ・北区内の学校間でコロナ対策による各種イベントの制限に差をつけるのは止めてもらいたい。
- ・コロナも最初の頃とは親の思いも違うと思うので色んな行事、体験、宿泊を萎縮せずに行ってほしい（今、かなり戻ってきているので良かったと思います）。
- ・学校に関してはコロナ対応をしっかりと下さっているので大変感謝しています。新しいことをするのも大切ですが、今はまだコロナ前と同じとは言えないと思うので、できること（以前していたコロナ後できるようにになったこと）を1つ1つ戻していくことが大切だと思います。

（3）家庭・地域の教育に関すること

①家庭との連携

- ・今年から小学校に子どもが通っております。学校からのコミュニケーションが一方通行に感じており、先生と父兄で双方向のコミュニケーションがとれる場があると良いのではと思います。掲示板（ネット）やチャットなど、何かで検討いただけますと幸いです。

②地域との連携

- ・民生委員・児童委員の方々がもっと身近な存在であって頂けると助かります。若い子育て世代にとっては遠い存在のように感じます。

③放課後等の子どもの活動

- ・子どもが生まれ、公園や児童館を利用することが多くなりました。公園はいつもきれ

いだし、夕方にはきちんと閉まるので安心です。児童館の先生も優しく親切で満足しています。

- ・学校間で、学び体験の不平等をなくす。スポーツセンター、区民体育館など放課後自由に使えるようにしてほしい。個々人に合わせた教育の充実（先取り教育など）。

④安全・安心な地域環境

- ・集団登校・下校して欲しい。各学校の判断らしいが、相談してもだめだった。子どもの安全確保の充実を期待したい。子どもの変な事件・事故が増えている。
- ・子どもの登園・登校の安全に不安があります。歩道は歩行者優先であることを標識や駅周辺の看板等でPR頂けると、とてもありがたいです。
- ・子どもが安全にすごせる区にしてほしいです。保育園や学校のセキュリティを高めてほしい。特に行事等。
- ・子どもの居場所が地域にたくさんあると良いと思います。地域で子どもを見守るシステムがあると良いです。プレーパークのような所も必要です。今の子は体験が少ないと思います。命の安全の中、自由に主体的に体験してほしいです。痛い思いもして、人の痛みも分かる子どもたちになってほしいです。

⑤保護者の負担軽減

- ・入学式でのスーツ（子ども）が定着しているが、平服で良いことにしてほしい。1度しか着ないものをそろえるのは大変な家庭もあると思う。
- ・保護者をタダで使える労働力とする考え方を止めてほしい。最近はフルタイムの共働き家庭も多く、活動意義のうすいPTA活動は大幅に縮小してほしい。

（4）生涯学習に関すること

①生涯学習活動

- ・子ども達がいろいろなコミュニティーに所属できるような環境を作ってほしい。学校間わず友達ができ、継続的な交流をさせたい。
- ・eスポーツのイベント企画。子ども同士、他校との交流。

②子ども向けの講座・イベント等

- ・他区は絵本をとり入れた教育や図書館が充実しており、子どものイベントも多い。近隣自治体の取組みを考慮したイベントの開催や教育の取組みをして欲しい。
- ・今後グローバル化していく日本に対して、もっと小学校のうちから英語教育を充実して欲しい。地域でもネイティブの方と触れ合えるイベントなど開催して欲しい。学校だけの英語の時間だけでは、中学校へ行ってから不安です。
- ・夏休み等の子どもが参加出来るイベントの日数や人数が少ないので、沢山の子が体験出来る場を増やしてほしい。

③生涯学習関連施設・設備

- ・子どものための音楽体験（コンサート開催）、以前利用してとても楽しめたので、頻度

を高めていただきたいと思います。親子がくつろげる場（カフェや屋内の遊び施設）を増やして欲しいです。

- ・学校以外の教育施設（特に英語や美術）を増やしてほしい。子どもも大人も自由に行ける美術スクールや外国人講師とのコミュニケーションを取りながら学習できる機会がほしい。
- ・学校が長期休みになる夏休み、冬休み等は公立図書館の休館日を少なくするorなくす等の配慮をして頂ければと思います。貧困家庭が話題になっていますが、せめて学習する場（家では狭いし、幼い弟妹がいる子どももいますよね）や居場所を中高生に開放してあげたい。
- ・夏休みに区の講座に5～6種応募しましたが、当選は1つでした。往復はがきでの応募も時代錯誤です。
- ・北区の図書館、児童館、施設が古過ぎ、不便です。近くで言えばA児童館、利用する場所までは階段（3階）、ベビーカーから子どもを降ろして、抱きかかえての移動、大変です。子どもたちが利用する施設から新しく整備して欲しいです。
- ・幼児～小学校低学年向けはそれなりに充実していると思うが、高学年～中高生向けがあまりない（学習系）と思う。民間の力を借りて、若い頃から生涯学習の楽しさを知り、親や教師以外の大人との関わりの機会を増やしていったら良いと思う。
- ・地域柄、子ども部屋をしっかりと作れない家が多いのではないかと感じているのですが、勉強に集中する為のスペースが北区にはあまりないと感じます。パーテーションもしっかりつけた個の空間になる、勉強できる場所が近くに欲しいと切実に感じています。

（5）教育行政に関すること

①情報発信、共有について

- ・情報をどこで取るか、知らない事がたくさんありすぎる。北区ニュースなどは目を通すようにしているが、教育に関しての情報はどうのように入手するのでしょうか。小学校の情報やそれまでの準備など小学校のHPくらいしか調べる所がない。学校の（生徒の）成績もっている学校とっていない学校がある。比較するようなHPはないと思うが統一してのせてほしい。
- ・教育に熱心に取り組んでいることはなんとなく知っていましたが、大方針としてどんなことを目的にしているのか、またそれを実現するための手段にどういったものがあるのか、区民に広くプレゼンする場があった方が、区の取り組みが伝わりやすいのでは、と思いました。オンラインだと開催しやすいのかなと思います。
- ・小学校入学を1年半後に控えています。区立小学校についての情報が区からほとんど提供されてないことを不安に感じています。区立小学校の様子、取組、今から家庭でできること等を、年少や年中のうちから、計画的に情報提供いただけるとありがたいです。
- ・公立中学校についても学校説明会や中学校として力を入れていること、部活動の様子などが分かる場を設けたり、ホームページをもう少し力を入れて発信していただけると、進路を考える上での参考になる。私立中学などに比較すると、知る機会が圧倒的に少ない。子どもの教育はとても大切と考えているため、公立一択ではなく幅広く教

育の場を検討していきたいと考えた時、公立中学校の現状を知れる機会が少ないと感じる。どこが子どもにとってよい場なのかを検討したいので、公立中学校の情報量を増やしていただく取り組みをお願い致します。中学校自由選択制などに取り組んでいる区もあるため、公教育への理解を深めていくためにも色々な取り組みを期待します。

②教育費などへの支援の充実

- ・子どもの教育機会は、平等に設けられるべきだと思います。子どもに親の収入は関係ありません。幼保無償化の継続等、世帯収入の制限を設けない、平等な教育機会の提供を、今後も期待しています。
- ・中学生までの給食費の無料化をして頂きたいです。第3子以降の児童手当の増額をぜひお願いします。PTAはなくして欲しい（昔と異なり、専業主婦の方より共働きが増えたため、時間のやりくりが非常に厳しい）。1人1台タブレットの貸与について、貸与中の間ルーターの貸出も無料にして欲しい。wifi環境がない家庭にとっては貸出期間が1年でなくなる（延長してくれて2年になったが…）のは厳しい、あらたにwifi環境をつくるため契約しないといけないお金が負担になるから。「子育てするなら北区！」というスローガンをかかげるなら、子育てしやすい環境として金額面で負担させないように工夫・サポートし続けて欲しい。

③その他教育行政について

- ・北区、日本の未来、子どもの未来を守るために、誰1人取り残されることのない、きめの細かい施策、地域づくりを期待します。私にもできることがあれば協力したいと思っています。
- ・区立の小中学校の教育の質は一律ではなく、地域によってもかなり差が生じていると感じる。住所によって受けられる公教育になるべく違いが生じないような教育施策を期待しています。
- ・各現場の方々は一生涯懸命取り組まれていらっしゃると思います。心から感謝しております。そうした方々が疲弊せぬよう、組織の責任ある方々にも現場の思いに心を寄せて取り組んでいただきたいと思います。
- ・周辺の区や他区に合わせることなく、無駄ははぶき、良いものは積極的に取り入れ（前代未聞であっても）、北区独自のプログラムを自信を持って繰り広げてください！！頑張ってください！！ 子ども～大人まで「体験」できるプログラムが増えると嬉しいです！！
- ・「教育先進都市」を掲げていることをはじめて知りましたし、全く「教育先進都市」だ感じておりません。「木を見て森を見ず」ではありませんが、細かい事ばかり見て、全体がきちんと把握できていないように感じます。多くの政策を掲げることよりも、先生と生徒がしっかり向き合える時間を大切にすることこそが最重要かと思います。
- ・都の北学園の新設にはとても期待しています。今後どのような学校となるのか、とても楽しみです。都の北学園を皮切りに、新たな、今の時代に合った教育が北区でもどんどん活発化してほしいです。

(6) アンケートについて

- ・今回のアンケートの集計結果が知りたいです。そして、その結果から、どのような結果が見られるのか楽しみです。
- ・調査の結果は何らかの形で区民へフィードバック願います。
- ・北区が教育に力を入れていることを知りました。今回のアンケートでは、まだ知らないこともたくさんあって、これらを知るためにどうしたらいいのか、周知する場、機会があると良いのかなと思いました。
- ・このアンケートですが、紙である必要はありますか？webの方が回答率が上がると思いますし、保護者の負担が減ります。
- ・知識として知っていても、自身が経験、利用していない事に対して満足度を答えることはできません。大量の質問で時間をとられますので、次回この様なアンケートをされるのであれば、もう少し解答方法に工夫をして頂きたいと思います。

(7) その他

- ・まだ子どもが小さいので小・中学校の情報があまりないのですが、公立の学校でも教育の期待ができるようになってほしい。
- ・使い終わった体操服や制服など譲渡する機会があると良いと思います。捨てるだけになるのもったいない。使っていない学用品なども同様にできると良いと思います。
- ・どんな子どもでも笑って過ごせる環境づくりをお願いします。学校に通うことだけが全てではないと思います。大人になるまでの道のりも多様性に満ちたものになってほしいと思います。それが生きる自信にもつながっていくと思うので。
- ・残念ながらインターナショナルに通っているのであまり分かりませんが、日本の学校はとても親切だと思います。色々な取り組みがされているので、せっかくご支援をいただいているので、もう少しフランス学校と日本の学校の交流などがあったら嬉しいです。
- ・小学生がボールやスポーツで遊べる公園が無い。その為、公園の隅で集まってゲーム等をするしかない。新しく公園を作るのであれば、サッカーボール、野球等、小学生の遊べる場所が欲しいです。

資料編

「北区教育ビジョン 2024」の策定に係る 保護者アンケートのお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。保護者の皆様には日頃から北区の教育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、北区教育委員会では、新しい時代に対応した「教育先進都市・北区」にふさわしい「北区教育ビジョン 2024」の策定に取り組んでいるところです。

この調査は、北区在住で 0 歳から中学校 3 年生までのお子さんがある保護者の方 2,000 名（無作為抽出）を対象として、北区の教育についてどのように感じているかをお伺いし、「北区教育ビジョン 2024」策定にあたっての基礎資料とするために実施するものです。設問は 18 ページ・47 問、所要時間は概ね 30 分となっております。

お忙しいところお手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和 4 年 10 月 北区教育委員会

【ご記入にあたって】

- 1 この調査結果は、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、個別の回答データは本調査以外の目的に利用することはありません。（アンケート用紙・返信用封筒にはお名前等を書かないでください）
- 2 質問には、あてはまる回答に○をつけてください。（質問によっては、○の数が複数になることもありますので、それぞれの質問の指示に従ってください）
- 3 答えに、「その他（ ）」を選んだときは、その内容を（ ）内にご記入ください。
- 4 すべてのご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**11月15日（火）まで**にご返送いただきますようお願いいたします。（返信用封筒には、切手を貼る必要はありません）

※ このアンケートは、株式会社マーケティング・リサーチ・サービスが、東京都北区教育委員会事務局教育振興部教育政策課より委託を受け、実施しています。

※ このアンケートの内容についてのご質問等は、以下の問合せ先までお問い合わせください。

【問合せ先】

東京都北区教育委員会事務局 教育振興部 教育政策課
[電 話] 03-3908-9279（直通）
[メー ル] edu-vision@city.kita.lg.jp
[受付時間] 9：00～17：00 ※土、日、祝日を除く

はじめに、封筒の宛名のお子さんとあなたご自身についてお聞きします

問1 封筒の宛名のお子さんとの関係を教えてください。(○は1つだけ)

1 父親	2 母親	3 1・2以外の保護者
------	------	-------------

問2 封筒の宛名のお子さんの状況を教えてください。(○は1つだけ、令和4年4月1日時点)

1 就学前(0歳児)	2 就学前(1・2歳児)	3 就学前(3~5歳児)
4 小学校1年生	5 小学校2年生	6 小学校3年生
7 小学校4年生	8 小学校5年生	9 小学校6年生
10 中学校1年生	11 中学校2年生	12 中学校3年生
13 その他()		

問3 封筒の宛名のお子さんが在籍している学校・幼稚園・保育園・こども園について教えてください。(○は1つだけ)

1 区立	2 都立	3 国立
4 私立	5 その他()	6 どこにも通っていない

問4 封筒の宛名のお子さんのきょうだいの人数(宛名のお子さんを含めた人数)を教えてください。(○は1つだけ)

1 1人	2 2人	3 3人
4 4人	5 5人	6 6人以上

問5 お住まいの地区を教えてください。(該当する地区の番号に1つだけ○をつけてください)

地区(○印)	該当する町丁名
1 浮間地区	浮間1~5丁目
2 赤羽西地区	赤羽北1~3丁目、桐ヶ丘1・2丁目、赤羽西1~6丁目、赤羽台1~4丁目、西が丘1~3丁目、上十条5丁目、十条仲原3・4丁目、中十条4丁目
3 赤羽東地区	赤羽1~3丁目、岩淵町、赤羽南1・2丁目、志茂1~5丁目、神谷2・3丁目、東十条5・6丁目
4 王子西地区	十条仲原1・2丁目、上十条1~4丁目、中十条1~3丁目、十条台1・2丁目、王子本町1~3丁目、岸町1・2丁目、滝野川4丁目
5 王子東地区	神谷1丁目、東十条1~4丁目、王子1~6丁目、豊島1~8丁目、堀船1~4丁目
6 滝野川西地区	滝野川1~3丁目、滝野川5~7丁目、西ヶ原1~4丁目、中里1~3丁目、上中里1丁目、田端1~6丁目
7 滝野川東地区	栄町、上中里2・3丁目、昭和町1~3丁目、東田端1・2丁目、田端新町1~3丁目

次に、北区の区立小・中学校の教育についてお答えください

問 6 「①現状の満足度」と「②今後の重要度」をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

	① 現在の満足度					② 今後の重要度				
	満足	やや満足	少し不満	大変不満	わからない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
【例】項目ごとに○をつける	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
1 確かな学力の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 学力低位層の底上げ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 創造力や探究心の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 グローバル化に対応した英語力の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 様々な学習の基礎となる国語力の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 社会の変化に対応できる力の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 自然環境、地域、地球規模等の諸課題を自分の事として考える学び	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 体育・健康に関する指導の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 安全教育（生活安全・交通安全・災害安全）の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 食育の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 部活動による健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 心の教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 人権・男女共同参画・多様性社会の推進に関する教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 相互理解・寛容の心の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 自然体験や社会奉仕活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 しつけや生活指導	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 保護者・地域と連携した教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 教員が子どもと向き合う時間の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19 いじめの早期発見・早期対応	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問7 北区の区立小・中学校では、以下の教育に関する取り組みを行っています。それぞれの取り組みについて、知っている場合はその満足度を、知らない場合は「知らない」に○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

	知っている				知らない
	大変満足	やや満足	少し不満	大変不満	
1 区独自の学力パワーアップ事業（教員を補助する講師の配置）	1	2	3	4	5
2 区独自の学力調査	1	2	3	4	5
3 中学校区を単位とした小学校と中学校との連携による小中一貫教育	1	2	3	4	5
4 幼稚園・保育園・こども園・小学校の連携	1	2	3	4	5
5 実験・観察の支援のために小・中学校全校に配置した理科支援員	1	2	3	4	5
6 お茶の水女子大学などとの連携による理科授業の支援	1	2	3	4	5
7 思考力・判断力・表現力を育成する新聞活用教育	1	2	3	4	5
8 道徳授業地区公開講座や道徳推進教師研修などによる道徳教育の改善・充実	1	2	3	4	5
9 特別支援学級（知的障害、自閉症・情緒障害）の設置	1	2	3	4	5
10 特別支援教室（全校）での巡回指導の実施	1	2	3	4	5
11 就学支援シートに基づいた小学校入学時の支援の充実	1	2	3	4	5
12 小学校の外国語・外国語活動や中学校英語の授業へのALT（外国人講師）配置	1	2	3	4	5
13 中学校2年生が留学生と交流する宿泊行事イングリッシュキャンプ	1	2	3	4	5
14 北区の中学生のアメリカへの派遣とアメリカ人生徒の受け入れなどのホームステイ事業	1	2	3	4	5
15 校内緑化やビオトープの整備などによる環境教育	1	2	3	4	5
16 職場体験などによるキャリア教育	1	2	3	4	5
17 学校評議員等による学校評価	1	2	3	4	5
18 小学校における言語障害学級・難聴学級（通級による指導）	1	2	3	4	5
19 日本語学級（通級による指導）	1	2	3	4	5
20 ホップ・ステップ・ジャンプ教室（不登校児童・生徒のための適応指導教室）	1	2	3	4	5
21 いじめ相談ミニレター	1	2	3	4	5
22 スクールカウンセラーの全校配置	1	2	3	4	5
23 Q-U調査（※）の実施	1	2	3	4	5
24 スクールソーシャルワーカーによる相談・支援事業	1	2	3	4	5
25 二学期制の実施	1	2	3	4	5

（一部の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施ができなかった年度があります。）

※Q-U調査：「児童も教師も心から笑える学級を育てたい」との理念をもとに作成されたクラスの問題点を表や図に表わして分析するためのアンケート調査

次に、北区の教育行政についてお答えください

問 8 「①現状の満足度」と「②今後の重要度」をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

	① 現在の満足度					② 今後の重要度				
	満足	やや満足	少し不満	大変不満	わからない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
【例】項目ごとに○をつける	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
1 計画的な学力向上策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 生涯学習事業の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 子どもの安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 学校経営への指導助言	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 教員研修の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 学校以外の教育施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 学校の設備の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 区民意見の反映	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 教育に関する情報提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 家庭教育への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 子どもの放課後の居場所づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 人権・男女共同参画・多様性社会の推進に関する意識向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 教育相談（心理相談）の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 教員の働き方改革	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 学校ICT教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 学校ファミリー事業の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 SDGs（※）に関する理解の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

※SDGs：SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

問 9 北区教育委員会では、以下の教育に関する取り組みを行っています。それぞれの取り組みについて、知っている場合はその満足度を、知らない場合は「知らない」に○をつけてください。
(それぞれの項目で○は1つ)

	知っている				知らない
	大変満足	やや満足	少し不満	大変不満	
1 北区教育広報紙「くおん」	1	2	3	4	5
2 学校連絡メール配信	1	2	3	4	5
3 学校の改築・学校のリノベーション工事（長期使用のための大規模な改修）	1	2	3	4	5
4 学校支援ボランティアとの連携	1	2	3	4	5
5 北区ふるさと農家体験館事業	1	2	3	4	5
6 施設一体型小中一貫校「(仮称)北区立都の北学園」の設置	1	2	3	4	5
7 北区立図書館の特色である「北区図書館活動区民の会」との協働事業	1	2	3	4	5
8 校庭・体育館等の夜間休日の貸出し	1	2	3	4	5

次に、子どもたちが自ら未来を切り拓く力を育む取り組みについてお答えください

問 10 「個別最適な学び（子ども一人ひとりに合わせた学習）の充実」のための北区の取り組みについて、「①現状の満足度」と「②今後の重要度」をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

		①は、封筒の宛名のお子さんが 北区の区立小・中学校に在籍して いる方のみお答えください。									
		① 現在の満足度					② 今後の重要度				
		満足	やや満足	少し不満	大変不満	わからない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
【例】項目ごとに○をつける		1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
1	一人ひとりの学習の状況に基づく教材の提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	学習の進め方によるコース別の学習の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	学習用端末が提示する問題を反復する学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	特別支援教育による学習支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	不登校児童生徒への学習支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	外国人児童生徒への学習支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	放課後の学習教室	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 11 「協働的な学び（他の人とともに力を高め合う学習）の充実」のための北区の取り組みについて、「①現状の満足度」と「②今後の重要度」をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

		①は、封筒の宛名のお子さんが 北区の区立小・中学校に在籍して いる方のみお答えください。									
		① 現在の満足度					② 今後の重要度				
		満足	やや満足	少し不満	大変不満	わからない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
【例】項目ごとに○をつける		1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
1	自分の考えを発表し、他の人の考えから学ぶ学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	グループ単位で議論する学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	協力して一つのものをつくったり新聞などにまとめたりする学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	学習用端末で自分の考えを送ったり、友達の考えを受け取ったりする学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	学年や学級の枠を超えた学習や行事	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	宿泊を伴う体験的な学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	遠隔地の学校との交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8	いいところを見つけてほめたりアドバイスしたりする学習	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 15 封筒の宛名のお子さんが、北区の区立小・中学校に在籍している方のみお答えください。
封筒の宛名のお子さんが在籍している学校で実施されている ICT を活用した授業または家庭学習に期待することは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---|--|
| 1 | 一人ひとりの学習状況に応じた学びを実施すること |
| 2 | 他者と協働して課題を解決していくこと |
| 3 | ICT 機器の基本的な操作（インターネット上の情報の検索・閲覧、発信、保存、共有等）を身につけること |
| 4 | プログラミング的思考を向上させること |
| 5 | 問題解決・探究のために情報を活用する力を向上させること |
| 6 | 情報モラル（インターネットトラブル、情報セキュリティ、著作権等）への理解を向上させること |
| 7 | 家庭学習の習慣を身につけること |
| 8 | その他（ ） |

問 16 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。
封筒の宛名のお子さんが在籍している学校に関して、次の項目をどの程度評価できますか。(それぞれの項目で○は1つ)

	とても 良い	やや 良い	ふつう	やや 良くない	全く 良くない	わから ない
1 教員の指導力	1	2	3	4	5	6
2 管理職(校長等)の学校経営力	1	2	3	4	5	6
3 学校行事の充実度	1	2	3	4	5	6
4 委員会・クラブ活動などの教科外教育の充実度	1	2	3	4	5	6
5 情報公開	1	2	3	4	5	6
6 地域・保護者との連携	1	2	3	4	5	6
7 生活・進路指導	1	2	3	4	5	6
8 設備の充実度	1	2	3	4	5	6
9 通学距離	1	2	3	4	5	6

問 17 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。
封筒の宛名のお子さんが在籍している学校の教員（担任以外を含む）について、総じて次の項目をどう思いますか。(それぞれの項目で○は1つ)

	とても 思う	少し 思う	あまり 思わない	全く 思わない	わから ない
1 わかりやすい授業をする	1	2	3	4	5
2 子どものことをよく理解している	1	2	3	4	5
3 子どもが悪いことをしたらきちんと叱る	1	2	3	4	5
4 誰にでも平等に接している	1	2	3	4	5
5 保護者が気軽に話しかけられる	1	2	3	4	5
6 信頼できる	1	2	3	4	5
7 忙しいようだ	1	2	3	4	5

問 18 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。

封筒の宛名のお子さんは、学校図書館（図書室）をどのように利用していると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|------------------|-----------|-------------|
| 1 本を借りている | 2 読書している | 3 調べ学習をしている |
| 4 勉強する場として利用している | 5 利用していない | 6 わからない |

問 19 封筒の宛名のお子さんが小学生の方のみお答えください。

封筒の宛名のお子さんの小学校卒業後の進路は、どのように考えていますか。（○は1つだけ）

- | |
|------------------|
| 1 北区内の公立中学校への進学 |
| 2 私立中学校への進学 |
| 3 国立大学の附属中学校への進学 |
| 4 公立の中高一貫校への進学 |
| 5 まだ決めていない |
| 6 その他（ |

→**問 20 問 19 で 2, 3, 4 と答えた方にお聞きします。**

北区の公立中学校以外への進学を考えているのはなぜですか。（○は3つまで）

- | |
|---------------------------------|
| 1 子どもが受験したいといっているから |
| 2 子どもの友達が受験するから |
| 3 自分（または配偶者や親族）の出身校または在籍校だから |
| 4 学校や学習塾の先生に薦められたから |
| 5 公立中学校からでは子どもが希望する高校や大学に行けないから |
| 6 高校受験をしなくて良いから |
| 7 その学校の教育方針や校風が良いから |
| 8 公立の中学校にはない教育が期待できるから |
| 9 入りたい部活動があるから |
| 10 公立中学校はいじめや非行の心配があるから |
| 11 校舎や教室などの学校の設備が整っているから |
| 12 男子校や女子校に通わせたいから |
| 13 子どもの学力にあっているから |
| 14 制服のセンスが良いから |
| 15 現在、小中一貫の学校に在籍しているから |
| 16 その他（ |

家庭・地域の教育力について

問 21 お住まいの地域における家庭や地域の教育力に関する以下の項目についてお答えください。
(それぞれの項目で○は1つ)

	そう思う	どちらか という そう思う	どちらか という そう 思わない	そう 思わない	わから ない
1 各家庭で、子どもに挨拶やお礼を言うなどの礼儀やきまりを守るなどの規範意識をきちんと教えていると思いますか。	1	2	3	4	5
2 子どもを注意してくれる地域の大人は多いと思いますか。	1	2	3	4	5
3 社会のルールやマナーを守る子どもが地域に多いと思いますか。	1	2	3	4	5
4 子どもが参加できる地域の活動は、十分だと思いますか。	1	2	3	4	5

問 22 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。

あなたからみて、封筒の宛名のお子さんの学力をどう思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|------------|---------|
| 1 十分だと思う | 2 まあ十分だと思う | 3 普通程度 |
| 4 やや物足りない | 5 全く物足りない | 6 わからない |

問 23 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。

ご家庭で封筒の宛名のお子さんに勉強を教えたり、宿題をみたり、学校のできごとを話し合ったりしていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1 よくしている | 2 ときどきしている | 3 あまりしていない |
| 4 全くしていない | | |

問 24 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。

封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 1 行かせている | 2 今は行かせていないが、行かせる意向・予定がある |
| 3 行かせていない | |

→ (1) 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせている方(予定を含む。)のみお答えください。
お子さんを学習塾に行かせている目的は何ですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|---------|--------------|
| 1 進学のため | 2 補習のため | 3 子どもが希望するから |
| 4 その他() | | |

→ (2) 封筒の宛名のお子さんを学習塾へ行かせていない方のみお答えください。
お子さんを学習塾へ行かせない理由をお聞かせください。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------------|---------------|---------|
| 1 学校の学習で十分だから | 2 子どもが希望しないから | 3 経済的理由 |
| 4 その他() | | |

問 25 封筒の宛名のお子さんが小・中学生の方のみお答えください。

封筒の宛名のお子さんは、学校の授業以外に【1日平均で】どのくらい勉強(学校の宿題、通信教育、学習塾、家庭教師等による学習時間)をしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 1時間未満 | 2 1時間以上～2時間未満 |
| 3 2時間以上～3時間未満 | 4 3時間以上 |
| 5 まったく勉強していない | |

教育全般について

問 26 教育全般に関する以下の項目について、どのように思うかお答えください。(それぞれの項目で○は1つ)

	そう思う	どちらか という そう思う	どちらか という そう 思わない	そう 思わない	わから ない
1 子どもたちの学力格差は広がっていると思いますか。	1	2	3	4	5
2 他の人のために行動したり、地域や社会に貢献しようとしたりする子どもは多いと思いますか。	1	2	3	4	5
3 子どもたちの体力は低下していると思いますか。	1	2	3	4	5

→問 27 問 26 項目 1「子どもたちの学力格差は広がっていると思いますか。」で、「そう思う」または、「どちらかというそう思う」と答えられた方にお聞きします。

どの段階で学力格差が特に広がっていると思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 小学校1年生 | 2 小学校2年生 | 3 小学校3年生 |
| 4 小学校4年生 | 5 小学校5年生 | 6 小学校6年生 |
| 7 中学校1年生 | 8 中学校2年生 | 9 中学校3年生 |
| 10 わからない | | |

問 28 部活動に期待することは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 大会・コンクール等でよい成績を収める | 2 チームワーク・協調性・共感を味わう |
| 3 体力・技術の向上 | 4 運動習慣の形成 |
| 5 友達と楽しく活動する | 6 自信をつける |
| 7 社会性(挨拶・礼儀等)を身につける | 8 放課後の居場所 |
| 9 その他(|) |

問 29 休日の運動部活動を、段階的に地域での活動に移行することなどについて、国が提言（※）していますが、このことについてどのように感じますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 計画どおり進めるべき | 2 時間をかけて進めるべき |
| 3 課題が多く進めるのは難しい | 4 進める必要がない |
| 5 わからない | |

※国の提言の概要：令和5年度から3年間で公立中学校での休日の運動部活動を段階的に地域での活動に移行し、将来的には平日の活動や文化部も地域移行して、子どもが生涯にわたり継続して地域でスポーツや文化活動等に親しむことができる持続可能なスポーツ（文化）環境の構築を図る。

→問 30 問 29 で 1, 2, 3, 4 と答えた方にお聞きします。

部活動の地域移行については、以下のような課題が示されています。あなたが気になることはありますか。（○は5つまで）

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1 十分な議論の確保 | 2 地域への移行期間 |
| 3 多種多様なスポーツや文化活動等の参加機会 | 4 定期的な活動場所や活動種目のための環境 |
| 5 活動場所への移動や活動時間 | 6 大会・コンクール等の参加資格 |
| 7 指導者の質や技術力 | 8 指導者や生徒間の交流 |
| 9 同じ学校の教員・生徒とのつながり | 10 保護者の費用負担 |
| 11 調査書（内申書）の評価や推薦入試の扱い | 12 移行する対象校（全校すべてか一部のみか） |
| 13 教員の負担軽減 | 14 その他（ ） |

問 31 「ヤングケアラー（※）」という言葉を知っていますか。（○は1つだけ）

- | |
|-----------------------|
| 1 聞いたことがあり、内容もよく知っている |
| 2 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3 聞いたことはない |

※ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。

問 32 「ヤングケアラー」と思われる子どもがいた場合、あなたならどうしますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1 学校・教育委員会に相談する |
| 2 民生委員・児童委員に相談する |
| 3 児童相談所・子ども家庭支援センターなどの子どもに関する行政機関に相談する |
| 4 保健所などの健康・衛生に関する行政機関に相談する |
| 5 福祉事務所などの社会福祉に関する行政機関に相談する |
| 6 病院や介護事業所などの医療・介護関係機関に相談する |
| 7 フリースクール・子ども食堂などの民間団体に相談する |
| 8 警察に相談する |
| 9 家族、知人、友人に相談する |
| 10 本人に様子を聞く |
| 11 何もしない |
| 12 わからない |
| 13 その他（ ） |

北区の教育行政について

問 33 北区では、通学区域の異なる保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校でつくる近隣複数校のネットワークとして「学校ファミリー」を形成し、以下の教育施策を実施しています。それぞれについて、どのように考えますか。

(1) 保幼小連携で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 小1プロブレム(※)への対応 | 2 学力の向上 |
| 3 不登校児童・生徒への支援 | 4 心の教育 |
| 5 幼児・児童の交流 | 6 保育士と教員の情報共有 |
| 7 わからない | |

※小1プロブレム：小学校1年生の学級において、入学後の落ち着かない状態がいつまでも解消されず、教師の話をきかない、授業中に座ってられないなど、授業規律が成立しない状態へと拡大し、こうした状態が数か月に渡って継続する状態。

(2) 小中一貫教育で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------------|-----------|------------|
| 1 中1ギャップ(※)の解消 | 2 学力の向上 | 3 不登校対策 |
| 4 心の教育 | 5 小中学生の交流 | 6 教員間の情報共有 |
| 7 「学校ファミリー」ごとの特色ある教育 | 8 わからない | |

※中1ギャップ：中学1年生になった途端、学習内容や生活リズムの変化になじめずに不登校となったり、いじめが急増したりする現象。

問 34 地域と学校との連携を進める上で、重点的に取り組むべき活動は何であると考えますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1 地域と一体の学校づくり | 2 地域の人材活用 | 3 居場所づくり |
| 4 心の教育 | 5 地域と児童・生徒の交流 | 6 地域と保育士・教員の交流 |
| 7 子どもの安全の確保 | 8 わからない | |

問 35 学校施設の整備について、今後どのようなことを優先的に行うべきだと考えますか。(○は3つまで)

- | |
|-----------------------------|
| 1 さまざまな教育活動に対応できる施設づくり |
| 2 安心・安全な施設づくり |
| 3 災害に強い施設づくり |
| 4 施設の長寿命化 |
| 5 省エネルギー設備の導入や緑化などエコスクールの推進 |
| 6 誰もが使いやすいユニバーサルデザインの導入 |
| 7 わからない |
| 8 その他 () |

問 36 北区は「教育先進都市」を掲げていますが、「教育先進都市」と聞いて抱くイメージは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 学力向上に熱心 | 2 教員の指導力が高い |
| 3 生涯学習事業が盛ん | 4 家庭教育支援が盛ん |
| 5 教育に対する予算が多い | 6 教科外活動に熱心 |
| 7 学校のICT化に取り組んでいる | 8 教員が多い |
| 9 公立学校の進学実績が良い | 10 いじめ・不登校などの問題への対処が良い |
| 11 学校施設・設備が整っている | 12 応用力・活用力が高い |
| 13 基礎・基本の定着度が高い | 14 情報公開度が高い |
| 15 国際理解教育に熱心(外国語含む) | 16 体験学習が盛ん |
| 17 その他() | 18 特にない |

生涯学習について

問 37 あなたは、自分ができることを地域や学校で活かしたいと思いませんか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかというそう思う |
| 3 どちらかというと思わない | 4 そう思わない |
| 5 わからない | |

問 38 あなたは、現在何らかの生涯学習活動に参加していますか。(○は1つだけ)

(例:「趣味の講座を受講している」「資格を身につけ、講座を開いている」「ボランティア活動に参加している」「独自に研究を進めている」)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 参加している | 2 参加していない |
|----------|-----------|

問 39 あなたは、文化センターを利用したことがありますか。以下の項目ごとに、利用満足度について○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

	利用したことがある				利用 した こと がな い
	大変 満足	やや 満足	少し 不満	大変 不満	
1 区民講座や区民協働講座などの講座への参加	1	2	3	4	5
2 センター祭や子どもひろば等のイベントへの参加	1	2	3	4	5
3 団体・サークル活動での施設利用	1	2	3	4	5
4 講座の開催予定やサークル照会等の問合せ	1	2	3	4	5

問 40 今後、文化センターに期待することは何ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|--|
| 1 区民講座や区民協働講座などの講座の充実 | |
| 2 センター祭や子どもひろば等のイベントの充実 | |
| 3 学習室等貸出施設の利用のしやすさ | |
| 4 生涯学習情報の提供や相談体制の充実 | |
| 5 その他 () | |
| 6 特になし | |

問 41 あなたは、区立図書館を利用したことがありますか。以下の項目ごとに、利用満足度について○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

	利用したことがある				利用 した こと が な い
	大変 満足	やや 満足	少し 不満	大変 不満	
1 館内での閲覧	1	2	3	4	5
2 館内での学習（インターネットの利用を含む。）	1	2	3	4	5
3 図書・CD・DVD等の貸出し	1	2	3	4	5
4 子ども向け講座（おはなし会を含む。）への参加	1	2	3	4	5
5 大人向け講座への参加	1	2	3	4	5
6 相談業務（レファレンス）	1	2	3	4	5

問 42 今後、区立図書館に期待することは何ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|--|
| 1 閲覧席の増設 | |
| 2 所蔵資料の充実 | |
| 3 子ども向け講座（おはなし会を含む。）の充実 | |
| 4 大人向け講座の充実 | |
| 5 相談業務（レファレンス）の充実 | |
| 6 開館日の拡大 | |
| 7 開館時間の延長 | |
| 8 電子書籍の貸出・閲覧 | |
| 9 その他 () | |
| 10 特になし | |

問 43 あなたは、飛鳥山博物館を利用したことがありますか。以下の項目ごとに、利用満足度について○をつけてください。(それぞれの項目で○は1つ)

	利用したことがある				利用したことがない
	大変満足	やや満足	少し不満	大変不満	
1 常設展・企画展など展示見学	1	2	3	4	5
2 子ども・親子向け事業	1	2	3	4	5
3 各種講座等への参加	1	2	3	4	5

問 44 今後、飛鳥山博物館に期待することは何ですか。(○は1つだけ)

- | |
|---|
| 1 企画展や常設展示の充実
2 成人向け講座の充実
3 親子・子ども向けイベントの充実
4 出張講座など館外活動の拡大
5 その他 ()
6 特になし |
|---|

問 45 あなたが、生涯学習のために力を入れて欲しいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 文化センター等施設の充実
2 講座の充実
3 学習の相談・情報提供の充実
4 区民が事業の企画・運営に参画するシステムの確立
5 大学等との連携
6 スポーツの場の提供
7 図書館の充実
8 博物館講座・活動の充実
9 動画配信やオンライン講座など ICT を活用した事業の実施
10 その他 () |
|---|

問 46 あなたは、学習・文化・スポーツ・社会活動などのグループや団体の自主的な活動を盛んにするために、どのような区の支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 団体についての研修の機会(運営の仕方、リーダー養成等)
2 団体活動に関する相談や情報を得る場
3 団体の学習会等のPRの手段
4 団体と区との協働による事業の整備
5 区の施設の学習環境の整備
6 団体の学習会等の講師謝礼の助成
7 その他 () |
|---|

問 47 あなたは、地域や社会のために、余暇時間を活かしてボランティア活動に参加するとして、どのくらい参加できますか。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1 ほぼ毎日
2 週3～5回程度
3 週1・2回程度
4 月に1・2回程度
5 年に数回程度
6 まったく参加できない |
|--|

最後に、北区の教育に関してご意見などがあれば記入してください。

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、11月15日(火)までにご返送いただきますようお願いいたします。なお、返信用封筒には、名前等の記入や切手を貼る必要はありません。

「北区教育ビジョン2024」策定に係る
アンケート調査報告書

刊行物登録番号 4-1-100

発行年月 令和5年2月

発行 北区教育委員会事務局教育振興部教育政策課
〒114-8546 北区滝野川2丁目52番10号
電話 03-3908-9279

調査協力 株式会社 マーケティング・リサーチ・サービス

